

第2部 アンケート調査結果

1 調査の概要

1-1 調査の設計について

(1) 調査の対象について

障がい者人口の諸変化（高齢化による65歳人口の割合増加、少子化等による18歳未満人口の割合減、18歳未満での障害者手帳の不所持者増など）と、これまでの回収率を考慮し、少数の階層等の人たちの実態と意向が反映できるように、機械的な障害者手帳所持者の無作為抽出方法で調査対象を抽出していません。

- 人口が少ない18歳未満と人口が多い18歳以上の2種類の調査用紙をつくり、人口が少ない18歳未満を対象とした独自項目による調査を実施しました。
- 人口が多い65歳以上の身体障がい者を考慮して、身体障がい者については、18歳以上39歳まで、40歳以上64歳まで、65歳以上と年齢階層によって抽出規準を操作しました。

■図表：障害者手帳所持者の抽出数、率等

		身体障害者 手帳所持者	療育 手帳所持者	精神障害者 保健福祉 手帳所持者	総計
18歳未満	手帳所持人数 (A)	40人	133人	15人	188人
	抽出人数 (B)	40人	133人	15人	188人
	割合 (B/A)	100%	100%	100%	100%
18歳以上 39歳以下	手帳所持人数 (A)	88人	362人	138人	588人
	抽出人数 (B)	88人	362人	138人	588人
	割合 (B/A)	100%	100%	100%	100%
40歳以上 64歳以下	手帳所持人数 (A)	708人	176人	262人	1,146人
	抽出人数 (B)	335人	176人	262人	773人
	割合 (B/A)	47%	100%	100%	67%
65歳以上	手帳所持人数 (A)	3,131人	50人	69人	3,250人
	抽出人数 (B)	200人	50人	69人	319人
	割合 (B/A)	6%	100%	100%	10%
総計	手帳所持人数 (A)	3,967人	721人	484人	5,172人
	抽出人数 (B)	663人	721人	484人	1,868人
	割合 (B/A)	17%	100%	100%	36%

調査対象者を抽出するにあたり、障がい種別の手帳所持人数は、重複手帳所持者に複数の調査用紙を配布しないように算出しました。

- なお手帳不所持者への協力呼びかけについては、18歳未満については丹波支援学校、及び小中学校の特別支援学級に依頼、最終的に手帳所持者を除く53人を対象としました。18歳以上については、医療機関や相談支援事業所等に調査票を配架し、対象者に調査票記入の協力をお願いしました。

(2) 回収状況

- 調査方法：手帳所持者；郵送配布・郵送回収（一部直接回収）
手帳不所持者；直接配布・郵送回収（一部直接回収）
- 調査期間：令和2年1月16日（木）から1月31日（金）
令和2年2月12日（水）回収分までを受付

■図表：回収状況（手帳所持者・18歳以上）

		配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
身体	18歳以上	623	264	42.4%	264	42.4%
	18～39歳	88	—	—	27	30.7%
	40～64歳	335	—	—	129	38.5%
	65歳以上	200	—	—	103	51.5%
	年齢無回答	—	—	—	5	—
療育	18歳以上	588	255	43.4%	252	42.9%
	18～39歳	362	—	—	130	35.9%
	40～64歳	176	—	—	73	41.5%
	65歳以上	50	—	—	39	78.0%
	年齢無回答	—	—	—	10	—
精神	18歳以上	469	158	33.7%	155	33.0%
	18～39歳	138	—	—	36	26.1%
	40～64歳	262	—	—	89	34.0%
	65歳以上	69	—	—	24	34.8%
	年齢無回答	—	—	—	6	—
総計	18歳以上	1,680	677	40.3%	671	39.9%
	18～39歳	588	—	—	193	32.8%
	40～64歳	773	—	—	291	37.6%
	65歳以上	319	—	—	166	52.0%
	年齢無回答	—	—	—	21	—

■図表：回収状況（手帳不所持者を含む）

		配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
18歳未満		241	114	47.3%	113	46.9%
手帳所持者		188	—	—	80	42.6%
手帳不所持者		53	—	—	33	62.3%
18歳以上		—	680	—	674	—
手帳所持者		1,680	677	40.3%	671	39.9%
手帳不所持者		—	3	—	3	—

1-2 分析方法について

(1) 分析の見方

- 結果は回答者全数の回答項目別の数・割合という単純集計で示していますが、かならずしも障がい者人口の総意とは統計的になっていません。手帳による障がい種別、及び年齢別の基本的な属性ごとの実態と意向が全体集計に反映されるように調整された対象による、調整された結果とみてください。
- なお調整したとはいえ、18歳以上の結果については、65歳以上の身体障がい者の実態と意向がより強く反映せざるを得ないものとなりました。
- したがって18歳以上の結果については、単純集計に加えて、障がい種別、年齢別などで、個人が特定されないものについて、顕著なあるいは特徴的な結果があるものについてはそれも示しています。
- 18歳未満の結果については、回収数が少ないので、個人が特定されない範囲での単純集計以上の分析にとどめざるを得ませんでした。なお上記の基本的な属性以外で、障害者手帳の不所持者及び発達障がいが基本的な属性となっており、それについては分析していません。

(2) 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 本報告書は、それぞれの手帳所持者別にクロス集計をかけることで身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者を別々に集計しています。よって、重複手帳所持者がそれぞれに数えられ、集計されています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- サンプル数が少なく、個人情報特定される可能性がある設問については、結果を表示しません。ただし、限定設問のためサンプル数が少ない設問については表示しています。

2 調査結果（18歳以上）

2-1 基礎的事項

(1) 回答者

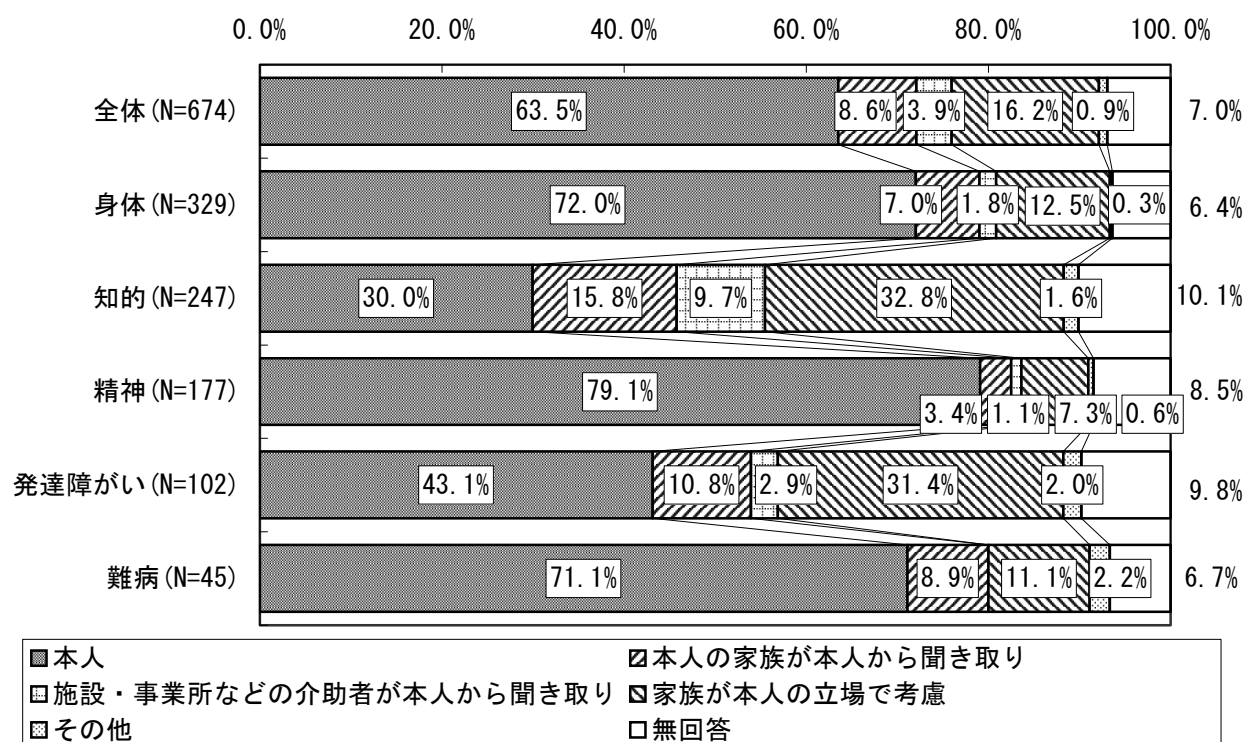
問1 アンケートにご回答いただいた方を教えてください。

(1) 答え（選択肢）を選んだ人は誰ですか。（1つに○）

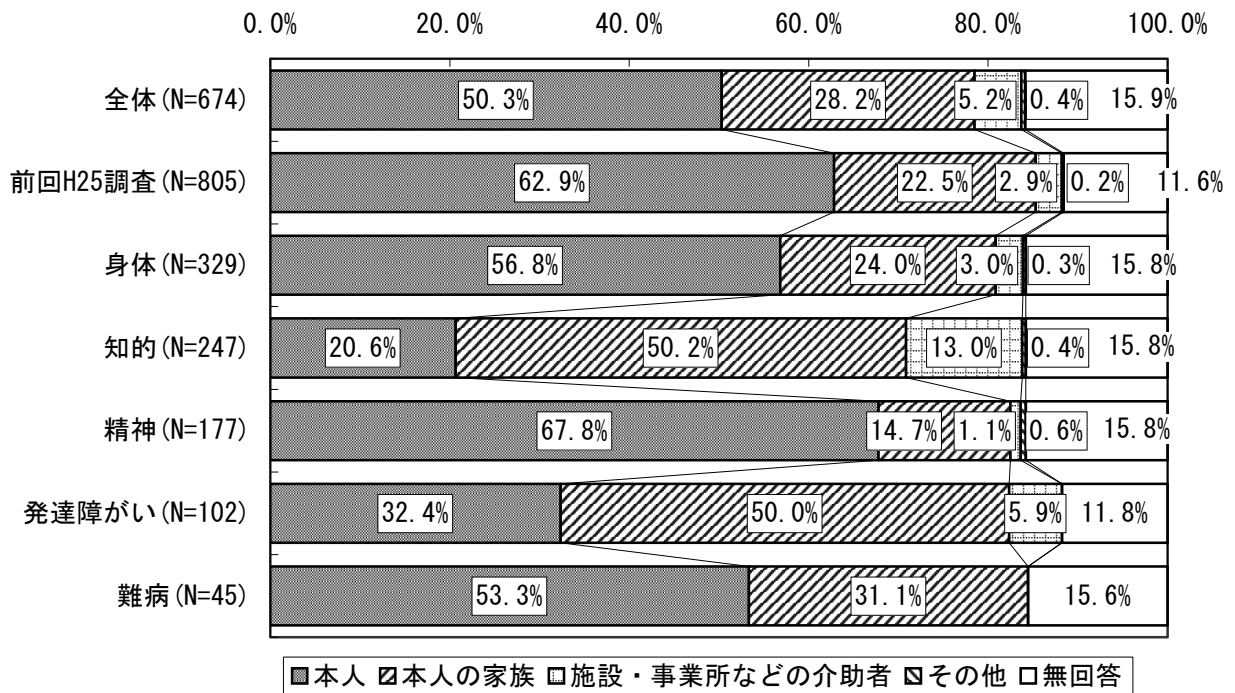
(2) 答え（選択肢）を記入した人は誰ですか。（1つに○）

回答は、知的小および発達障がいでは本人以外による選択・記入が過半数を占めています。

■図表：答えを選んだ人



■図表：答えを記入した人

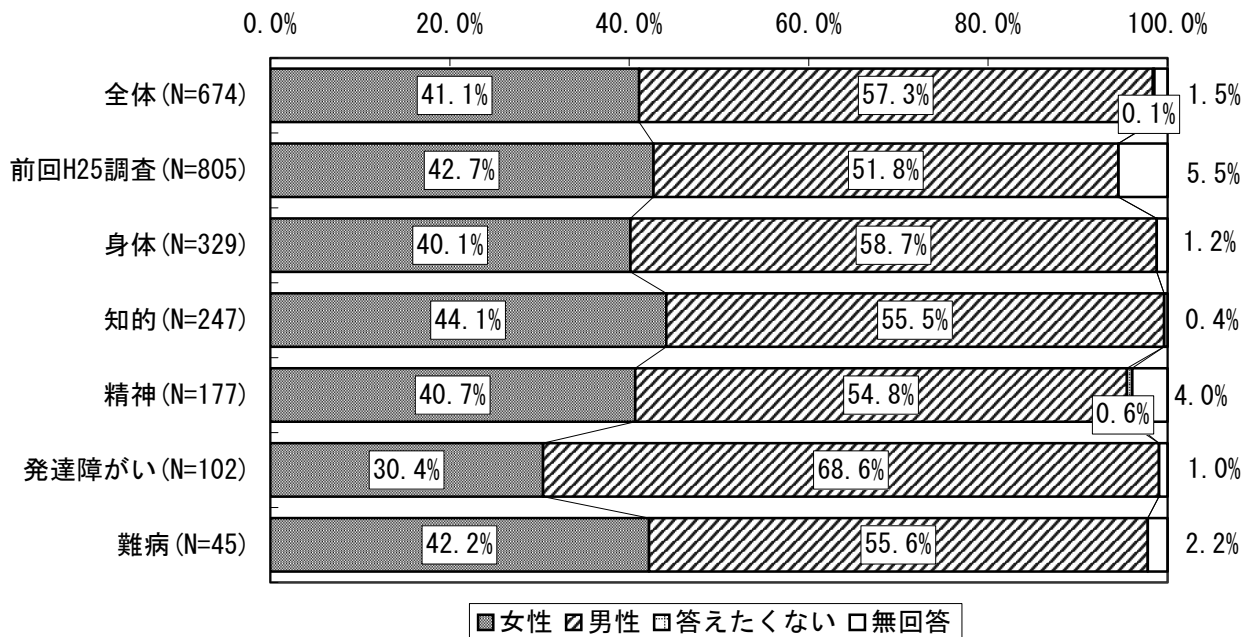


(2) 性別

問2 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

性別は、以下のようになっています。

■図表：性別



(3) 年齢

問3 あなたの年齢は何歳ですか。※令和2年1月1日現在でお答えください。

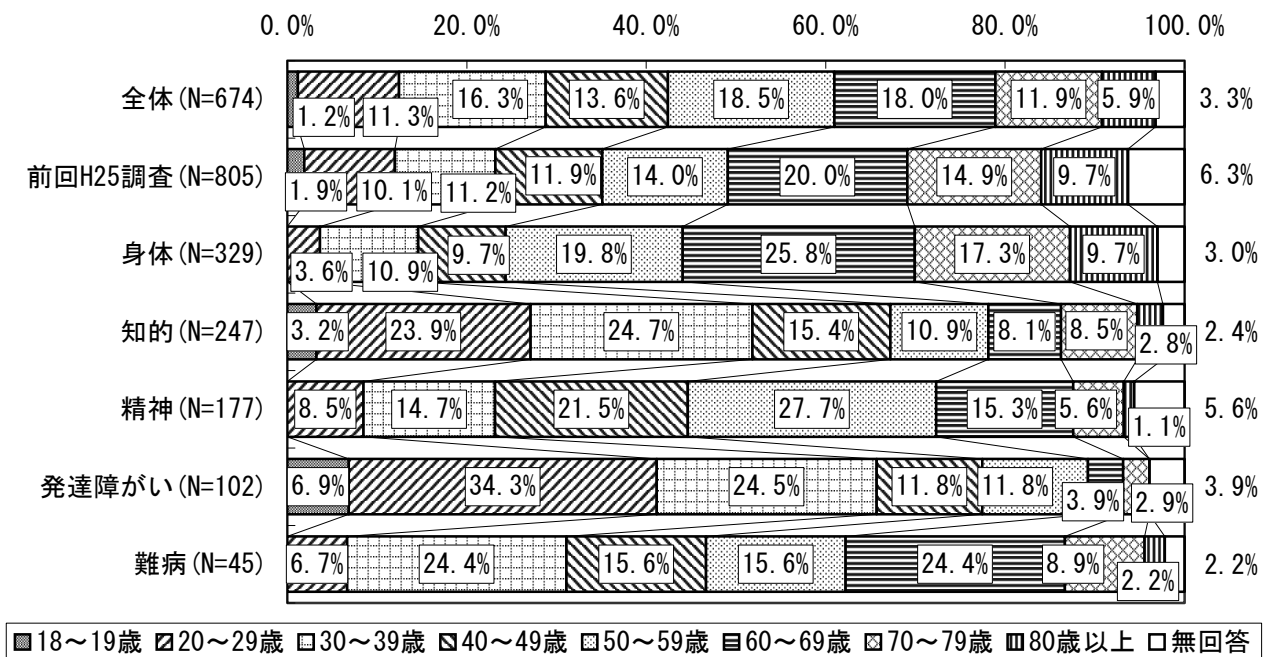
※「18歳以上」の障がい程度「重度」とは、以下の条件のいずれかにあてはまる回答を集計しています。

- 身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかを所持。
- 2種類以上の障害者手帳を所持。
- 問23（障害支援区分）に区分5・6と回答。
- 問18（要介護度）に要介護4・5と回答。

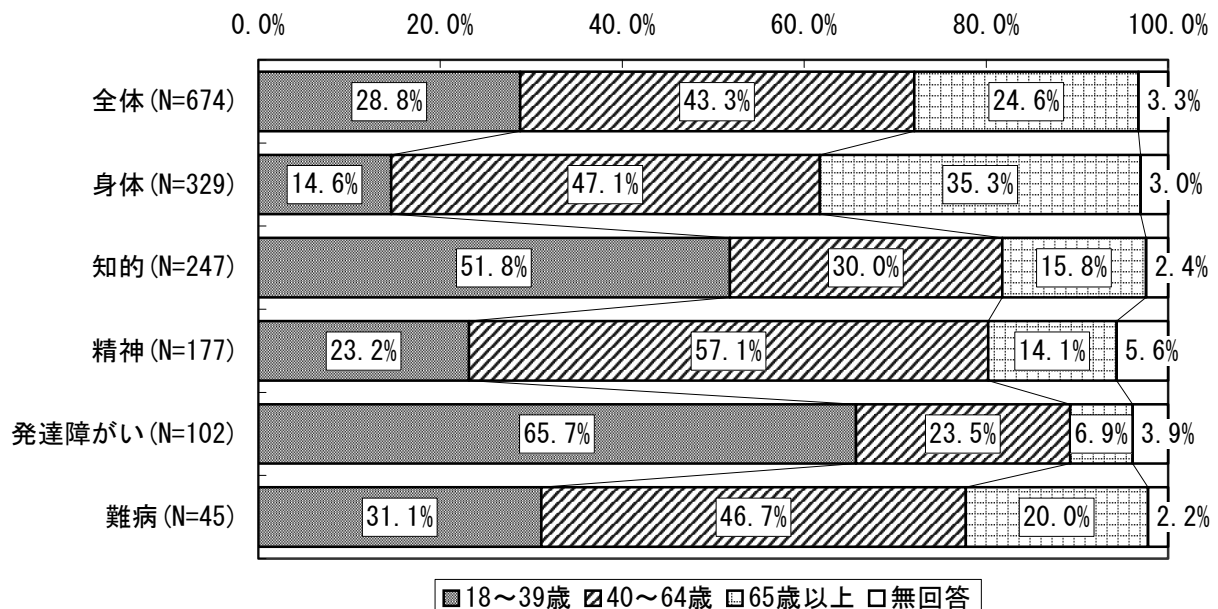
※なお、問3以降にも、障がい程度「重度」と「重度以外」の集計結果を示した設問が複数あります。

年齢は、知的と発達障がいでは「18～39歳」、それ以外では「40～64歳」がそれぞれ最も多くなっています。また、重度では「65歳以上」の割合が重度以外に比べて多くなっています。

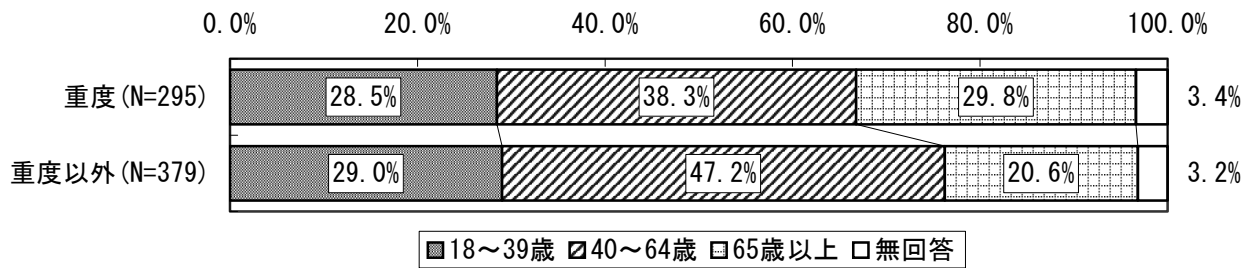
■図表：年齢（10歳刻み）



■図表：年齢（3区分）



■図表：障がい程度別 年齢（3区分）

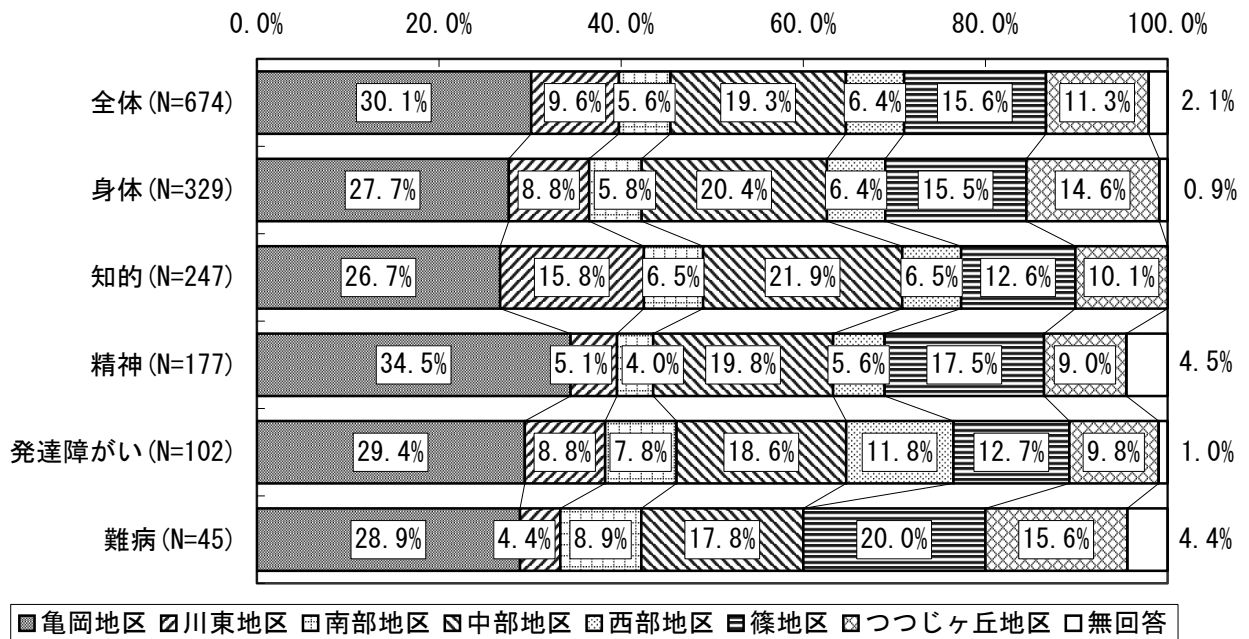


(4) 居住地区

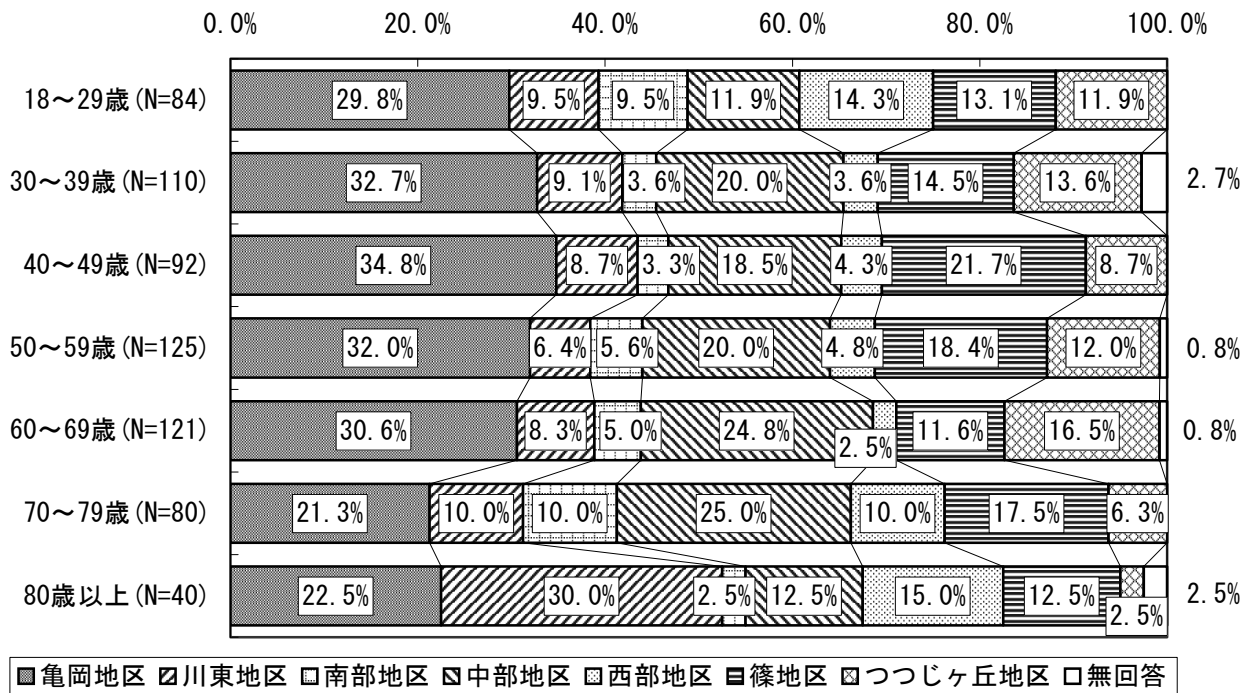
問4 あなたのお住まいはどちらですか。(1つに○)

居住地区は、70歳代では「中部地区」、80歳以上では「川東地区」、それ以外では「亀岡地区」がそれぞれ最も多くなっています。

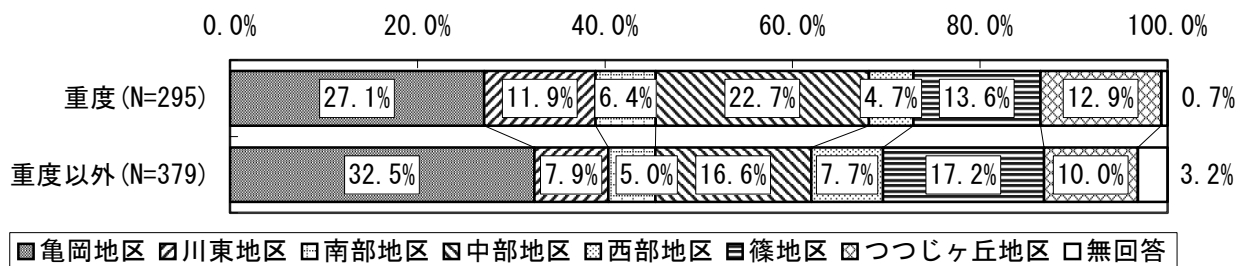
■図表：居住地区



■図表：年齢別 居住地区



■図表：障がい程度別 居住地区

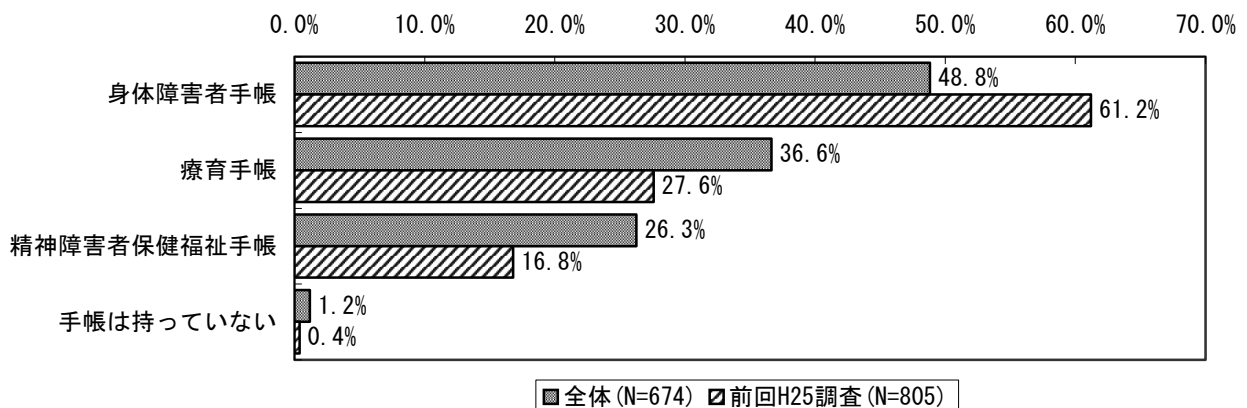


(5) 障害者手帳の所持状況

問5 あなたが所持している障害者手帳は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

各障害者手帳の所持者は、身体障害者手帳が 329 人 (48.8%)、療育手帳が 247 人 (36.8%)、精神障害者保健福祉手帳が 177 人 (26.3%) となっています。

■図表：障害者手帳の所持状況



※全調査対象者分の手帳所持者の割合であり、重複手帳所持者を含むため、100.0%を超えています。

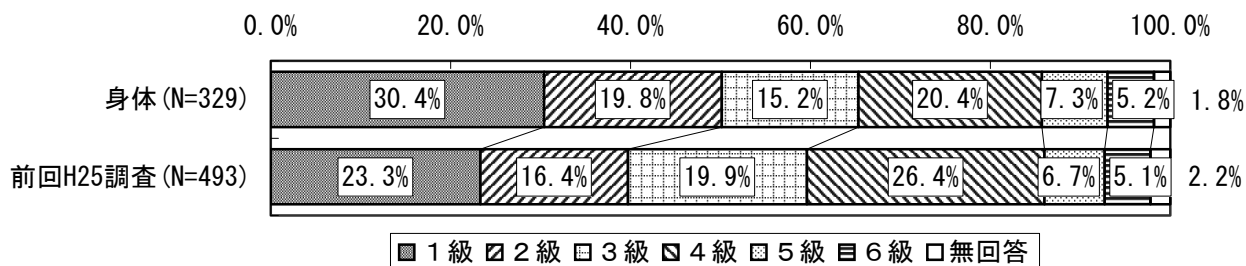
(6) 身体障害者手帳の等級

問5で「1. 身体障害者手帳」と回答した方にお聞きします。

問6 「身体障害者手帳」の等級は何級ですか。(1つに○)

身体障害者手帳所持者のうち、等級は「1級」が30.4%で最も多く、ついで「4級」(20.4%)となっています。

■図表：身体障害者手帳の等級



(7) 身体障がいの種類

問5で「1. 身体障害者手帳」と回答した方にお聞きします。

問7 どのような障がいですか。(あてはまるものすべてに○)

身体障がいの種類は、軽度では大半が「肢体不自由」、重度では「内部障がい」が多くなっています。

■図表：身体障がいの種類（複数回答）

		有効回答数	視覚障がい	聴覚障がい、平衡機能障がい、い、平	音声・言語機能障がい、し機や能	肢体不自由	内部障がい
身体		329	6.4%	12.2%	9.1%	48.0%	32.5%
前回H25調査		493	5.7%	7.9%	4.5%	48.1%	32.0%
年齢	18～39歳	48	12.5%	16.7%	12.5%	64.6%	12.5%
	40～64歳	155	6.5%	11.0%	5.8%	54.2%	29.7%
	65歳以上	116	4.3%	9.5%	11.2%	36.2%	45.7%
身体等級	1級	100	6.0%	8.0%	11.0%	38.0%	55.0%
	2級	65	12.3%	21.5%	4.6%	60.0%	4.6%
	3級	50	4.0%	10.0%	20.0%	28.0%	46.0%
	4級	67	4.5%	9.0%	9.0%	46.3%	35.8%
	5級	24	4.2%	4.2%	0.0%	95.8%	4.2%
	6級	17	5.9%	35.3%	0.0%	64.7%	5.9%

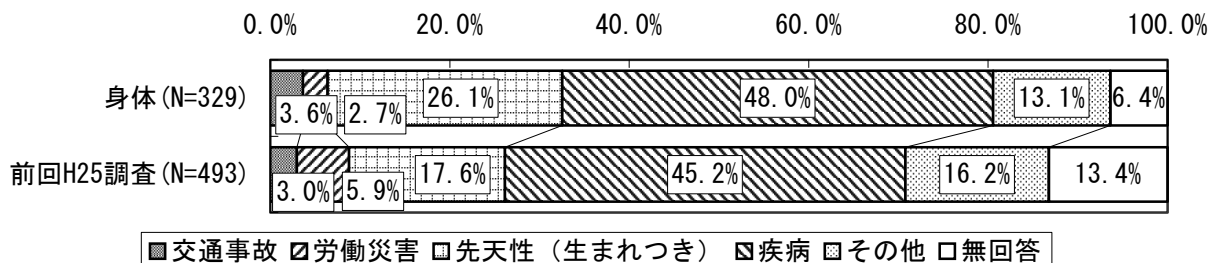
※全調査対象者分の手帳所持者の割合であり、重複手帳所持者を含むため、100.0%を超えています。

(8) 障がいの原因

問5で「1. 身体障害者手帳」と回答した方にお聞きします。
 問8 障がいの原因は、次のどれですか。(1つに○)

障がいの原因は、「疾病」が48.0%で最も多くなっています。

■図表：障がいの原因

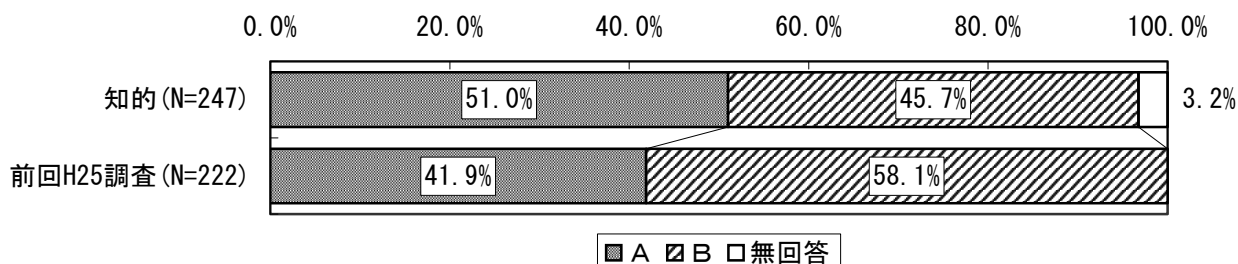


(9) 療育手帳の判定

問5で「2. 療育手帳」と回答した方にお聞きします。
 回答しなかった方は問10へお進みください。
 問9 「療育手帳」の判定は、次のどれですか。(1つに○)

療育手帳の所持者について、判定は「A」が51.0%、「B」が45.7%となっています。

■図表：療育手帳の判定

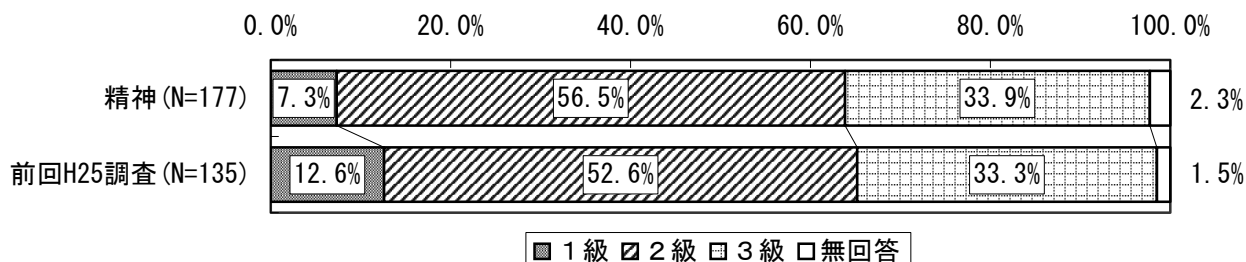


(10) 精神障害者保健福祉手帳の等級

問5で「3. 精神障害者保健福祉手帳」と回答した方にお聞きします。
 回答しなかった方は問11へお進みください。
 問10 「精神障害者保健福祉手帳」の等級は、何級ですか。(1つに○)

精神障害者保健福祉手帳の所持者について、等級は「2級」が56.5%で最も多く、次いで「3級」(33.9%)となっています。

■図表：精神障害者保健福祉手帳の等級

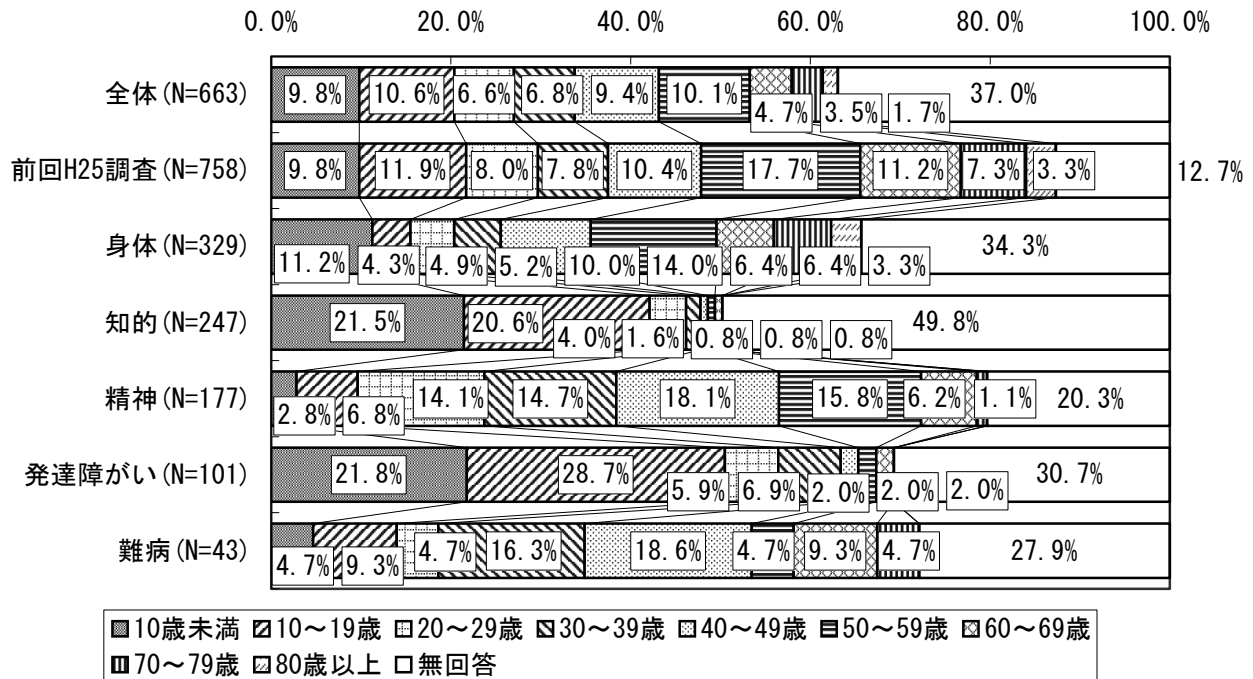


(11) 障害者手帳を初めて取得した年齢

問 11 あなたが障害者手帳を初めて取得したのは、何歳でしたか。

手帳取得年齢をみると、無回答を除いて、身体では「50～59歳」、知的では「10歳未満」、精神と難病では「40～49歳」、発達障がいでは「10～19歳」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：障害者手帳を初めて取得した年齢

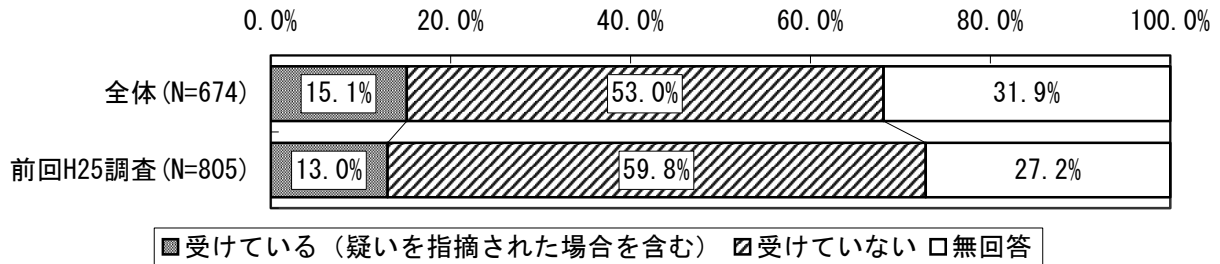


問 12 から問 16 までは、障害者手帳の交付の要件にはあたらない、生活の負担になる症状などについてお聞きします。

(12) 発達障がいの診断

問 12 あなたは、発達障がいの診断を受けていますか。(広汎性発達障がい、自閉症など) (1つに○)
 発達障がいの診断を受けている人は 15.1% (101 人) となっています。

■ 図表：発達障がいの診断



(13) 発達障がいの診断名

問 12 で「1. 受けている」と回答した方にお聞きします。
 「2. 受けていない」と回答した方は問 14 へお進みください。
 問 13 あなたの発達障がいの診断名 (疑いを指摘された場合も含む) は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

発達障がいの診断を受けている人の診断名は、「自閉症スペクトラム」が 62.4% で最も多くなっています。

■ 図表：発達障がいの診断名 (複数回答)

		有効回答数	自閉症スペクトラム	注意欠陥／多動性	学習障がい	その他
発達障がい		102	62.4%	13.7%	10.8%	23.5%
年齢	18～29歳	42	69.0%	16.7%	16.7%	16.7%
	30～39歳	25	60.0%	12.0%	4.0%	32.0%
	40～49歳	12	50.0%	16.7%	8.3%	25.0%
	50～59歳	12	58.3%	8.3%	0.0%	25.0%
	60～69歳	4	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
	70～79歳	3	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%
	80歳以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(14) 診断を受けた症状

問 14 あなたは次の診断（疑いを指摘された場合を含む）を受けていますか。
 （あてはまるものすべてに○）

精神では「統合失調症、妄想性障がい、非定型精神症」「気分（感情）障がい（躁うつ病・うつ病を含む）」が4割近くで、他の障がいに比べて多くなっています。それ以外の障がいでは「該当するものはない」が最も多くなっています。

■図表：診断を受けた症状

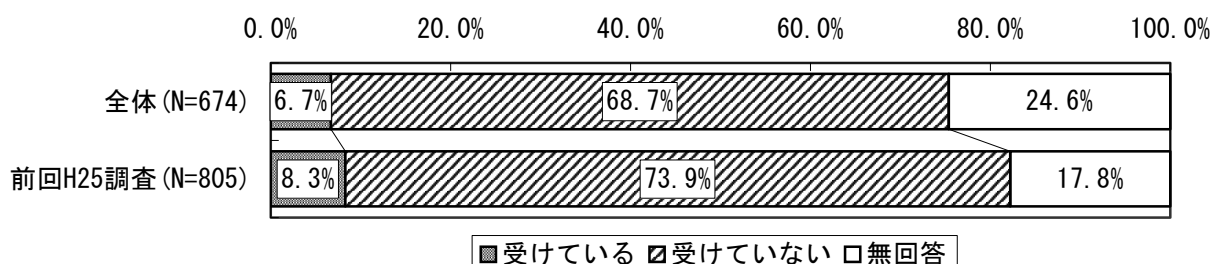
		有効回答数	アルコール依存、薬物	ギャンブル等依存	統合失調症、妄想性障がい、非定型精神症	気分（感情）障がい（躁うつ病・うつ病を含む）	神経症、身体ストレス性障がい	てんかん
全体		674	1.0%	0.1%	10.8%	12.0%	3.4%	8.0%
前回H25調査		805	1.4%	0.0%	8.3%	7.0%	3.6%	6.2%
障がい種別	身体	329	0.9%	0.0%	2.4%	4.3%	2.7%	4.6%
	知的	247	0.4%	0.4%	2.8%	2.8%	0.8%	13.8%
	精神	177	2.8%	0.6%	39.5%	38.4%	10.2%	10.2%
	発達障がい	102	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	3.9%	12.7%
	難病	45	2.2%	0.0%	4.4%	6.7%	2.2%	13.3%
		有効回答数	認知症など（脳器質性精神障がい型）	人格障がい	高次脳機能障がい	その他	該当するものはない	わからない
全体		674	1.0%	0.9%	3.1%	3.0%	27.3%	6.8%
前回H25調査		805	1.0%	1.0%	1.1%	3.7%	28.7%	6.0%
障がい種別	身体	329	0.6%	0.6%	4.6%	2.4%	35.6%	6.1%
	知的	247	0.0%	0.8%	1.2%	2.8%	27.1%	10.5%
	精神	177	2.3%	2.3%	4.5%	5.1%	5.6%	2.3%
	発達障がい	102	0.0%	2.0%	2.0%	5.9%	30.4%	8.8%
	難病	45	0.0%	0.0%	2.2%	4.4%	33.3%	8.9%

(15) 難病（指定難病）の認定

問 15 あなたは、難病（指定難病）の認定を受けていますか。（1つに○）

難病の指定を受けている人は6.7%（45人）となっています。

■図表：難病の認定

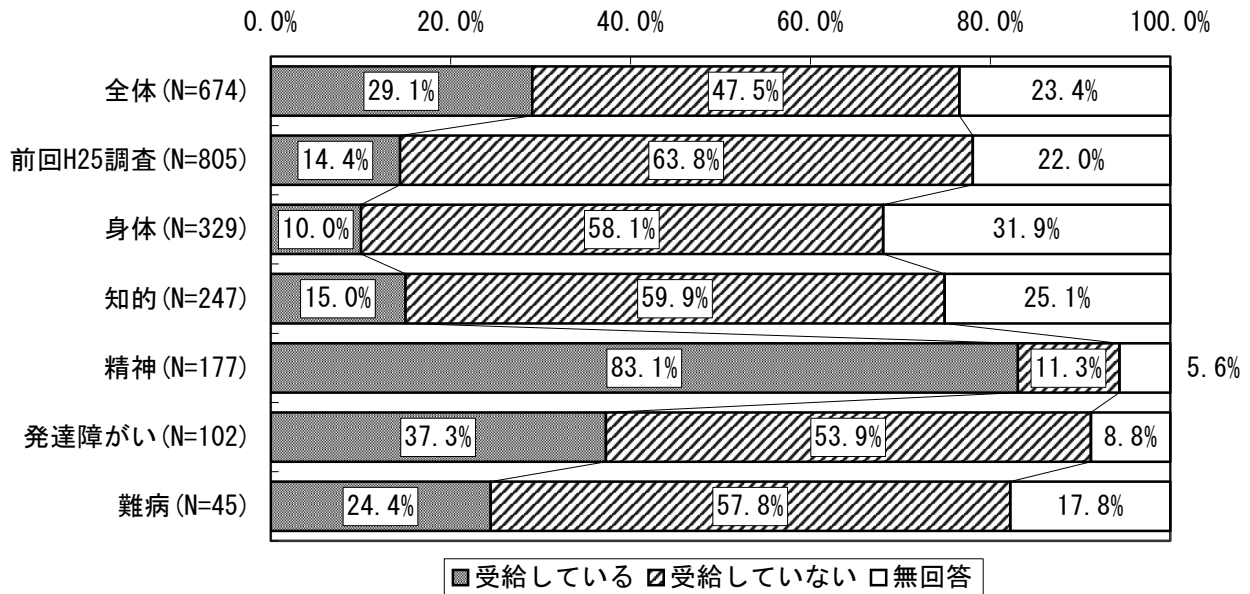


(16) 自立支援医療（精神通院）の受給

問 16 あなたは、自立支援医療（精神通院）を受給していますか。（1つに○）

自立支援医療（精神通院）を受給している人は全体では 29.1%、精神では 83.1%となっています。

■図表：自立支援医療の受給



(17) 要介護認定

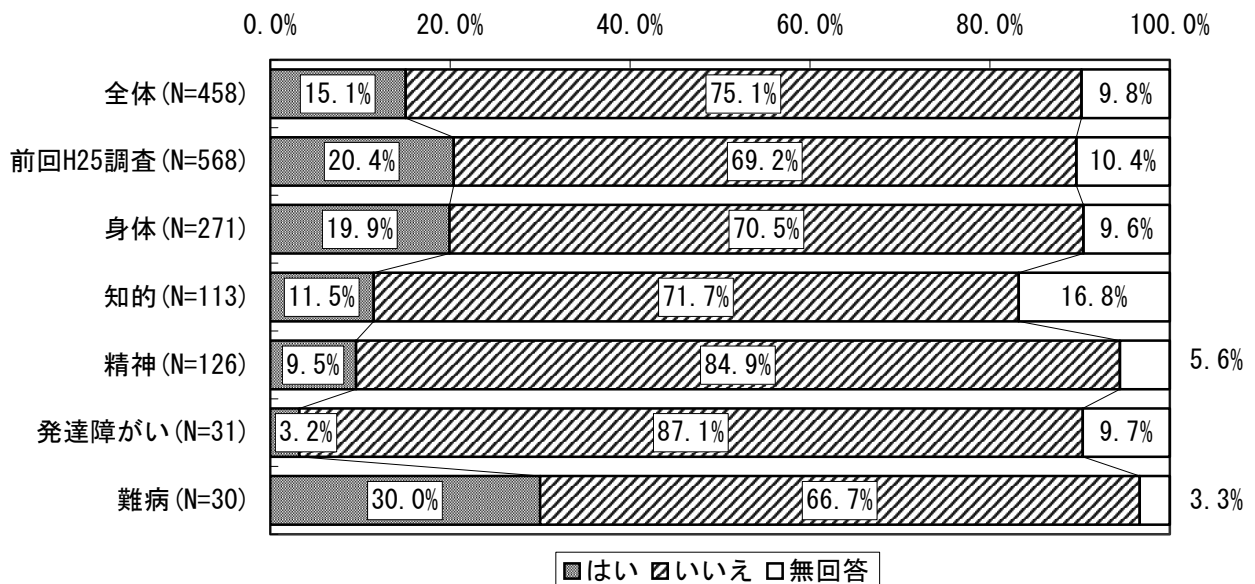
現在、40歳以上の方にお聞きします。

39歳以下の方は、問 22へお進みください。

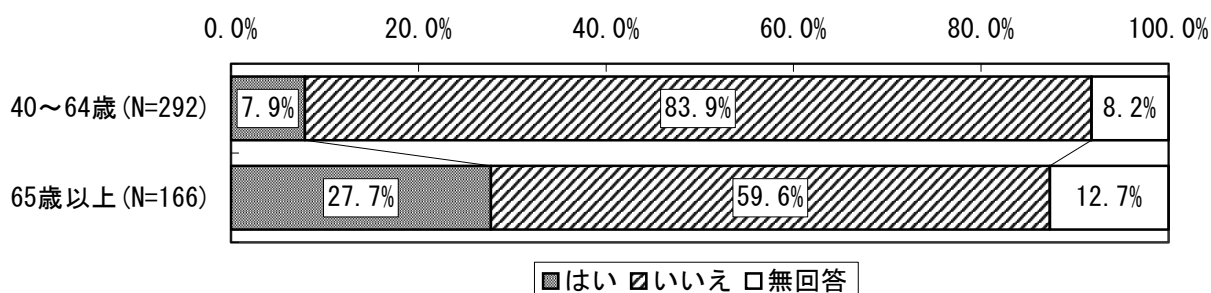
問 17 あなたは、介護保険法の要介護認定を受けていますか。（1つに○）

要介護認定を受けている人（「はい」）は 65歳以上の 27.7%となっています。また、難病では 30.0%、手帳が重度の表記になっている人では 25.4%とそれぞれ多くなっています。

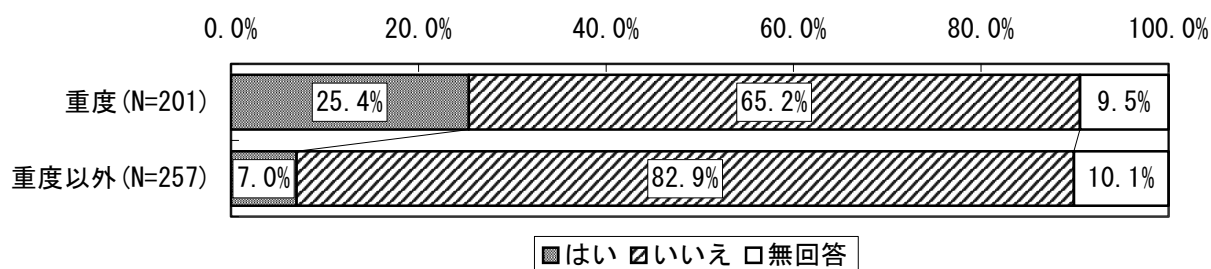
■図表：要介護認定



■図表：年齢別 要介護認定



■図表：障がい程度別 要介護認定

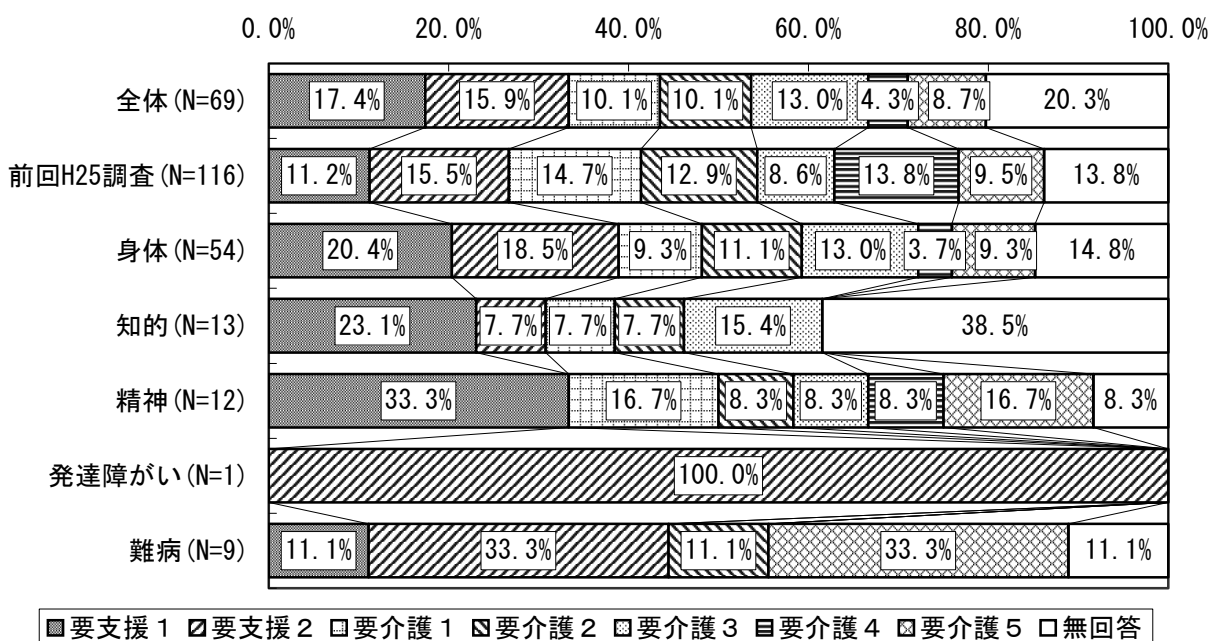


問17で「1. はい」と回答した方にお聞きします。

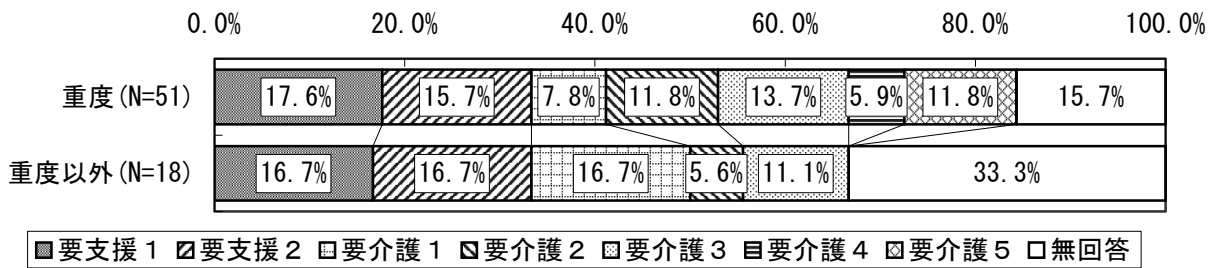
問18 どのような要介護度ですか。(1つに○)

要介護認定を受けている人の要介護度をみると、要支援1・2が3割程度を占めています。精神では要介護4以上が25.0%と比較的多くなっています。

■図表：要介護度



■図表：障がい程度別 要介護度



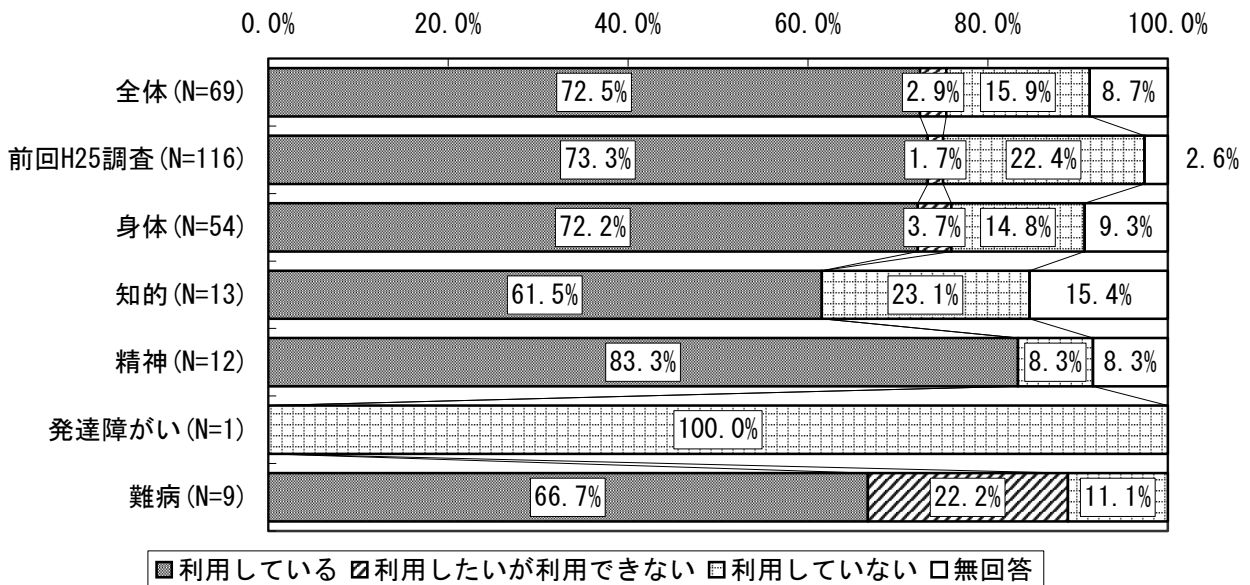
(18) 介護保険サービスの利用

問 17 で「1. はい」と回答した方にお聞きします。

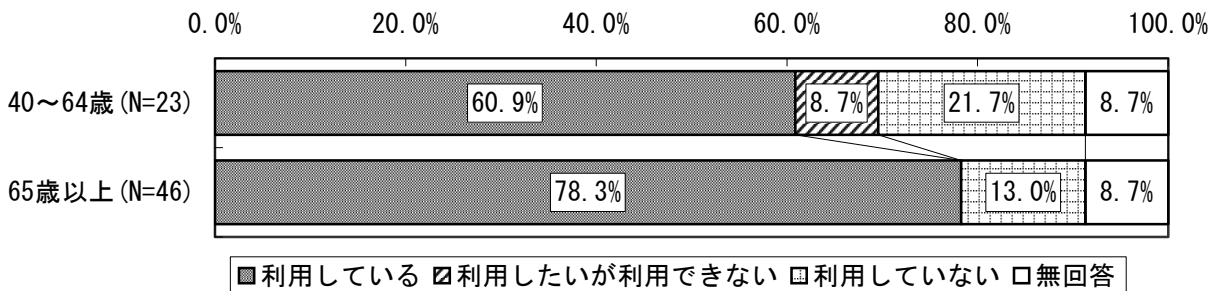
問 19 あなたは、介護保険法によるサービスを利用していますか。(1つに○)

介護保険サービスの利用をみると、「利用している」は認定を受けている人の7割程度となっています。

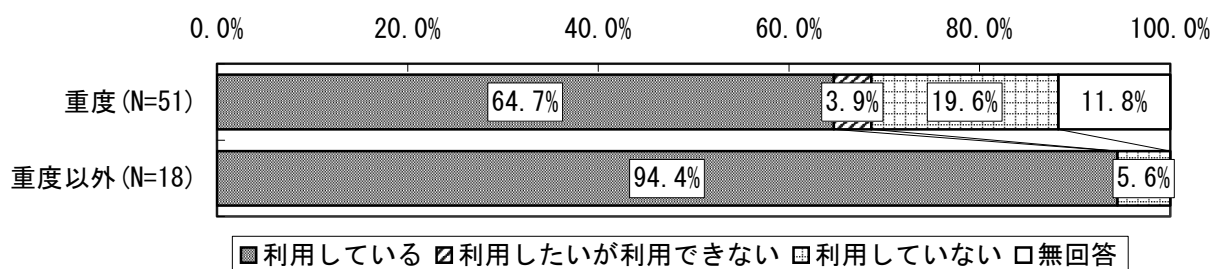
■図表：介護保険サービスの利用



■図表：年齢別 介護保険サービスの利用



■図表：障がい程度別 介護保険サービスの利用



(19) 介護保険サービスを利用していない理由

問 19 で「2. 利用したいが利用できない」または「3. 利用していない」と回答した方にお聞きします。

問 20 利用できない、または、利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

件数が少ないため、コメントは省略します。

■図表：介護保険サービスを利用していない理由（複数回答）

		有効回答数	介護保険サービスにないが、介護	障害がある（あるいは福祉サービスを利用した）	施設などを利用して、訪問介護を利用できない	その他
全体		13	30.8%	15.4%	0.0%	53.8%
障がい種別	身体	10	40.0%	10.0%	0.0%	60.0%
	知的	3	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%
	精神	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	難病	3	66.7%	33.3%	0.0%	66.7%

(20) 障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行について

問 21 あなたは、65 歳になると、原則として、障がい福祉サービスから介護保険サービスに移行することについて、どのように考えますか。

現在、障がい福祉サービスを利用している方も利用していない方もお答えください。

また、すでに 65 歳以上の方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)

障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行についてみると、「所得の少ない支援の必要な人にとって負担が増えないように考慮してほしい」が 48.9%で最も多く、次いで「移行する前に、わかりやすい情報を提供してほしい」(40.4%)となっています。「所得の少ない支援の必要な人にとって負担が増えないように考慮してほしい」は精神では6割以上と特に多くなっています。

■図表：障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行について（複数回答）

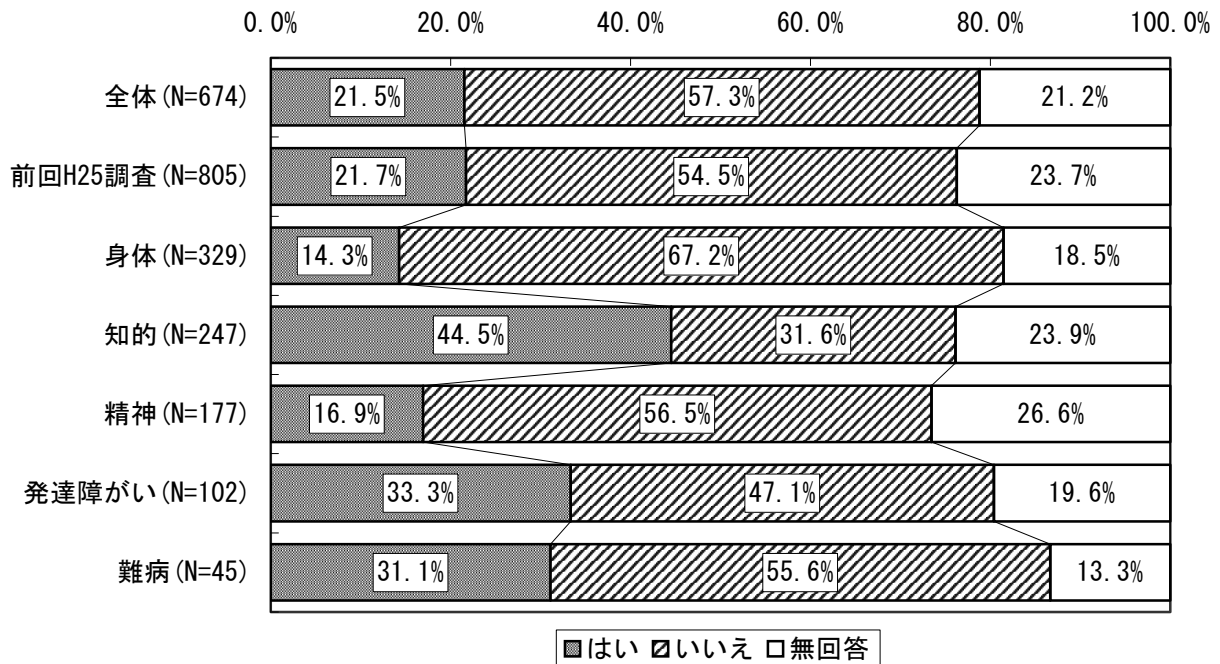
		有効回答数	いい障がい福祉サービスの程度をよつては、続け障が	るがら障がい福祉サービスを利用し、配慮をしほしき障が	慮と所得の少ない増えな必要に考	をにサービス間の質が低下しな継ぎ	報移行する前に、わかりやすい情	その他	と介護保険サービスに移行するこ
全体		458	36.0%	27.1%	48.9%	29.9%	40.4%	6.1%	12.0%
障がい種別	身体	271	31.0%	23.6%	46.5%	26.6%	38.7%	6.3%	11.8%
	知的	113	39.8%	36.3%	36.3%	28.3%	30.1%	5.3%	10.6%
	精神	126	45.2%	31.7%	62.7%	35.7%	50.0%	8.7%	11.9%
	発達障がい難病	31	41.9%	25.8%	45.2%	38.7%	54.8%	16.1%	12.9%
年齢	40～64歳	292	40.8%	32.9%	55.1%	34.9%	49.0%	5.8%	8.2%
	65歳以上	166	27.7%	16.9%	38.0%	21.1%	25.3%	6.6%	18.7%
障がい程度	重度	201	34.8%	30.8%	42.3%	23.9%	34.8%	5.0%	12.4%
	重度以外	257	37.0%	24.1%	54.1%	34.6%	44.7%	7.0%	11.7%

(21) 障害支援区分認定

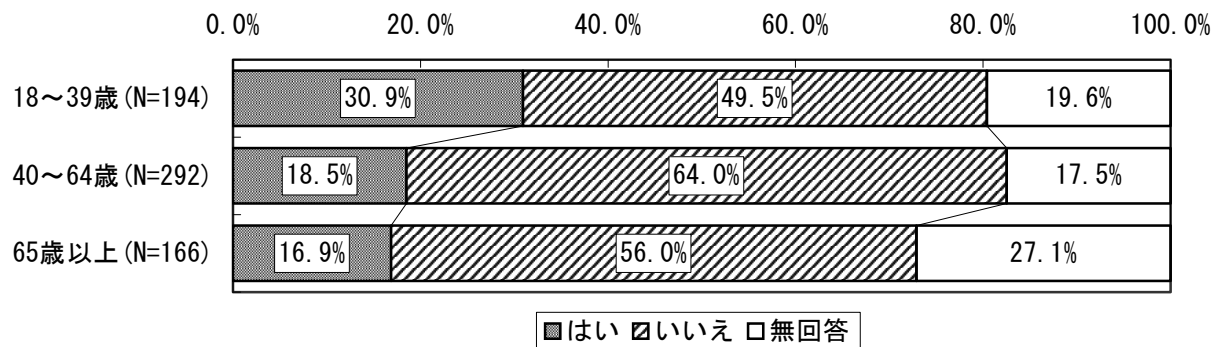
問 22 あなたは、障害者総合支援法の障害支援区分認定を受けていますか。(1つに〇)

障害支援区分認定を受けている人は全体の21.5%で、障がい種別で見ると知的(44.5%)が多くなっています。また、重度では36.9%が認定を受けています。

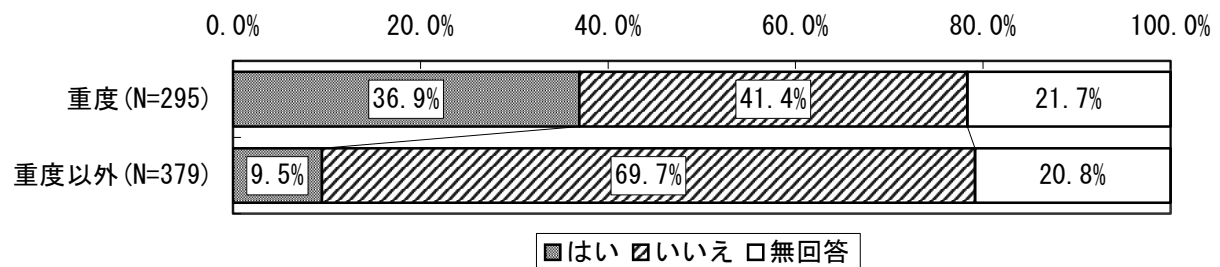
■ 図表：障害支援区分認定



■ 図表：年齢別 障害支援区分認定



■ 図表：障がい程度別 障害支援区分認定

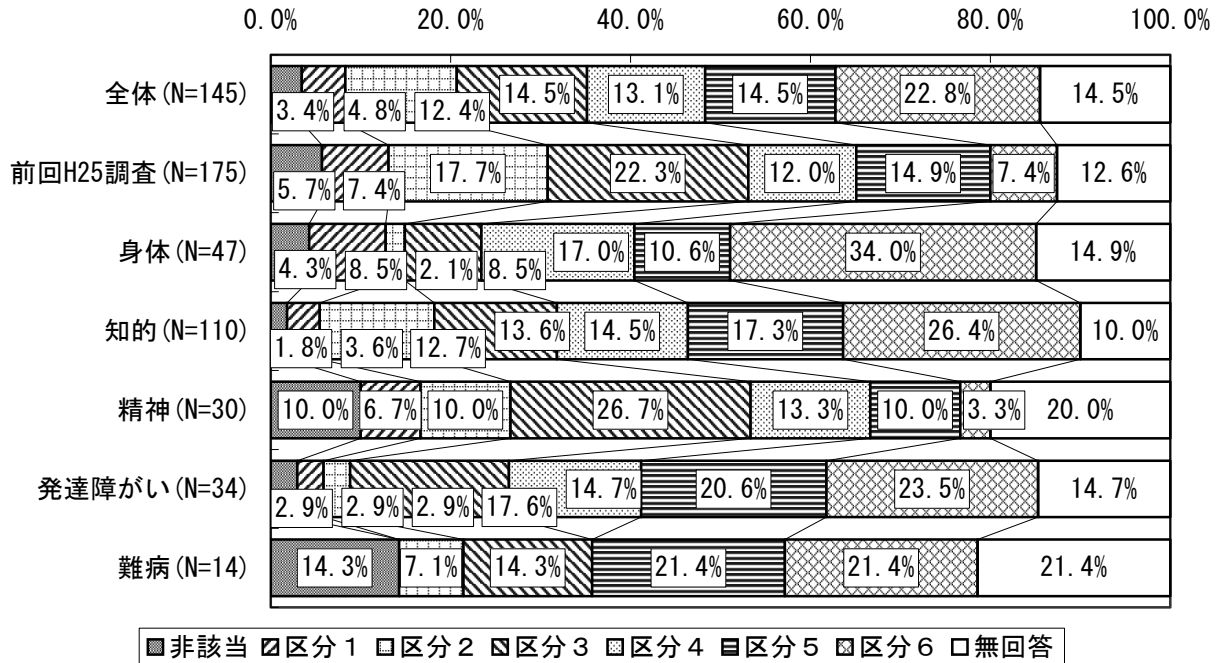


問 22 で「1. はい」と回答した方にお聞きします。

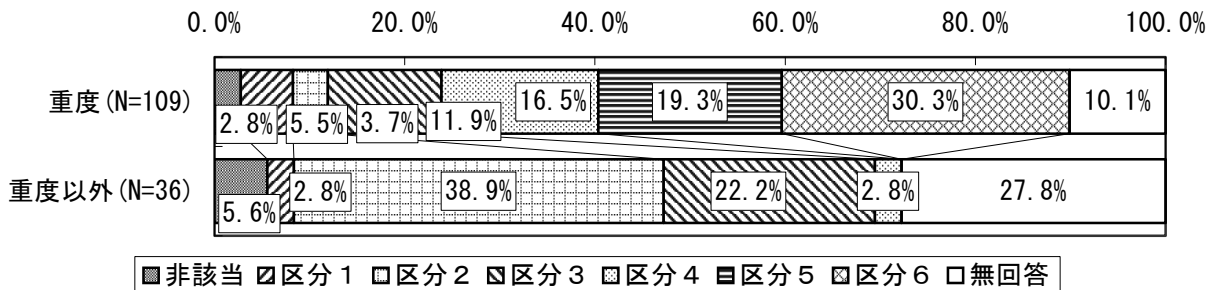
問 23 どのような区分ですか。(1つに○)

認定を受けている人の区分は、「区分6」が22.8%で最も多くなっています。

■ 図表：障害支援区分



■ 図表：障がい程度別 障害支援区分



2-2 地域活動への参加など

(1) 地域活動への参加状況と今後の参加意向

問 24 社会参加についてお聞きします。あなたは、最近どのような社会参加をしていますか。また、今後どのような社会参加をしたいと思いますか。

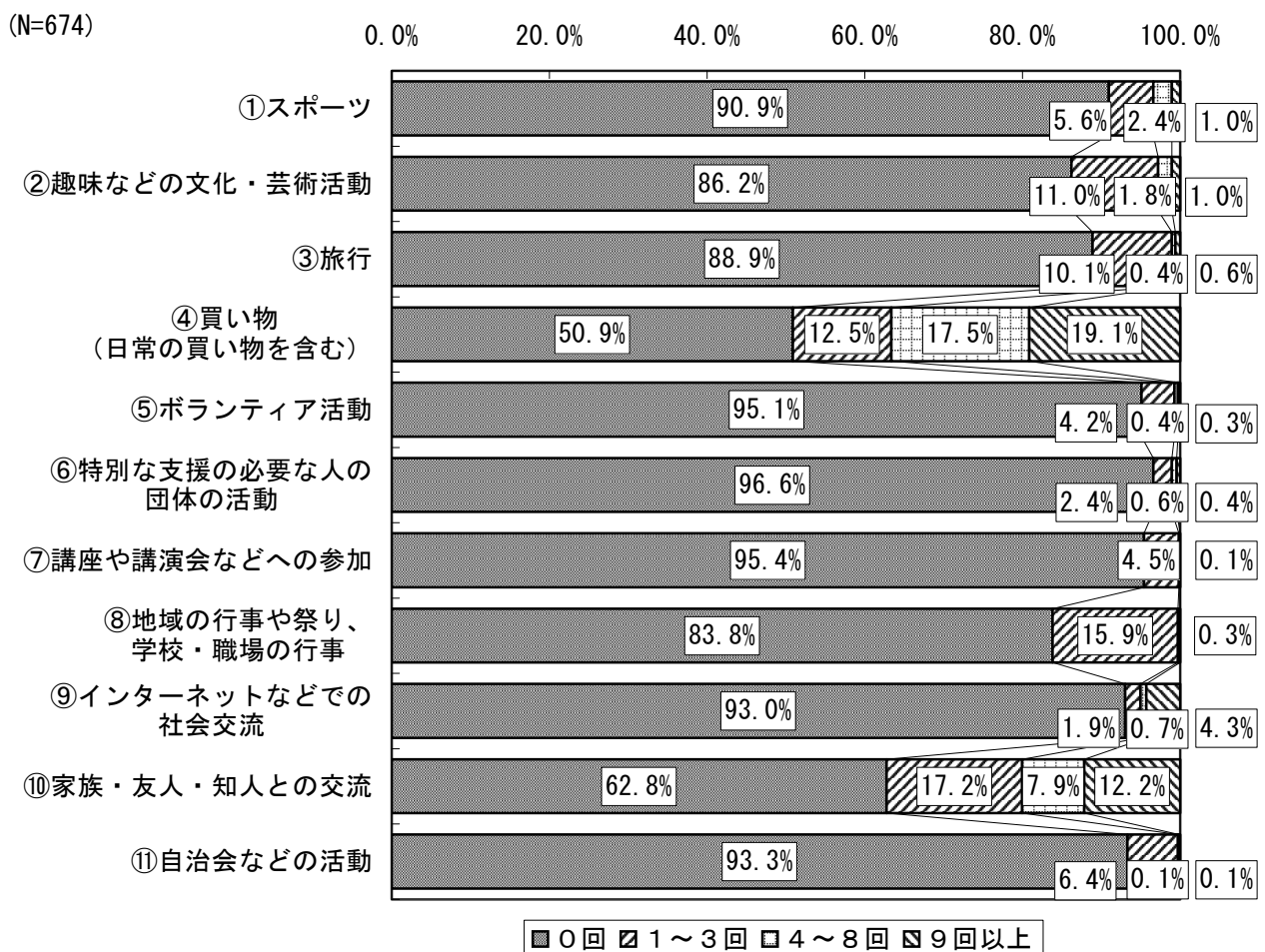
(1) 下記の①～⑪の項目について、「最近1ヶ月間に行った社会参加」の回数を()内に記入してください。

(2) また、「今後、参加したいと思いますか」について、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

地域活動への参加状況を見ると、月に1回以上参加している人の割合が最も多いのは「④買い物(日常の買い物を含む)」(49.1%)で、次いで「⑩家族・友人・知人との交流」(37.2%)となっています。

参加意向をみると、意向あり(「はい」)が多いのは「⑩家族・友人・知人との交流」(50.9%)で、次いで「④買い物(日常の買い物を含む)」(49.7%)となっています。知的および発達障がいでは「⑧地域の行事や祭り、学校・職場の行事」が4割以上と多くなっています。

■図表：地域活動への参加状況



■図表：地域活動への参加状況（1回以上参加の割合）

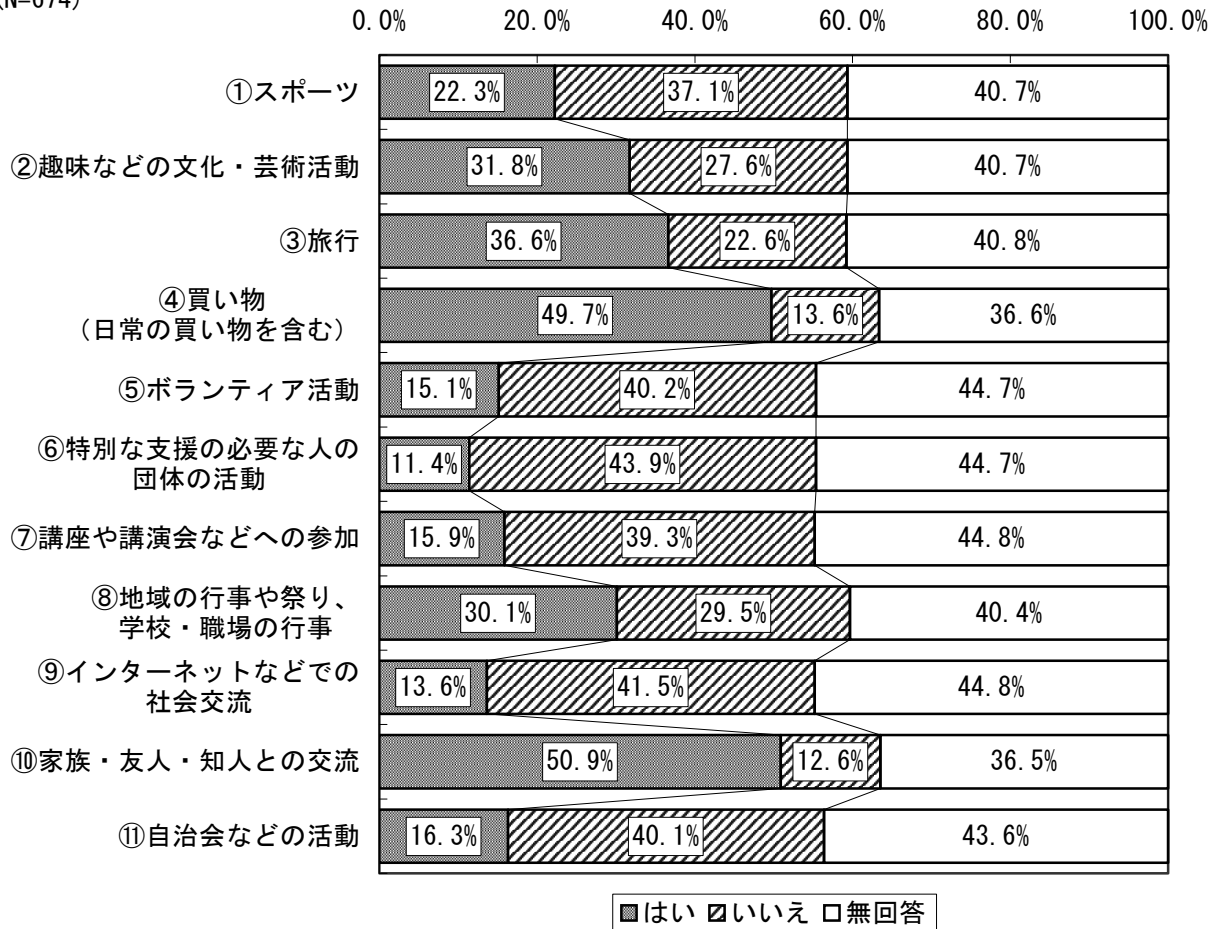
		有効回答数	①スポーツ	②趣味などの文化・芸術活動	③旅行	④買い物（日常の買い物を含む）	⑤ボランティア活動	⑥特別な支援の必要ない人の団体の活動	⑦講座や講演会などへの参加	⑧地域の行事や祭り、学校・職場の行事	⑨インターネットなどの社会交流	⑩家族・友人・知人との交流	⑪自治会などの活動
全体		674	9.1%	13.8%	11.1%	49.1%	4.9%	3.4%	4.6%	16.2%	7.0%	37.2%	6.7%
障がい種別	身体	329	8.8%	14.3%	10.9%	45.6%	7.3%	2.4%	5.5%	14.0%	6.7%	36.8%	10.3%
	知的	247	10.5%	13.0%	13.8%	49.4%	2.4%	6.1%	3.6%	19.4%	2.8%	32.4%	2.4%
	精神	177	7.3%	10.2%	5.6%	52.0%	2.8%	1.1%	3.4%	12.4%	12.4%	38.4%	4.0%
	発達障がい 難病	102 45	13.7% 4.4%	21.6% 4.4%	12.7% 8.9%	60.8% 37.8%	2.9% 2.2%	6.9% 4.4%	7.8% 6.7%	27.5% 17.8%	9.8% 4.4%	43.1% 33.3%	2.0% 13.3%
年齢	18～39歳	194	13.9%	16.5%	11.3%	58.8%	3.1%	8.2%	3.6%	24.7%	10.3%	44.3%	3.1%
	40～64歳	292	8.6%	16.1%	13.4%	52.7%	5.1%	2.4%	5.1%	12.3%	7.2%	37.7%	7.2%
	65歳以上	166	4.8%	7.8%	7.2%	33.7%	7.2%	0.0%	4.2%	14.5%	3.0%	30.1%	10.8%
障がい程度	重度	295	7.1%	10.8%	9.5%	43.7%	4.1%	5.1%	3.7%	13.6%	6.1%	30.8%	5.8%
	重度以外	379	10.6%	16.1%	12.4%	53.3%	5.5%	2.1%	5.3%	18.2%	7.7%	42.2%	7.4%

■図表：地域活動への参加状況（平均参加回数／月）

		有効回答数	①スポーツ	②趣味などの文化・芸術活動	③旅行	④買い物（日常の買い物を含む）	⑤ボランティア活動	⑥特別な支援の必要ない人の団体の活動	⑦講座や講演会などへの参加	⑧地域の行事や祭り、学校・職場の行事	⑨インターネットなどの社会交流	⑩家族・友人・知人との交流	⑪自治会などの活動
全体		674	0.38	0.37	0.26	4.60	0.11	0.13	0.08	0.24	0.99	3.66	0.11
障がい種別	身体	329	0.37	0.26	0.34	4.53	0.19	0.12	0.10	0.21	1.00	3.35	0.15
	知的	247	0.33	0.38	0.22	3.72	0.04	0.23	0.05	0.29	0.20	2.83	0.06
	精神	177	0.38	0.44	0.07	5.03	0.05	0.05	0.05	0.19	1.80	4.26	0.06
	発達障がい 難病	102 45	0.38 0.22	0.74 0.04	0.25 0.09	4.65 3.40	0.05 0.04	0.25 0.04	0.12 0.07	0.41 0.31	1.11 1.00	5.33 3.29	0.10 0.22
年齢	18～39歳	194	0.33	0.52	0.34	4.53	0.04	0.33	0.05	0.35	1.63	5.62	0.08
	40～64歳	292	0.54	0.45	0.25	6.04	0.15	0.08	0.10	0.20	1.02	3.81	0.12
	65歳以上	166	0.19	0.11	0.19	2.45	0.16	0.00	0.06	0.23	0.11	1.33	0.13
障がい程度	重度	295	0.27	0.22	0.21	3.34	0.07	0.23	0.06	0.19	0.85	2.80	0.07
	重度以外	379	0.46	0.49	0.29	5.59	0.15	0.04	0.09	0.28	1.09	4.34	0.13

■図表：地域活動への今後の参加意向

(N=674)



■図表：地域活動への今後の参加意向（「はい」の割合）

	有効回答数	①スポーツ	②趣味などの文化・芸術活動	③旅行	④買い物(日常の買い物を含む)	⑤ボランティア活動	⑥特別な支援の必要な人の団体の活動	⑦講座や講演会などへの参加	⑧地域の行事や祭り、学校・職場の行事	⑨インターネットなどの社会交流	⑩家族・友人・知人との交流	⑪自治会などの活動	
全体	674	22.3%	31.8%	36.6%	49.7%	15.1%	11.4%	15.9%	30.1%	13.6%	50.9%	16.3%	
前回H25調査	805	22.1%	26.7%	37.0%	47.0%	16.8%	18.1%	18.5%	29.8%	11.6%	51.3%	16.3%	
障がい種別	身体	329	22.2%	33.1%	38.0%	48.0%	17.6%	10.3%	19.5%	28.3%	13.7%	51.4%	22.2%
	知的	247	21.1%	26.7%	40.1%	49.0%	11.7%	15.0%	8.1%	40.1%	8.9%	46.6%	11.7%
	精神	177	20.9%	34.5%	28.8%	52.0%	11.9%	9.0%	15.8%	19.8%	18.1%	52.5%	12.4%
	発達障がい 難病	102	25.5%	38.2%	43.1%	62.7%	11.8%	20.6%	19.6%	47.1%	20.6%	57.8%	11.8%
年齢	45	17.8%	28.9%	40.0%	40.0%	8.9%	11.1%	17.8%	31.1%	11.1%	57.8%	15.6%	
	18～39歳	194	25.8%	35.6%	43.3%	57.7%	14.9%	18.6%	12.9%	43.8%	20.6%	57.2%	10.3%
	40～64歳	292	25.7%	38.7%	41.1%	53.4%	18.5%	12.7%	22.3%	27.1%	15.8%	56.2%	20.2%
65歳以上	166	13.3%	17.5%	22.9%	36.1%	10.2%	1.8%	8.4%	21.1%	3.6%	37.3%	17.5%	
障がい程度	重度	295	20.3%	28.5%	36.6%	46.1%	12.9%	12.2%	12.9%	30.8%	11.5%	45.4%	15.3%
	重度以外	379	23.7%	34.3%	36.7%	52.5%	16.9%	10.8%	18.2%	29.6%	15.3%	55.1%	17.2%

(2) 地域活動に参加するための課題

問 25 あなたが地域での活動に参加するために、改善が必要な課題は何ですか。参加している方も参加していない方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)

地域活動に参加するための課題をみると、「どのような活動が行われているのか情報が少ない」が 30.6%で最も多く、次いで「一緒に参加する仲間が少ない」(28.9%)、「身近に参加できる活動が少ない」(25.7%)となっています。「一緒に参加する仲間が少ない」は、発達障がいや若年層(18~39歳)で多くなっています。

■図表：地域活動に参加するための課題（複数回答）

	有効回答数	身近に参加できる活動が少ない	どのような活動が行われていないのか情報が少ない	会場までの交通の便がよくない	活動の内容や、会場の設備などへの特別な支援が少ない	会場の移動や、周りの人への配慮が少ない	一緒に参加する仲間が少ない	地域の人の理解が十分でない	その他	特になし	
全体	674	25.7%	30.6%	20.5%	13.9%	15.9%	28.9%	12.2%	6.5%	20.3%	
障がい種別	身体	329	27.4%	30.7%	21.9%	17.0%	15.8%	28.0%	12.2%	6.4%	21.9%
	知的	247	28.3%	24.7%	18.2%	16.2%	23.1%	31.2%	10.1%	3.6%	16.6%
	精神	177	27.7%	39.5%	23.2%	10.7%	11.9%	31.1%	17.5%	11.9%	15.8%
	発達障がい	102	31.4%	28.4%	23.5%	19.6%	23.5%	39.2%	11.8%	3.9%	17.6%
難病	45	22.2%	24.4%	26.7%	15.6%	22.2%	31.1%	15.6%	4.4%	22.2%	
年齢	18~39歳	194	25.8%	34.5%	24.2%	20.1%	23.7%	38.7%	11.3%	3.1%	16.0%
	40~64歳	292	27.1%	32.9%	19.9%	13.0%	13.4%	30.1%	16.4%	8.6%	20.9%
	65歳以上	166	21.7%	21.1%	17.5%	6.0%	9.6%	15.1%	4.8%	7.2%	26.5%

(3) 休みの日の過ごし方の希望

問 26 あなたは、休みの日にはどのように過ごしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

休みの日の過ごし方の希望は、「ゆっくり休息する」が障がい種別・年齢によらず多くなっています。

■図表：休みの日の過ごし方の希望（複数回答）

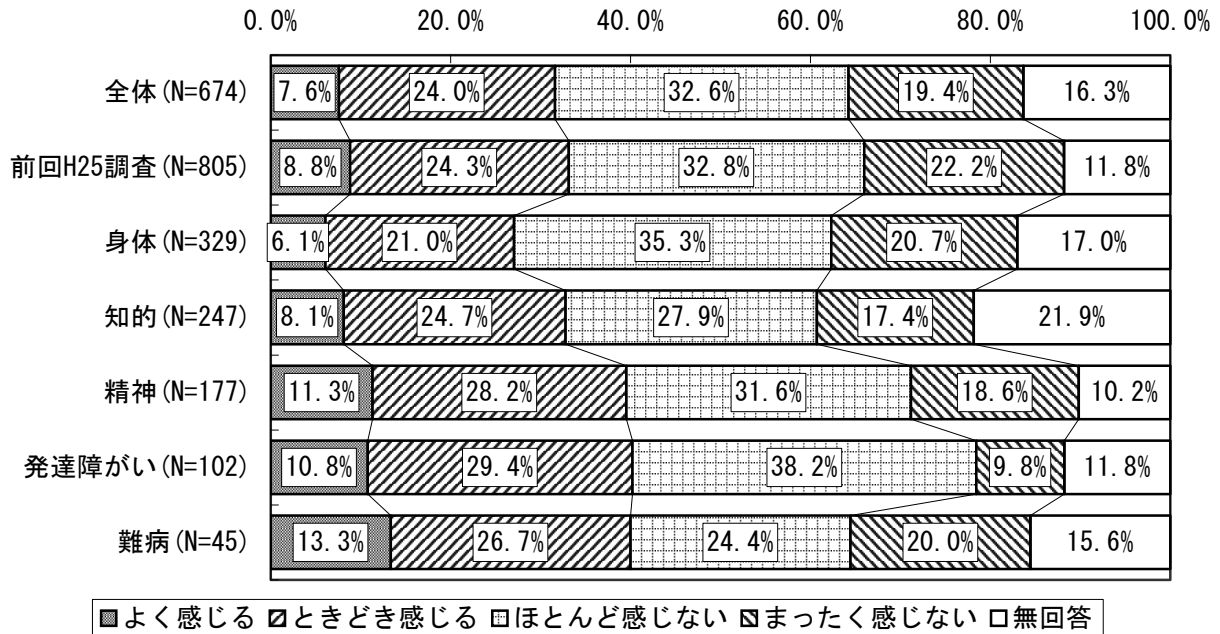
	有効回答数	造形活動	学習	習いごと	激しい運動	軽い運動	屋外での趣味	屋内での趣味	泊りがけや日帰りの旅行	映画や演劇の鑑賞	外食やお茶	マーケットやフリー	ボランティア活動	家族や友人との団らん	ゆっくり休息する	その他	
全体	674	6.8%	7.9%	3.7%	1.3%	21.7%	12.3%	31.5%	26.1%	24.3%	34.9%	7.9%	4.3%	40.7%	55.0%	9.6%	
障がい種別	身体	329	7.6%	7.9%	3.6%	1.5%	21.0%	16.1%	26.1%	27.1%	21.6%	33.1%	6.7%	5.2%	41.3%	48.9%	9.1%
	知的	247	6.1%	4.5%	3.6%	1.2%	22.7%	6.1%	32.0%	29.6%	25.9%	38.9%	6.9%	3.6%	45.3%	57.9%	10.5%
	精神	177	6.8%	11.3%	2.3%	0.6%	19.8%	9.6%	36.2%	17.5%	23.2%	30.5%	11.3%	2.8%	30.5%	59.3%	11.3%
	発達障がい	102	6.9%	3.9%	2.9%	2.9%	27.5%	7.8%	45.1%	36.3%	31.4%	43.1%	5.9%	4.9%	47.1%	66.7%	14.7%
難病	45	11.1%	2.2%	4.4%	0.0%	24.4%	11.1%	24.4%	24.4%	17.8%	37.8%	11.1%	4.4%	48.9%	57.8%	13.3%	
年齢	18~39歳	194	8.8%	9.8%	3.6%	2.6%	26.8%	8.8%	47.4%	33.5%	34.5%	49.0%	10.3%	5.2%	58.8%	68.6%	9.8%
	40~64歳	292	6.5%	9.2%	4.1%	1.4%	18.8%	14.4%	29.5%	24.7%	26.0%	31.5%	8.6%	4.5%	35.3%	57.5%	8.2%
	65歳以上	166	5.4%	3.6%	3.0%	0.0%	20.5%	13.3%	15.7%	19.3%	10.2%	22.9%	4.2%	3.6%	28.9%	33.1%	13.3%

(4) 差別や偏見を感じることもあるか

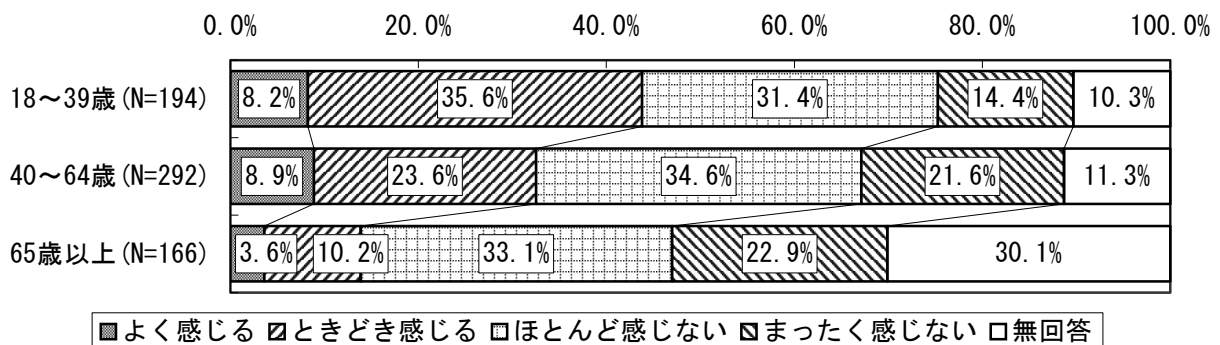
問 27 日常生活において、特別な支援を必要とすることに、差別や偏見を感じることはありませんか。
(1つに○)

差別や偏見を感じることもあるかをみると、感じる(「よく感じる」と「ときどき感じる」の合計)は31.6%で、前回調査(33.1%)からわずかながら減少していますが、年齢が低いほど感じる人は多くなっています。

■図表：差別や偏見を感じることもあるか



■図表：年齢別 差別や偏見を感じることもあるか



(5) 差別や偏見を感じた場面

問 27 で「1. よく感じる」または「2. ときどき感じる」と回答した方にお聞きします。
 問 28 どのような場面で差別や偏見を感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

差別や偏見を感じた場面をみると、「人間関係」が49.8%で最も多く、次いで「街のなかでの視線」(39.0%)となっています。精神・難病では「人間関係」が6割を超えています。また、身体では「交通機関の利用」が41.6%と他の障がいに比べて多くなっています。

■図表：差別や偏見を感じた場面（複数回答）

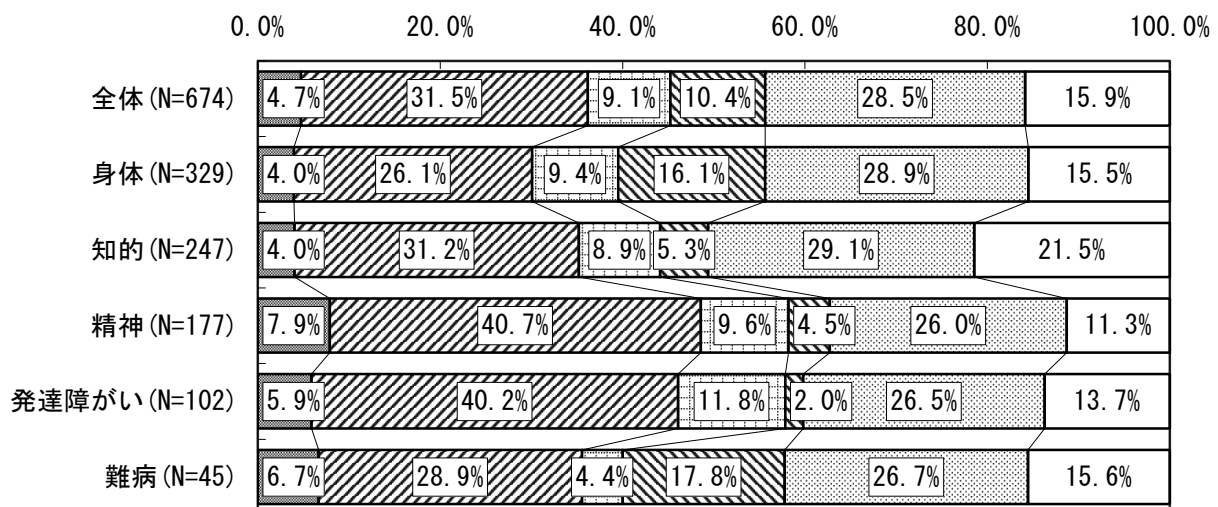
	有効回答数	仕事や収入	教育	人間関係	冠婚葬祭	のスポーツ・趣味	ま地域の行事・集	線街のなかでの視	対店などでの応	交通機関の利用	その他	
全体	213	37.6%	11.3%	49.8%	8.9%	6.6%	19.2%	39.0%	25.4%	29.1%	6.6%	
前回H25調査	267	38.2%	4.5%	45.3%	15.4%	11.2%	26.2%	40.8%	19.9%	25.5%	5.6%	
障がい種別	身体	89	36.0%	10.1%	42.7%	12.4%	11.2%	27.0%	39.3%	27.0%	41.6%	7.9%
	知的	81	34.6%	12.3%	39.5%	6.2%	2.5%	19.8%	45.7%	33.3%	28.4%	1.2%
	精神	70	40.0%	11.4%	62.9%	5.7%	7.1%	12.9%	31.4%	15.7%	22.9%	11.4%
	発達障がい	41	46.3%	9.8%	36.6%	9.8%	4.9%	17.1%	46.3%	39.0%	19.5%	4.9%
難病	18	22.2%	5.6%	61.1%	11.1%	16.7%	22.2%	27.8%	16.7%	16.7%	5.6%	
年齢	18～39歳	85	43.5%	14.1%	52.9%	7.1%	7.1%	18.8%	37.6%	31.8%	25.9%	4.7%
	40～64歳	95	33.7%	10.5%	49.5%	9.5%	8.4%	21.1%	42.1%	22.1%	32.6%	9.5%
	65歳以上	23	17.4%	4.3%	39.1%	17.4%	0.0%	13.0%	34.8%	21.7%	26.1%	4.3%

(6) 差別や偏見の変化

問 29 差別や偏見を感じることは、この5年間で変わったように思いますか。(1つに○)

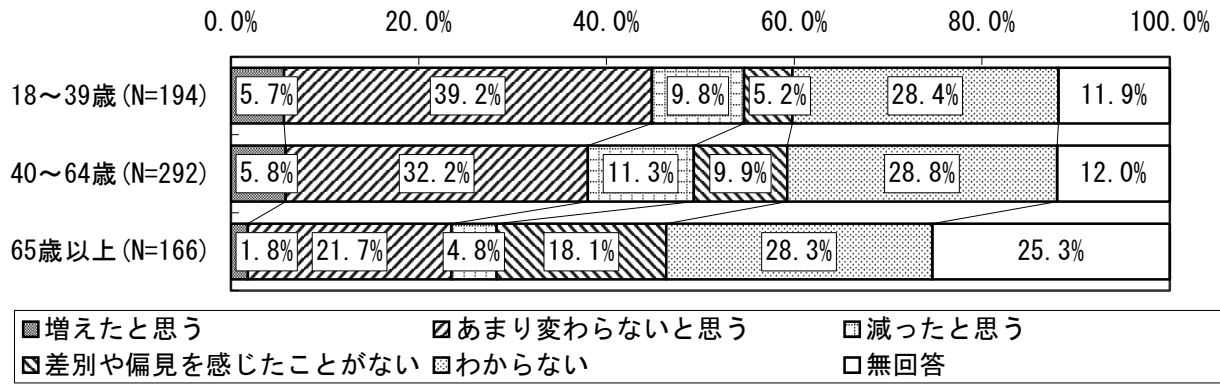
差別や偏見の変化をみると、難病を除いて「減ったと思う」が「増えたと思う」を上回っています。ただし、難病は「差別や偏見を感じたことがない」が他の障がいに比べて多くなっています。

■図表：差別や偏見の変化



■増えたと思う □あまり変わらないと思う □減ったと思う
 ▨差別や偏見を感じたことがない □わからない □無回答

■図表：年齢別 差別や偏見の変化



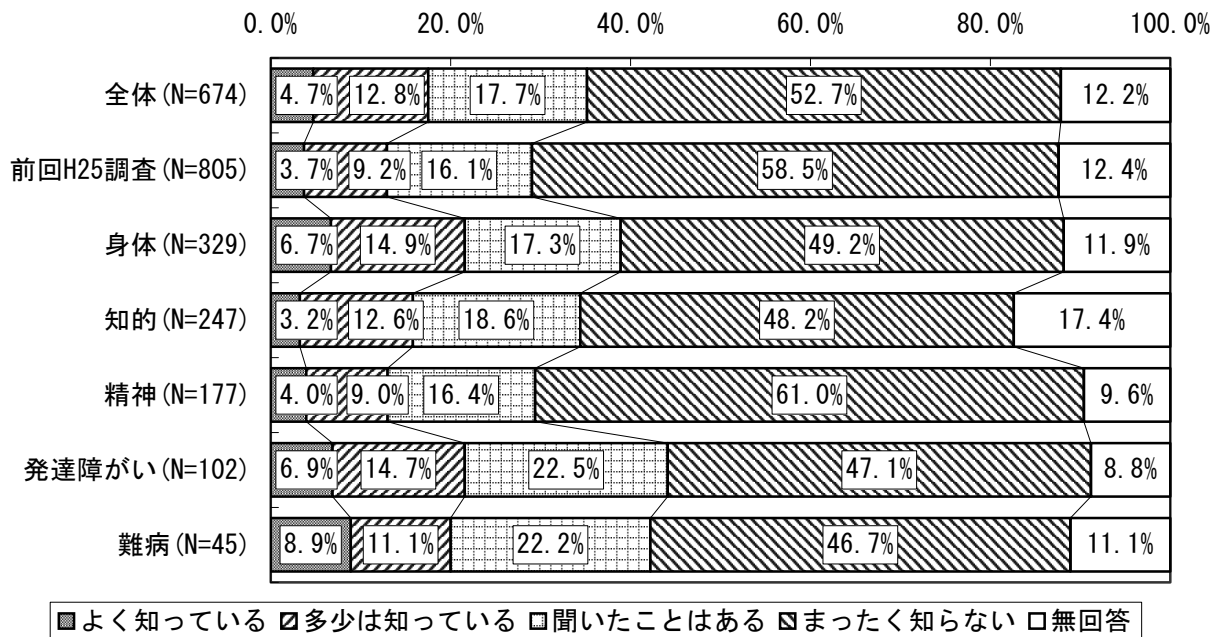
(7) 障害者差別解消法における合理的配慮の認知度

問 30 障害者差別解消法では、障がい者に対する合理的配慮を行うことが求められています。その合理的配慮について知っていますか。(1つに○)

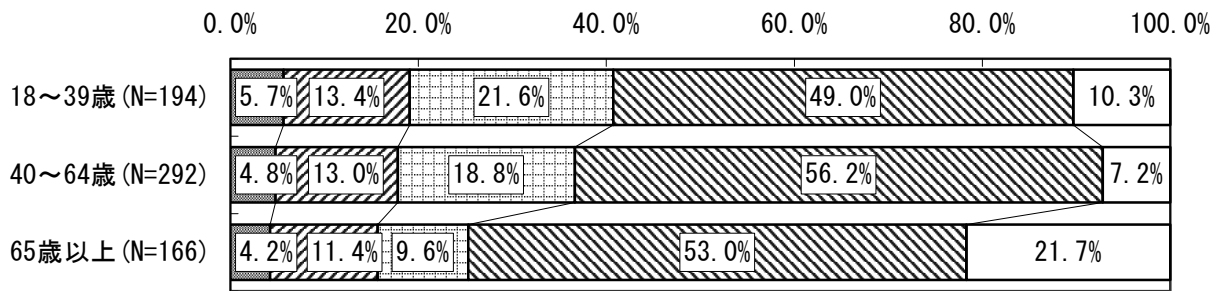
※合理的配慮とは、特別な支援の必要な人が日常生活や社会生活を送るうえで妨げとなる社会的障壁を取り除くために、過度の負担にならない範囲で状況に応じて行われる配慮のことです。

障害者差別解消法における合理的配慮の認知度は、「まったく知らない」が52.7%と5割以上を占めています。

■図表：障害者差別解消法における合理的配慮の認知度



■ 図表：年齢別 障害者差別解消法における合理的配慮の認知度



■よく知っている ■多少は知っている □聞いたことはある □まったく知らない □無回答

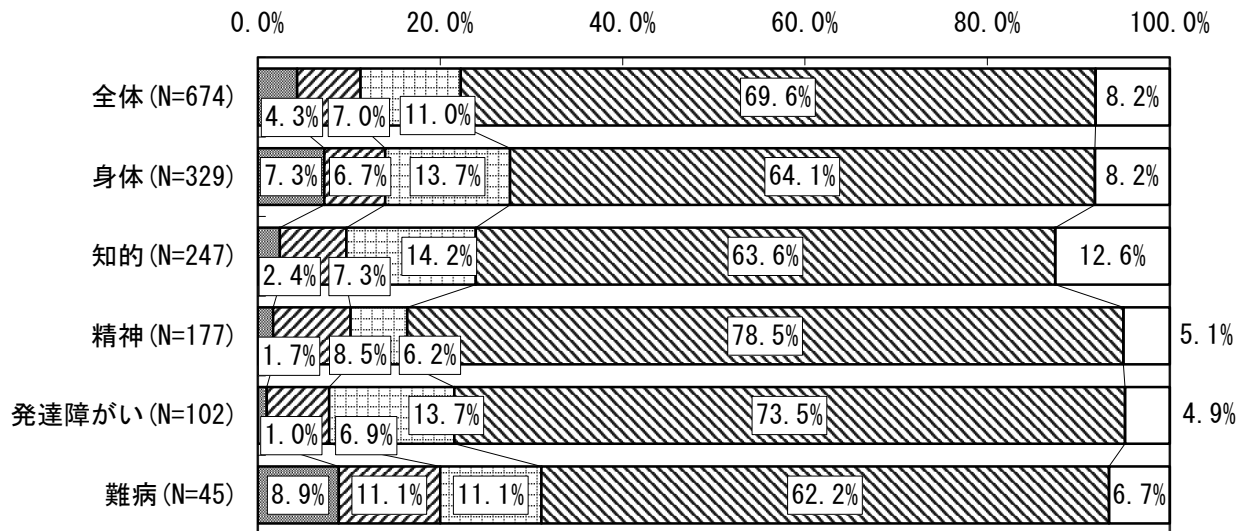
(8) 「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例」の認知度

問 31 亀岡市では、平成 30 年 4 月 1 日に「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例」を施行しています。この条例について知っていますか。(1つに○)

※「亀岡市手話言語および障害者コミュニケーション条例」は、手話言語を言語として認識するとともに、あらゆる障がい者が必要とするコミュニケーション手段の普及を促進することにより、すべての市民が互いに人格と個性を尊重し、支え合いながら自分らしく豊かに暮らすことができる地域社会を構築するために制定しました。

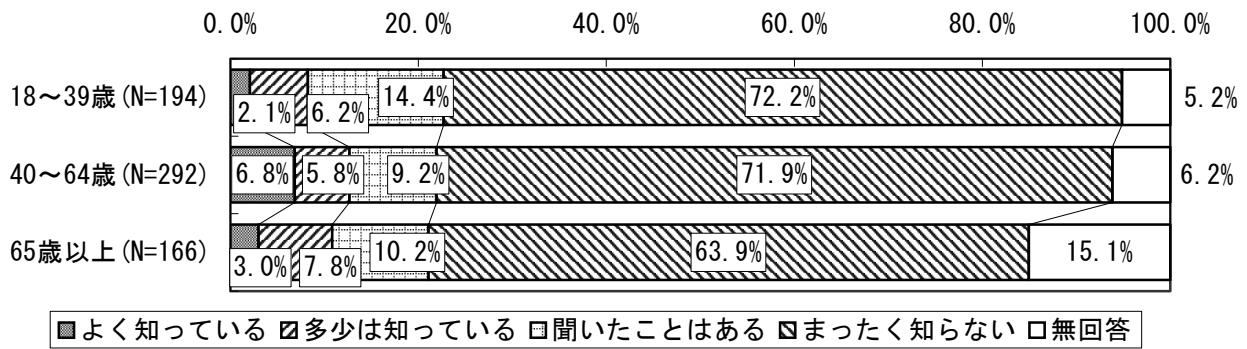
「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例」の認知度は、「まったく知らない」が69.6%と7割近くを占めていますが、難病と身体は認知度が比較的高くなっています。

■ 図表：「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例」の認知度



■よく知っている ■多少は知っている □聞いたことはある □まったく知らない □無回答

■図表：年齢別 「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例」の認知度



(9) 特別な支援の必要な人への市民の理解を深めるために必要なこと

問 32 あなたは、特別な支援の必要な人への市民の理解を深めるためには、何が特に必要だと考えますか。(3つまでに○)

特別な支援の必要な人への市民の理解を深めるために必要なことをみると、「わからない」を除くと、どの障がい種別でも「学校・家庭・地域における福祉教育の推進」が最も多くなっています。

■図表：特別な支援の必要な人への市民の理解を深めるために必要なこと（3つ以内で複数回答）

	有効回答数	広報・啓発の充実	体へ活の支する民ため	テな特別イ人別アへの活の動ボの推進	参をな特別加通人の促での市理民の解交と流要	のに学校推進の家庭福祉・教育域	催演障がいや学習会の開講
		への積極的な社会	とや域福の地の開放	く地域へのまち加	その他	特にな	わかない
全体	674	23.9%	15.7%	14.2%	16.0%	28.0%	12.5%
前回H25調査	805	18.4%	17.4%	13.8%	19.4%	21.9%	6.2%
障がい種別							
身体	329	28.0%	14.9%	18.5%	14.6%	29.2%	9.4%
知的	247	17.0%	16.6%	14.2%	18.6%	23.1%	10.1%
精神	177	22.0%	15.8%	4.5%	15.8%	28.2%	23.7%
発達障がい	102	21.6%	15.7%	12.7%	21.6%	32.4%	16.7%
難病	45	20.0%	15.6%	20.0%	26.7%	22.2%	13.3%
年齢							
18～39歳	194	21.6%	17.0%	12.9%	21.6%	34.5%	16.5%
40～64歳	292	28.1%	17.8%	13.7%	14.7%	29.8%	13.7%
65歳以上	166	19.9%	10.8%	16.3%	11.4%	16.9%	4.2%
全体	674	14.2%	16.5%	6.7%	3.7%	5.2%	20.2%
前回H25調査	805	23.4%	13.7%	13.2%	2.0%	8.3%	15.4%
障がい種別							
身体	329	12.8%	15.8%	8.5%	2.7%	5.2%	17.9%
知的	247	13.0%	20.6%	6.5%	2.4%	4.0%	25.5%
精神	177	15.8%	15.3%	5.1%	7.9%	6.2%	22.0%
発達障がい	102	20.6%	19.6%	7.8%	6.9%	4.9%	22.5%
難病	45	22.2%	13.3%	4.4%	0.0%	4.4%	20.0%
年齢							
18～39歳	194	18.0%	19.6%	10.8%	4.1%	5.2%	17.0%
40～64歳	292	15.4%	15.1%	4.8%	4.5%	5.1%	19.2%
65歳以上	166	8.4%	15.1%	5.4%	2.4%	5.4%	25.9%

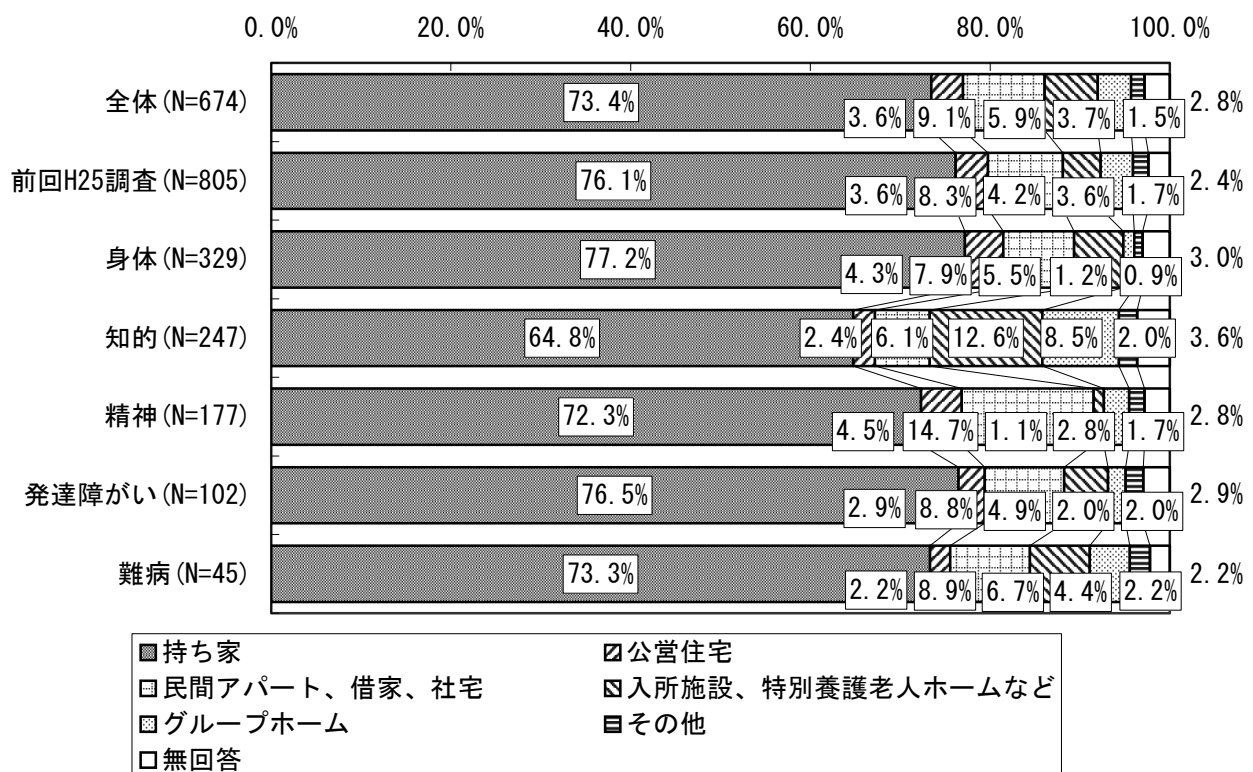
2-3 生活支援

(1) 住まいの種類

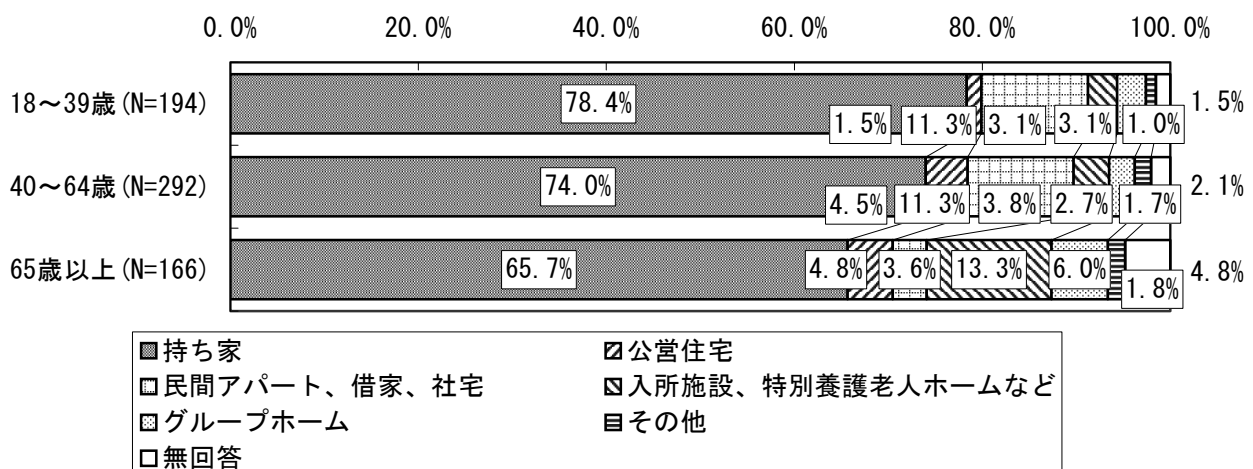
問 33 あなたは、どこで暮らしていますか。(1つに〇)

住まいの種類は基本的に「持ち家」が最も多くなっています。知的や65歳以上、重度の人では「入所施設、特別養護老人ホームなど」が1割を超えています。

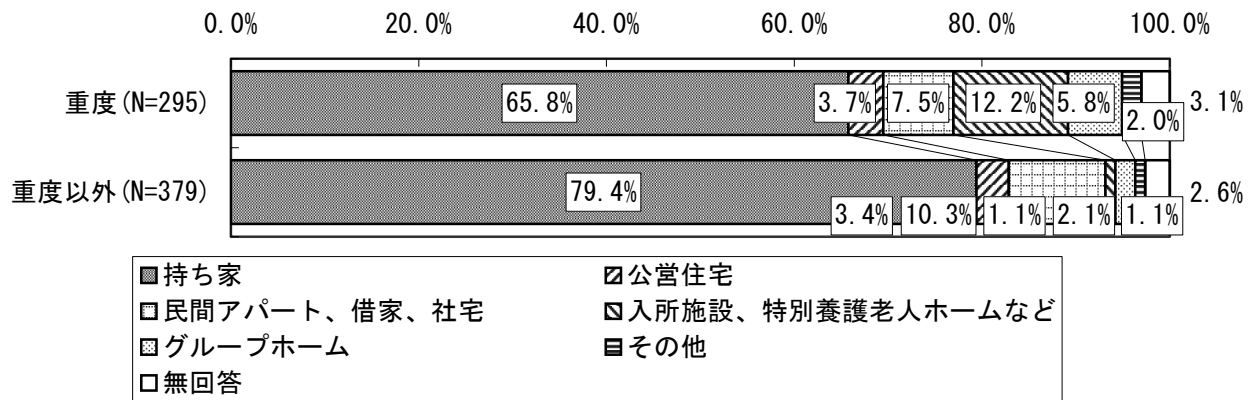
■図表：住まいの種類



■図表：年齢別 住まいの種類



■図表：障がい程度別 住まいの種類



(2) 同居者

問 34 現在、あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

同居者をみると、身体では「配偶者（夫または妻）」、それ以外では「父母」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：同居者（複数回答）

		有効回答数	父母	配偶者（夫または妻）	兄弟姉妹	子や孫（子の配偶者を含む）	祖父母	友だち・仲間など	その他	一人で暮らしている
全体		674	44.1%	30.0%	16.9%	17.8%	4.0%	5.8%	4.0%	11.9%
前回H25調査		805	30.7%	39.8%	13.2%	26.5%	2.2%	3.7%	4.7%	10.4%
障がい種別	身体	329	27.1%	50.5%	8.8%	28.6%	1.8%	3.3%	4.0%	12.8%
	知的	247	68.8%	2.4%	28.3%	1.6%	6.9%	15.0%	5.7%	3.6%
	精神	177	47.5%	22.6%	18.1%	14.1%	5.1%	1.7%	4.0%	19.2%
	発達障がい	102	76.5%	6.9%	29.4%	4.9%	9.8%	3.9%	4.9%	5.9%
	難病	45	48.9%	26.7%	13.3%	28.9%	2.2%	2.2%	6.7%	6.7%

(3) 介助者

問 35 ふだん、あなたの生活を支援しているのは、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

介助者をみると、身体では「配偶者（夫または妻）」、それ以外では「父母」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：介助者（複数回答）

	有効回答数	父母	配偶者（夫または妻）	兄弟姉妹	子や孫（子の配偶者を含む）	祖父母	友だち・仲間など	ボランティア	ドヘルムヘルパー、施設の職員	ホームヘルパー・ガイド	その他	介助は受けていない
全体	674	40.5%	25.2%	12.3%	13.2%	2.2%	3.3%	0.6%	21.8%	3.1%	13.4%	
前回H25調査	805	20.6%	20.5%	7.0%	10.4%	1.0%	2.5%	0.7%	14.7%	1.6%	33.3%	
障がい種別												
身体	329	22.2%	40.7%	10.9%	22.5%	1.5%	4.6%	0.6%	15.5%	1.8%	16.1%	
知的	247	67.6%	2.8%	18.2%	0.8%	3.6%	2.0%	0.4%	42.1%	2.4%	4.0%	
精神	177	44.1%	22.0%	9.6%	9.6%	2.3%	4.0%	0.6%	14.1%	6.2%	16.4%	
発達障がい	102	77.5%	6.9%	13.7%	2.0%	6.9%	1.0%	0.0%	25.5%	4.9%	4.9%	
難病	45	48.9%	22.2%	15.6%	17.8%	2.2%	2.2%	4.4%	28.9%	4.4%	13.3%	

(4) 今後の暮らしの希望

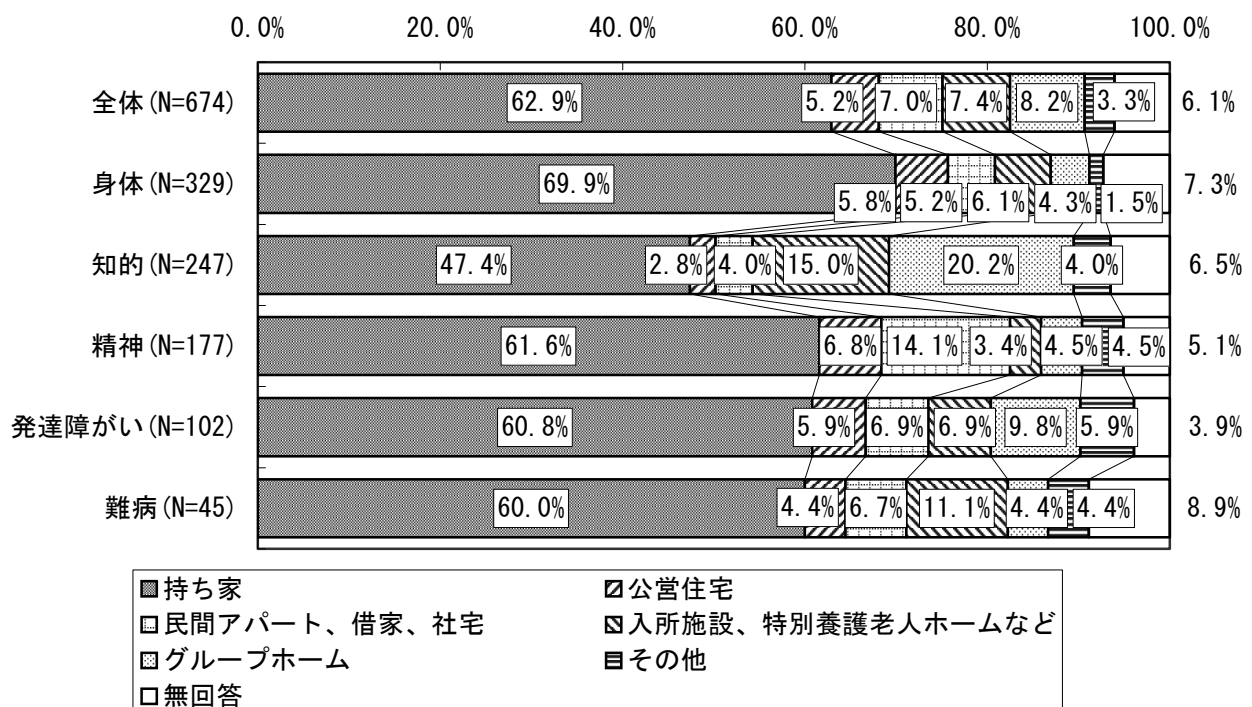
問 36 今後、どのような暮らし方をしたいかをお聞きます。

(1) どこで暮らしたいですか。(1つに○)

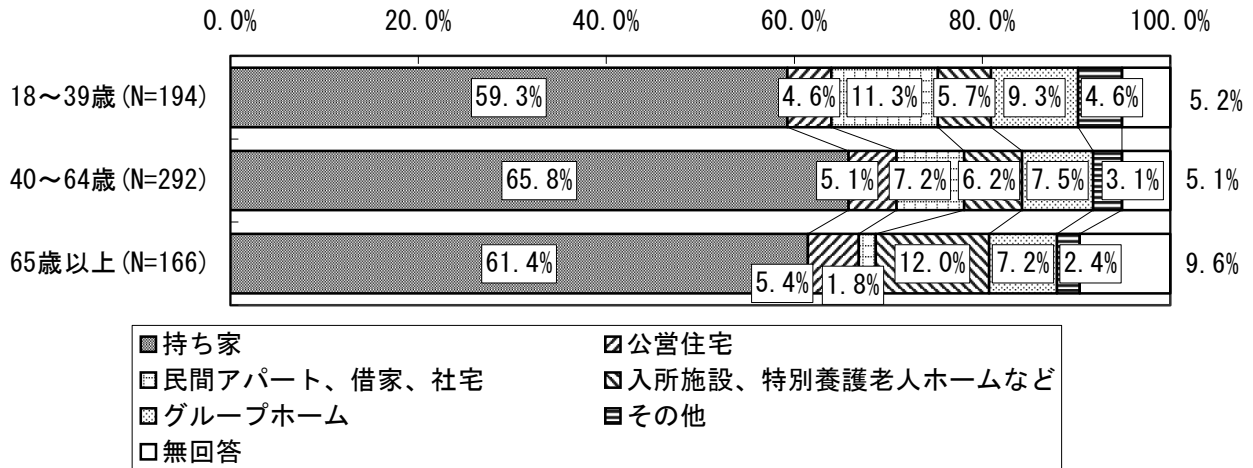
(2) 誰と暮らしたいですか。(1つに○)

今後の暮らし方の希望をみると、場所は「持ち家」、一緒に暮らす相手は「家族と一緒に暮らしたい」が最も多くなっています。

■図表：今後暮らしたい場所

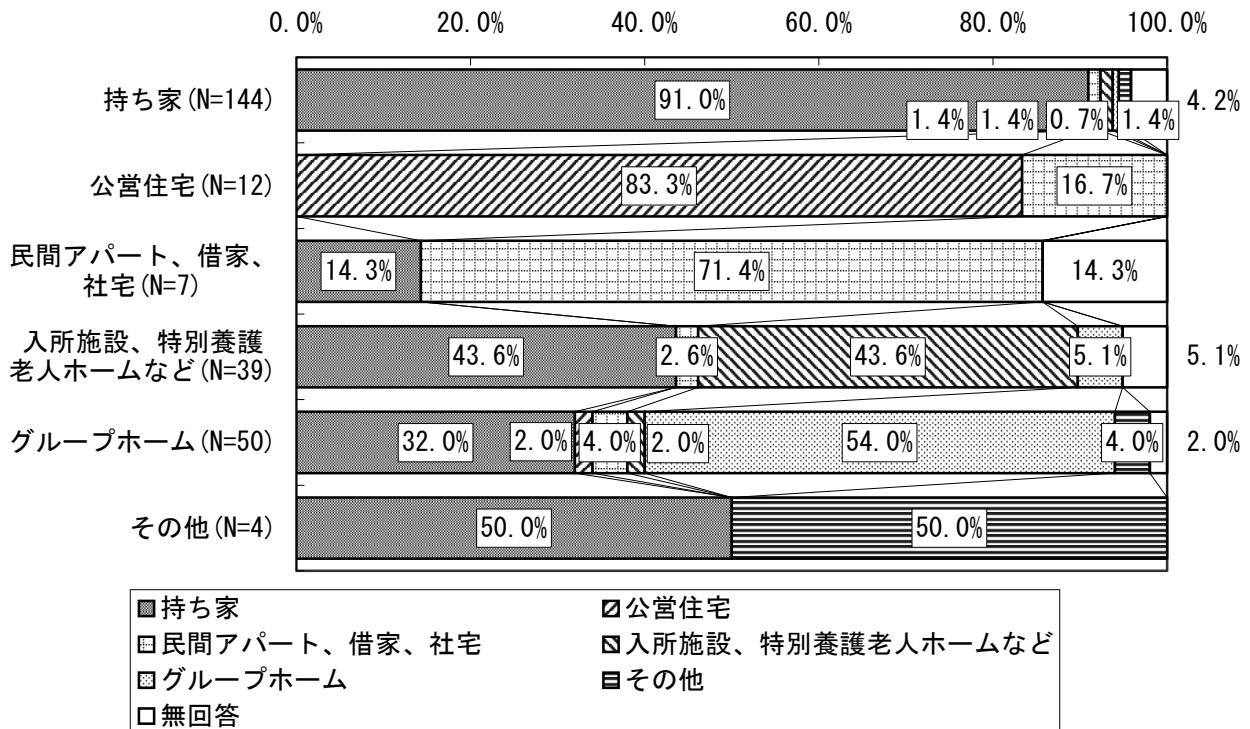


■図表：年齢別 今後暮らしたい場所

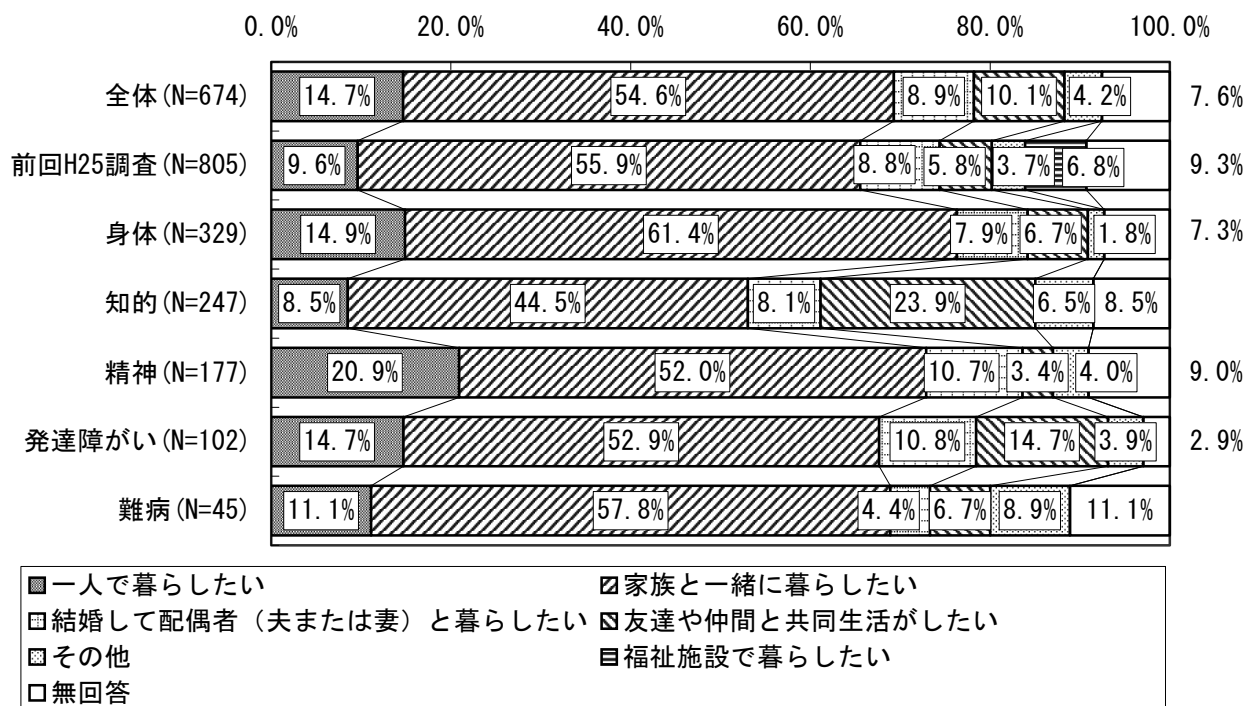


介助者の希望と本人の希望は概ね一致していますが、介助者が入所施設やグループホームを希望している人でも、本人は持ち家を希望しているケースが比較的多くなっています。

■図表：介助者の希望 × 本人の希望

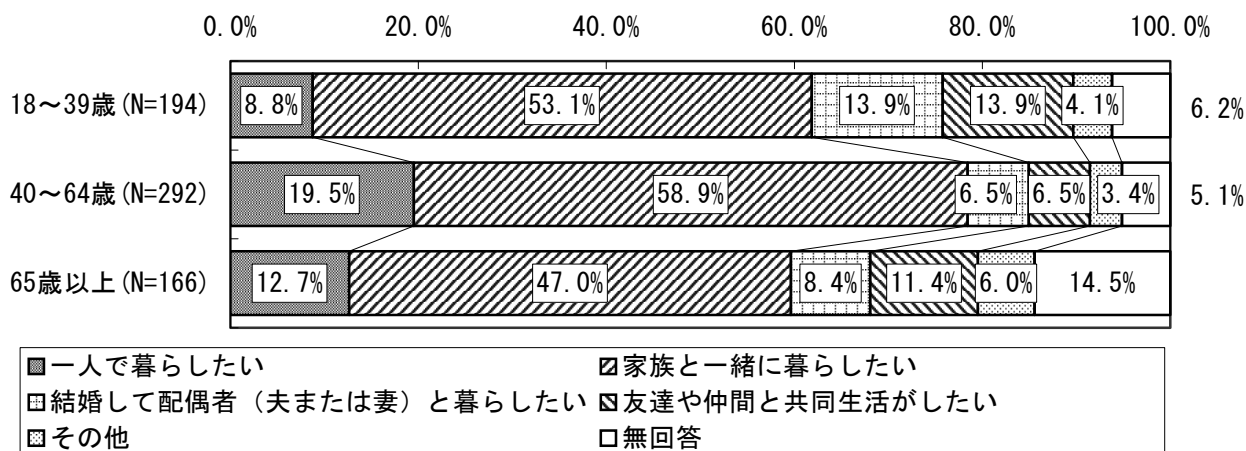


■図表：今後暮らしたい相手

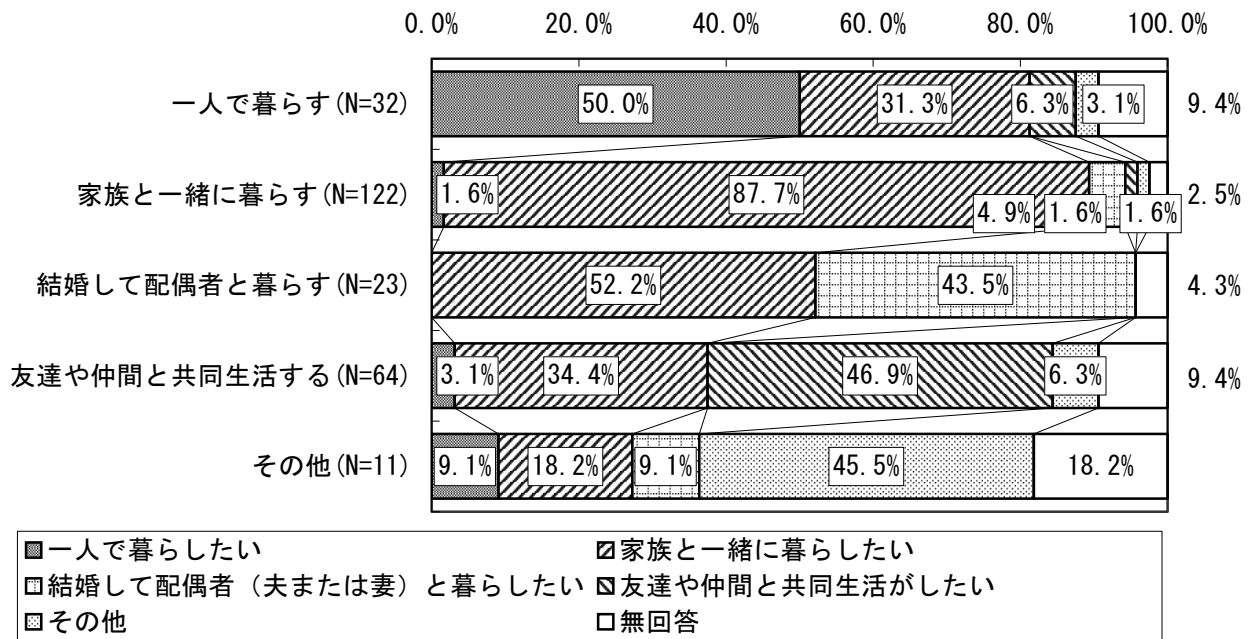


※「福祉施設で暮らしたい」は前回のみ項目

■図表：年齢別 今後暮らしたい相手



■図表：介助者の希望 × 本人の希望



(5) 現在の生活で困っていることや不安に思っていること

問 37 現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

現在の生活で困っていることや不安に思っていることをみると、18～39歳では「将来の生活のこと」、40～64歳では「経済的なこと」、65歳以上では「健康・医療のこと」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：現在の生活で困っていることや不安に思っていること（複数回答）

		有効 回答 数	就 職 の こ と な ど 仕 事	と 経 済 的 な こ と	の 健 康 と ・ 医 療	家 族 の こ と	と 住 ま い の こ と	の 結 婚 と ・ 育 児	の 将 来 の 生 活	援 助 の こ と	こ し が い の こ と	こ 友 人 関 係 の こ と
全体		674	20.3%	44.4%	43.8%	22.6%	16.0%	7.1%	45.0%	12.3%	12.2%	8.5%
前回H25調査		805	16.5%	32.8%	37.0%	18.1%	10.1%	4.5%	34.4%	11.9%	9.1%	7.0%
障 が い 種 別	身体	329	13.7%	44.7%	48.6%	19.5%	15.2%	3.3%	39.8%	12.5%	10.3%	4.0%
	知的	247	15.0%	27.9%	34.0%	16.6%	10.5%	6.9%	44.1%	10.9%	6.5%	10.9%
	精神	177	37.9%	57.1%	48.6%	37.3%	22.6%	13.6%	55.9%	14.7%	24.9%	13.0%
	発達障がい 難病	102 45	32.4% 15.6%	46.1% 46.7%	35.3% 48.9%	28.4% 20.0%	20.6% 15.6%	12.7% 6.7%	53.9% 42.2%	18.6% 17.8%	18.6% 13.3%	14.7% 8.9%
年 齢	18～39歳	194	26.8%	44.3%	34.5%	25.8%	16.5%	14.4%	63.4%	14.9%	16.0%	14.9%
	40～64歳	292	25.7%	50.0%	48.6%	26.7%	20.2%	5.8%	47.3%	12.3%	12.0%	7.2%
	65歳以上	166	3.0%	31.9%	44.6%	12.0%	7.2%	1.8%	19.9%	8.4%	7.2%	2.4%
障 が い 程 度	重度	295	12.9%	38.0%	40.7%	18.0%	14.6%	3.4%	42.0%	12.9%	9.5%	6.8%
	重度以外	379	26.1%	49.3%	46.2%	26.1%	17.2%	10.0%	47.2%	11.9%	14.2%	9.8%
		有効 回答 数	学 校 の こ と	こ 近 所 づ き あ い の こ と	こ 施 設 で の 生 活 の こ と	た り お 話 す る こ と を 伝 え る こ と	お 話 す る こ と を 伝 え る こ と	訓 練 が い の こ と	社 会 参 加 の こ と	と 差 別 が や い 偏 見 の す こ ら	そ の 他	い こ と に 困 つ て い る こ と
全体		674	1.2%	11.0%	5.9%	18.8%	5.8%	6.5%	10.8%	3.4%	10.7%	
前回H25調査		805	0.6%	8.9%	6.0%	14.9%	5.7%	7.2%	2.9%	17.3%		
障 が い 種 別	身体	329	1.2%	9.1%	3.0%	12.2%	5.8%	5.5%	6.7%	3.6%	11.2%	
	知的	247	0.0%	5.3%	12.1%	23.9%	2.8%	4.9%	9.3%	3.6%	13.0%	
	精神	177	2.3%	19.2%	5.1%	26.0%	9.0%	10.2%	21.5%	4.0%	4.0%	
	発達障がい 難病	102 45	2.0% 0.0%	8.8% 15.6%	10.8% 2.2%	35.3% 6.7%	5.9% 4.4%	6.9% 11.1%	14.7% 6.7%	4.9% 6.7%	7.8% 8.9%	
年 齢	18～39歳	194	1.0%	6.7%	6.2%	29.9%	7.7%	10.8%	17.5%	2.1%	7.7%	
	40～64歳	292	1.7%	15.8%	4.8%	16.4%	4.5%	5.5%	9.9%	4.5%	9.2%	
	65歳以上	166	0.6%	7.8%	7.2%	9.0%	4.8%	3.6%	3.0%	3.6%	17.5%	
障 が い 程 度	重度	295	0.7%	7.5%	10.5%	18.3%	5.1%	6.1%	8.8%	5.4%	11.9%	
	重度以外	379	1.6%	13.7%	2.4%	19.3%	6.3%	6.9%	12.4%	1.8%	9.8%	

(6) 現在の困ったときの相談体制

問 38 現在の困ったときの相談体制について、あなたはどのように感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

現在の困ったときの相談体制についてみると、精神では「近所に相談の場や人がいないので不満である」「気軽に相談できる場や人がいないので不満である」「夜間・休日に相談できる場や人がいないので不満である」が他に比べて多く、不満が多くなっています。

■図表：現在の困ったときの相談体制（複数回答）

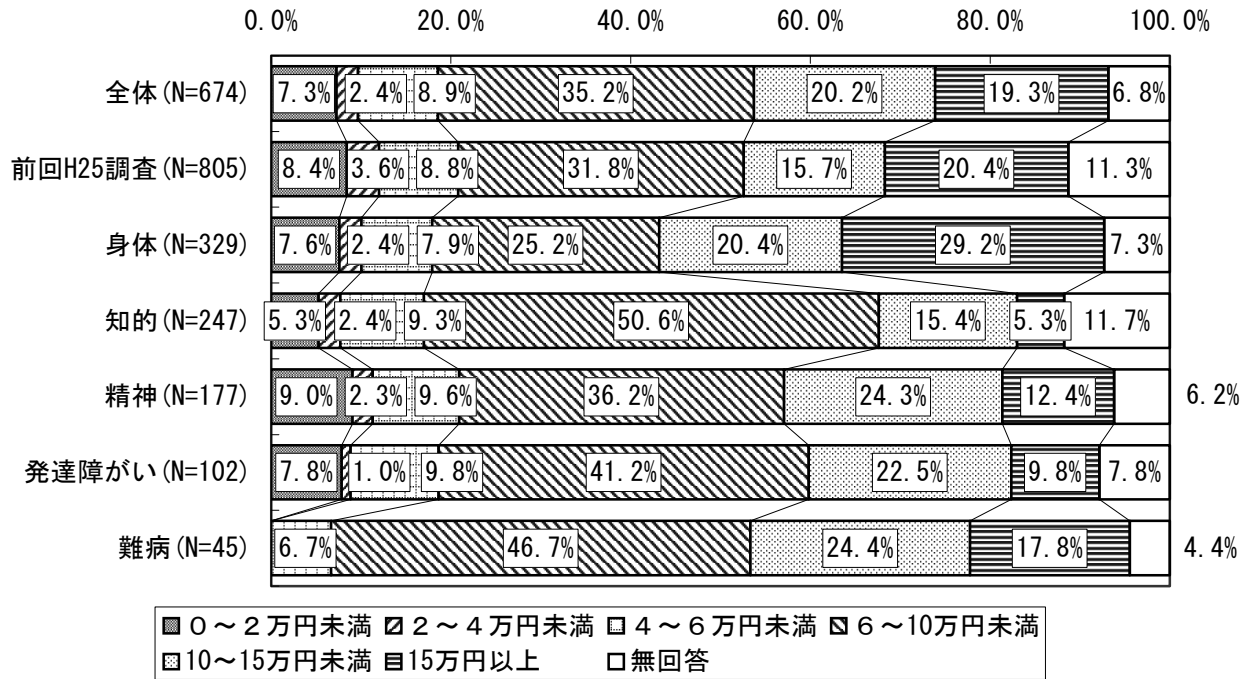
	有効回答数	満足している	あが近 るい所 ないに の相談 の場や で人	満や気 で人軽 あがに あがに い相 ない談 の場 で人	のき夜 でる間 不場・ 満や休 で人日 あがに い相 ない談 い	のコミ 支援が ニケ 十分 でシ ないョ ン	その他	わからない	
全体	674	30.0%	9.2%	16.3%	8.0%	4.9%	5.3%	30.4%	
前回H25調査	805	25.6%	8.4%	13.8%	5.2%	3.5%	4.3%	24.1%	
障がい種別	身体	329	29.5%	7.3%	13.4%	7.0%	5.2%	5.2%	31.9%
	知的	247	33.2%	6.5%	12.6%	6.1%	3.2%	6.5%	27.5%
	精神	177	28.8%	15.8%	26.0%	11.9%	5.6%	6.2%	30.5%
	発達障がい 難病	102 45	32.4% 33.3%	8.8% 11.1%	9.8% 8.9%	5.9% 4.4%	3.9% 2.2%	8.8% 6.7%	38.2% 31.1%
年齢	18～39歳	194	32.0%	9.3%	16.5%	7.7%	4.6%	4.6%	32.0%
	40～64歳	292	27.7%	11.0%	18.5%	9.2%	5.5%	6.5%	30.8%
	65歳以上	166	32.5%	4.8%	10.8%	4.2%	3.6%	4.2%	28.9%
障がい程度	重度	295	28.5%	6.8%	12.5%	7.5%	5.8%	6.8%	31.5%
	重度以外	379	31.1%	11.1%	19.3%	8.4%	4.2%	4.2%	29.6%

(7) 収入

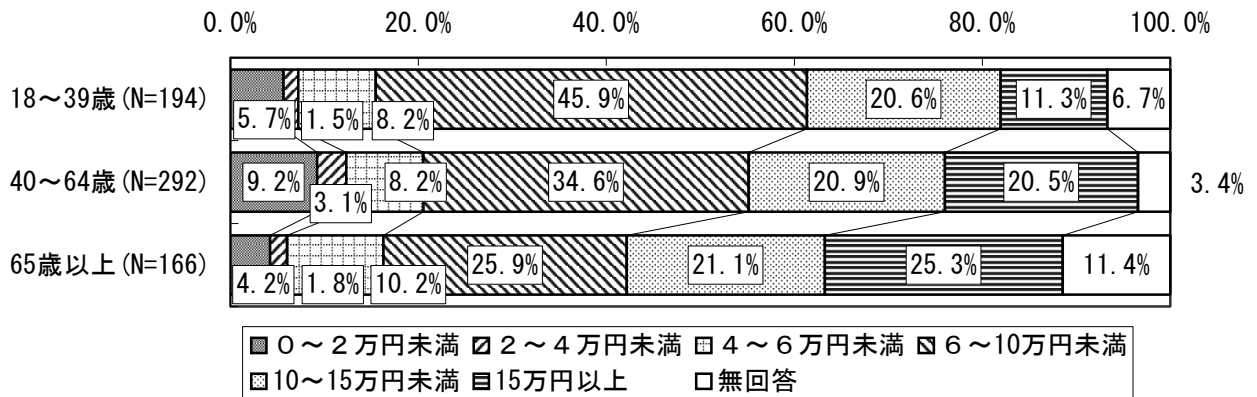
問 39 仕事、手当、年金などで得られるあなたの1ヶ月の収入はどれくらいですか。(1つに○)

月収をみると、身体では「15万円以上」、それ以外では「6～10万円未満」がそれぞれ最も多くなっています。

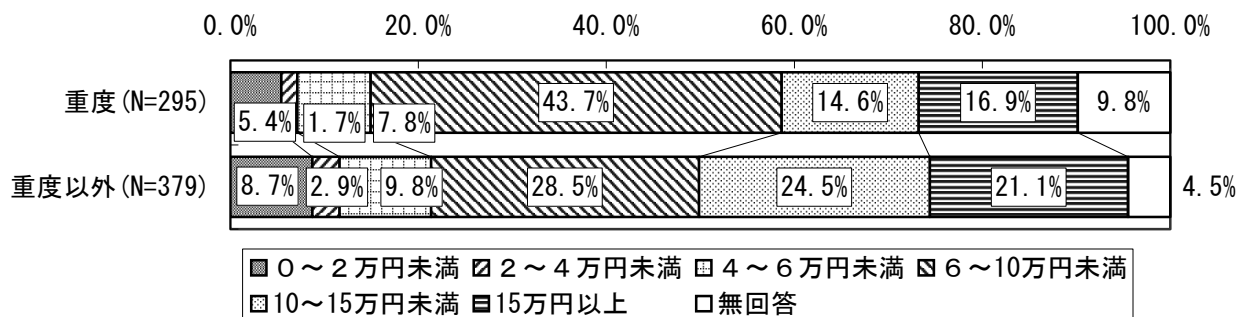
■図表：収入



■図表：年齢別 収入



■図表：障がい程度別 収入



問 40 その収入の種類は何種類ですか。(あてはまるものすべてに○)

収入源は、「年金」が71.1%で最も多く、重度の人では8割を超えています。「給与・賃金」は18～39歳では6割を超えています。

■図表：収入の種類（複数回答）

		有効 回答 数	給 与 ・ 賃 金	事 業 収 入	年 金	手 当	生 活 保 護	仕 送 り	そ の 他	収 入 は な い
全体		674	41.7%	2.7%	71.1%	2.2%	4.9%	0.6%	2.2%	5.9%
前回H25調査		805	30.4%	2.9%	69.9%	2.4%	5.2%	0.2%	2.4%	3.7%
障 が い 種 別	身体	329	35.9%	2.7%	70.5%	1.8%	3.3%	0.6%	1.8%	6.1%
	知的	247	54.7%	1.6%	76.5%	4.0%	1.2%	0.4%	2.8%	3.6%
	精神	177	33.3%	2.8%	67.8%	1.1%	13.0%	1.1%	2.8%	8.5%
	発達障がい 難病	102 45	55.9% 35.6%	1.0% 8.9%	69.6% 77.8%	3.9% 0.0%	2.9% 0.0%	0.0% 0.0%	4.9% 2.2%	7.8% 2.2%
年 齢	18～39歳	194	65.5%	1.5%	67.0%	4.1%	2.6%	0.5%	1.0%	4.6%
	40～64歳	292	44.9%	4.5%	64.4%	2.1%	6.8%	0.7%	2.4%	8.6%
	65歳以上	166	9.6%	1.2%	89.2%	0.0%	4.2%	0.6%	3.6%	3.0%
障 が い 程 度	重度	295	35.9%	1.7%	81.4%	2.4%	2.0%	0.7%	2.4%	4.4%
	重度以外	379	46.2%	3.4%	63.1%	2.1%	7.1%	0.5%	2.1%	7.1%

(8) サービスに関する情報の入手

問 41 サービスに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

サービスに関する情報の入手経路は、身体では「家族・親戚」、精神では「医療機関」、それ以外では「相談支援事業所」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：サービスに関する情報の入手（複数回答）

		有効 回答 数	家 族 ・ 親 戚	友 人 ・ 知 人	職 場	学 校	通 所 先	体 ・ 必 要 支 援 団 体 の 支 援	特 別 な 支 援 の 要 求	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	障 害 者 相 談 員	医 療 機 関	事 業 所 サ ー ビ ス 提 供
全体		674	21.4%	9.1%	8.9%	0.6%	17.1%	3.0%	2.8%	5.8%	15.9%	4.5%	
前回		805	22.7%	10.9%	5.2%	0.9%	14.2%	6.5%	2.5%	3.1%	12.7%	5.8%	
障 が い 種 別	身体	329	20.1%	10.3%	5.8%	0.9%	10.3%	3.6%	4.0%	4.3%	14.9%	5.2%	
	知的	247	30.8%	7.3%	13.0%	0.8%	33.6%	4.5%	2.0%	6.9%	6.5%	5.3%	
	精神	177	14.7%	9.6%	7.9%	1.1%	15.3%	1.7%	1.7%	7.9%	30.5%	2.8%	
	発達障がい 難病	102 45	36.3% 28.9%	8.8% 17.8%	9.8% 8.9%	2.0% 2.2%	32.4% 13.3%	3.9% 4.4%	2.9% 6.7%	9.8% 8.9%	10.8% 24.4%	4.9% 8.9%	
		有効 回答 数	ボ ラ ン テ ィ ア	市 役 所 の 窓 口	所 相 談 支 援 事 業	市 の 広 報 紙	相 談 機 関 以 外 の	誌 オ レ ・ 新 聞 ・ ラ ジ オ	テ レ ビ ・ 電 話 ・ 手 話	も ト ン （ 携 帯 電 話 ・ タ ブ レ ッ ト ）	S N S	そ の 他	手 特 し に 情 報 を 入 手
全体		674	0.6%	17.4%	26.3%	13.4%	2.1%	7.7%	11.7%	4.3%	1.9%	16.5%	
前回		805	0.6%	23.6%	13.0%	19.3%	1.1%	13.4%	5.0%	0.6%	15.5%		
障 が い 種 別	身体	329	1.2%	17.0%	16.4%	19.5%	2.1%	10.9%	14.6%	4.0%	2.4%	18.8%	
	知的	247	0.4%	14.2%	46.6%	6.1%	1.2%	4.9%	2.4%	2.8%	1.2%	10.9%	
	精神	177	1.1%	24.3%	22.0%	9.6%	4.0%	5.1%	15.8%	6.8%	2.8%	16.4%	
	発達障がい 難病	102 45	1.0% 2.2%	24.5% 11.1%	46.1% 31.1%	7.8% 15.6%	2.9% 6.7%	6.9% 11.1%	7.8% 15.6%	5.9% 4.4%	1.0% 4.4%	7.8% 15.6%	

(9) 特に必要な情報

問 42 あなたは、どのような情報の提供をとくに望めますか。(3つまでに○)

特に必要な情報をみると、「障がい福祉サービスの利用手続や利用方法について」が34.7%で最も多く、次いで「相談できる窓口について」(20.6%)となっています。

■図表：特に必要な情報（3つ以内で複数回答）

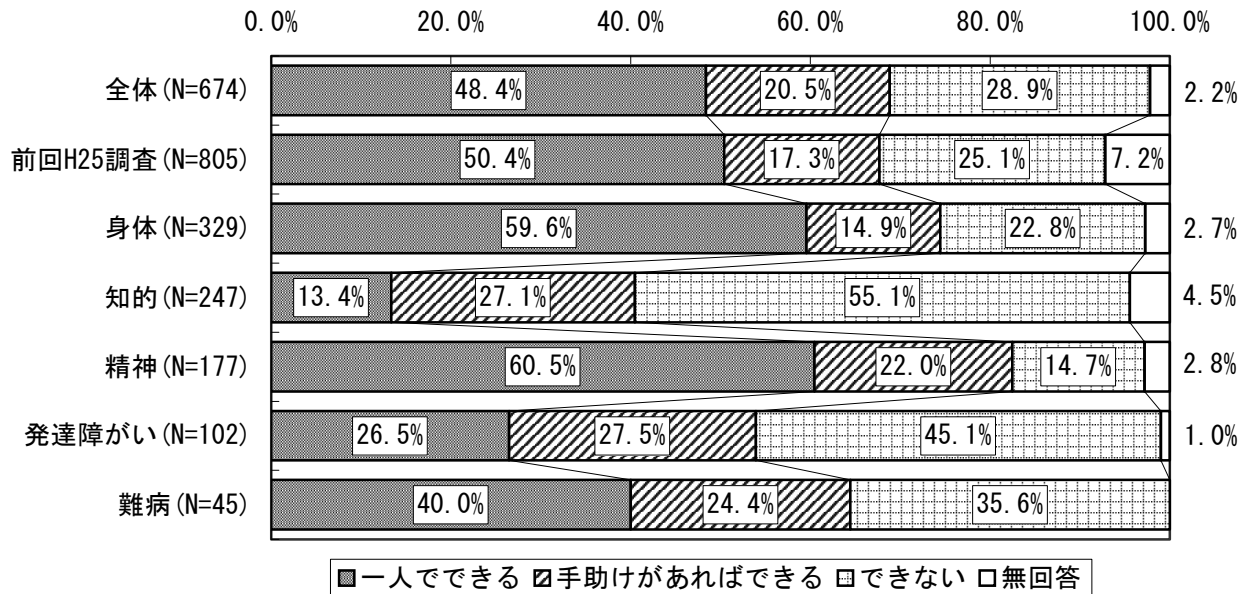
		有効 回答 数	法の 障が い利 用し て手 続や 利用 ビ 方 ス	つを 障が い提 供す る福 祉サ ー 務所 に ス	医病 療院 や診 察所 など の	い相 談で きる 窓 口 に つ	制福 祉に 関 する 法律 や	や人 仕の 組権 み利 を 守る 必要 な 制 度	て事 域 や イ ベ ン ト で 参 加 で き る 行
全体		674	34.7%	15.0%	19.9%	20.6%	15.1%	8.0%	5.2%
障 が い 種 別	身体	329	39.2%	14.3%	23.4%	22.2%	16.1%	7.0%	3.6%
	知的	247	26.7%	13.4%	13.0%	14.6%	11.3%	8.9%	6.9%
	精神	177	35.0%	16.9%	19.8%	26.0%	18.6%	11.3%	5.6%
	発達障がい	102	37.3%	15.7%	13.7%	17.6%	17.6%	13.7%	4.9%
	難病	45	31.1%	13.3%	22.2%	15.6%	20.0%	13.3%	2.2%
		有効 回答 数	つエ ス ポ ー ツ ン ヤ 活 動 に リ	事な 者人 活た 動ち に同 つ士 いの 必要	職な 業人 紹の 介就 に労 つ支 い援 てや	に住 つま いい てや 生活 の場	そ の 他	しと いく 情に 報提 は供 はな して ほ	
全体		674	4.5%	4.5%	8.8%	10.7%	3.4%	16.8%	
障 が い 種 別	身体	329	3.6%	4.0%	7.6%	9.7%	2.4%	15.8%	
	知的	247	4.5%	5.7%	8.1%	13.0%	4.0%	19.4%	
	精神	177	6.8%	5.1%	12.4%	10.2%	5.1%	11.9%	
	発達障がい	102	5.9%	3.9%	12.7%	14.7%	3.9%	19.6%	
	難病	45	0.0%	6.7%	11.1%	22.2%	6.7%	11.1%	

(10) 支払金の管理や銀行でのお金の出し入れなどの金銭管理

問 43 あなたは、日常生活で支払金の管理や銀行でのお金の出し入れなどの金銭管理ができますか。
(1つに○)

金銭管理は、知的と発達障がいでは「できない」、それ以外では「一人で行える」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：支払金の管理や銀行でのお金の出し入れなどの金銭管理

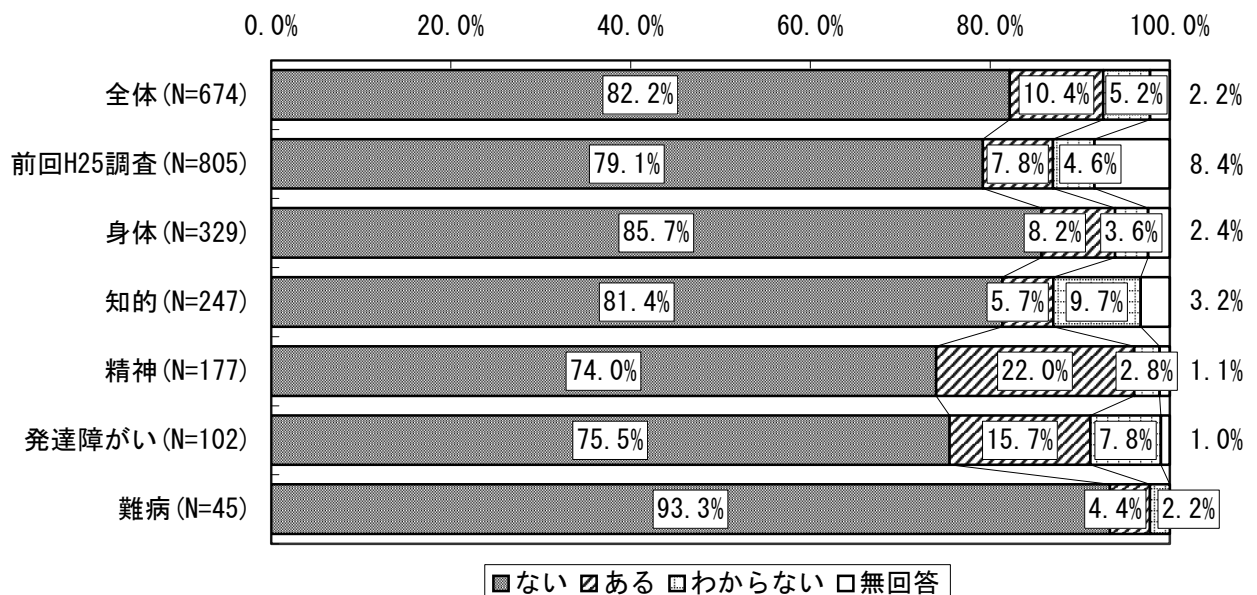


(11) 悪徳商法などの消費者トラブルに巻き込まれた経験

問 44 あなたは、これまでに悪徳商法などの消費者トラブルに巻き込まれたことがありますか。
(1つに○)

悪徳商法などの消費者トラブルに巻き込まれた経験をみると、「ある」は精神で22.0%と多くなっています。

■図表：悪徳商法などの消費者トラブルに巻き込まれた経験

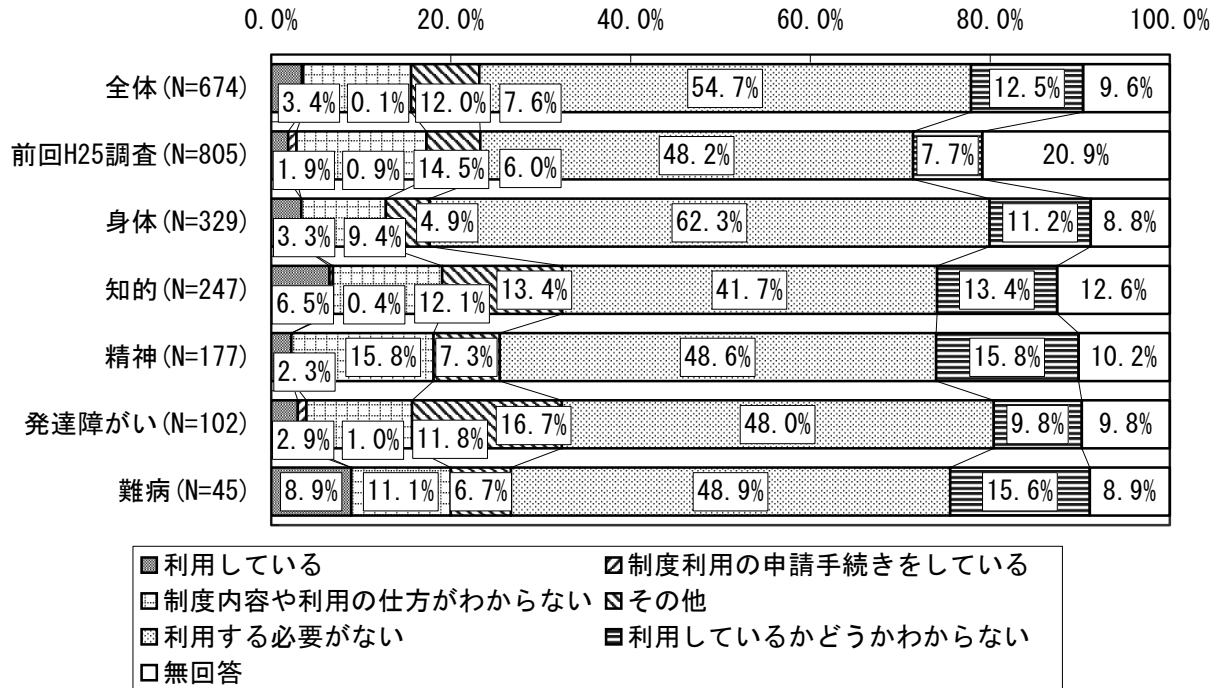


(12) 成年後見制度の利用状況

問 45 現在、成年後見制度を利用していますか。(1つに○)

成年後見制度の利用状況をみると、「利用している」は全体の3.4%で、難病の8.9%が最も多くなっています。

■図表：成年後見制度の利用状況



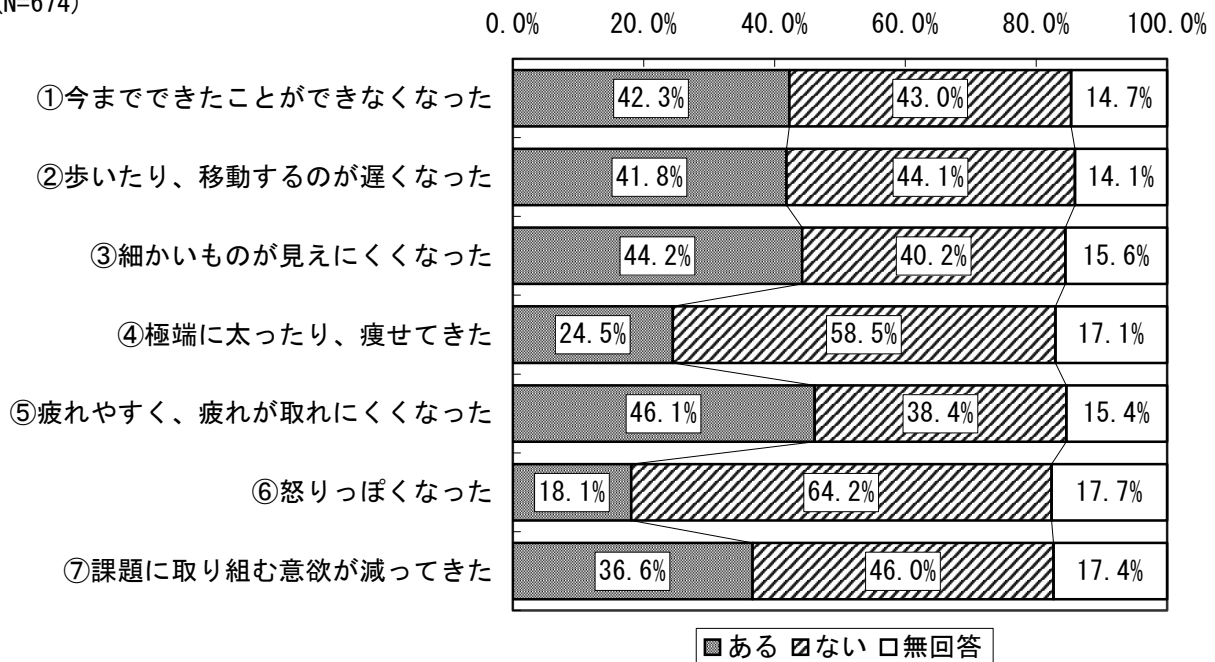
(13) 老化が原因と思われる体調の低下

問 46 あなたは、以前に比べて、老化が原因と思われる体調の低下を感じることがありますか。
(各項目あてはまるものそれぞれ1つに○)

老化が原因と思われる体調の低下をみると、「怒りっぽくなった」以外は 50 歳代以降で「ある」が大きく増加する傾向がみられます。

■図表：老化が原因と思われる体調の低下

(N=674)



■図表：老化が原因と思われる体調の低下（「ある」）

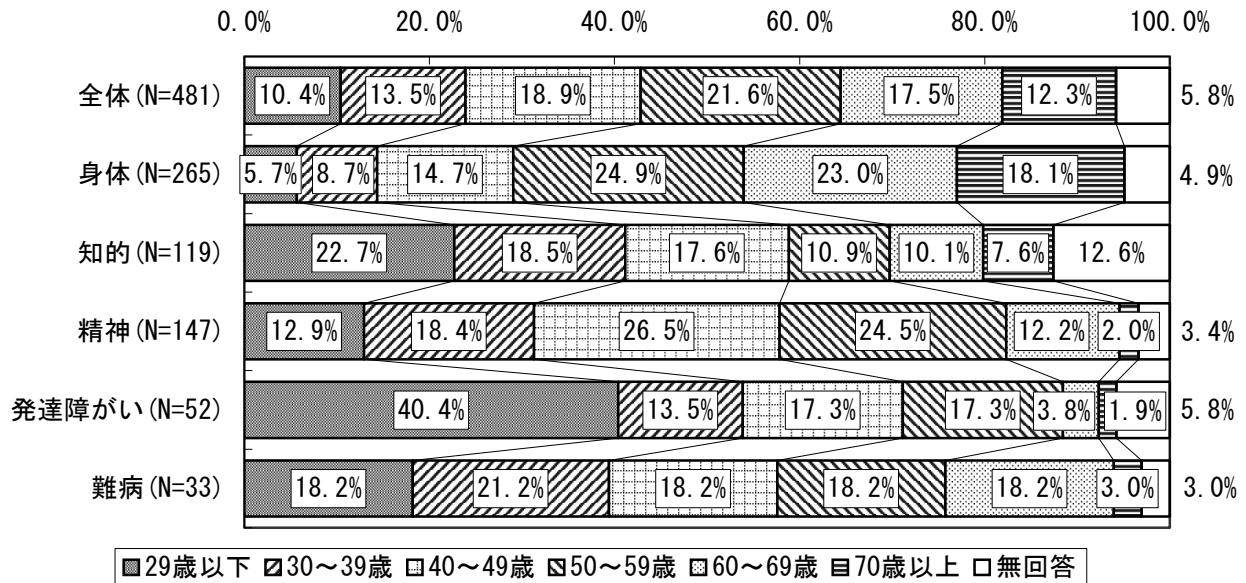
		有効回答数	なつがたできなかつた	なす歩つるのたがり遅く移動	え細にかいくものつがた見	り極端にせ太つてきた	なれ疲つた取れにくく疲	た怒りっぽくなつた	た意欲が減つて組み
全体		674	42.3%	41.8%	44.2%	24.5%	46.1%	18.1%	36.6%
障がい種別	身体	329	53.8%	53.5%	55.0%	20.4%	49.5%	14.6%	42.2%
	知的	247	21.1%	22.7%	14.2%	15.8%	23.5%	14.6%	16.2%
	精神	177	50.3%	48.6%	55.9%	44.6%	59.3%	26.6%	49.2%
	発達障がい難病	102	17.6%	20.6%	19.6%	20.6%	27.5%	16.7%	22.5%
年齢	18～29歳	84	4.8%	8.3%	1.2%	14.3%	22.6%	13.1%	10.7%
	30～39歳	110	20.0%	18.2%	19.1%	22.7%	30.9%	18.2%	21.8%
	40～49歳	92	30.4%	25.0%	35.9%	30.4%	44.6%	18.5%	35.9%
	50～59歳	125	56.8%	55.2%	69.6%	37.6%	64.0%	21.6%	53.6%
	60～69歳	121	66.9%	62.8%	69.4%	25.6%	55.4%	19.0%	46.3%
	70～79歳	80	50.0%	55.0%	53.8%	12.5%	48.8%	11.3%	37.5%
	80歳以上	40	75.0%	82.5%	50.0%	15.0%	47.5%	25.0%	50.0%
障がい程度	重度	295	41.4%	42.7%	35.9%	19.3%	37.6%	15.9%	30.8%
	重度以外	379	43.0%	41.2%	50.7%	28.5%	52.8%	19.8%	41.2%

(14) 体調の低下を感じ始めた年齢

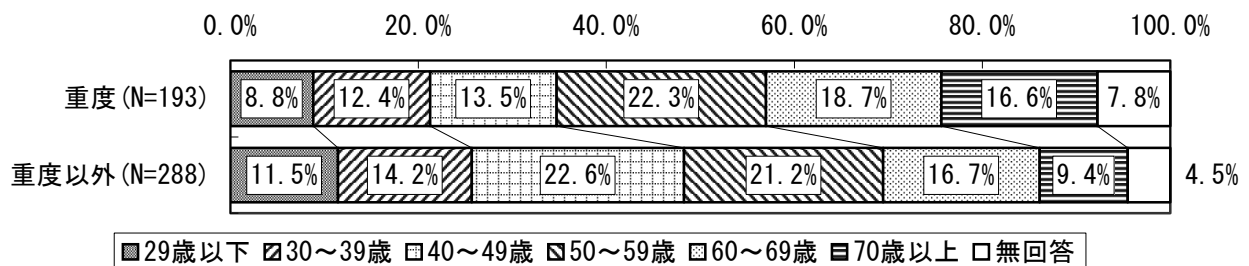
問 46 で項目のひとつにでも「1. ある」と回答した方にお聞きします。
 すべての項目に「2. ない」と回答した方は、問 48 へお進みください。
 問 47 あなたは、いつ頃から体調の低下を感じ始めましたか。(1つに〇)

体調の低下を感じ始めた年齢をみると、知的と発達障がいでは「29歳以下」、難病では「30～39歳」、精神では「40～49歳」、身体では「50～59歳」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：体調の低下を感じ始めた年齢



■図表：障がい程度別 体調の低下を感じ始めた年齢



(15) 毎日の生活を送る上で特に必要なこと

問 48 あなたが毎日の生活を送る上で、特に必要となることは、次のどれですか。(3つまでに○)

毎日の生活を送る上で特に必要なことをみると、「特にない」を除いて、「自分の家族などの負担を軽減する支援の充実」が 26.7%で最も多く、次いで「生活の場の確保（グループホームを含む）」(19.3%)となっています。知的や重度では「施設における生活の充実」が2割以上と多くなっています。

■図表：毎日の生活を送る上で特に必要なこと（3つ以内で複数回答）

		有効 回答数	生活の場の確保（グループホームを含む）	施設における生活の充実	移動支援（ガイドヘルプ）の充実	居宅介護（ホームヘルプ）の充実	車いす・補聴器など福祉機器の普及	地域社会とのつながり	自治会・NPO・ボランティア	の普及 の権利を 守つてく 制度	の文化・スポーツ活動への参加の支援	福利厚生やサービスの充実
全体		674	19.3%	12.8%	11.0%	6.2%	5.3%	5.5%	9.5%	5.3%	14.1%	
障がい種別	身体	329	12.2%	10.9%	9.4%	6.4%	9.1%	3.3%	5.8%	4.9%	8.8%	
	知的	247	33.2%	25.1%	19.4%	8.9%	2.8%	6.5%	8.5%	5.3%	15.4%	
	精神	177	16.9%	7.3%	7.9%	4.5%	2.8%	7.9%	18.6%	6.8%	21.5%	
	発達障がい 難病	102 45	32.4% 24.4%	12.7% 11.1%	18.6% 22.2%	8.8% 11.1%	1.0% 4.4%	7.8% 6.7%	12.7% 4.4%	5.9% 2.2%	17.6% 15.6%	
年齢	18～39歳	194	29.4%	14.4%	17.0%	6.2%	3.1%	6.2%	10.3%	4.6%	21.1%	
	40～64歳	292	16.4%	9.6%	7.9%	5.1%	5.1%	4.8%	13.0%	6.8%	12.0%	
	65歳以上	166	12.0%	17.5%	9.6%	8.4%	7.2%	4.8%	2.4%	3.6%	8.4%	
障がい程度	重度	295	25.4%	23.1%	19.7%	8.5%	7.5%	3.4%	5.1%	4.7%	11.9%	
	重度以外	379	14.5%	4.7%	4.2%	4.5%	3.7%	7.1%	12.9%	5.8%	15.8%	
		有効 回答数	筆記支援など（手話、通訳、要訳の充実）	の充実	を軽減する家族などの負担	の充実	行政の場に参加する機会	療養・訪問看護の充実	への支援	特別支援の必要な人	特にない	
全体		674	2.8%	7.7%	26.7%	2.1%	11.6%	3.7%	2.7%	23.0%		
障がい種別	身体	329	4.0%	8.5%	24.3%	2.1%	14.3%	1.5%	1.5%	26.7%		
	知的	247	2.0%	1.2%	27.9%	1.2%	9.3%	6.5%	2.0%	17.0%		
	精神	177	1.1%	12.4%	33.3%	4.0%	14.1%	2.3%	5.1%	18.1%		
	発達障がい 難病	102 45	1.0% 0.0%	2.9% 4.4%	37.3% 28.9%	2.0% 4.4%	9.8% 17.8%	6.9% 4.4%	3.9% 0.0%	16.7% 22.2%		
年齢	18～39歳	194	3.1%	5.7%	28.9%	2.1%	5.7%	7.2%	2.1%	22.2%		
	40～64歳	292	4.5%	10.3%	27.7%	3.1%	13.7%	2.7%	3.8%	23.6%		
	65歳以上	166	0.0%	4.2%	20.5%	0.6%	13.9%	1.2%	1.8%	24.7%		
障がい程度	重度	295	4.1%	5.4%	28.1%	2.0%	12.5%	3.7%	1.0%	15.6%		
	重度以外	379	1.8%	9.5%	25.6%	2.1%	10.8%	3.7%	4.0%	28.8%		

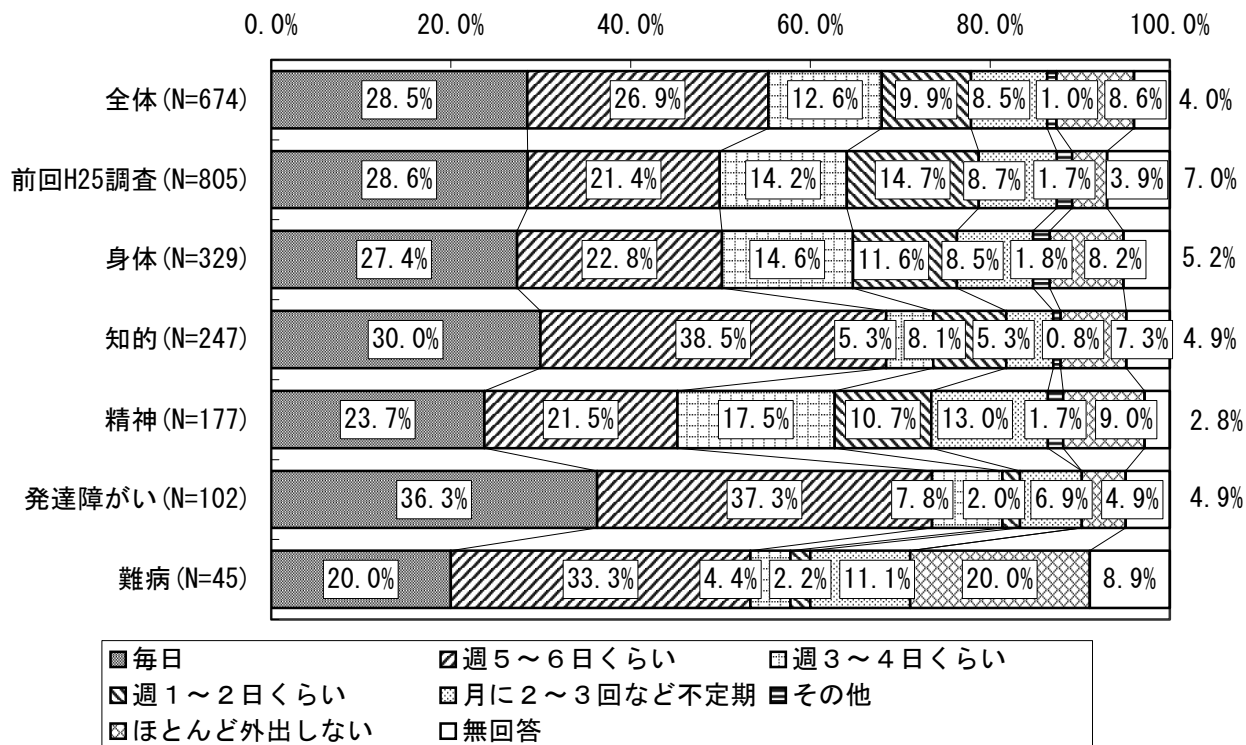
2-4 生活環境

(1) 外出頻度

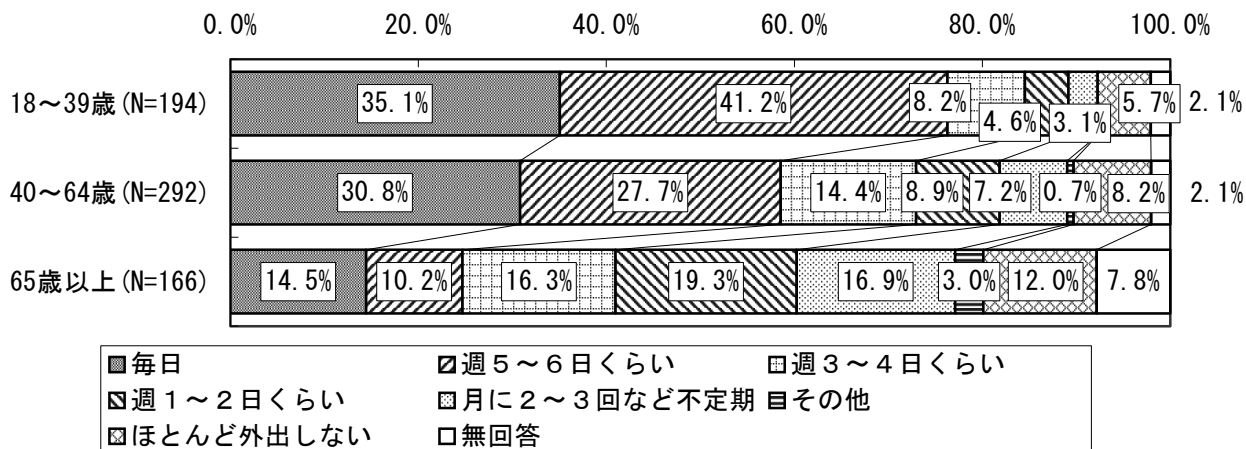
問 49 あなたは、どれくらいの頻度で外出しますか。(通勤、通学、通院などを含みます。)(1つに○)

外出頻度をみると、年齢が高いほど、また重度の人ほど外出頻度が低い傾向がみられます。

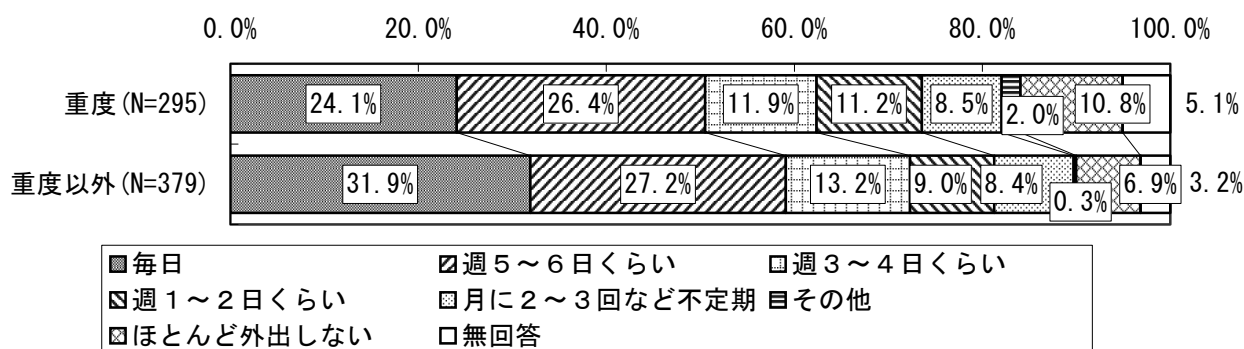
■図表：外出頻度



■図表：年齢別 外出頻度



■図表：障がい程度別 外出頻度

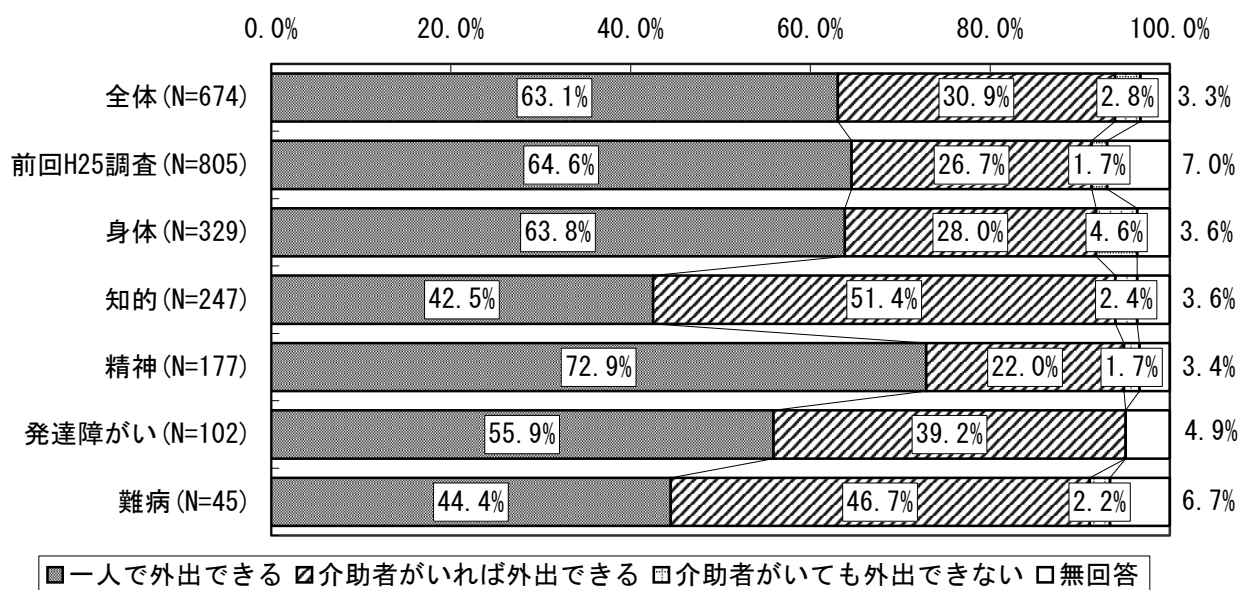


(2) 一人で外出することができるか

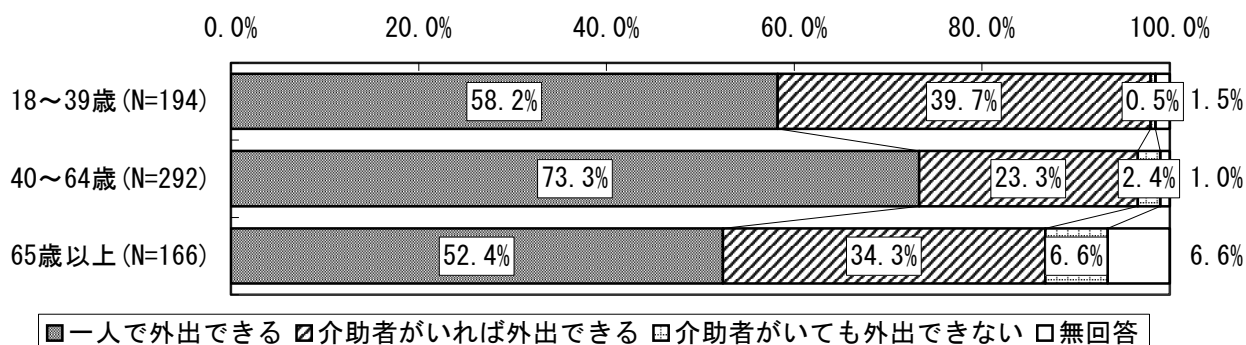
問50 あなたは一人で外出することができますか。(1つに○)

一人で外出することができる人の割合は、全体では63.1%で、低いのは知的(42.5%)・難病(44.4%)、また重度の人(37.3%)などとなっています。

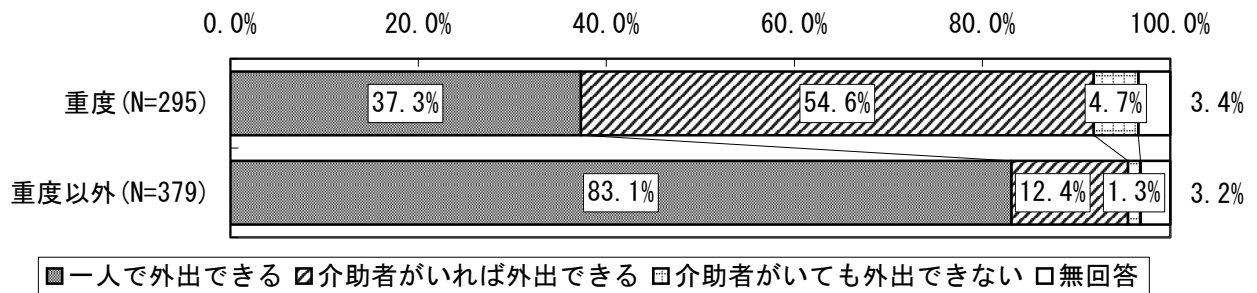
■図表：一人で外出することができるか



■図表：年齢別 一人で外出することができるか



■図表：障がい程度別 一人で外出することができるか



(3) 外出に同行する人

問 50 で「2. 介助者がいれば外出できる」と回答した方にお聞きします。

問 51 あなたは誰と外出しますか。(あてはまるものすべてに○)

介助者がいれば外出できる人について、外出に同行する人をみると、「家族」が約8割を占めています。

■図表：外出に同行する人（複数回答）

		有効回答数	家族	親戚	近所の人	ヘルパー	その他
全体		208	79.8%	2.9%	1.9%	32.2%	19.7%
前回		229	78.6%	3.9%	0.0%	28.8%	13.5%
障がい種別	身体	92	84.8%	5.4%	4.3%	25.0%	16.3%
	知的	127	74.0%	0.8%	0.0%	40.9%	25.2%
	精神	39	87.2%	2.6%	2.6%	25.6%	10.3%
	発達障がい	40	80.0%	0.0%	0.0%	42.5%	17.5%
年齢	難病	21	81.0%	4.8%	0.0%	42.9%	9.5%
	18～39歳	77	87.0%	2.6%	0.0%	40.3%	13.0%
	40～64歳	68	83.8%	2.9%	1.5%	26.5%	16.2%
障がい程度	65歳以上	57	66.7%	3.5%	5.3%	24.6%	33.3%
	重度	161	78.3%	1.9%	1.9%	37.3%	21.7%
	重度以外	47	85.1%	6.4%	2.1%	14.9%	12.8%

(4) 外出の際に困ること・改善が必要なこと

問 52 あなたの身の回りで、外出のときに必要な設備や支援、改善が特に必要であるものは、何ですか。(3つまでに○)

外出の際に困ること・改善が必要なことをみると、身体では「特にない」、それ以外では「緊急事態が起こった時の対応に不安がある」がそれぞれ最も多くなっています。

年齢別にみると、「まわりの人とのコミュニケーションを取りにくい」や「付き添ってくれる介助者、援助者を確保することが困難」は18～39歳が40歳以上に比べて多くなっています。

■図表：外出の際に困ること・改善が必要なこと（3つ以内で複数回答）

		有効回答数	なる理特 解がな支 不足援を して必要 している (視線が 気への)	安緊 急事 態が 起こ った 時の 対応 に不	バ駐 車場 が整 備さ れて い進 んで ない 専用	障が い者 専用 のレ ン ド、 障が い者 専用	あ道 り路 の段 差、 歩道 に障 害物 などが	支が 払困 い難 、不 便で ある (料 金な どの 利用	なま わり の 人 の 手 助 け・ 配 慮 が 足 り	を付 き添 って くれ る介 助者 、 援 助者	少周 ない 辺の 図特 など の性 に配 慮し た文 字・ 地 図 案 内 板 が
全体		674	12.2%	29.8%	10.4%	9.2%	14.1%	2.8%	8.0%	3.7%	
前回		805	18.6%	34.2%	11.2%	12.5%	12.0%	3.7%	4.7%	4.2%	
障がい種別	身体	329	13.1%	25.2%	15.5%	14.0%	12.8%	1.5%	6.1%	4.0%	
	知的	247	11.7%	34.4%	10.1%	7.3%	14.2%	5.3%	15.4%	3.6%	
	精神	177	15.3%	33.9%	6.2%	6.8%	17.5%	2.8%	5.6%	4.0%	
	発達障がい 難病	102 45	12.7% 11.1%	40.2% 31.1%	5.9% 11.1%	2.0% 22.2%	2.7% 13.3%	4.9% 2.2%	18.6% 11.1%	3.9% 4.4%	
年齢	18～39歳	194	14.9%	36.1%	8.8%	5.2%	12.4%	4.6%	16.0%	3.6%	
	40～64歳	292	12.3%	29.8%	10.3%	10.6%	14.4%	2.1%	4.8%	5.5%	
	65歳以上	166	9.0%	23.5%	12.0%	12.0%	15.1%	1.8%	3.6%	0.6%	
障がい程度	重度	295	13.6%	33.2%	13.2%	11.2%	16.3%	3.4%	14.6%	3.1%	
	重度以外	379	11.1%	27.2%	8.2%	7.7%	12.4%	2.4%	2.9%	4.2%	
		有効回答数	な障外 などが 利用 でき ない ス	な移 動す る交 通手 段が	用ト福 し付社 にく きタク シ ー な ど が リ フ	付点 信字 号ブ ロツ ク、 音 声	陰わ かり と歩 道の 区 別 危 が	取ミ りユ に ニ リ の 人 と の コ を	そ の 他	特 に な い	
全体		674	3.3%	8.8%	2.4%	0.6%	2.7%	12.2%	3.0%	29.4%	
前回		805	4.1%	6.0%	2.0%	1.1%			3.5%	25.8%	
障がい種別	身体	329	3.0%	7.9%	3.3%	0.3%	2.7%	6.1%	1.8%	31.6%	
	知的	247	3.6%	8.1%	2.0%	0.4%	2.4%	19.4%	1.6%	22.7%	
	精神	177	5.1%	12.4%	4.0%	1.1%	2.3%	12.4%	7.3%	27.1%	
	発達障がい 難病	102 45	4.9% 4.4%	11.8% 4.4%	1.0% 4.4%	1.0% 0.0%	2.0% 11.1%	25.5% 0.0%	2.0% 2.2%	24.5% 15.6%	
年齢	18～39歳	194	3.1%	8.2%	0.5%	1.0%	2.1%	21.1%	1.0%	29.4%	
	40～64歳	292	4.8%	12.0%	4.1%	0.7%	4.5%	9.9%	5.1%	30.5%	
	65歳以上	166	0.6%	4.2%	1.2%	0.0%	0.6%	5.4%	1.8%	27.7%	
障がい程度	重度	295	3.7%	7.8%	4.1%	0.3%	2.7%	13.6%	2.7%	20.0%	
	重度以外	379	2.9%	9.5%	1.1%	0.8%	2.6%	11.1%	3.2%	36.7%	

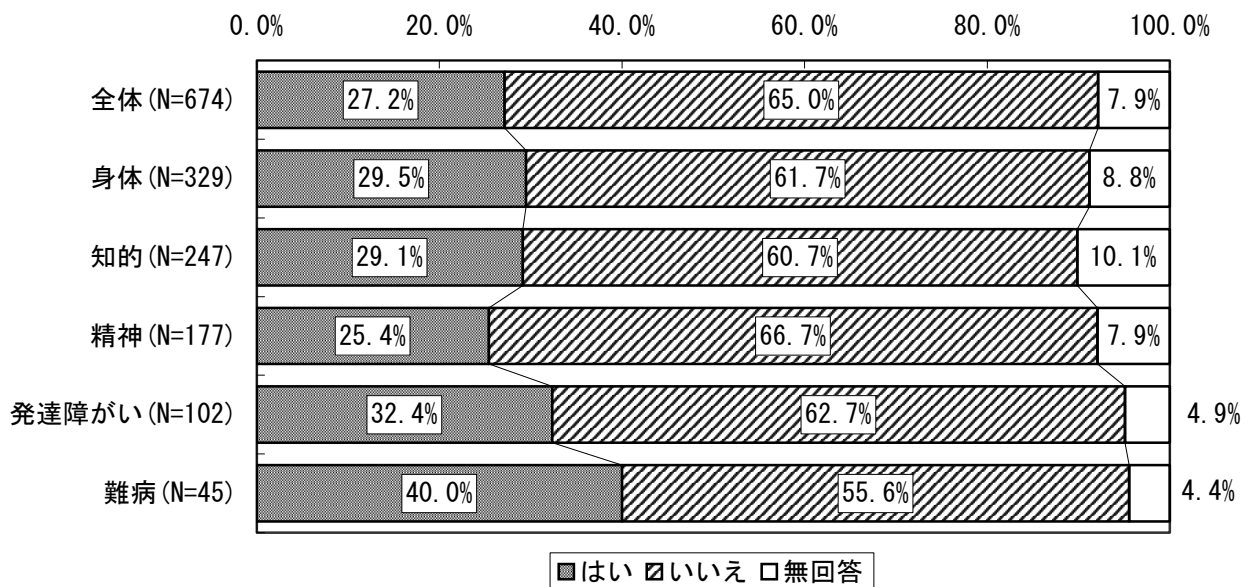
(5)「避難行動要支援者名簿」の認知度

問 53 亀岡市では、災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが難しい人をあらかじめ把握し、災害時に要支援者の避難を支援するための名簿「避難行動要支援者名簿」を作成しています。この制度を知っていますか。(1つに〇)

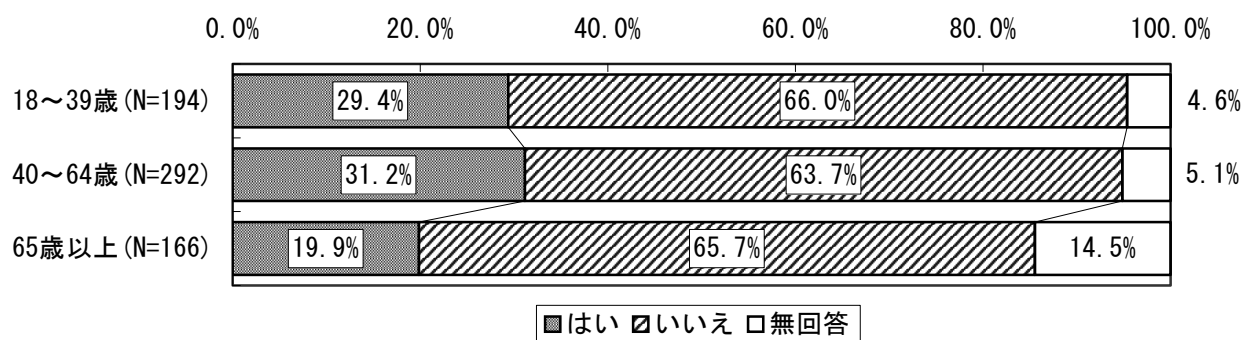
※個人の申請により登録される名簿ではありません。

亀岡市の「避難行動要支援者名簿」の認知度をみると、全体では3割弱(27.2%)となっています。認知度が比較的高いのは難病(40.0%)、重度の人(38.0%)、災害時に避難場所を決めている人(38.6%)などとなっています。

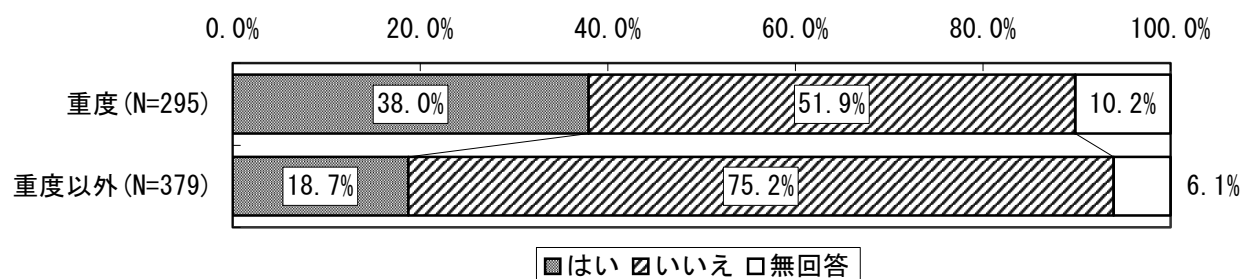
■図表：「避難行動要支援者名簿」の認知度



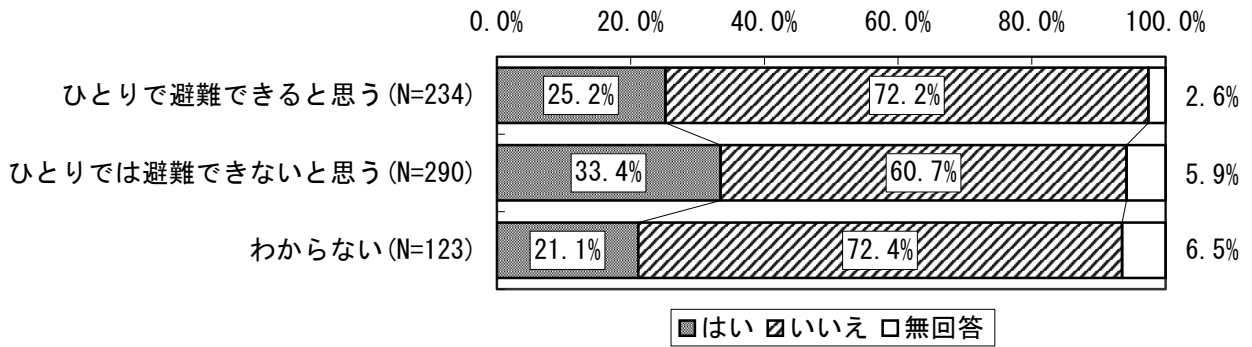
■図表：年齢別 「避難行動要支援者名簿」の認知度



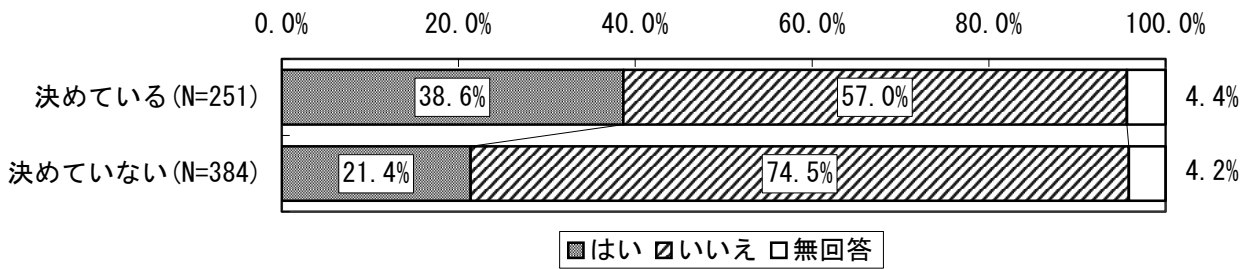
■図表：障がい程度別 「避難行動要支援者名簿」の認知度



■図表：災害時にひとりで避難できるか × 「避難行動要支援者名簿」の認知度



■図表：災害時に避難場所を決めているか × 「避難行動要支援者名簿」の認知度

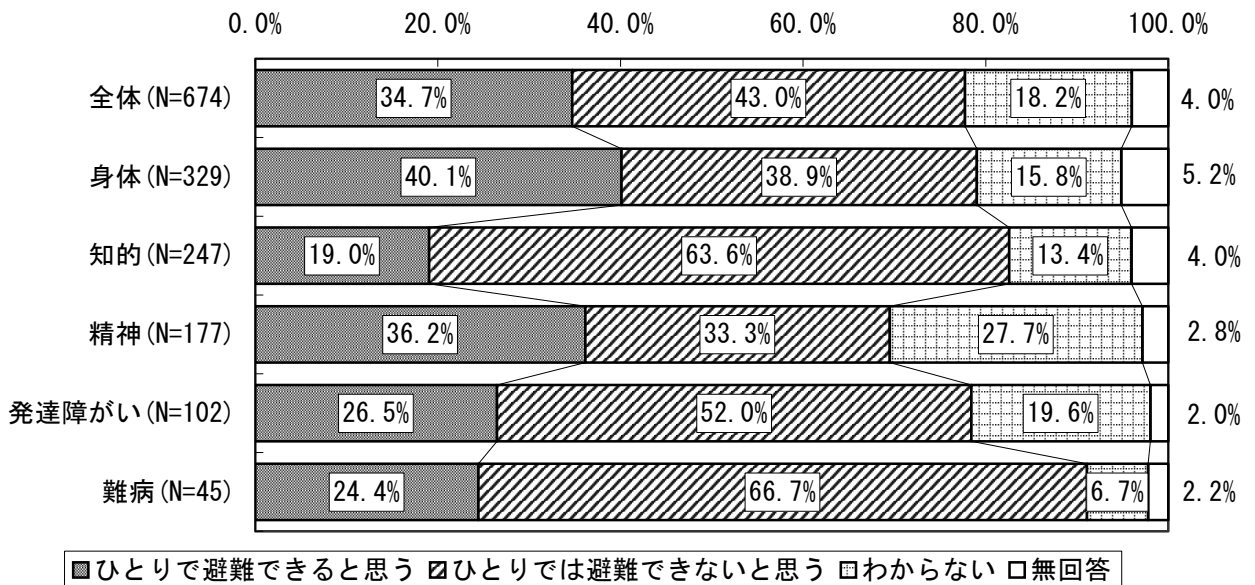


(6) 災害時にひとりで避難できるか

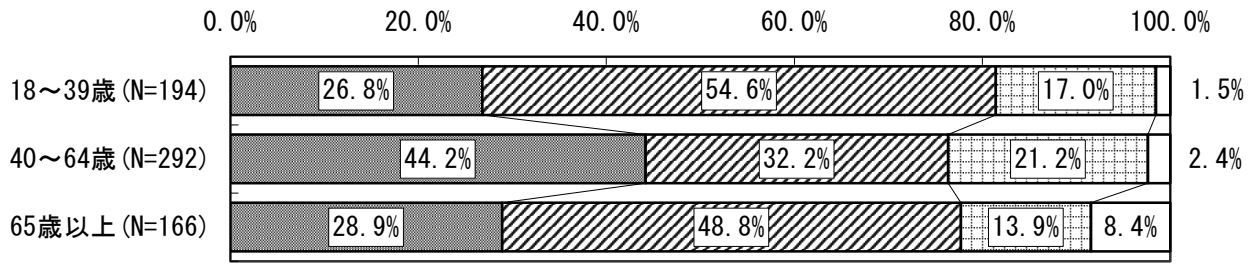
問 54 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたはひとりで避難できると思いますか。(1つに○)

災害時に「ひとりでは避難できないと思う」は全体では 43.0%で、知的・難病および重度の人は6割を超えています。

■図表：災害時にひとりで避難できるか

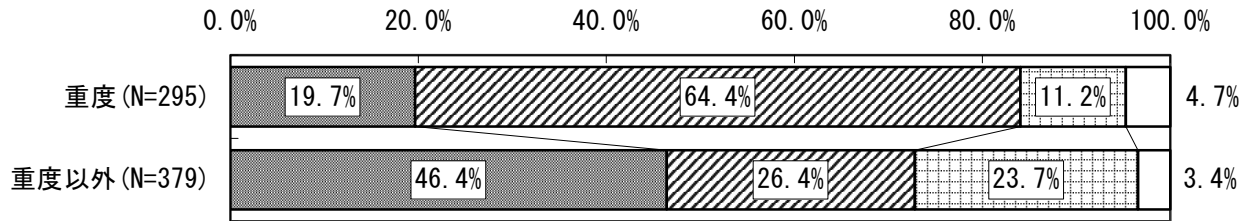


■図表：年齢別 災害時にひとりで避難できるか



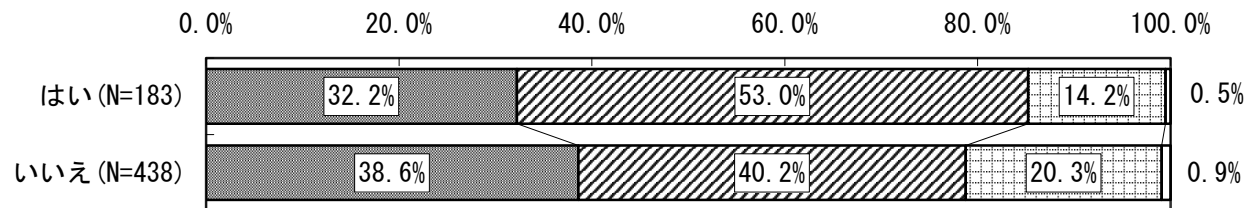
■ひとりで避難できると思う □ひとりででは避難できないと思う □わからない □無回答

■図表：障がい程度別 災害時にひとりで避難できるか



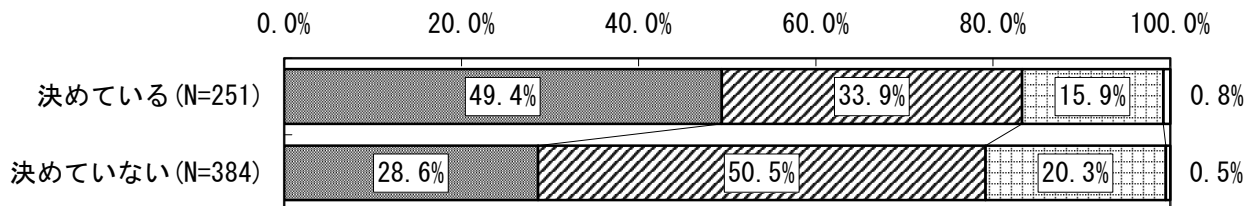
■ひとりで避難できると思う □ひとりででは避難できないと思う □わからない □無回答

■図表：「避難行動要支援者名簿」の認知度 × 災害時にひとりで避難できるか



■ひとりで避難できると思う □ひとりででは避難できないと思う □わからない □無回答

■図表：災害時に避難場所を決めているか × 災害時にひとりで避難できるか



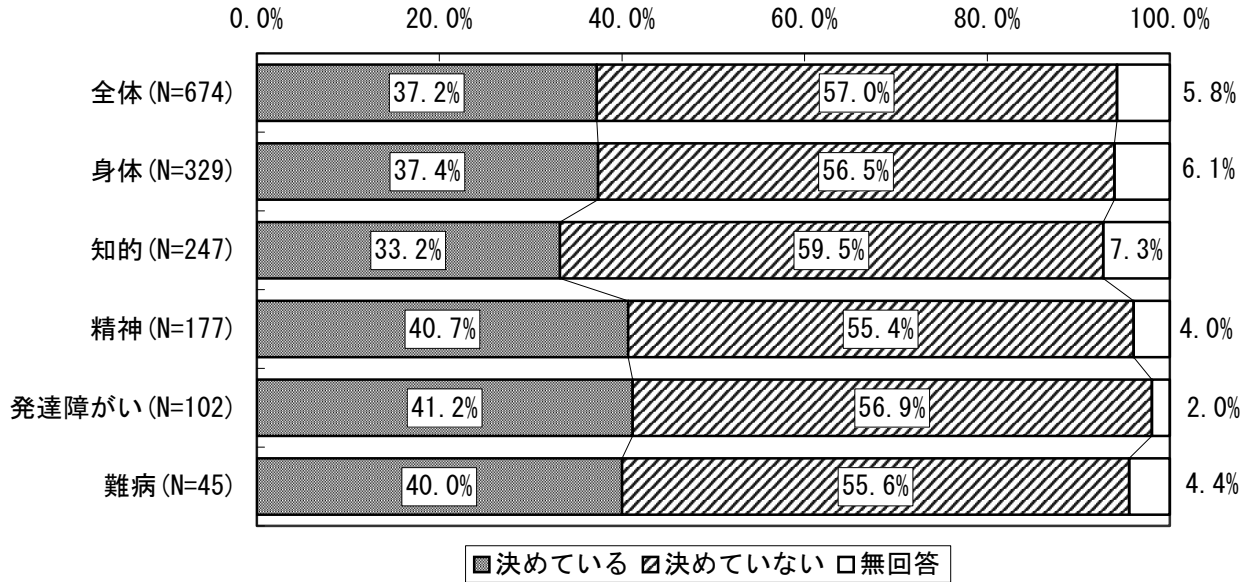
■ひとりで避難できると思う □ひとりででは避難できないと思う □わからない □無回答

(7) 災害時に避難場所を決めているか

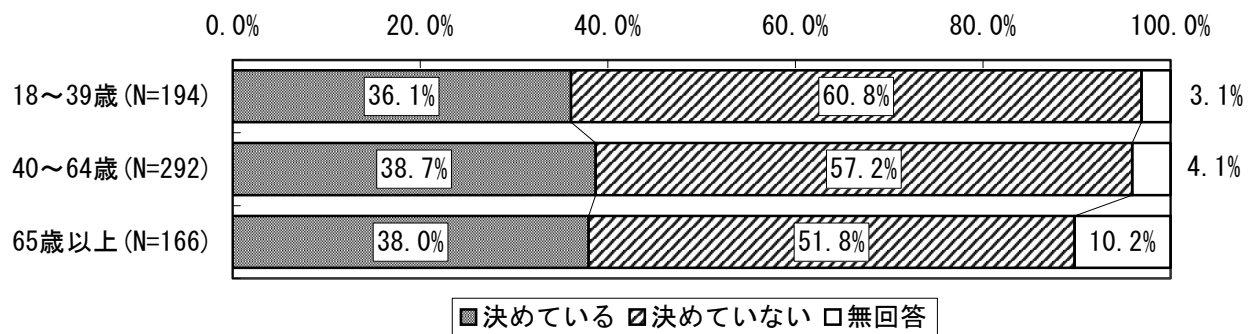
問 55 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたはどこに避難するか決めていますか。(1つに○)

災害時に避難場所を決めている人はおおむね4割弱となっています。

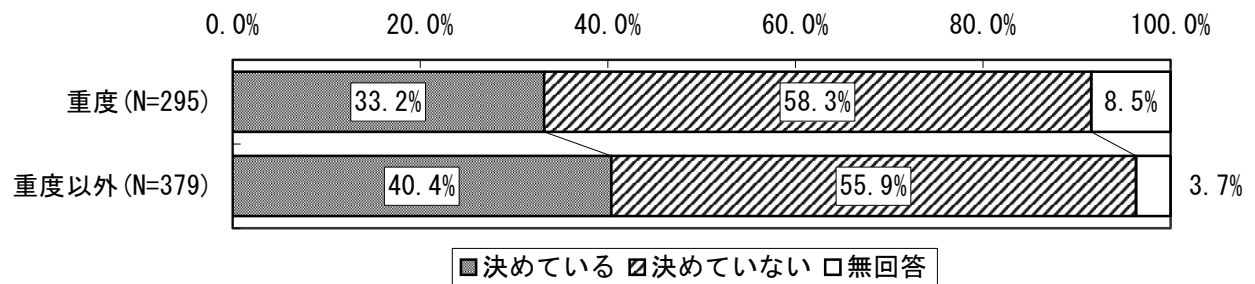
■図表：災害時に避難場所を決めているか



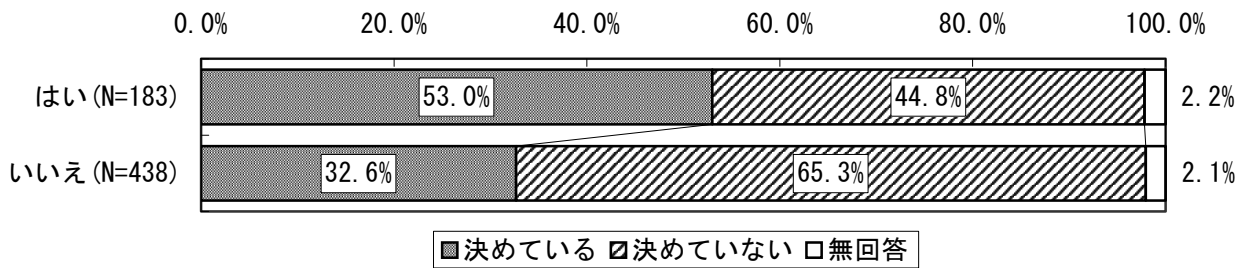
■図表：年齢別 災害時に避難場所を決めているか



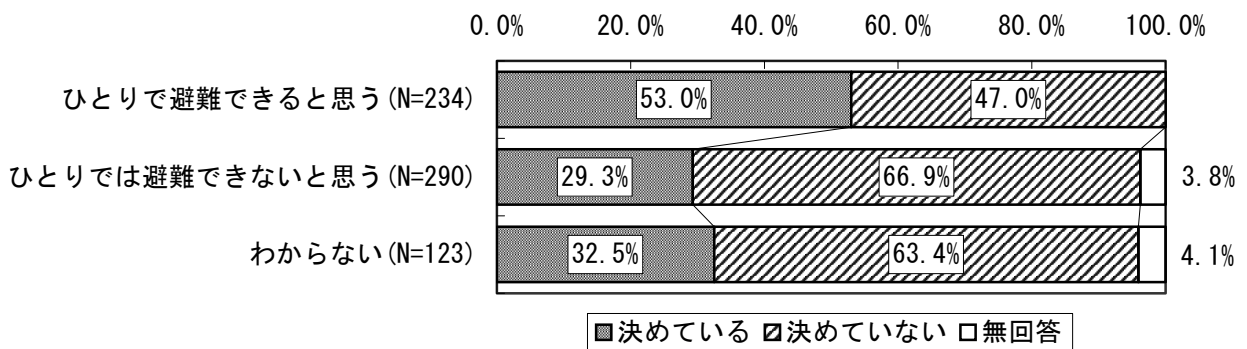
■図表：障がい程度別 災害時に避難場所を決めているか



■図表：「避難行動要支援者名簿」の認知度 × 災害時に避難場所を決めているか



■図表：災害時にひとりで避難できるか × 災害時に避難場所を決めているか

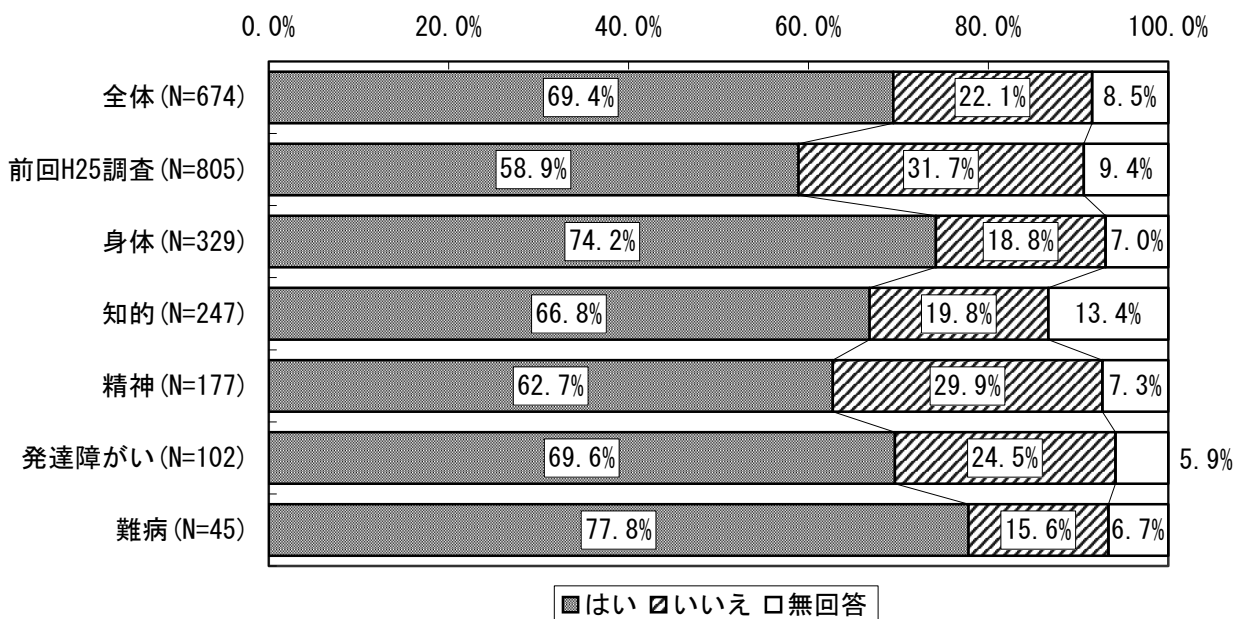


(8) 災害時の救援のための手帳情報の提供

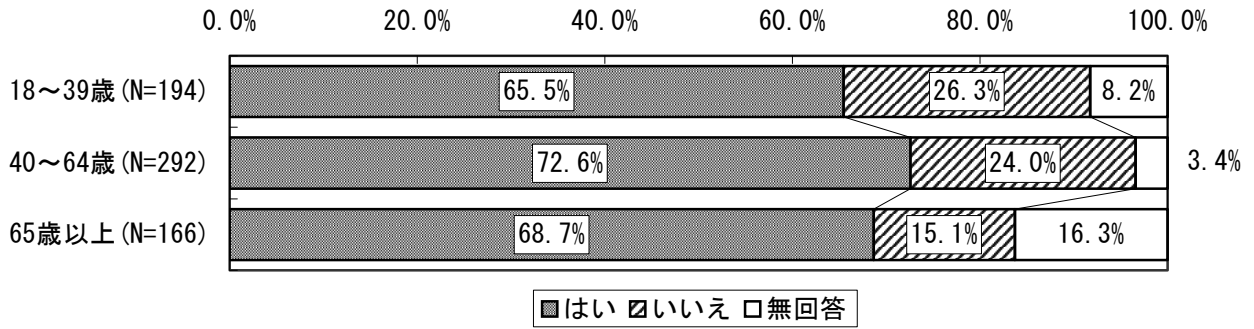
問 56 災害時の救援のために、個人情報の保護を条件として、あなたの手帳情報をあなたが了承する範囲で行政機関や自治会などに事前に伝えてもよいと思いますか。(1つに○)

災害時の救援のための手帳情報の提供をしてもよいという人は 69.4%で、前回より1割程度増加しています。

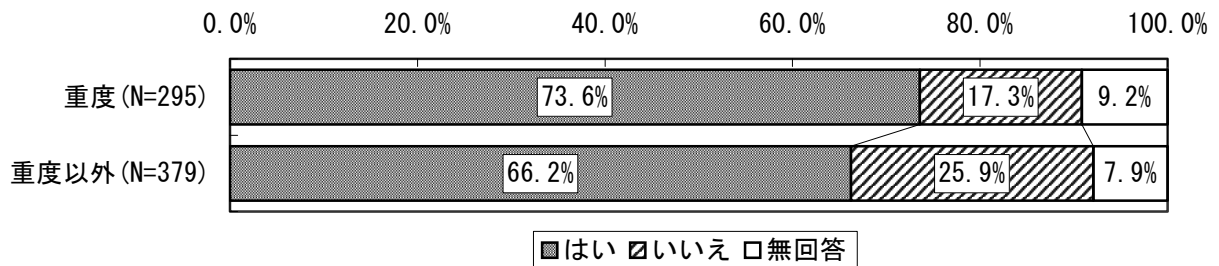
■図表：災害時の救援のための手帳情報の提供



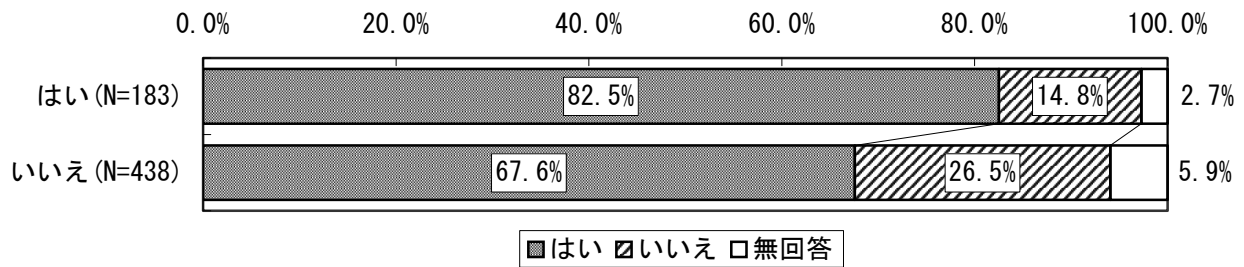
■ 図表：年齢別 災害時の救援のための手帳情報の提供



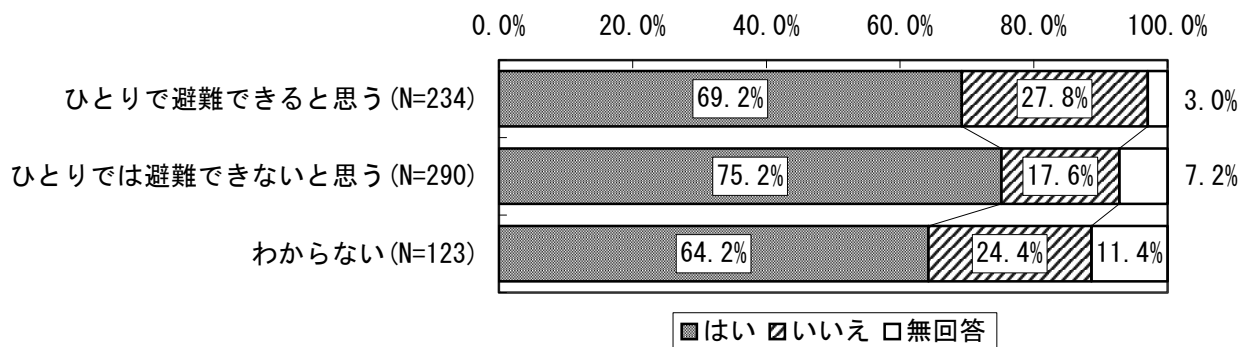
■ 図表：障がい程度別 災害時の救援のための手帳情報の提供



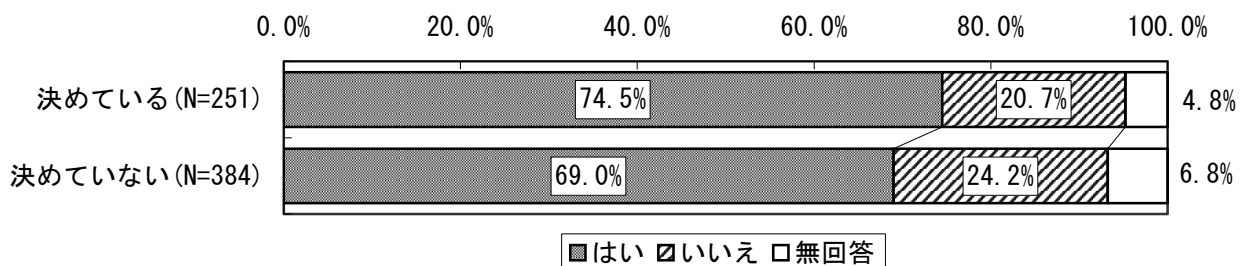
■ 図表：「避難行動要支援者名簿」の認知度 × 災害時の救援のための手帳情報の提供



■ 図表：災害時にひとりで避難できるか × 災害時の救援のための手帳情報の提供



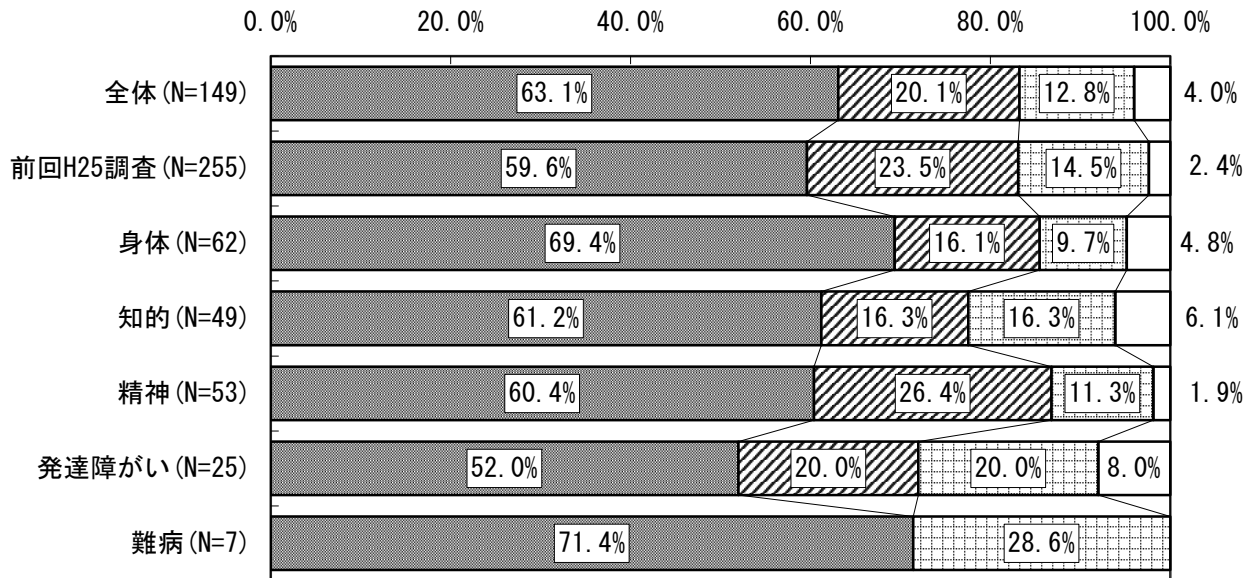
■ 図表：災害時に避難場所を決めているか × 災害時の救援のための手帳情報の提供



問 56 で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。
 問 57 それは主にどのような理由によりますか。(1つに○)

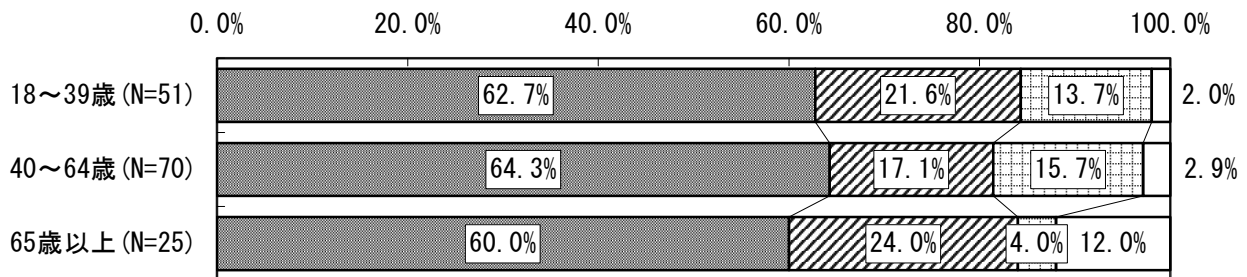
手帳情報の提供を望まない人について、理由をみると、「個人情報の流出が不安であるため」がいずれの属性でも5割以上を占めています。

■図表：手帳情報の提供を望まない理由



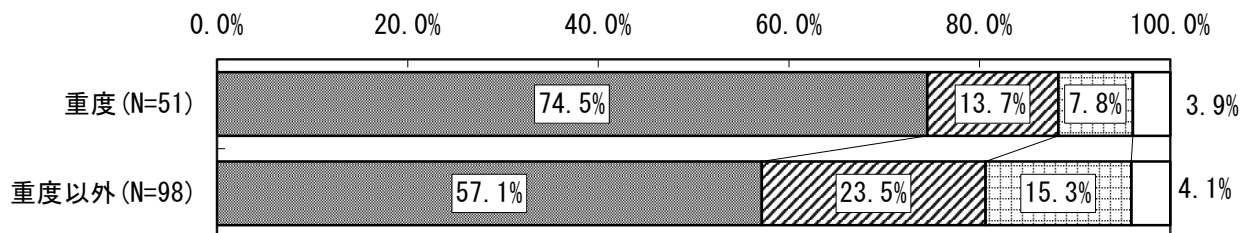
■個人情報の流出が不安であるため □情報を伝えても救援が期待できないため □その他 □無回答

■図表：年齢別 手帳情報の提供を望まない理由



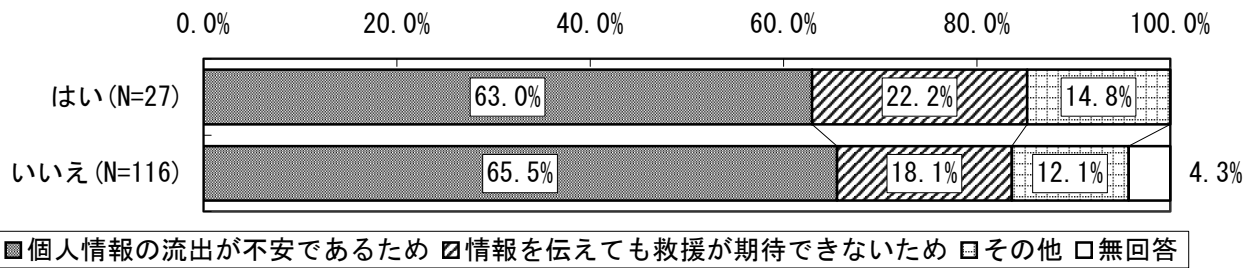
■個人情報の流出が不安であるため □情報を伝えても救援が期待できないため □その他 □無回答

■図表：障がい程度別 手帳情報の提供を望まない理由

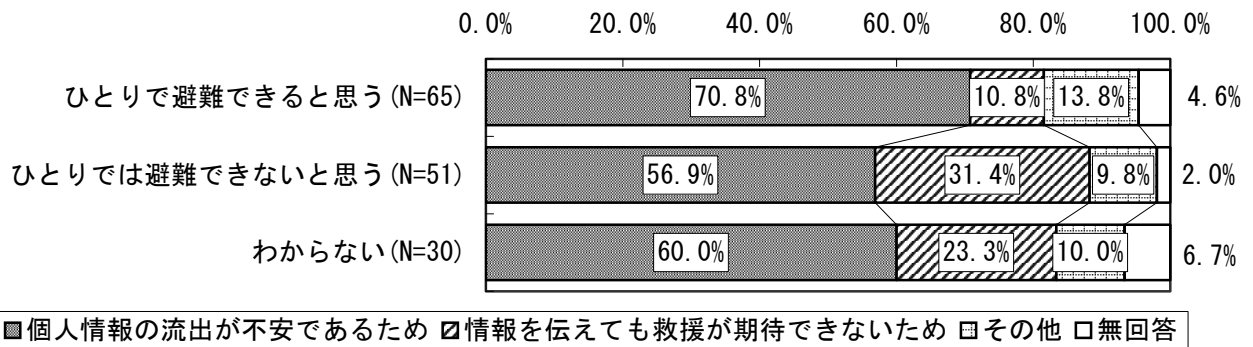


■個人情報の流出が不安であるため □情報を伝えても救援が期待できないため □その他 □無回答

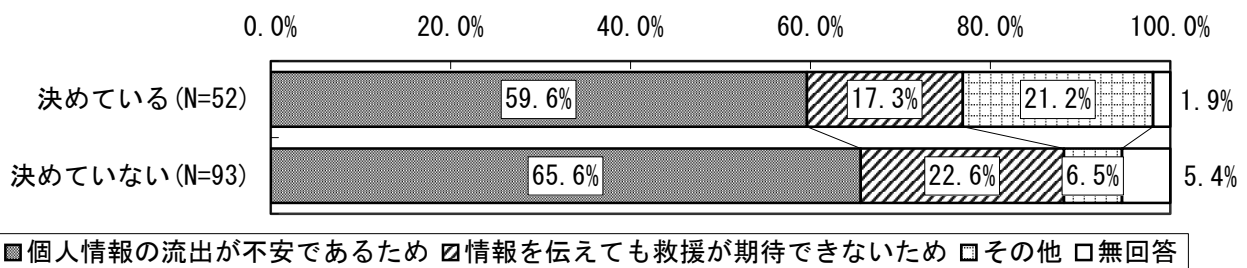
■図表：「避難行動要支援者名簿」の認知度 × 手帳情報の提供を望まない理由



■図表：災害時にひとりで避難できるか × 手帳情報の提供を望まない理由



■図表：災害時に避難場所を決めているか × 手帳情報の提供を望まない理由



(9) 災害発生時に支援してほしいこと

問 58 あなたは、災害発生時に支援してほしいこととして、どのようなことを特に望みますか。
(3つまでに○)

災害発生時に支援してほしいことをみると、「災害情報を知らせてほしい」が40.7%で最も多く、次いで「必要な治療や薬を確保してほしい」(35.9%)となっています。また、知的や難病、重度の人では「避難場所までの避難を支援してほしい」「避難場所で介護してほしい」「福祉避難所での支援」などが多くなっています。

■図表：災害発生時に支援してほしいこと（3つ以内で複数回答）

		有効回答数	災害情報を知らせてほしい	必要な治療や薬を確保してほしい	避難場所を教えてほしい	避難時の声かけをしてほしい	避難場所までの避難を支援してほしい	避難場所で介護してほしい	確保してほしい コミュニケーション手段を	手話通訳や要約筆記など、	避難場所の設備をバリアフリー化してほしい	福祉避難所での支援	その他	特にな
全体		674	40.7%	35.9%	21.2%	25.8%	23.1%	7.9%	2.7%	12.8%	20.0%	3.0%	9.6%	
前回		805	38.6%	33.3%	23.4%	18.4%	21.2%	7.0%	1.5%	7.3%	16.3%	1.7%	13.3%	
障がい種別	身体	329	41.3%	35.3%	21.0%	22.2%	22.8%	7.9%	4.3%	19.5%	19.1%	2.4%	11.6%	
	知的	247	30.4%	23.9%	21.9%	31.2%	31.6%	10.9%	2.0%	10.5%	32.4%	3.2%	5.7%	
	精神	177	44.1%	52.0%	20.3%	23.2%	17.5%	5.1%	1.7%	5.1%	14.7%	3.4%	9.6%	
	発達障がい 難病	102 45	36.3% 26.7%	32.4% 42.2%	24.5% 22.2%	34.3% 17.8%	26.5% 33.3%	4.9% 20.0%	3.9% 2.2%	5.9% 22.2%	26.5% 35.6%	3.9% 0.0%	5.9% 6.7%	
年齢	18～39歳	194	35.1%	30.4%	22.2%	26.8%	26.3%	7.2%	3.6%	10.3%	26.8%	2.6%	9.3%	
	40～64歳	292	44.5%	40.1%	22.3%	25.7%	19.2%	5.8%	3.8%	13.0%	18.5%	4.1%	11.6%	
	65歳以上	166	41.6%	33.7%	19.3%	24.7%	25.3%	12.7%	0.0%	15.1%	14.5%	1.8%	7.2%	
障がい程度	重度	295	30.8%	33.2%	18.3%	23.7%	33.6%	12.9%	4.1%	15.6%	31.9%	3.7%	7.1%	
	重度以外	379	48.3%	38.0%	23.5%	27.4%	15.0%	4.0%	1.6%	10.6%	10.8%	2.4%	11.6%	

2-5 保健・医療

(1) 体調を維持するために気を配っていること

問 59 あなたは、体調を維持するために、気を配っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

体調を維持するために気を配っていることをみると、「食事に気を付けている」が57.4%で最も多く、次いで「定期的に受診（健診）し、必要であれば服薬している」（51.9%）、「睡眠を十分にとっている」（45.0%）となっています。

■図表：体調を維持するために気を配っていること（複数回答）

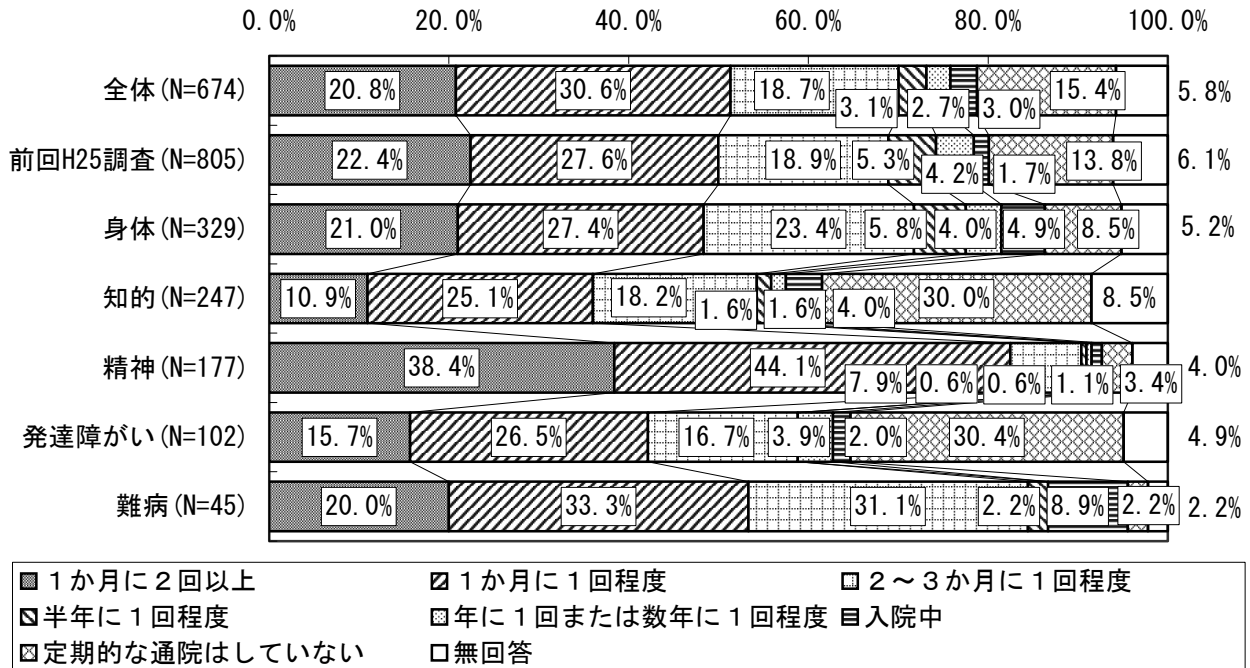
		有効回答数	食事に気を付けている	スポーツ・運動をしている	睡眠を十分にとっている	アルコールを控えている、またたばこを飲まない	定期的な受診（健診）し、必要であれば服薬している	解消しているストレス	趣味・レクリエーション	その他	特になし
全体		674	57.4%	24.2%	45.0%	31.8%	51.9%	22.6%	2.8%	9.9%	
前回		805	58.1%	24.5%	47.8%	29.1%	51.7%	24.6%	2.0%	6.6%	
障がい種別	身体	329	58.7%	28.3%	41.0%	29.8%	59.3%	21.3%	3.0%	8.8%	
	知的	247	60.3%	19.8%	49.0%	26.7%	41.3%	23.5%	2.8%	10.1%	
	精神	177	52.5%	23.7%	50.3%	39.0%	53.1%	21.5%	2.8%	7.3%	
	発達障がい難病	102	52.0%	22.5%	44.1%	35.3%	43.1%	26.5%	2.9%	13.7%	
年齢	18～39歳	194	57.2%	25.3%	49.0%	28.4%	45.4%	30.4%	2.1%	12.4%	
	40～64歳	292	57.2%	22.9%	43.5%	35.3%	53.8%	22.6%	2.4%	8.6%	
	65歳以上	166	60.8%	27.7%	41.6%	31.3%	56.6%	15.7%	4.8%	9.0%	
障がい程度	重度	295	59.0%	20.7%	45.4%	25.4%	53.2%	19.7%	4.4%	8.8%	
	重度以外	379	56.2%	26.9%	44.6%	36.7%	50.9%	24.8%	1.6%	10.8%	

(2) 現在の通院状況

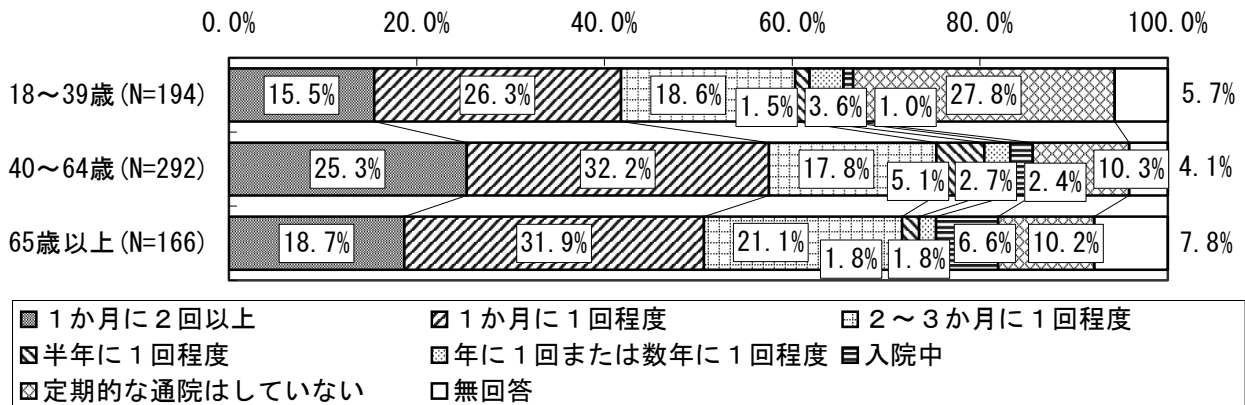
問 60 あなたの現在の通院状況（リハビリを含む）は、次のどれですか。（1つに○）

現在の通院状況をみると、知的と発達障がいには「定期的な通院はしていない」、それ以外の障がいでは「1か月に1回程度」がそれぞれ最も多くなっています。

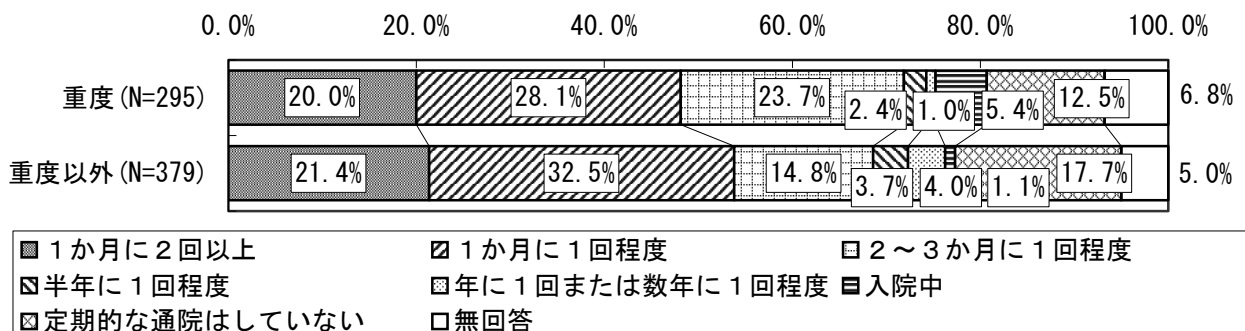
■図表：現在の通院状況



■図表：年齢別 現在の通院状況



■図表：障がい程度別 現在の通院状況

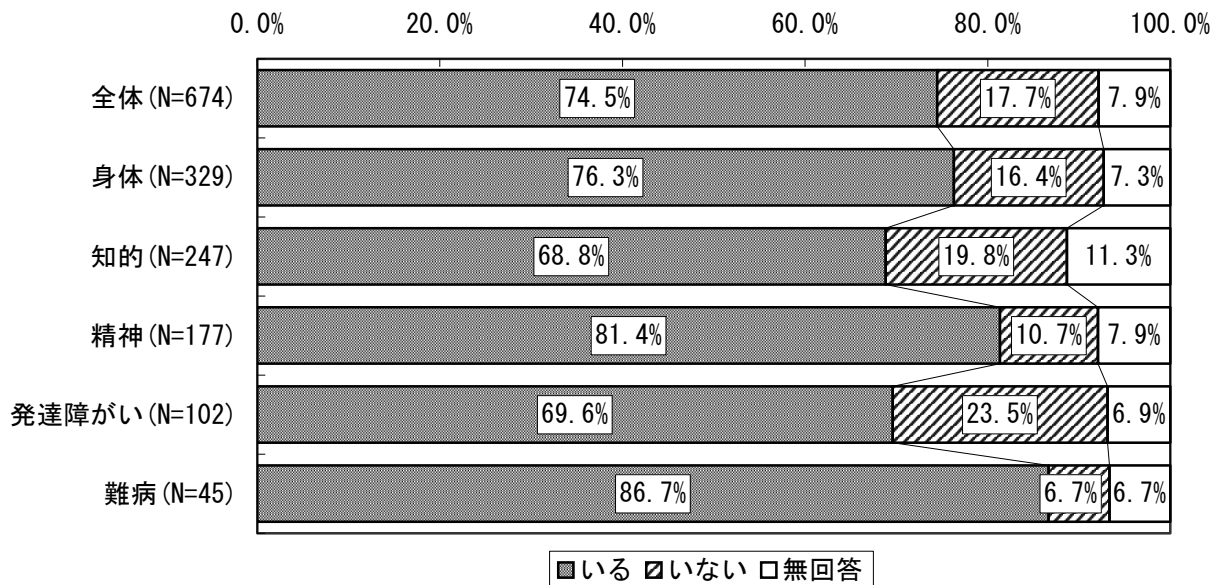


(3) 「かかりつけ医」の有無

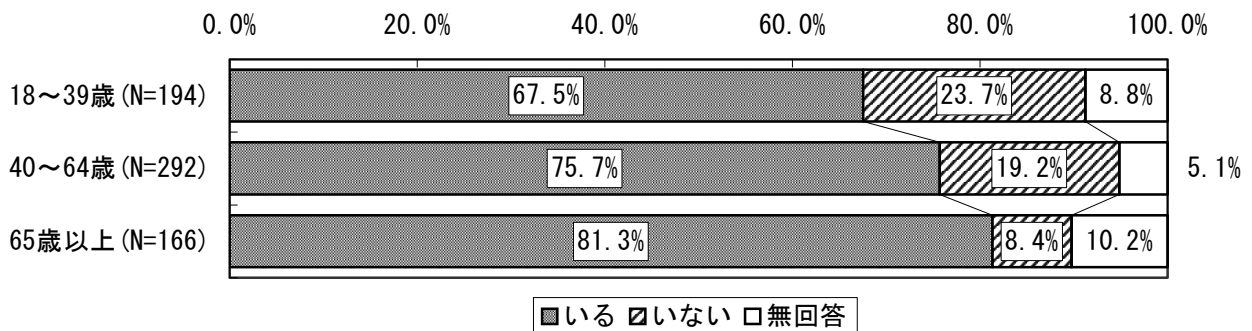
問 61 あなたは、特別な支援を必要とすることで普段から受診したり、相談したりできる、病院や診療所の「かかりつけ医」がいますか。(1つに○)

かかりつけ医がいる人は全体では 74.5%で、年齢別にみると高齢ほど、また難病・重度など症状の重い人ほど多くなっています。

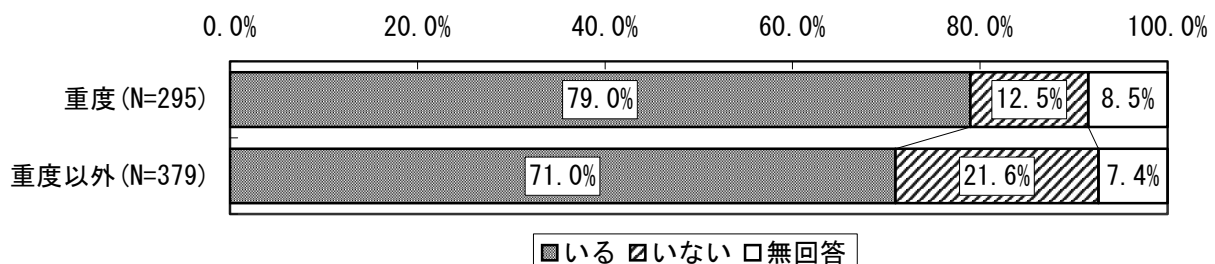
■図表：「かかりつけ医」の有無



■図表：年齢別 「かかりつけ医」の有無



■図表：障がい程度別 「かかりつけ医」の有無



(4) 夜間や休日に急に具合が悪くなったときの対応

問 62 あなたは、夜間や休日に急に具合が悪くなったときに、どのように対応しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

夜間や休日に急に具合が悪くなったときの対応をみると、「急に具合が悪くなったことはない」を除いて、精神では「薬を服用するなどして、病院や診療所の診察が始まるまで我慢した」、それ以外の障がいでは「救急・夜間休日診療で診てもらった」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：夜間や休日に急に具合が悪くなったときの対応（複数回答）

		有効回答数	「かかってもりつけた医にすぐ診てもらった」	「救急・夜間休日診療で診てもらった」	「救急車を呼んで病院で診てもらった」	「薬を服用するなどして、病院や診療所の診察が始まるまで我慢した」	「救急電話相談などで助言を受けた」	「何もしないで我慢した」	「その他」	「急に具合が悪くなったことはない」
全体		674	14.1%	21.7%	15.7%	15.4%	3.9%	8.3%	4.7%	28.6%
障がい種別	身体	329	14.3%	25.2%	21.3%	14.9%	4.3%	7.3%	3.3%	24.9%
	知的	247	18.2%	22.3%	9.3%	13.8%	3.6%	5.7%	5.7%	32.0%
	精神	177	11.9%	14.7%	15.8%	20.3%	6.2%	14.7%	5.1%	26.6%
	発達障がい	102	9.8%	26.5%	7.8%	13.7%	6.9%	12.7%	7.8%	38.2%
	難病	45	17.8%	28.9%	17.8%	17.8%	11.1%	4.4%	6.7%	24.4%
年齢	18～39歳	194	11.3%	25.3%	6.2%	19.6%	4.1%	9.8%	1.5%	32.5%
	40～64歳	292	12.7%	21.2%	17.5%	18.5%	4.5%	7.9%	4.8%	29.1%
	65歳以上	166	19.3%	16.9%	23.5%	6.6%	3.0%	7.2%	9.0%	24.7%
障がい程度	重度	295	17.6%	26.1%	18.0%	13.2%	5.4%	6.4%	5.8%	23.4%
	重度以外	379	11.3%	18.2%	14.0%	17.2%	2.6%	9.8%	4.0%	32.7%

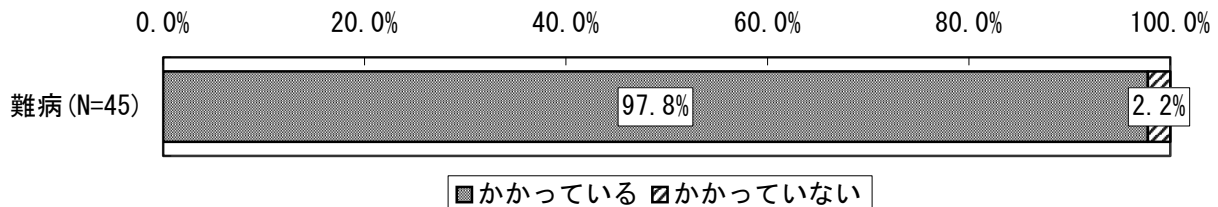
(5) 難病で専門病院を受診しているか

難病の認定を受けている方（問 15 で「1. 受けている」と回答した方）にお聞きします。

問 63 あなたは、病気のことで専門病院（診療所を含む）にかかっていますか。（1つに○）

難病の認定を受けている人は、ほとんどが専門病院を受診しています。

■図表：難病で専門病院を受診しているか



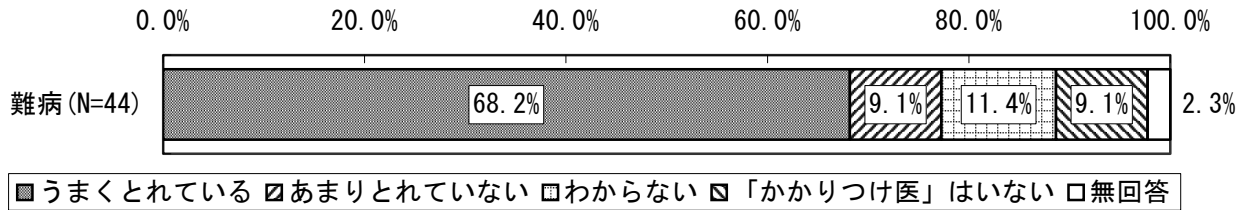
(6) 「かかりつけ医」と専門病院の医師との連携

問 63 で「1. かかっている」と回答した方にお聞きします。

問 64 あなたの「かかりつけ医」と専門病院の医師とは、あなたの病気のことで連絡・連携をうまくとれていますか。(1つに○)

難病で専門病院を受診している人の「かかりつけ医」と専門病院の医師との連携をみると、「うまくとれている」は68.2%となっています。

■図表：「かかりつけ医」と専門病院の医師との連携



(7) 医療を受ける上で特に困っていること

問 65 あなたは、医療を受ける上で特に困っていることはありますか。(3つまでに○)

医療を受ける上で特に困っていることをみると、「特にない」を除いて、「医療費の負担が大きい」が20.0%で最も多く、次いで「通院（病院までの移動）が困難である」(19.1%)となっています。

■図表：医療を受ける上で特に困っていること（3つ以内で複数回答）

	有効回答数	医療費の負担が大きい	通院（病院までの移動）が困難である	通院（病院までの移動）が困難である	入院時の付き添いがい	専門的な治療をする病	訪問看護を利用できな	往診を頼める医師がい	受けにくい理由で治療がす	特別な支援を必要とす	意思を伝えるのが難し	その他	特にない
全体	674	20.0%	13.5%	19.1%	5.9%	9.5%	0.9%	4.5%	3.1%	9.1%	4.7%	37.2%	
前回	805	19.5%	13.2%	15.0%	5.5%	11.2%	0.6%	3.4%	3.6%	5.2%	2.7%	37.6%	
障がい種別	身体	329	20.7%	13.7%	21.0%	5.2%	12.2%	1.2%	4.3%	2.1%	7.9%	5.8%	35.0%
	知的	247	15.4%	7.7%	16.2%	8.9%	6.1%	0.4%	2.8%	5.3%	15.4%	5.3%	38.1%
	精神	177	19.8%	22.0%	18.6%	7.9%	12.4%	1.7%	6.2%	2.8%	4.5%	3.4%	37.3%
	発達障がい	102	20.6%	14.7%	19.6%	10.8%	5.9%	1.0%	2.0%	5.9%	20.6%	3.9%	34.3%
難病	45	15.6%	15.6%	31.1%	8.9%	15.6%	2.2%	6.7%	2.2%	4.4%	6.7%	31.1%	

(8) 特別な支援の必要な人の保健・医療に関して必要なこと

問 66 あなたは、特別な支援の必要な人の保健・医療に関し、どのようなことが特に必要と思いますか。(2つまでに○)

支援の必要な人の保健・医療に関して必要なことをみると、「特別な支援の必要な人が安心して地域で医療を受けられる体制の整備」が最も多く、特に難病では7割を超えています。

■図表：特別な支援の必要な人の保健・医療に関して必要なこと（2つ以内で複数回答）

		有効回答数	特別な支援の必要な人の体制の整備	早期発見・早期療育（治療）	乳幼児健診とその後の育児相談の充実	保健・医療・福祉など関係機関の連携による医療確保	その他	特にない
全体		674	52.8%	18.5%	5.0%	35.8%	3.6%	17.1%
前回		805	56.6%	16.4%	2.5%	38.9%	1.7%	13.7%
障がい種別	身体	329	55.6%	17.3%	5.2%	38.6%	3.0%	13.7%
	知的	247	50.2%	14.2%	4.5%	29.1%	2.4%	23.5%
	精神	177	51.4%	26.6%	5.6%	41.2%	6.2%	13.6%
	発達障がい	102	49.0%	28.4%	5.9%	35.3%	2.9%	16.7%
	難病	45	73.3%	15.6%	6.7%	44.4%	2.2%	11.1%
障がい程度	重度	295	55.6%	12.9%	4.1%	34.2%	3.7%	16.9%
	重度以外	379	50.7%	23.0%	5.8%	36.9%	3.4%	17.2%

2-6 亀岡市の施策の満足度・重要度

(1) 障がい者施策の満足度と重要度

問 67 亀岡市の障がい者施策全般についてお聞きします。

- (1) 次の1～7の項目について、「現在の満足度」はどの程度になりますか。その程度をそれぞれの項目ごとに「満足」の「5」から「不満」の「1」までの中から1つ選んで○をつけてください。
- (2) 次に、「今後の重要度」について、市の障がい者施策でどの分野を重要視すべきかを「重要」の「5」から「重要でない」の「1」までの中から1つ選んで○をつけてください。

亀岡市の施策の満足度の平均をみると、「相談体制の充実」が3.09点で最も多く、次いで「在宅福祉サービスの充実」(3.04点)、「選挙における配慮」(3.00点)となっています。

重要度をみると、「経済的支援の充実」が4.25点で最も多く、次いで「障害を理由とする差別の解消」「防災対策の推進」(ともに4.23点)となっています。

■ 図表：障がい者施策の満足度・重要度

方針	施策	満足度		重要度	
		回答数	平均値	回答数	平均値
1 ふれあいと交流による「顔みえる」関係づくり	①障害を理由とする差別の解消	554	2.90	531	4.23
	②学校・家庭・地域における福祉教育の推進	524	2.86	510	4.07
	③交流・ふれあいの場の充実	525	2.90	514	3.88
	④ボランティア活動などへの支援	516	2.88	504	3.77
	⑤地域で支える基盤づくり	525	2.85	515	3.93
	⑥権利擁護の推進	507	2.86	501	3.86
2 地域生活を支える体制づくり	①在宅福祉サービスの充実	503	3.04	499	4.11
	②居住支援の充実	480	2.95	482	4.01
	③経済的支援の充実	523	2.78	514	4.25
	④保健・医療の充実等	517	2.83	518	4.22
3 障害や疾病等で支援が必要な子どもに対する福祉と教育の充実	①療育・保育・教育における支援体制の充実	462	2.92	460	4.09
	②インクルーシブ教育システムの構築	448	2.85	453	4.02
4 生きがいを持っていきいきと活動できる社会づくり	①総合的な就労支援	473	2.82	469	4.11
	②障害特性に応じた就労支援及び多様な就業の機会の確保	470	2.75	473	4.16
	③文化芸術活動、スポーツ等の振興	468	2.91	469	3.65
5 安心・安全な環境づくり	①福祉のまちづくりの推進	485	2.76	482	4.11
	②移動条件の整備	492	2.71	486	4.14
	③防災対策の推進	487	2.71	487	4.23
	④防犯対策の推進、消費者トラブルの防止及び被害からの救済	480	2.80	481	4.11
6 相談体制・情報提供の仕組みづくり	①相談体制の充実	515	3.09	501	4.11
	②情報アクセシビリティ（情報の利用しやすさ）の向上	470	2.81	473	3.96
7 行政サービス等における配慮の推進	①行政機関等における配慮及び障害者理解の促進等	509	2.98	500	4.15
	②選挙における配慮	501	3.00	484	3.82

※問 67 は第 3 期計画の施策についてたずねる設問のため、障害の「害」の字を漢字で表記しています。

■図表：障がい者施策の満足度 1 ふれあいと交流による「顔のみえる」関係づくり

		①障害を理由とする差別の解消	②学校・家庭・地域における福祉教育の推進	③交流・ふれあいの場の充実	④ボランティア活動などへの支援	⑤地域で支える基盤づくり	⑥権利擁護の推進
全体		2.90	2.86	2.90	2.88	2.85	2.86
障がい種別	身体	2.93	2.86	2.87	2.85	2.81	2.92
	知的	3.00	2.88	2.97	2.89	2.92	2.85
	精神	2.73	2.84	2.93	2.88	2.86	2.81
	発達	2.73	2.75	2.85	2.83	2.98	2.71
	難病	2.78	2.63	2.66	2.69	2.63	2.62
年齢	18～39歳	2.83	2.83	2.91	2.87	2.92	2.82
	40～64歳	2.88	2.87	2.91	2.89	2.82	2.86
	65歳以上	3.01	2.87	2.87	2.84	2.80	2.91
障がい程度	重度	2.91	2.82	2.84	2.79	2.79	2.83
	重度以外	2.89	2.89	2.95	2.95	2.89	2.88
居住地区	亀岡地区	2.78	2.85	2.89	2.98	2.89	2.90
	川東地区	3.10	2.93	3.02	2.84	2.77	2.87
	南部地区	2.88	2.88	2.87	2.87	2.87	2.77
	中部地区	2.93	2.87	2.93	2.73	2.78	2.82
	西部地区	2.77	2.57	2.79	2.74	2.79	2.73
	篠地区	3.00	3.01	2.93	3.03	3.03	2.95
	つつじヶ丘地区	2.97	2.84	2.83	2.80	2.75	2.87

■図表：障がい者施策の重要度 1 ふれあいと交流による「顔のみえる」関係づくり

		①障害を理由とする差別の解消	②学校・家庭・地域における福祉教育の推進	③交流・ふれあいの場の充実	④ボランティア活動などへの支援	⑤地域で支える基盤づくり	⑥権利擁護の推進
全体		4.23	4.07	3.88	3.77	3.93	3.86
障がい種別	身体	4.21	4.04	3.91	3.80	3.97	3.78
	知的	4.32	4.21	4.02	3.93	4.03	4.02
	精神	4.14	3.94	3.72	3.57	3.82	3.83
	発達	4.23	4.14	3.87	3.75	3.89	4.00
	難病	4.46	4.24	4.03	3.94	4.09	4.12
年齢	18～39歳	4.39	4.22	3.95	3.74	3.92	3.92
	40～64歳	4.16	4.04	3.76	3.75	3.90	3.82
	65歳以上	4.10	3.91	4.00	3.81	3.99	3.85
障がい程度	重度	4.30	4.12	3.95	3.85	4.02	3.91
	重度以外	4.17	4.03	3.83	3.72	3.87	3.82
居住地区	亀岡地区	4.14	4.02	3.75	3.63	3.74	3.77
	川東地区	4.51	4.39	4.36	4.20	4.47	4.18
	南部地区	4.41	3.93	3.74	3.61	3.83	3.61
	中部地区	4.27	4.12	3.98	3.92	4.05	4.06
	西部地区	3.83	3.69	3.69	3.57	3.70	3.69
	篠地区	4.23	4.13	3.84	3.69	3.89	3.86
	つつじヶ丘地区	4.24	4.05	3.90	3.82	4.02	3.75

■図表：障がい者施策の満足度 2 地域生活を支える体制づくり

		①在宅福祉サービスの充実	②居住支援の充実	③経済的支援の充実	④保健・医療の充実等
全体		3.04	2.95	2.78	2.83
障がい種別	身体	2.99	2.90	2.80	2.73
	知的	3.15	3.08	2.93	2.99
	精神	3.04	2.90	2.67	2.85
	発達	3.00	2.97	2.70	2.89
	難病	2.77	2.63	2.50	2.60
年齢	18～39歳	3.11	2.99	2.84	2.96
	40～64歳	3.01	2.93	2.71	2.75
	65歳以上	3.00	2.98	2.93	2.91
障がい程度	重度	3.04	2.92	2.83	2.79
	重度以外	3.04	2.97	2.75	2.87
居住地区	亀岡地区	3.08	2.95	2.69	2.80
	川東地区	3.07	3.10	2.86	2.86
	南部地区	3.10	2.75	2.84	2.70
	中部地区	3.06	3.05	2.90	2.95
	西部地区	2.75	2.71	2.45	2.64
	篠地区	3.19	3.10	2.99	2.99
	つつじヶ丘地区	2.86	2.81	2.82	2.73

■図表：障がい者施策の重要度 2 地域生活を支える体制づくり

		①在宅福祉サービスの充実	②居住支援の充実	③経済的支援の充実	④保健・医療の充実等
全体		4.11	4.01	4.25	4.22
障がい種別	身体	4.09	4.01	4.24	4.25
	知的	4.22	4.09	4.20	4.23
	精神	4.00	3.93	4.28	4.21
	発達	4.15	3.97	4.22	4.13
	難病	4.19	4.23	4.46	4.43
年齢	18～39歳	4.13	4.08	4.29	4.19
	40～64歳	4.07	3.96	4.29	4.25
	65歳以上	4.12	4.01	4.05	4.15
障がい程度	重度	4.20	4.14	4.26	4.31
	重度以外	4.03	3.90	4.24	4.15
居住地区	亀岡地区	3.96	3.85	4.09	4.06
	川東地区	4.53	4.41	4.62	4.56
	南部地区	4.03	4.04	4.14	4.10
	中部地区	4.14	4.09	4.25	4.32
	西部地区	3.86	3.70	4.17	4.00
	篠地区	4.16	4.04	4.32	4.29
	つつじヶ丘地区	4.17	4.08	4.34	4.26

■図表：障がい者施策の満足度 3 障害や疾病等で支援が必要な子どもに対する福祉と教育の充実

		①療育・保育・教育における支援体制の充実	②インクルーシブ教育システムの構築
全体		2.92	2.85
障がい種別	身体	2.88	2.81
	知的	3.04	2.89
	精神	2.88	2.80
	発達	2.95	2.69
	難病	2.68	2.65
年齢	18～39歳	2.99	2.92
	40～64歳	2.90	2.83
	65歳以上	2.91	2.84
障がい程度	重度	2.93	2.76
	重度以外	2.91	2.91
居住地区	亀岡地区	2.93	2.80
	川東地区	2.92	2.95
	南部地区	3.17	3.09
	中部地区	2.89	2.86
	西部地区	2.76	2.68
	篠地区	3.04	3.01
	つつじヶ丘地区	2.84	2.74

■図表：障がい者施策の重要度 3 障害や疾病等で支援が必要な子どもに対する福祉と教育の充実

		①療育・保育・教育における支援体制の充実	②インクルーシブ教育システムの構築
全体		4.09	4.02
障がい種別	身体	4.08	3.95
	知的	4.17	4.14
	精神	3.94	3.93
	発達	4.08	4.19
	難病	4.35	4.32
年齢	18～39歳	4.24	4.22
	40～64歳	4.01	3.91
	65歳以上	3.99	3.92
障がい程度	重度	4.14	4.05
	重度以外	4.05	4.00
居住地区	亀岡地区	3.95	3.92
	川東地区	4.34	4.27
	南部地区	3.91	3.74
	中部地区	4.20	4.07
	西部地区	3.93	4.00
	篠地区	4.10	4.07
	つつじヶ丘地区	4.17	4.07

■図表：障がい者施策の満足度 4 生きがいを持っていきいきと活動できる社会づくり

		①総合的な 就労支援	②障害特性 に応じた就 労支援及び 多様な就業 の機会の確 保	③文化芸術 活動、ス ポーツ等の 振興
全体		2.82	2.75	2.91
障がい 種別	身体	2.73	2.70	2.88
	知的	3.00	2.92	2.92
	精神	2.74	2.61	2.90
	発達	2.76	2.71	2.82
	難病	2.50	2.34	2.58
年齢	18～39歳	2.92	2.85	2.93
	40～64歳	2.78	2.72	2.92
	65歳以上	2.79	2.77	2.88
障がい 程度	重度	2.74	2.68	2.80
	重度以外	2.88	2.80	2.99
居住 地区	亀岡地区	2.76	2.66	2.88
	川東地区	2.86	2.80	3.00
	南部地区	3.00	2.96	3.00
	中部地区	2.93	2.82	2.86
	西部地区	2.93	2.81	2.92
	篠地区	2.96	2.96	2.99
	つつじヶ丘地区	2.60	2.65	2.93

■図表：障がい者施策の重要度 4 生きがいを持っていきいきと活動できる社会づくり

		①総合的な 就労支援	②障害特性 に応じた就 労支援及び 多様な就業 の機会の確 保	③文化芸術 活動、ス ポーツ等の 振興
全体		4.11	4.16	3.65
障がい 種別	身体	4.00	4.08	3.69
	知的	4.20	4.26	3.67
	精神	4.07	4.19	3.55
	発達	4.27	4.38	3.61
	難病	4.29	4.42	3.91
年齢	18～39歳	4.25	4.32	3.62
	40～64歳	4.07	4.14	3.66
	65歳以上	3.97	3.94	3.66
障がい 程度	重度	4.10	4.16	3.68
	重度以外	4.12	4.16	3.63
居住 地区	亀岡地区	4.05	4.13	3.52
	川東地区	4.33	4.45	3.88
	南部地区	3.88	4.00	3.65
	中部地区	4.22	4.18	3.76
	西部地区	4.00	3.96	3.38
	篠地区	4.08	4.21	3.60
	つつじヶ丘地区	4.09	4.17	3.78

■図表：障がい者施策の満足度 5 安心・安全な環境づくり

		①福祉のまちづくりの推進	②移動条件の整備	③防災対策の推進	④防犯対策の推進、消費者トラブルの防止及び被害からの救済
全体		2.76	2.71	2.71	2.80
障がい種別	身体	2.70	2.60	2.65	2.80
	知的	2.79	2.85	2.77	2.80
	精神	2.82	2.80	2.72	2.80
	発達	2.73	2.70	2.73	2.77
	難病	2.44	2.33	2.59	2.58
年齢	18～39歳	2.83	2.77	2.76	2.79
	40～64歳	2.75	2.71	2.71	2.81
	65歳以上	2.72	2.67	2.66	2.88
障がい程度	重度	2.64	2.65	2.62	2.75
	重度以外	2.85	2.76	2.78	2.84
居住地区	亀岡地区	2.76	2.68	2.64	2.76
	川東地区	2.70	2.61	2.64	2.64
	南部地区	2.88	2.77	2.84	2.88
	中部地区	2.76	2.71	2.71	2.84
	西部地区	2.84	2.44	2.72	2.89
	篠地区	2.88	2.95	2.86	2.93
	つつじヶ丘地区	2.63	2.75	2.73	2.82

■図表：障がい者施策の重要度 5 安心・安全な環境づくり

		①福祉のまちづくりの推進	②移動条件の整備	③防災対策の推進	④防犯対策の推進、消費者トラブルの防止及び被害からの救済
全体		4.11	4.14	4.23	4.11
障がい種別	身体	4.17	4.13	4.25	4.06
	知的	4.17	4.16	4.29	4.18
	精神	3.92	4.09	4.11	4.04
	発達	4.05	4.12	4.23	4.15
	難病	4.31	4.42	4.44	4.43
年齢	18～39歳	4.15	4.15	4.30	4.19
	40～64歳	4.07	4.14	4.20	4.08
	65歳以上	4.12	4.14	4.15	4.00
障がい程度	重度	4.16	4.17	4.30	4.13
	重度以外	4.07	4.11	4.17	4.09
居住地区	亀岡地区	3.99	4.00	4.16	3.98
	川東地区	4.31	4.50	4.61	4.49
	南部地区	4.04	4.15	4.20	4.16
	中部地区	4.21	4.15	4.32	4.21
	西部地区	4.11	4.00	4.19	3.97
	篠地区	4.00	4.11	4.05	4.05
	つつじヶ丘地区	4.17	4.27	4.17	4.03

■図表：障がい者施策の満足度 6 相談体制・情報提供の仕組みづくり

		①相談体制 の充実	②情報ア クセシビ リティの 向上
全体		3.09	2.81
障 が い 種 別	身体	3.02	2.78
	知的	3.34	2.85
	精神	2.98	2.84
	発達	3.14	2.77
	難病	2.91	2.64
年 齢	18～39歳	3.31	2.91
	40～64歳	2.98	2.77
	65歳以上	3.06	2.77
障 が い 程 度	重度	3.15	2.71
	重度以外	3.05	2.89
居 住 地 区	亀岡地区	3.07	2.78
	川東地区	3.05	2.80
	南部地区	3.15	2.76
	中部地区	3.11	2.78
	西部地区	3.03	2.83
	篠地区	3.19	2.97
	つつじヶ丘地区	3.11	2.79

■図表：障がい者施策の重要度 6 相談体制・情報提供の仕組みづくり

		①相談体制 の充実	②情報ア クセシビ リティの 向上
全体		4.11	3.96
障 が い 種 別	身体	4.01	3.94
	知的	4.21	3.93
	精神	4.13	3.99
	発達	4.18	3.97
	難病	4.13	4.06
年 齢	18～39歳	4.21	4.03
	40～64歳	4.07	3.96
	65歳以上	4.01	3.79
障 が い 程 度	重度	4.10	3.98
	重度以外	4.12	3.95
居 住 地 区	亀岡地区	4.03	3.89
	川東地区	4.55	4.23
	南部地区	3.88	3.60
	中部地区	4.10	4.10
	西部地区	3.90	3.69
	篠地区	4.15	3.93
	つつじヶ丘地区	4.13	4.02

■図表：障がい者施策の満足度 7 行政サービス等における配慮の推進

		①行政機関等における配慮及び障害者理解の促進等	②選挙における配慮
全体		2.98	3.00
障がい種別	身体	2.96	2.95
	知的	3.13	3.06
	精神	2.95	2.99
	発達	2.92	2.99
年齢	難病	2.73	2.79
	18～39歳	3.06	3.06
	40～64歳	2.94	3.00
障がい程度	65歳以上	2.97	2.90
	重度	3.01	2.89
居住地区	重度以外	2.96	3.08
	亀岡地区	2.91	2.99
	川東地区	2.90	2.98
	南部地区	3.15	2.96
	中部地区	3.02	3.02
	西部地区	2.81	2.96
	篠地区	3.22	3.22
つつじヶ丘地区	3.00	2.84	

■図表：障がい者施策の重要度 7 行政サービス等における配慮の推進

		①行政機関等における配慮及び障害者理解の促進等	②選挙における配慮
全体		4.15	3.82
障がい種別	身体	4.12	3.83
	知的	4.22	3.91
	精神	4.14	3.77
	発達	4.28	3.84
年齢	難病	4.16	3.94
	18～39歳	4.27	3.77
	40～64歳	4.09	3.84
障がい程度	65歳以上	4.07	3.82
	重度	4.19	3.88
居住地区	重度以外	4.12	3.77
	亀岡地区	4.03	3.68
	川東地区	4.43	4.19
	南部地区	4.00	3.48
	中部地区	4.27	3.98
	西部地区	4.13	3.77
	篠地区	4.09	3.76
つつじヶ丘地区	4.17	3.90	

(2) 相談機関や窓口の認知度

問 68 あなたが、心身に生活のしづらさを抱えている人を支援する機関や窓口として、知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

相談機関や窓口の認知度をみると、「障害者相談支援センター『お結び』」は認知度の高い南部地区(47.4%)と低い西部地区(25.6%)で20ポイント以上差があり、地区によって認知度が大きく異なっています。

■図表：相談機関や窓口の認知度（複数回答）

		有効回答数	京都障害者職業相談室	支援者・就労・生活	「お結び」障害者相談支援センター	指定特定事業所
全体		674	13.8%	26.9%	34.9%	5.3%
障がい種別	身体	329	12.2%	17.6%	27.4%	4.3%
	知的	247	12.6%	34.8%	55.1%	9.3%
	精神	177	14.1%	29.9%	27.7%	2.8%
	発達障がい	102	19.6%	48.0%	53.9%	6.9%
	難病	45	17.8%	13.3%	44.4%	8.9%
年齢	18～39歳	194	18.0%	38.7%	49.0%	5.2%
	40～64歳	292	15.8%	27.1%	36.6%	3.8%
	65歳以上	166	6.0%	12.7%	15.7%	8.4%
障がい程度	重度	295	11.2%	23.1%	41.4%	8.1%
	重度以外	379	15.8%	29.8%	29.8%	3.2%
居住地区	亀岡地区	203	15.3%	30.5%	36.5%	3.4%
	川東地区	65	7.7%	16.9%	33.8%	12.3%
	南部地区	38	21.1%	28.9%	47.4%	10.5%
	中部地区	130	10.0%	30.8%	35.4%	4.6%
	西部地区	43	16.3%	32.6%	25.6%	4.7%
	篠地区	105	18.1%	22.9%	29.5%	3.8%
	つつじヶ丘地区	76	9.2%	19.7%	35.5%	6.6%

(3) 現在の生活全般の幸福度

問 69 生活全般において現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。(1つに○)

現在の生活全般の幸福度は平均5.98点で、精神がもっとも低くなっています。

■図表：現在の生活全般の幸福度

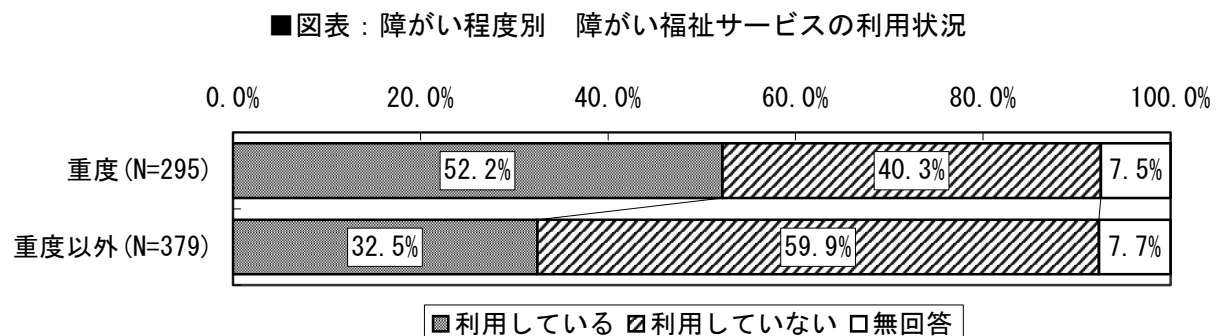
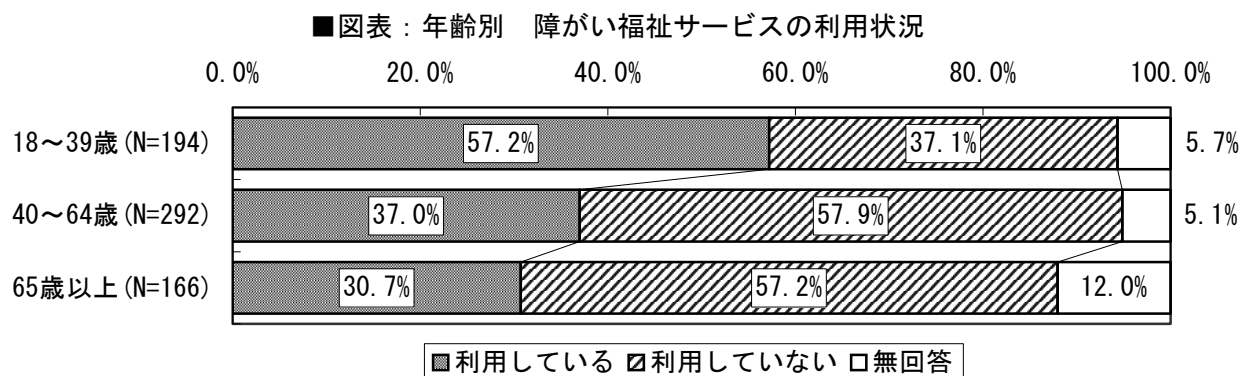
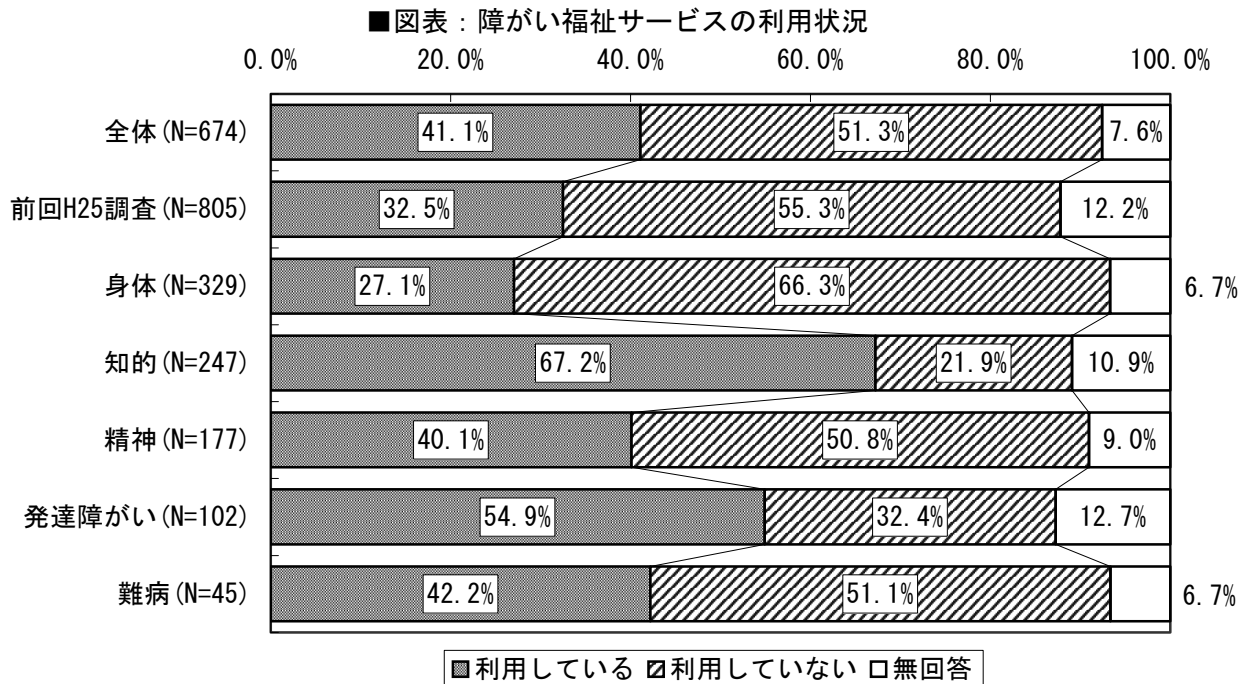
		回答数	平均値
全体		585	5.98
障がい種別	身体	286	6.08
	知的	210	6.42
	精神	155	5.31
	発達	92	5.74
	難病	39	5.82
年齢	18～39歳	177	6.22
	40～64歳	260	5.76
	65歳以上	131	6.31
障がい程度	重度	255	6.21
	重度以外	330	5.81

2-7 障がい福祉サービス

(1) 障がい福祉サービスの利用状況

問 70 あなたは現在、障がい福祉サービスを利用していますか。(1つに○)

障がい福祉サービスの利用状況を見ると、知的と発達障がいでは5割以上が利用しています。



(2) 利用しているサービス

問 70 で「1. 利用している」と回答した方にお聞きします。
 問 71 あなたは、下記のうち、どのサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)
 ※サービスの内容については、同封の「別紙：【サービスの用語説明】」をご覧ください。

障がい福祉サービスを利用している人について、利用しているサービスをみると、身体と難病では「日常生活用具給付事業」、知的と発達障がいでは「生活介護」（発達障がいでは「計画相談支援」も同率）、精神では「就労継続支援〔B型〕」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：利用しているサービス（複数回答）

		有効回答数	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	生活介護	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援「A型」	就労継続支援「B型」	就労定着支援	療養介護
全体		277	13.0%	3.2%	4.3%	4.0%	1.1%	24.5%	5.4%	3.6%	9.4%	23.1%	2.9%	1.4%
前回		262	15.3%	2.7%	4.6%	7.6%	1.9%	17.9%	8.8%	1.9%	5.3%	20.2%	2.7%	1.9%
障がい種別	身体	89	21.3%	5.6%	7.9%	1.1%	3.4%	24.7%	11.2%	2.2%	4.5%	9.0%	0.0%	2.2%
	知的	166	13.3%	2.4%	4.2%	5.4%	1.8%	39.2%	4.2%	4.2%	8.4%	26.5%	2.4%	2.4%
	精神	71	11.3%	7.0%	1.4%	1.4%	0.0%	5.6%	4.2%	2.8%	12.7%	29.6%	5.6%	0.0%
	発達障がい	56	10.7%	3.6%	3.6%	10.7%	0.0%	37.5%	1.8%	8.9%	8.9%	32.1%	7.1%	0.0%
難病	19	21.1%	10.5%	15.8%	10.5%	0.0%	21.1%	10.5%	0.0%	10.5%	21.1%	0.0%	5.3%	
		有効回答数	短期入所（ショートステイ）	意思疎通支援事業	日常生活用具給付等事業	移動支援事業（ガイドヘルパー派遣）	地域活動支援センター	訪問入浴サービス事業	日中一時支援事業	自立生活援助	共同生活援助（グループホーム）	施設入所支援	計画相談支援	その他
全体		277	15.2%	0.7%	9.7%	15.2%	6.1%	3.6%	10.1%	1.8%	10.5%	9.4%	24.9%	5.1%
前回		262	19.1%	1.5%	9.5%	16.8%	6.5%	3.4%	13.4%	1.8%	5.0%	9.9%	24.8%	7.3%
障がい種別	身体	89	18.0%	2.2%	29.2%	15.7%	3.4%	10.1%	10.1%	2.2%	9.0%	6.7%	20.2%	6.7%
	知的	166	21.1%	0.0%	4.2%	21.1%	4.2%	3.0%	15.7%	1.8%	15.1%	13.9%	34.9%	2.4%
	精神	71	7.0%	0.0%	1.4%	5.6%	11.3%	4.2%	2.8%	1.4%	7.0%	5.6%	14.1%	7.0%
	発達障がい	56	19.6%	0.0%	1.8%	19.6%	5.4%	0.0%	16.1%	0.0%	7.1%	8.9%	37.5%	3.6%
難病	19	10.5%	0.0%	31.6%	26.3%	5.3%	5.3%	10.5%	0.0%	15.8%	5.3%	31.6%	5.3%	

※前回調査のみに存在するサービス（移動支援事業：6.5%、共同生活介護（ケアホーム）：6.1%、指定相談支援：2.7%）は省略

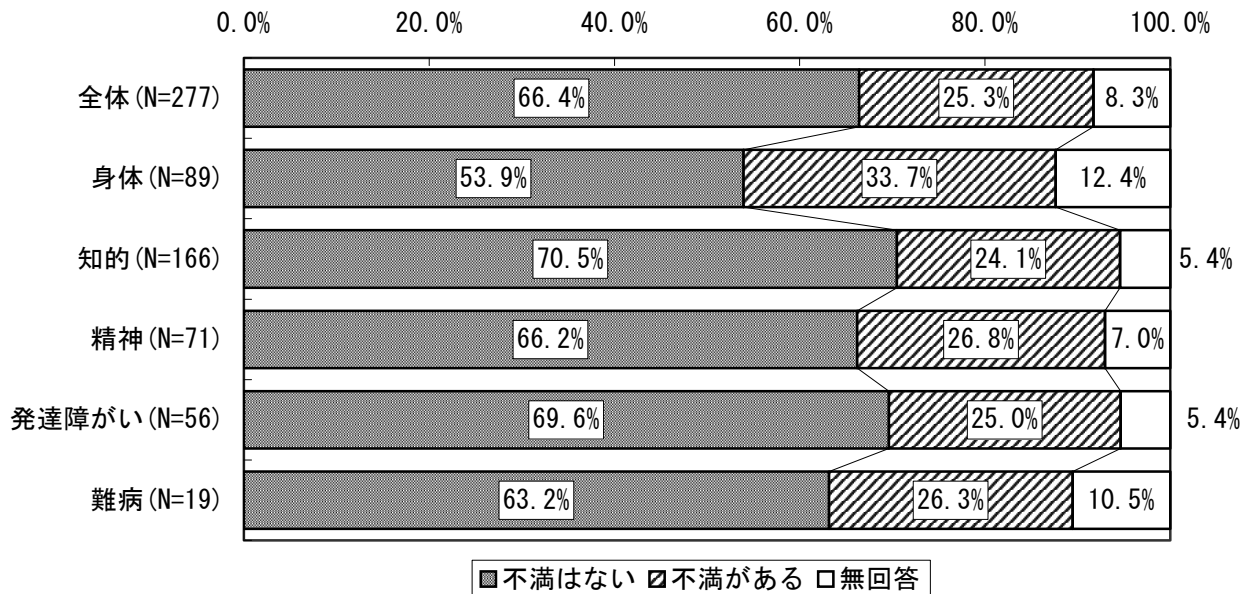
(3) 現在利用しているサービスの不満

問 70 で「1. 利用している」と回答した方にお聞きします。

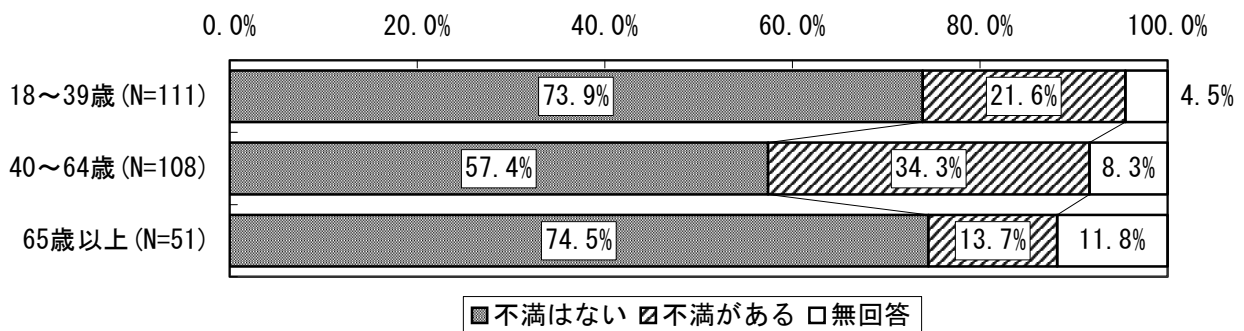
問 72 現在利用しているサービスで不満な点がありますか。(1つに〇)

現在利用しているサービスに不満がある人は全体の 25.3%で、身体・40~64 歳・重度の人が比較的不満が多くなっています。

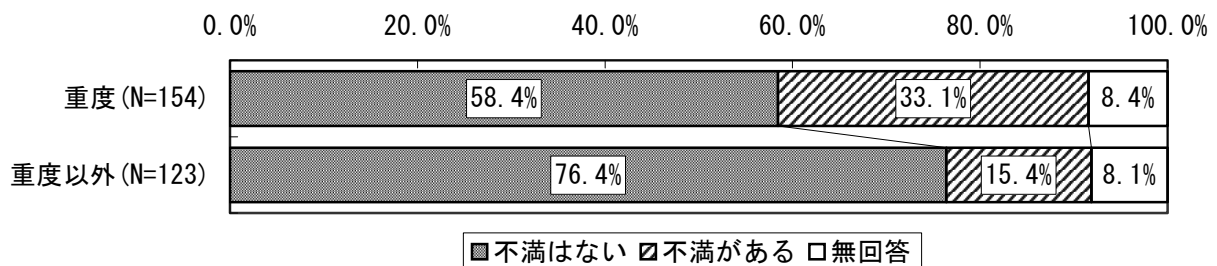
■ 図表：現在利用しているサービスの不満



■ 図表：年齢別 現在利用しているサービスの不満



■ 図表：障がい程度別 現在利用しているサービスの不満



(4) 不満の内容

問 72 で「2. 不満がある」と回答した方にお聞きします。

問 73 どのような不満がありますか（1つに○）

現在利用しているサービスに不満がある人について、不満の内容をみると、「その他」を除いて、精神では「通うのが大変」、難病では「対応してもらえない（利用できる）事業所が少ない」、それ以外では「緊急時の利用がしにくい」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：不満の内容¹

	有効回答数	緊急時の利用がしにくい	土日など休日の利用が集中する	希望した日時に利用できない	サービスをおり時間まで	利用者が多数などの理由	対応してもらえない（利用できる）事業所が少ない	利用できない時間（支給量）が少ない	必要な設備が不十分	職員の理解を得られない	通うのが大変	その他
全体	70	20.0%	10.0%	10.0%	4.3%	15.7%	8.6%	8.6%	8.6%	10.0%	25.7%	
障がい種別	身体	30	26.7%	10.0%	3.3%	0.0%	13.3%	6.7%	10.0%	3.3%	0.0%	20.0%
	知的	40	20.0%	15.0%	12.5%	5.0%	17.5%	10.0%	5.0%	7.5%	2.5%	27.5%
	精神	19	21.1%	0.0%	10.5%	5.3%	15.8%	0.0%	10.5%	15.8%	31.6%	26.3%
	発達障がい	14	21.4%	14.3%	14.3%	7.1%	21.4%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	35.7%
	難病	5	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

¹ 複数の項目に○をつけた回答が多かったため、複数回答として処理しました。

(5) 今後利用したい障がい福祉サービス

問 74 あなたが、今後利用したいと思う障がい福祉サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)
 ※サービスの内容については、同封の「別紙：【サービスの用語説明】」をご覧ください。

今後利用したい障がい福祉サービスをみると、身体と難病では「居宅介護」、知的では「共同生活援助（グループホーム）」、精神では「就労継続支援〔A型〕」、発達障がいでは「生活介護」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：今後利用したい障がい福祉サービス（複数回答）

		有効回答数	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	行動援護	支度援助 重度障害者等包括	生活介護	自立訓練 （機能訓練） 生活訓練	就労移行支援	就労継続支援 〔A型〕	就労継続支援 〔B型〕	就労定着支援	療養介護
全体		674	14.5%	4.7%	5.6%	4.7%	2.4%	12.9%	6.7%	5.5%	8.0%	6.2%	5.6%	2.8%
前回		805	13.5%	3.4%	3.5%	6.3%	1.7%	10.2%	7.2%	4.7%	6.5%	7.5%		3.9%
障がい種別	身体	329	18.5%	5.8%	4.9%	2.7%	3.6%	13.1%	7.3%	3.6%	3.6%	3.0%	2.7%	4.3%
	知的	247	13.0%	2.8%	8.1%	8.1%	2.4%	19.4%	6.1%	3.6%	6.5%	10.1%	6.5%	2.8%
	精神	177	11.9%	7.3%	5.1%	4.5%	1.1%	7.9%	9.0%	11.3%	15.3%	9.0%	8.5%	1.1%
	発達障がい 難病	102 45	11.8% 28.9%	2.0% 13.3%	9.8% 11.1%	10.8% 4.4%	1.0% 8.9%	19.6% 22.2%	5.9% 8.9%	5.9% 4.4%	10.8% 4.4%	9.8% 6.7%	12.7% 4.4%	1.0% 8.9%
年齢	18～29歳	84	9.5%	1.2%	4.8%	7.1%	1.2%	14.3%	7.1%	4.8%	7.1%	10.7%	10.7%	2.4%
	30～39歳	110	12.7%	6.4%	7.3%	7.3%	3.6%	11.8%	9.1%	4.5%	14.5%	10.9%	6.4%	1.8%
	40～49歳	92	10.9%	6.5%	3.3%	5.4%	2.2%	10.9%	5.4%	8.7%	13.0%	10.9%	10.9%	0.0%
	50～59歳	125	15.2%	5.6%	8.0%	2.4%	2.4%	15.2%	9.6%	8.8%	11.2%	6.4%	5.6%	2.4%
	60～69歳	121	24.0%	5.0%	8.3%	5.0%	2.5%	13.2%	5.0%	5.8%	5.0%	2.5%	2.5%	5.8%
	70～79歳	80	13.8%	0.0%	1.3%	2.5%	1.3%	11.3%	2.5%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%
	80歳以上	40	12.5%	7.5%	0.0%	0.0%	5.0%	12.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%
障がい程度	重度	295	17.3%	5.8%	8.1%	6.8%	4.1%	19.7%	6.8%	2.7%	2.7%	5.1%	3.7%	3.7%
	重度以外	379	12.4%	4.0%	3.7%	3.2%	1.1%	7.7%	6.6%	7.7%	12.1%	7.1%	7.1%	2.1%
		有効回答数	短期入所（ショートステイ）	意思疎通支援事業	日常生活用具給付等事業	移動ヘルパー派遣（ガイド）	地域活動支援センター	訪問入浴サービス	日中一時支援事業	自立生活援助	グループホーム（グループ生活援助）	施設入所支援	計画相談支援	その他
全体		674	11.6%	1.8%	8.0%	9.8%	4.3%	4.9%	5.6%	4.5%	11.1%	9.8%	9.2%	6.4%
前回		805	12.8%	1.7%	9.6%	8.8%	5.5%		5.3%		8.9%	8.6%		7.5%
障がい種別	身体	329	11.2%	2.7%	14.6%	8.2%	3.0%	7.6%	4.0%	4.9%	5.5%	8.5%	7.0%	6.1%
	知的	247	19.0%	1.2%	2.8%	17.8%	3.2%	4.5%	10.5%	4.0%	24.3%	15.4%	14.6%	4.9%
	精神	177	4.0%	0.6%	4.5%	5.6%	8.5%	4.0%	4.5%	3.4%	6.2%	6.8%	5.6%	9.0%
	発達障がい 難病	102 45	18.6% 20.0%	0.0% 2.2%	2.9% 24.4%	14.7% 15.6%	3.9% 8.9%	2.0% 11.1%	12.7% 6.7%	4.9% 6.7%	18.6% 8.9%	9.8% 11.1%	13.7% 13.3%	8.8% 6.7%
年齢	18～29歳	84	23.8%	2.4%	3.6%	20.2%	3.6%	3.6%	14.3%	3.6%	20.2%	6.0%	10.7%	6.0%
	30～39歳	110	15.5%	2.7%	5.5%	19.1%	2.7%	0.0%	4.5%	3.6%	16.4%	8.2%	10.0%	5.5%
	40～49歳	92	7.6%	1.1%	8.7%	8.7%	4.3%	3.3%	6.5%	8.7%	10.9%	7.6%	8.7%	10.9%
	50～59歳	125	5.6%	3.2%	16.8%	8.0%	5.6%	6.4%	5.6%	5.6%	7.2%	8.0%	5.6%	3.2%
	60～69歳	121	11.6%	0.0%	6.6%	3.3%	5.0%	8.3%	2.5%	5.8%	6.6%	14.0%	11.6%	9.1%
	70～79歳	80	3.8%	0.0%	5.0%	1.3%	2.5%	5.0%	1.3%	1.3%	5.0%	10.0%	8.8%	8.8%
	80歳以上	40	15.0%	0.0%	10.0%	10.0%	5.0%	7.5%	5.0%	0.0%	10.0%	15.0%	10.0%	0.0%
障がい程度	重度	295	18.0%	3.1%	9.5%	17.3%	2.7%	7.5%	9.5%	3.4%	18.6%	15.9%	11.5%	5.1%
	重度以外	379	6.6%	0.8%	6.9%	4.0%	5.5%	2.9%	2.6%	5.3%	5.3%	5.0%	7.4%	7.4%

2-8 医療的ケアについて

(1) 必要な医療的ケア

問 75 あなたは、どのような医療的ケア（服薬や通院を除く）が必要ですか。

（あてはまるものすべてに○）

※医療的ケアとは、たんの吸引、導尿、経管栄養、人工呼吸器管理など、基本的に医療職や家族等にしか認められていない医療的な生活援助行為のことです。

医療的ケアは、難病を除いて5割以上が「必要でない」と回答しています。

■図表：必要な医療的ケア（複数回答）

		有効回答数	必要でないケアは	膀胱留置力	導尿	摘便	人工肛門の造	胃ろう	経管栄養	装着人工呼吸器の
全体		674	61.9%	0.6%	1.2%	1.6%	0.6%	1.0%	0.9%	1.2%
前回		805	48.0%	0.6%	0.5%	0.9%	0.9%	0.9%	0.1%	0.4%
障がい種別	身体	329	55.0%	0.9%	2.1%	2.7%	1.2%	1.5%	1.5%	2.1%
	知的	247	60.7%	0.8%	0.8%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%	0.4%
	精神	177	62.1%	0.6%	1.1%	1.1%	0.6%	0.6%	1.1%	0.6%
	発達障がい	102	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
	難病	45	46.7%	2.2%	2.2%	6.7%	2.2%	4.4%	2.2%	0.0%
		有効回答数	気管切開	の内気吸引（たん）	在宅酸素療法	ずれよくの瘡（処置）	注射インシュリン	CV（I、V、H、栄）	経中心静脈	その他
全体		674	0.9%	1.6%	0.4%	1.6%	1.5%	0.3%	2.7%	
前回		805	0.5%	1.1%	0.6%	0.7%	1.7%	0.2%	3.5%	
障がい種別	身体	329	1.5%	3.0%	0.6%	3.0%	1.5%	0.3%	3.3%	
	知的	247	0.4%	1.2%	0.0%	1.2%	0.8%	0.0%	2.4%	
	精神	177	0.6%	1.1%	0.6%	1.1%	2.3%	0.6%	3.4%	
	発達障がい	102	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	2.0%	
	難病	45	4.4%	4.4%	2.2%	6.7%	6.7%	2.2%	0.0%	

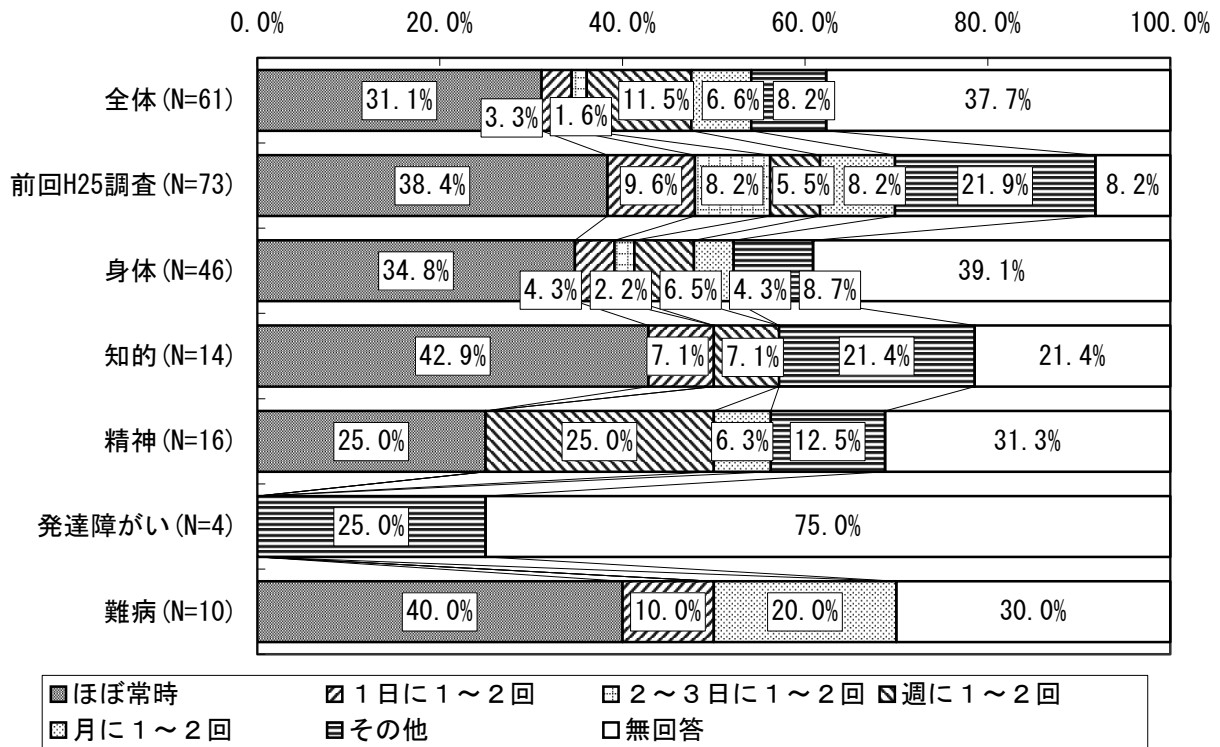
(2) 医療的ケアを必要とする頻度

問 75 で「1. 医療的ケアは必要でない」以外の回答を選んだ方にお聞きします。

問 76 医療的ケアは、どのくらいの頻度で必要ですか。(1つに〇)

医療的ケアを必要とする頻度は、「ほぼ常時」が31.1%で最も多くなっています。

■図表：医療的ケアを必要とする頻度



2-9 雇用・就業

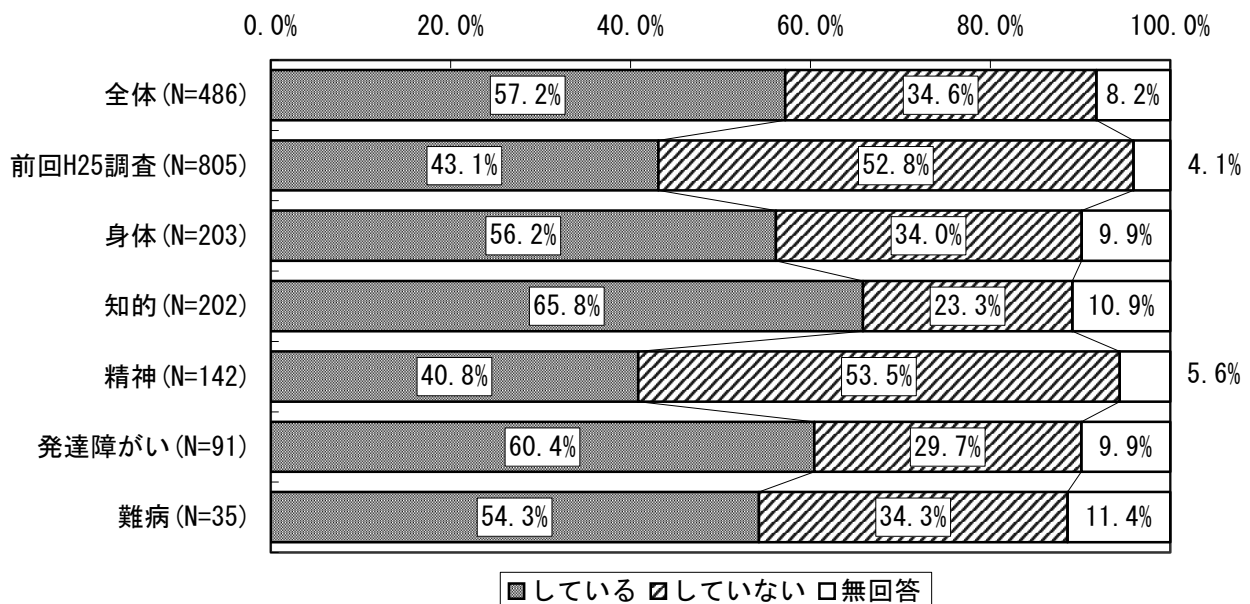
問 77 から問 86 までは、64 歳以下の方がお答えください。
65 歳以上の方は回答せずに、「問 87 (介助者 (介護者) の状況)」へお進みください。

(1) 就労

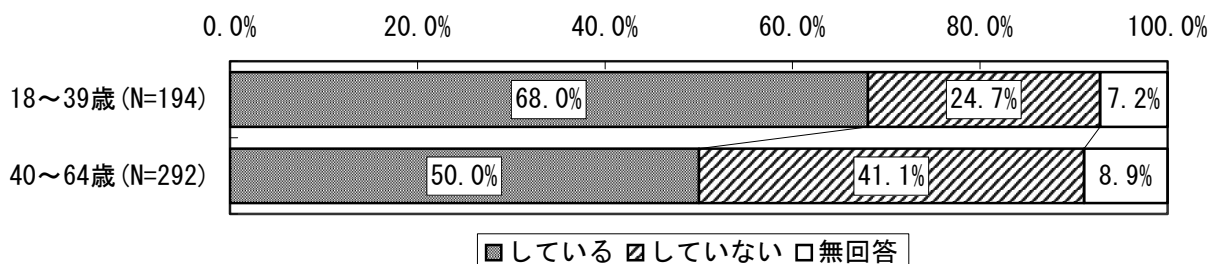
問 77 あなたは、仕事をしていますか。(1つに○)

就労している人は、以下のようになっています。

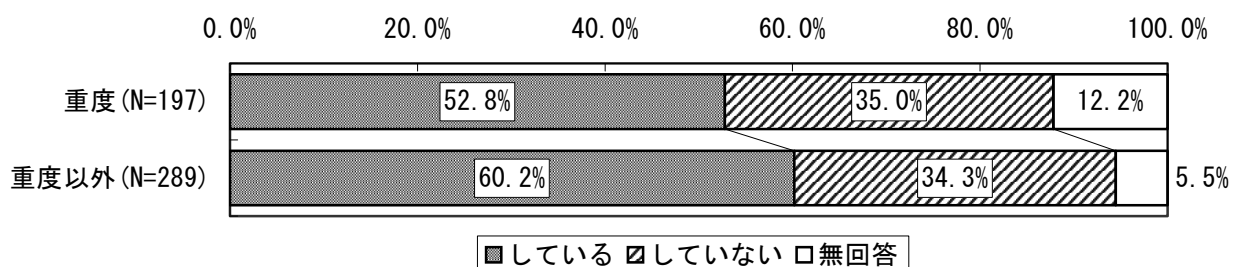
■図表：就労



■図表：年齢別 就労



■図表：障がい程度別 就労



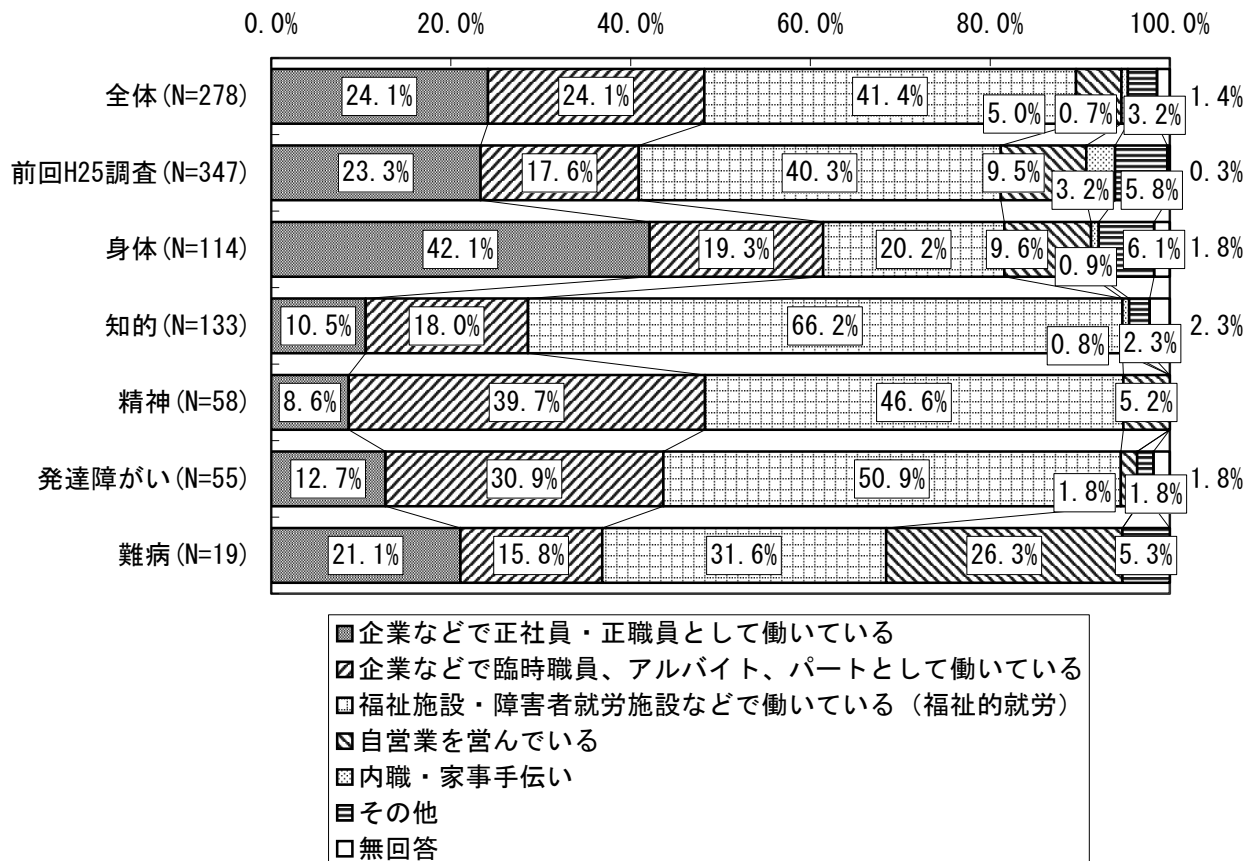
(2) 就労の状況

問 77 で「1. している」と回答した方にお聞きします。

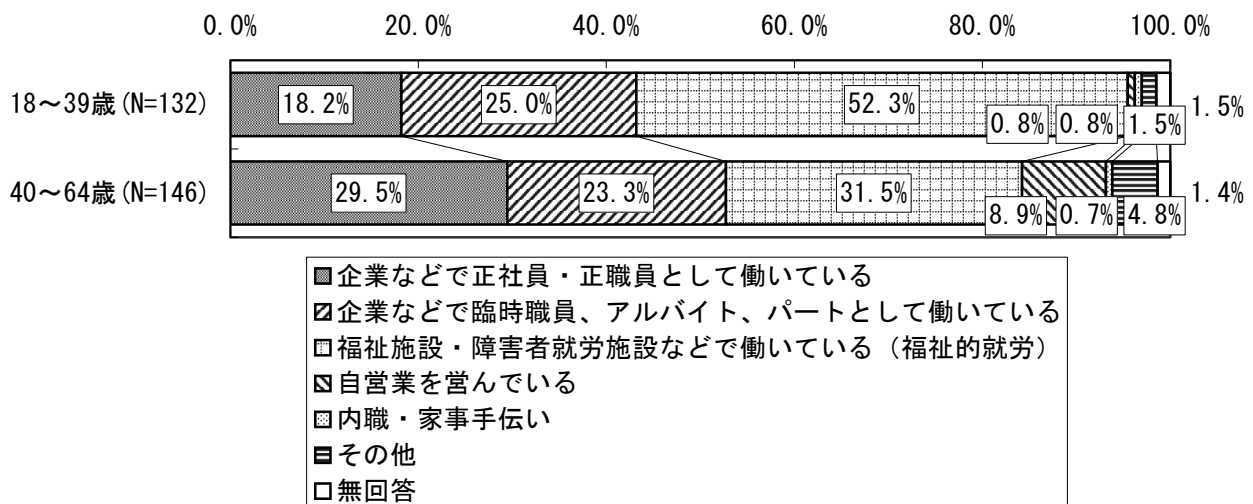
問 78 仕事をしている状況について教えてください。(1つに○)

就労している人について、就労の状況をみると、身体では「企業などで正社員・正職員として働いている」、それ以外の障がいでは「福祉施設・障害者就労施設などで働いている（福祉的就労）」がそれぞれ最も多くなっています。

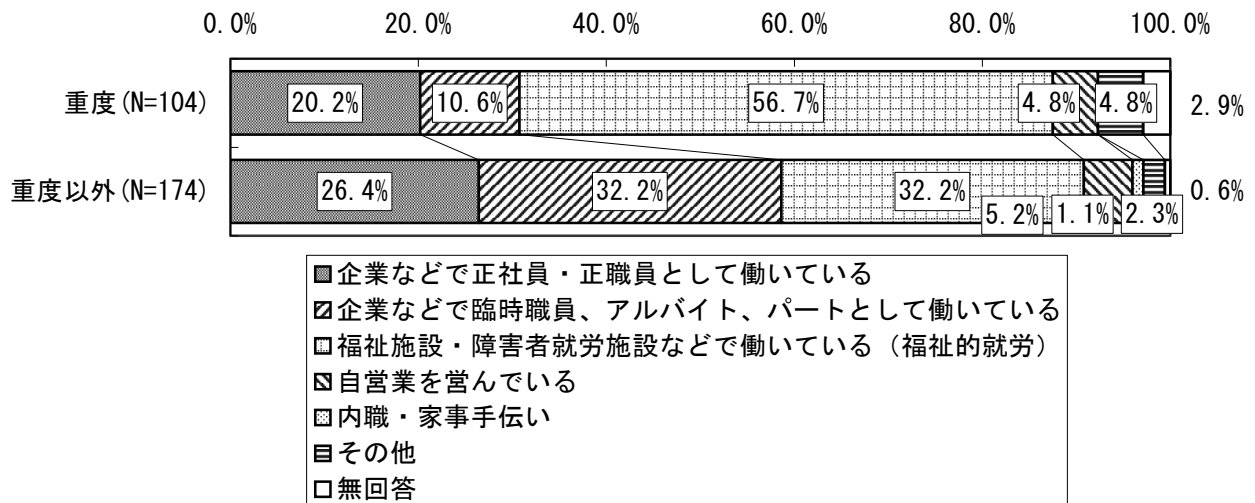
■ 図表：就労の状況



■ 図表：年齢別 就労の状況



■図表：障がい程度別 就労の状況

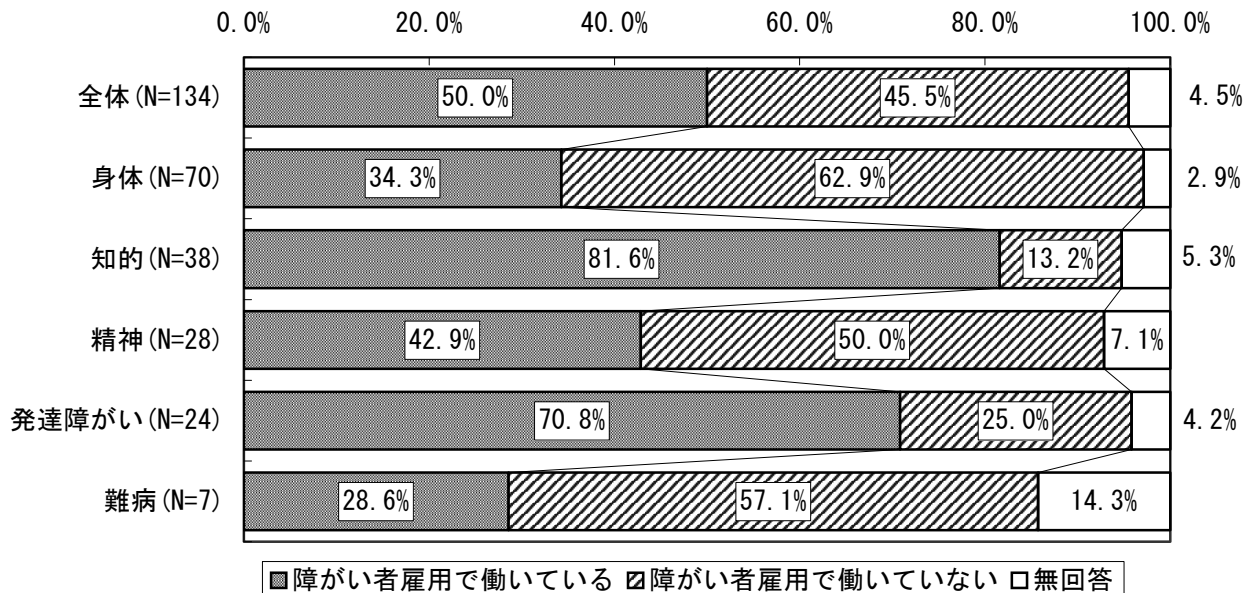


(3) 障がい者雇用の制度を利用しているか

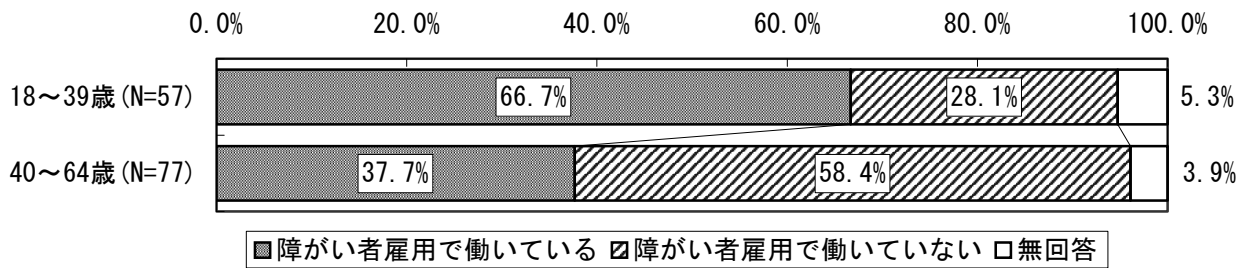
問 78 で「1. 企業などで正社員・正職員として働いている」または「2. 企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている」と回答した方にお聞きします。
 問 79 障がい者雇用の制度を利用していますか。(1つに○)
 ※障害者雇用促進法では、従業員が一定数以上の規模の民間企業に対して、雇用する労働者の2.2%に相当する障がい者を雇用することを義務付けています。

企業で働いている人について、障がい者雇用の制度を利用しているかをみると、知的と発達障がいは7割以上が制度を利用しています。

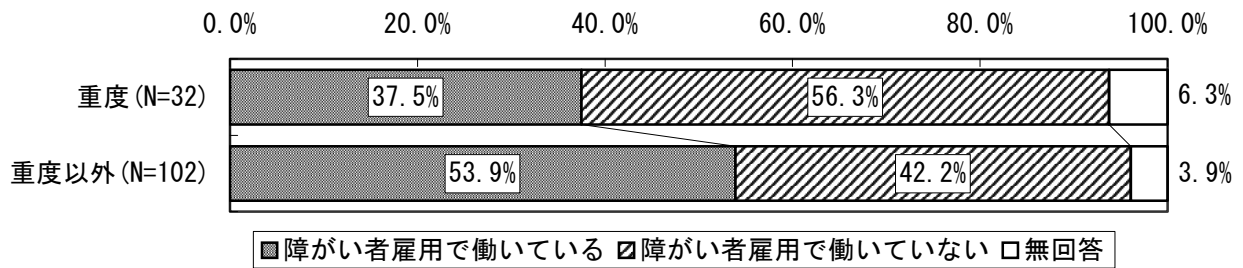
■図表：障がい者雇用の制度を利用しているか



■図表：年齢別 障がい者雇用の制度を利用しているか



■図表：障がい程度別 障がい者雇用の制度を利用しているか



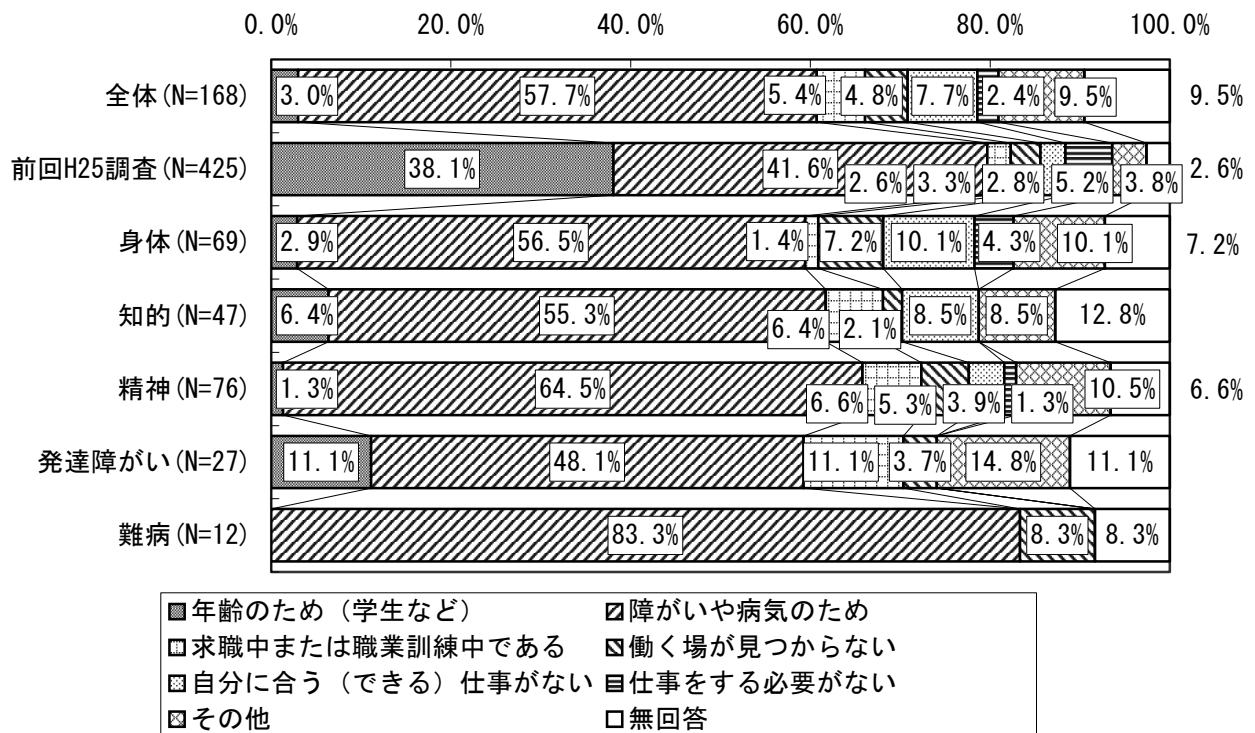
(4) 仕事をしていない理由

問 77 で「2. していない」と回答した方にお聞きします。

問 80 仕事をしていないのは、主にどのような理由によりますか。(1つに○)

就労していない人について、理由をみると、ほとんどが「障がいや病気のため」となっています。

■図表：仕事をしていない理由



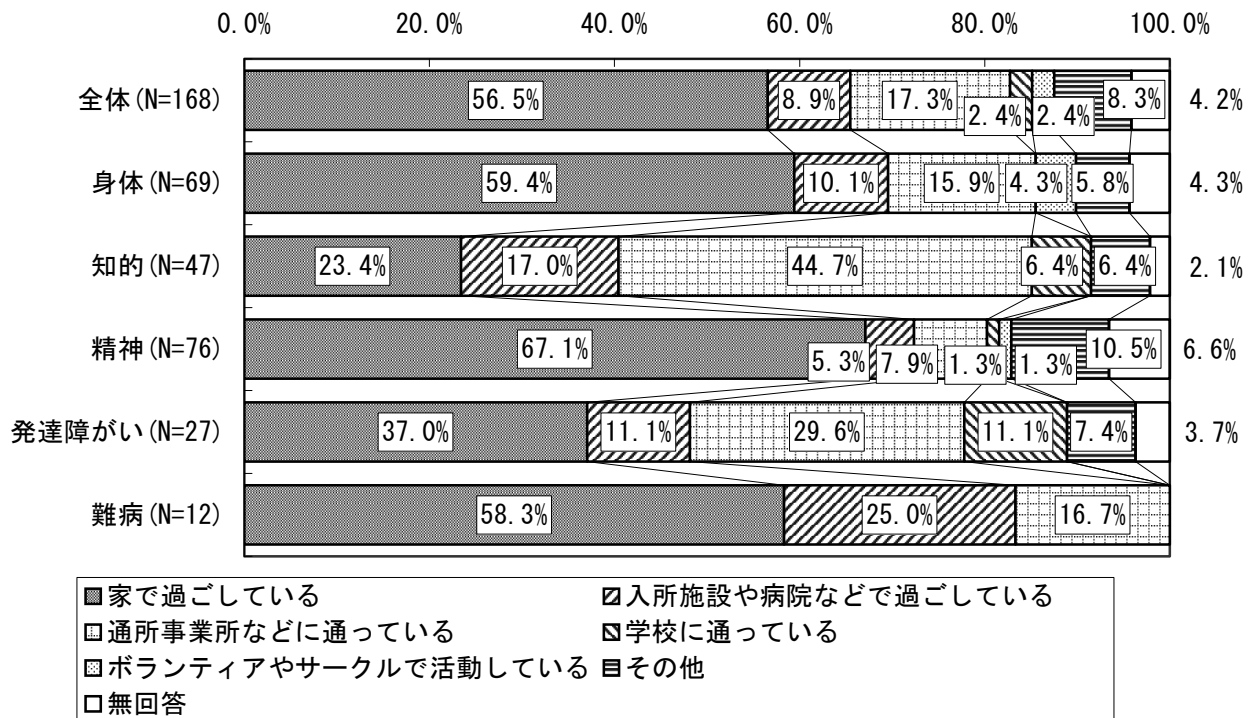
(5) 平日の昼間の過ごし方

問 77 で「2. していない」と回答した方にお聞きします。

問 81 あなたは、平日の昼間には主にどのように過ごしていますか。(1つに〇)

仕事をしていない人の平日の昼間の過ごし方をみると、知的では「通所事業所などに通っている」、それ以外の障がいでは「家で過ごしている」がそれぞれ最も多くなっています。

■ 図表：平日の昼間の過ごし方



(6) 働く上で必要な条件

問 82 あなたは、働く上で、どのような条件が特に必要ですか。
 現在、働いている方も働いていない方もお答えください。(3つまでに○)

働く上で必要な条件をみると、身体と精神では「賃金が妥当であること」、知的では「通勤手段があること」、発達障がいと難病では「仕事に選択肢があること」(発達障がいでは「就業を継続するための支援体制が充実していること」、難病では「自宅で仕事ができること」もそれぞれ同率)がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：働く上で必要な条件（3つ以内で複数回答）

		有効回答数	仕事に選択肢がある	可変則的な勤務形態がある	賃金が妥当であること	特別な配慮の必要がない	通勤手段があること	就業を継続するための支援体制が充実していること
全体		486	28.8%	13.8%	33.3%	15.8%	27.0%	24.9%
前回		805	22.7%	8.1%	19.5%	21.4%	17.9%	16.6%
障がい種別	身体	203	24.1%	13.3%	31.0%	14.8%	20.7%	15.8%
	知的	202	26.7%	6.4%	30.2%	20.8%	33.2%	32.7%
	精神	142	32.4%	20.4%	36.6%	14.8%	28.2%	24.6%
	発達障がい	91	39.6%	9.9%	35.2%	20.9%	30.8%	39.6%
	難病	35	25.7%	11.4%	20.0%	5.7%	17.1%	17.1%
障がい程度	重度	197	22.8%	8.1%	26.4%	23.4%	25.4%	23.9%
	重度以外	289	32.9%	17.6%	38.1%	10.7%	28.0%	25.6%
		有効回答数	自宅で仕事ができる	特別な支援を必要とする	通院などの保障がある	就業のための職業訓練	その他	特になし
全体		486	7.6%	20.4%	13.4%	6.6%	2.7%	8.4%
前回		805	9.3%	28.8%	12.7%	3.9%	1.9%	16.8%
障がい種別	身体	203	12.8%	13.8%	14.8%	3.0%	3.0%	12.3%
	知的	202	0.0%	28.2%	6.9%	8.4%	3.5%	4.0%
	精神	142	9.9%	19.7%	21.1%	8.5%	2.8%	7.7%
	発達障がい	91	5.5%	28.6%	6.6%	6.6%	3.3%	3.3%
	難病	35	25.7%	11.4%	5.7%	5.7%	5.7%	11.4%
障がい程度	重度	197	8.6%	19.8%	9.1%	4.6%	3.6%	6.6%
	重度以外	289	6.9%	20.8%	16.3%	8.0%	2.1%	9.7%

(7) 特別な支援の必要な人の雇用・就業に関して必要なこと

問 83 あなたは、特別な支援の必要な人の雇用・就業に関して、どのようなことが特に必要であると思いますか。(2つまでに○)

特別な支援の必要な人の雇用・就業に関して必要なことをみると、「特別な支援の必要な人が長く仕事を続けられるための支援」が 42.0%で最も多く、次いで「雇用と福祉が連携した就労支援の充実」(36.2%)となっています。

■図表：特別な支援の必要な人の雇用・就業に関して必要なこと（2つ以内で複数回答）

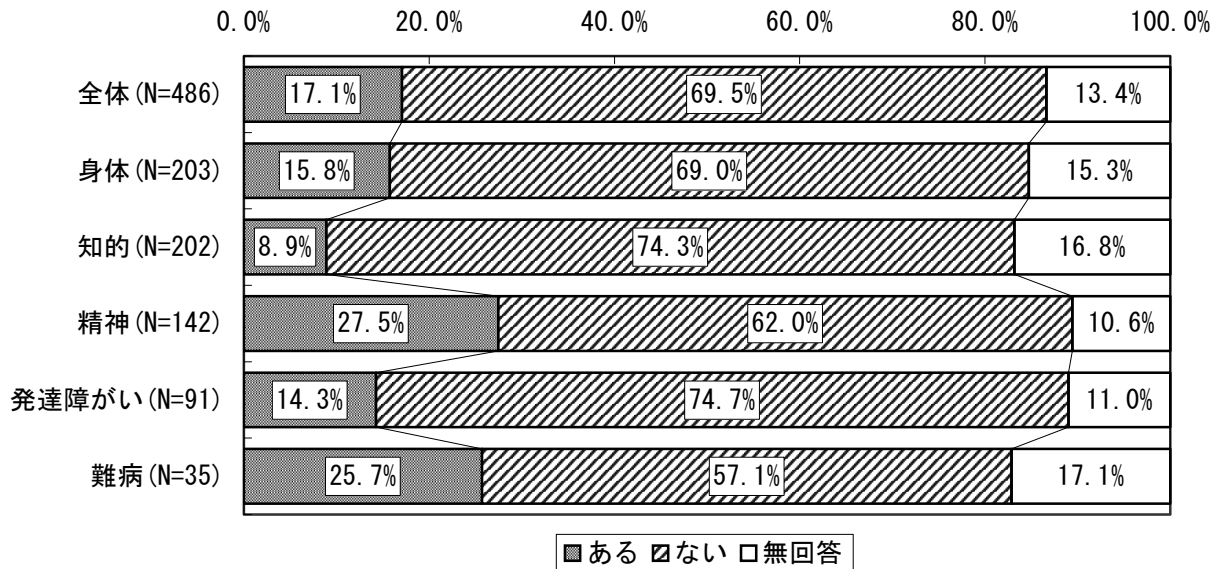
		有効回答数	徹底者企業雇用などの義務付けがない	た雇用と福祉の連携が充実し	きる在宅就業への働きかけ	施設の人材確保・作業場	ら人が長く仕事を続けるための支援	その他	特にな
全体		486	25.9%	36.2%	9.1%	25.5%	42.0%	1.4%	8.0%
前回		805	23.2%	29.1%	5.5%	22.6%	40.2%	0.9%	13.3%
障がい種別	身体	203	26.6%	32.0%	10.3%	22.7%	42.9%	1.0%	8.9%
	知的	202	20.8%	35.1%	3.0%	35.6%	42.6%	2.0%	7.4%
	精神	142	27.5%	41.5%	14.8%	21.1%	35.9%	2.1%	7.7%
	発達障がい	91	26.4%	40.7%	8.8%	30.8%	54.9%	2.2%	2.2%
	難病	35	28.6%	31.4%	11.4%	25.7%	51.4%	2.9%	0.0%
障がい程度	重度	197	18.3%	32.0%	6.6%	31.0%	40.6%	1.5%	7.6%
	重度以外	289	31.1%	39.1%	10.7%	21.8%	42.9%	1.4%	8.3%

(8) 特別な支援を必要とすることが主な理由で、仕事をやめたことがあるか

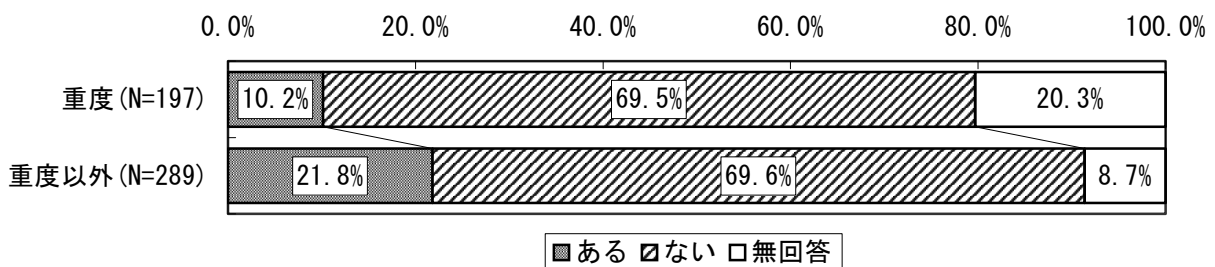
問 84 あなたは、今までに、特別な支援を必要とすることが主な理由で、仕事をやめたことがありますか。現在、働いている方も働いていない方もお答えください。(1つに○)

特別な支援を必要とすることが主な理由で、仕事をやめたことがある人は精神と難病では2割を超えています。

■図表：特別な支援を必要とすることが主な理由で、仕事をやめたことがあるか



■図表：障がい程度別 特別な支援を必要とすることが主な理由で、仕事をやめたことがあるか



(9) 今後の就労希望

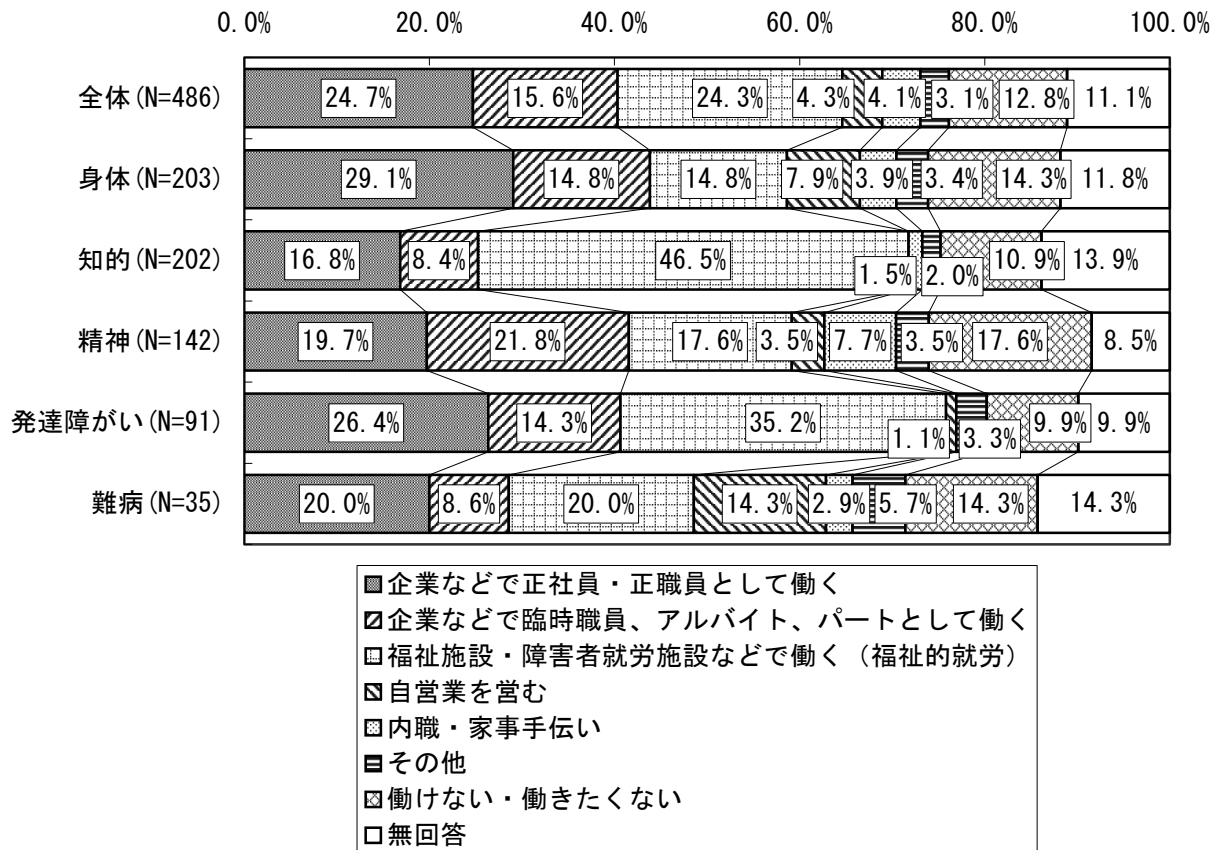
問 85 あなたは、今後、どのような仕事をしたいですか。

現在、働いている方も働いていない方もお答えください。(1つに○)

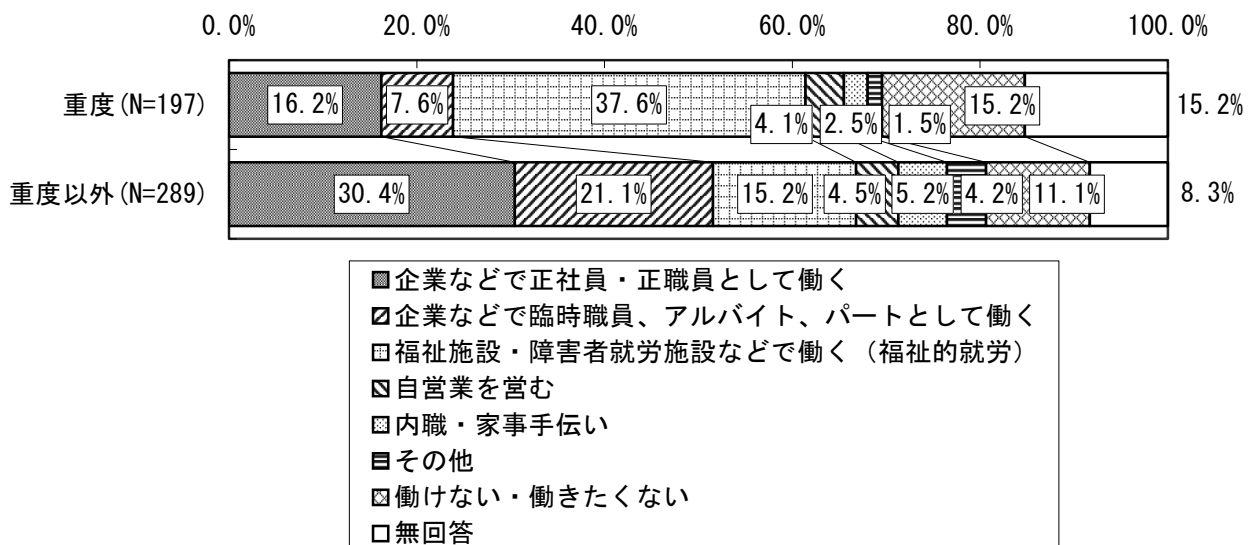
※今後も現在と同じ働き方を希望される場合には、問 78 で○をつけた選択肢と同じ番号に○をつけてください。

今後の就労希望をみると、重度以外の方は約3割が「企業などで正社員・正職員として働く」を希望しています。

■図表：今後の就労希望



■図表：障がい程度別 今後の就労希望

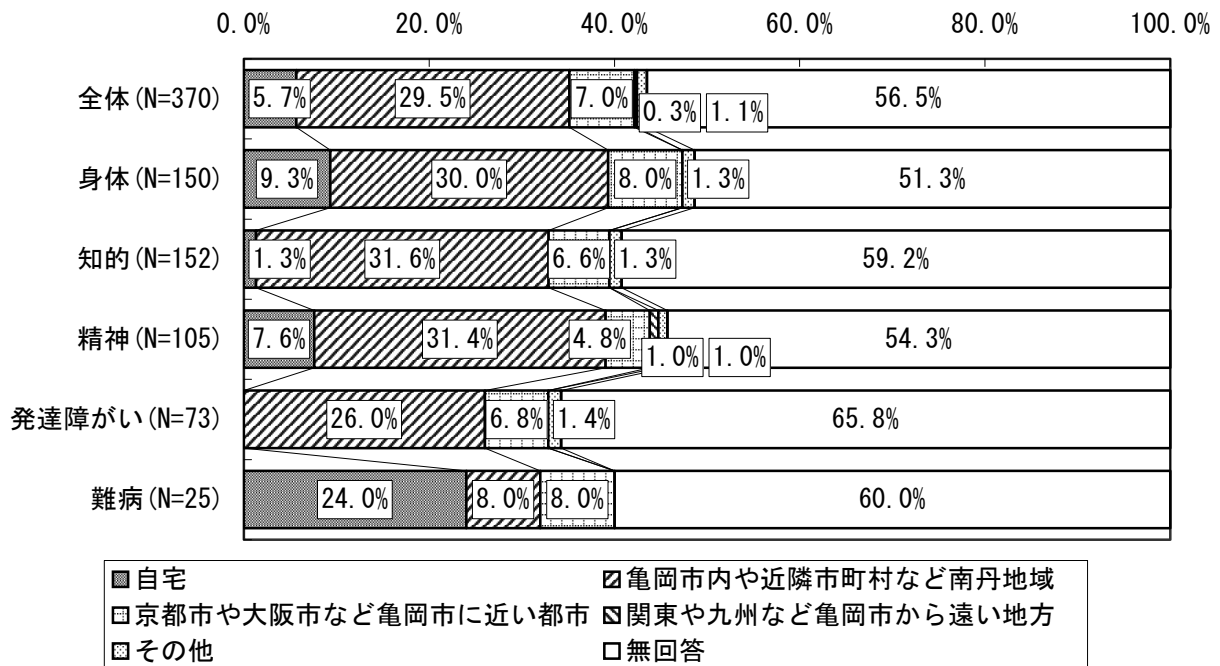


(10) 希望する就労の場所

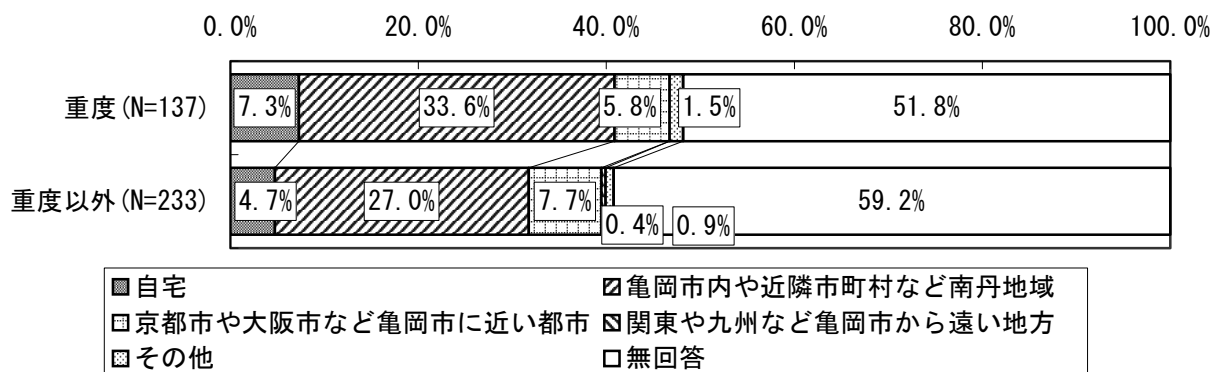
問 85 で「7. 働けない・働きたくない」以外の回答を選んだ方にお聞きます。
 問 86 あなたは、今後、可能であれば、どこで仕事をしたいですか。(1つに○)

希望する就労の場所をみると、無回答を除いて、難病では「自宅」、それ以外の障がいでは「亀岡市内や近隣市町村など南丹地域」がそれぞれ最も多くなっています。

■ 図表：希望する就労の場所



■ 図表：障がい程度別 希望する就労の場所



2-10 介助者（介護者）の状況

問 87 から問 96 までは、主な介助者（介護者）の方がお答えください。²

介助者（介護者）がいない場合及び介助者（介護者）がホームヘルパー・施設職員などの場合は回答せずに、「問 97（自由意見）」へお進みください。

※なお、回答する介助者（介護者）の方は、本人が回答内容を確認したり、本人が代わって回答することのないように、ご配慮をお願いいたします。

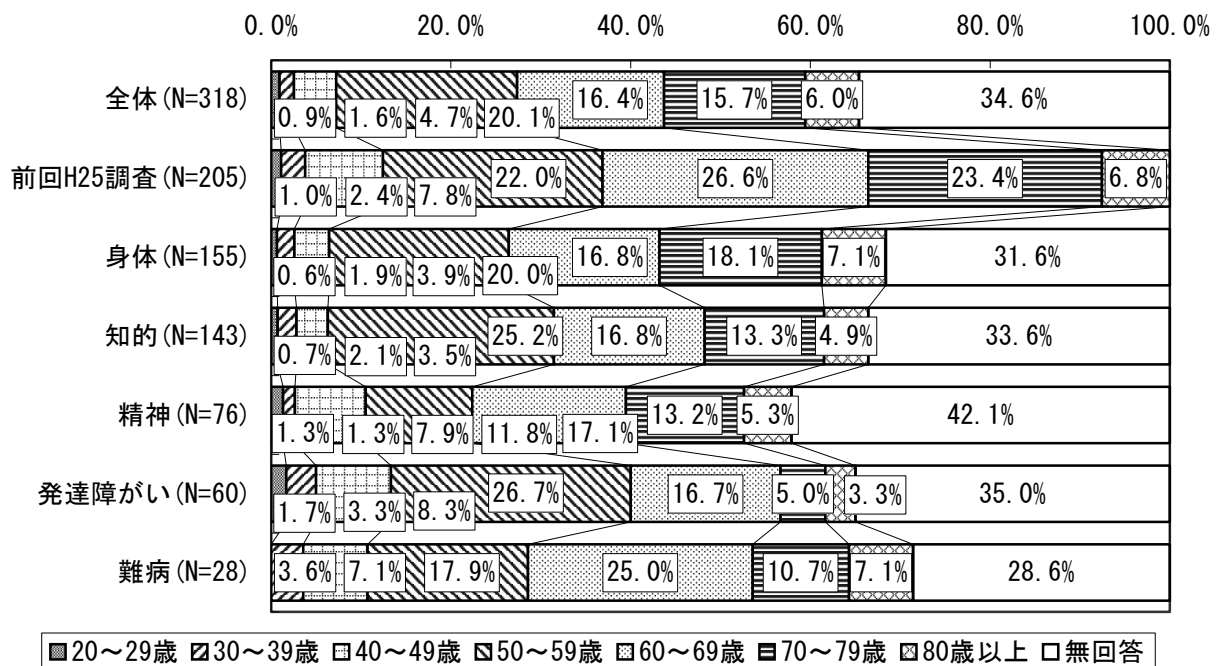
（1）介助者の年齢

問 87 介助者（介護者）の方の年齢は、何歳ですか。

※令和 2 年 1 月 1 日現在でお答えください。

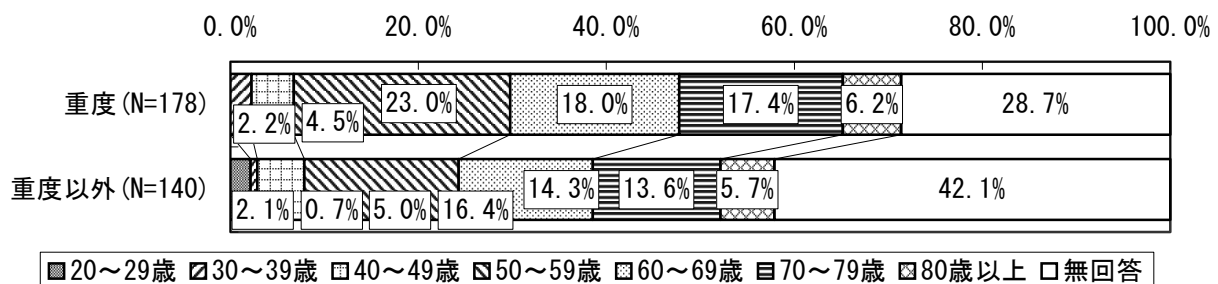
介助者の年齢は 50 歳代が多くなっています。

■ 図表：介助者の年齢



※前回は無回答を除いた割合

■ 図表：障がい程度別 介助者の年齢

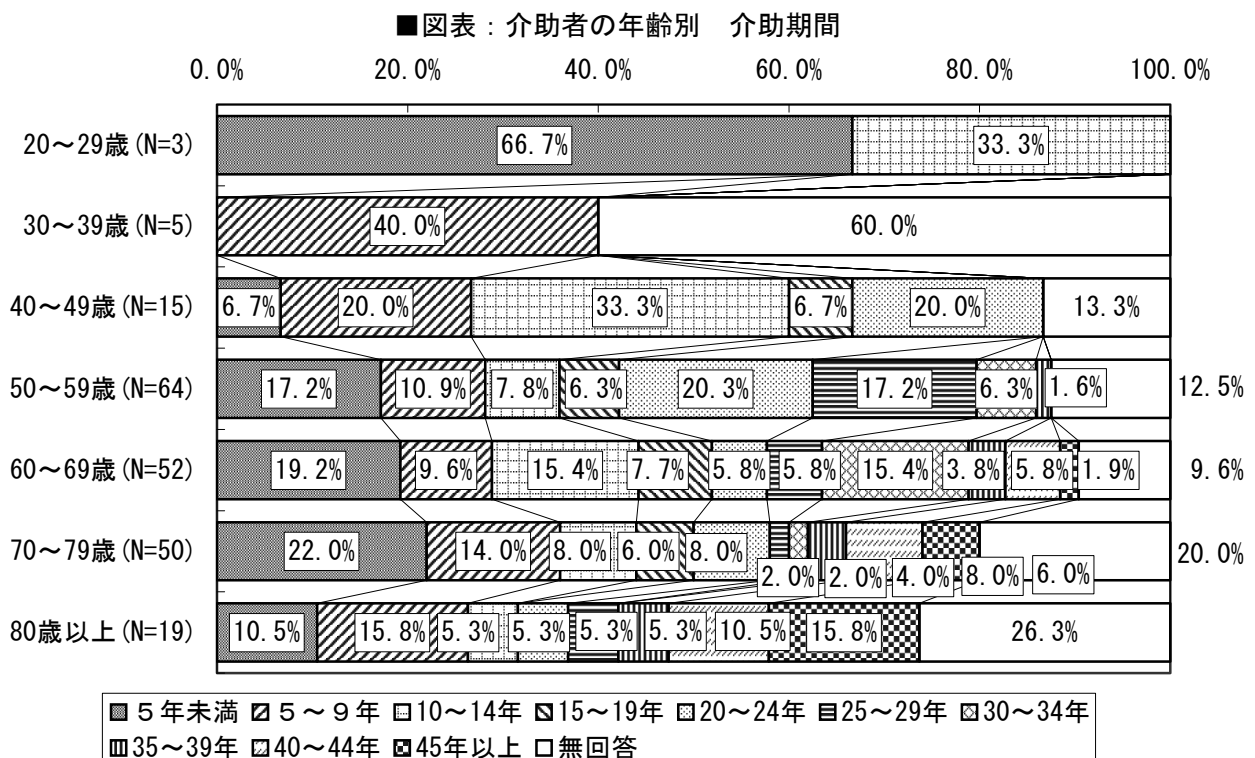
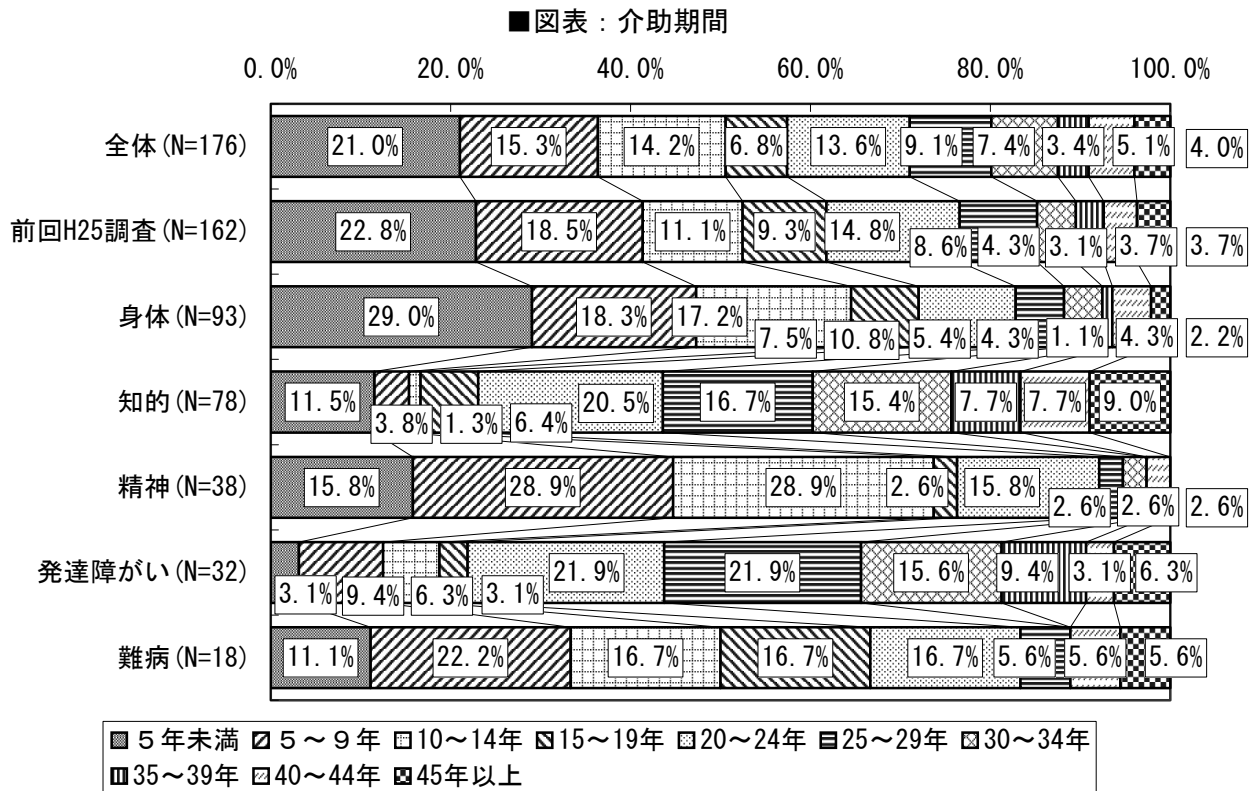


² 問 87～問 96 のいずれかに回答している人を母数として構成比を計算しました。

(2) 介助期間

問 88 介助（介護）を始めてどれくらいですか。
 ※令和2年1月1日現在でお答えください。

介助期間は、「5年未満」が21.0%で最も多く、次いで「5～9年」(15.3%)となっています。



(3) 介助（介護）について困っていること

問 89 介助（介護）について困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

介助（介護）について困っていることをみると、「心身が疲れる」が最も多くなっています。介助者が40～49歳では「経済的負担が大きい」「仕事・家事が十分にできない」が特に多くなっています。

■図表：介助（介護）について困っていること（複数回答）

	有効回答数	心身が疲れる	自分の時間が	経済的負担が	仕事・家事が十分にできない	その他	と困っていること	
全体	318	38.1%	19.5%	16.4%	17.6%	7.5%	13.5%	
障がい種別	身体	155	43.9%	20.6%	20.6%	17.4%	9.0%	14.8%
	知的	143	39.2%	25.9%	11.9%	20.3%	7.0%	13.3%
	精神	76	32.9%	11.8%	13.2%	13.2%	10.5%	10.5%
	発達障がい	60	43.3%	21.7%	15.0%	21.7%	5.0%	8.3%
	難病	28	50.0%	25.0%	17.9%	25.0%	10.7%	3.6%
介助者年齢	18～29歳	3	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%
	30～39歳	5	80.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	15	40.0%	20.0%	40.0%	40.0%	6.7%	26.7%
	50～59歳	64	59.4%	34.4%	26.6%	32.8%	7.8%	15.6%
	60～69歳	52	57.7%	34.6%	19.2%	23.1%	9.6%	17.3%
	70～79歳	50	58.0%	24.0%	20.0%	14.0%	16.0%	32.0%
介助期間	80歳以上	19	57.9%	21.1%	26.3%	21.1%	5.3%	5.3%
	5年未満	37	54.1%	21.6%	35.1%	29.7%	8.1%	24.3%
	5～9年	27	70.4%	22.2%	25.9%	29.6%	14.8%	11.1%
	10～14年	25	48.0%	28.0%	52.0%	20.0%	8.0%	24.0%
	15～19年	12	58.3%	33.3%	25.0%	25.0%	16.7%	25.0%
	20～24年	24	66.7%	45.8%	33.3%	41.7%	8.3%	8.3%
	25～29年	16	56.3%	43.8%	6.3%	37.5%	6.3%	12.5%
	30～34年	13	53.8%	38.5%	7.7%	15.4%	0.0%	23.1%
	35～39年	6	66.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%
	40～44年	9	88.9%	44.4%	11.1%	33.3%	22.2%	11.1%
45年以上	7	57.1%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	

(4) 介助（介護）に関する相談相手

問 90 介助（介護）に関して、誰に、またはどこに相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

介助（介護）に関する相談相手を見ると、知的と発達障がいでは「相談支援事業所」、それ以外では「家族・親戚」がそれぞれ最も多くなっています。

■ 図表：介助（介護）に関する相談相手（複数回答）

		有効回答数	家族・親戚	友人・知人	職場の人	学校の教職員	通所先（施設など）の職員	支援団体	特別な支援の必要な団体・個人	民生委員・児童委員	障害者相談員	ケアマネジャー （介護保険サービス）
全体		318	36.5%	11.6%	2.5%	0.3%	17.9%	1.6%	0.6%	2.2%	8.2%	
前回		456	45.4%	15.8%	4.2%	0.4%	15.8%	4.8%	2.6%	3.1%	10.5%	
障がい種別	身体	155	35.5%	11.6%	3.2%	0.0%	16.1%	0.6%	0.6%	2.6%	13.5%	
	知的精神	143	35.7%	16.8%	1.4%	0.7%	31.5%	2.8%	0.0%	3.5%	2.1%	
	発達障がい	76	34.2%	10.5%	1.3%	0.0%	10.5%	2.6%	1.3%	2.6%	2.6%	
	難病	60	35.0%	18.3%	1.7%	1.7%	25.0%	3.3%	0.0%	3.3%	1.7%	
全体		318	17.3%	3.8%	0.0%	6.3%	22.6%	0.0%	2.2%	4.1%	4.7%	
前回		456	21.7%	3.7%	0.7%	20.6%	16.4%	1.8%	1.8%	1.8%	15.4%	
障がい種別	身体	155	15.5%	4.5%	0.0%	9.0%	16.1%	0.0%	3.2%	5.2%	6.5%	
	知的精神	143	16.1%	3.5%	0.0%	5.6%	42.0%	0.0%	0.7%	2.8%	2.1%	
	発達障がい	76	32.9%	3.9%	0.0%	2.6%	11.8%	0.0%	5.3%	3.9%	5.3%	
	難病	60	18.3%	3.3%	0.0%	5.0%	41.7%	0.0%	1.7%	6.7%	1.7%	
全体		318	25.0%	14.3%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	

(5) サービスを利用する理由

問 91 本人がサービスを現在利用している場合、その理由は何ですか。また、現在サービスを利用していない場合、サービスを利用するとしたら、どのような理由で利用すると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

サービスを利用する理由をみると、難病の方は「専門的な能力を必要とする介助（介護）があるため」と「介助者（介護者）の休息のため」が同率で、それ以外では「本人が充実した余暇を過ごせるようにするため」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：サービスを利用する理由（複数回答）

		有効 回答 数	がと専 あるす るた介 た助 め（介 護） を必要	事し本 をた人 しいを て場介 いる助 たも（ ため介 護） 仕	庭し本 のたい 用いを 事場介 があ助 るも（ ため介 護） 家	休介 息助 者 の た め （ 介 護 者 ） の	るを本 た過人 めごせ せ充 る実 よう にた 余暇 す	そ の 他
全体		318	16.0%	12.6%	10.4%	17.9%	30.5%	7.2%
障 が い 種 別	身体	155	18.7%	16.8%	9.7%	20.0%	25.2%	6.5%
	知的	143	12.6%	13.3%	13.3%	18.9%	43.4%	4.9%
	精神	76	15.8%	11.8%	9.2%	11.8%	23.7%	11.8%
	発達障がい	60	15.0%	15.0%	23.3%	25.0%	41.7%	3.3%
	難病	28	32.1%	21.4%	14.3%	32.1%	28.6%	3.6%
介 助 者 年 齢	18～29歳	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	5	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%
	40～49歳	15	40.0%	26.7%	40.0%	53.3%	33.3%	6.7%
	50～59歳	64	18.8%	26.6%	17.2%	20.3%	42.2%	9.4%
	60～69歳	52	28.8%	21.2%	17.3%	30.8%	46.2%	1.9%
	70～79歳	50	20.0%	2.0%	6.0%	18.0%	26.0%	14.0%
	80歳以上	19	21.1%	10.5%	10.5%	26.3%	21.1%	5.3%

(6) 主な介助者が一時的に介助できなくなった場合の対応

問 92 病気や事故、休養などで一時的に介助（介護）できなくなった場合、どのように対応していますか。（あてはまるものすべてに○）

主な介助者が一時的に介助できなくなった場合の対応をみると、介助者が40～49歳では「頼める人やサービスがない」が他に比べて多くなっています。

■図表：主な介助者が一時的に介助できなくなった場合の対応（複数回答）

	有効回答数	家族や親戚に頼む	友人や知人に頼む	ボランティアや支援	有料の人材派遣に頼む	ホームヘルプを利用	訪問看護を利用	ショートステイを利用	その他	頼める人やサービスがない	介助（介護）を頼んだら断られた	
全体	318	42.1%	2.5%	2.5%	0.9%	7.2%	3.5%	14.2%	7.5%	8.2%	0.9%	
障がい種別	身体	155	38.1%	5.2%	3.9%	0.6%	10.3%	5.8%	13.5%	8.4%	11.0%	1.9%
	知的	143	43.4%	0.0%	2.1%	0.7%	7.7%	0.7%	22.4%	8.4%	7.0%	0.7%
	精神	76	44.7%	0.0%	2.6%	1.3%	7.9%	2.6%	5.3%	6.6%	7.9%	0.0%
	発達障がい	60	41.7%	0.0%	1.7%	1.7%	10.0%	0.0%	21.7%	6.7%	10.0%	0.0%
	難病	28	39.3%	0.0%	10.7%	7.1%	21.4%	10.7%	14.3%	10.7%	14.3%	0.0%
介助者年齢	18～29歳	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	
	40～49歳	15	80.0%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	
	50～59歳	64	43.8%	3.1%	0.0%	0.0%	10.9%	3.1%	25.0%	9.4%	20.3%	3.1%
	60～69歳	52	63.5%	1.9%	3.8%	0.0%	7.7%	5.8%	23.1%	9.6%	0.0%	1.9%
	70～79歳	50	48.0%	4.0%	2.0%	2.0%	8.0%	6.0%	16.0%	12.0%	6.0%	0.0%
80歳以上	19	26.3%	10.5%	10.5%	10.5%	15.8%	5.3%	15.8%	5.3%	0.0%	0.0%	

(7) 今後の生活における不安

問 93 今後の生活において、どのような不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

今後の生活における不安をみると、「自分の体調が低下せずに、本人を介助（介護）できるか」が最も多くなっています。知的と発達障がいでは「本人が自立して生活できる場を見つけられるか（グループホームなど）」や「本人に代わって契約や金銭管理できる人を見つけられるか（成年後見人など）」、「本人が障がい者を狙った犯罪の被害者にならないか」などが他に比べて多くなっています。

■図表：今後の生活における不安（複数回答）

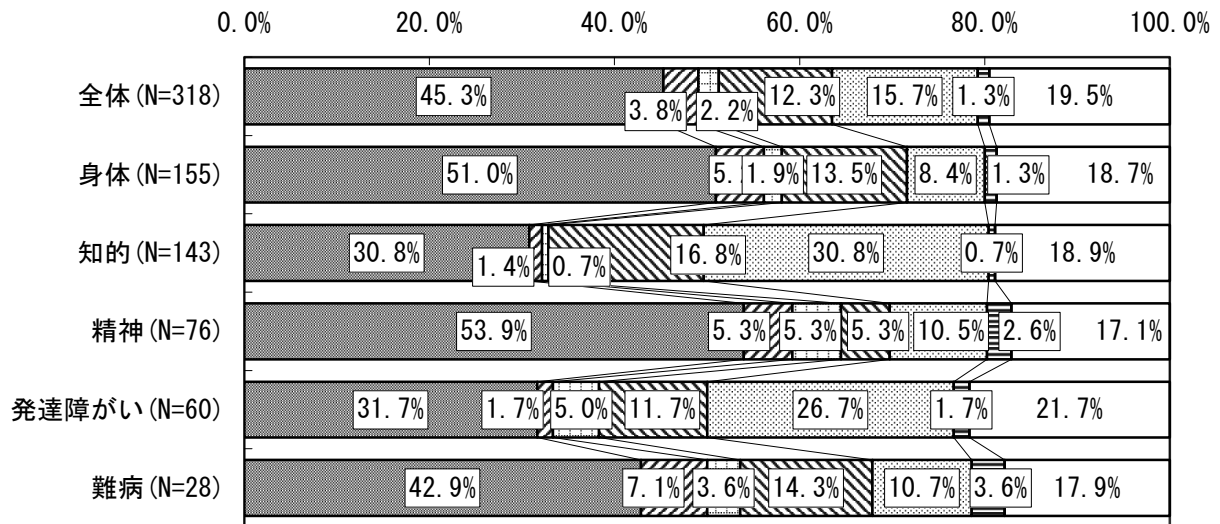
	有効回答数	か本人を介助（介護）できる	れ経済的に今の生活を続けられるか	け近に相談できる人を見つ	ル場を見つけて生活できる（グループホームなど）	る管理（成年後見人など）	本人に代わって契約や金銭	罪本人が障がい者を狙った犯	差別されないかへの偏見から	その他	今後の生活に不安はない
全体	318	51.9%	37.4%	15.4%	26.7%	19.8%	14.2%	11.9%	5.3%	2.8%	
障がい種別	身体	155	56.1%	34.8%	14.2%	16.8%	16.1%	7.7%	7.1%	6.5%	3.9%
	知的	143	53.1%	32.2%	13.3%	40.6%	29.4%	21.0%	14.0%	4.2%	2.1%
	精神	76	46.1%	43.4%	22.4%	26.3%	19.7%	11.8%	18.4%	7.9%	2.6%
	発達障がい	60	53.3%	38.3%	16.7%	45.0%	31.7%	23.3%	15.0%	5.0%	0.0%
	難病	28	57.1%	39.3%	21.4%	21.4%	17.9%	10.7%	14.3%	7.1%	0.0%
介助者年齢	18～29歳	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	30～39歳	5	60.0%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	15	73.3%	53.3%	20.0%	26.7%	13.3%	33.3%	13.3%	6.7%	0.0%
	50～59歳	64	71.9%	40.6%	15.6%	37.5%	20.3%	20.3%	15.6%	4.7%	1.6%
	60～69歳	52	76.9%	42.3%	15.4%	34.6%	26.9%	17.3%	9.6%	3.8%	0.0%
	70～79歳	50	68.0%	40.0%	14.0%	26.0%	20.0%	10.0%	6.0%	6.0%	8.0%
80歳以上	19	57.9%	31.6%	21.1%	31.6%	36.8%	10.5%	21.1%	5.3%	0.0%	

(8) 本人の暮らしの希望

問 94 今後、本人がどのような暮らし方をすることを望むかをお聞きます。(1つに○)
 (1) どこで暮らしてほしいですか。(1つに○)

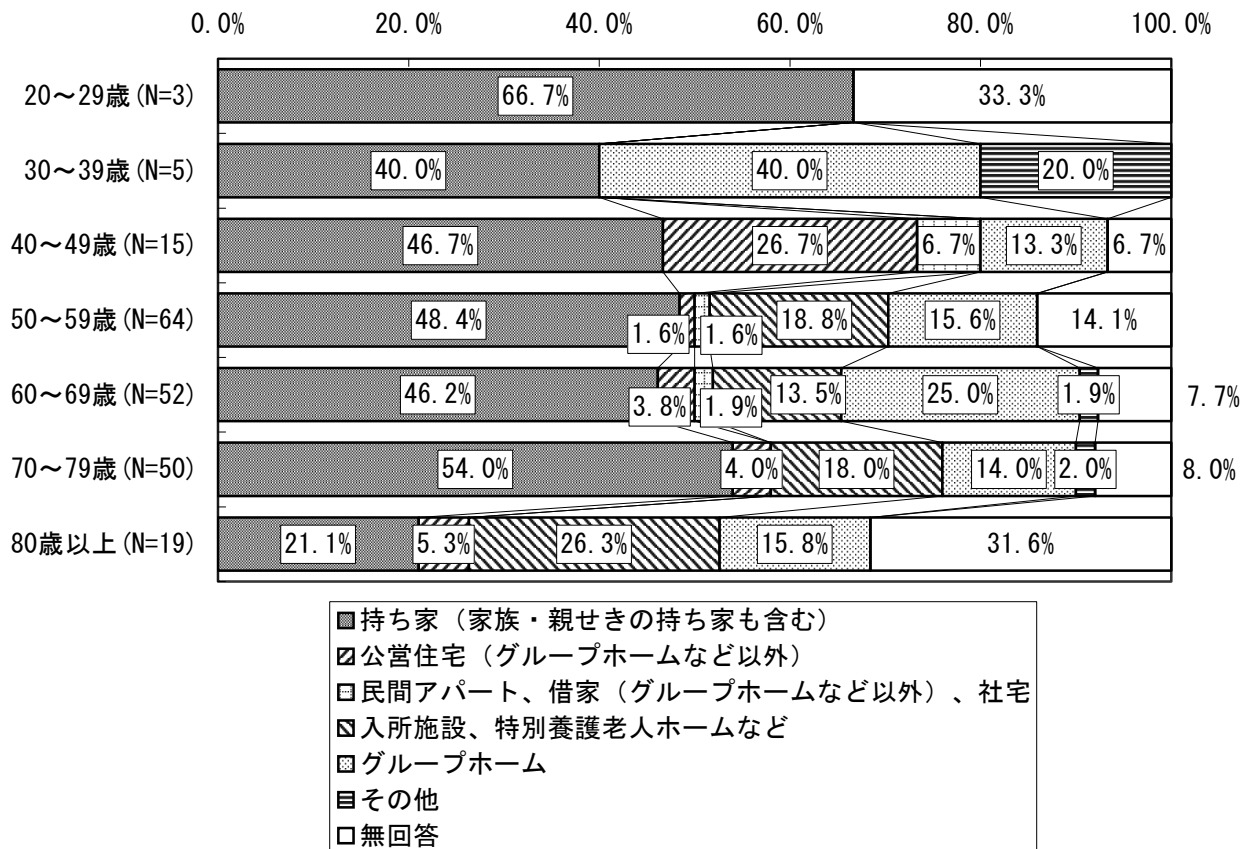
本人の暮らしの希望をみると、いずれの障がい種別でも「持ち家（家族・親せきの持ち家も含む）」が最も多くなっています（知的では「グループホーム」も同率）。

■図表：希望する本人の暮らす場所



- 持ち家（家族・親せきの持ち家も含む）
- ▣公営住宅（グループホームなど以外）
- 民間アパート、借家（グループホームなど以外）、社宅
- ▤入所施設、特別養護老人ホームなど
- ▨グループホーム
- その他
- 無回答

■図表：介助者の年齢別 希望する本人の暮らす場所



(9) 本人との関係で困っていること

問 95 現在、家族生活において本人との関係で困っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

本人との関係で困っていることをみると、「特にない」を除いて、「本人と意思を伝えあうのが難しい」が最も多くなっています。

■図表：本人との関係で困っていること（複数回答）

	有効 回答数	難伝本 しえ人 いあ う意 の思 がを	度す本 々る人 あるこ とけ が ん か	家 庭 内 暴 力	い ひ き こ も つ て	そ の 他	特 に な い	
全体	318	23.6%	9.7%	0.6%	4.1%	6.0%	42.5%	
障 が い 種 別	身体	155	23.2%	9.0%	0.6%	2.6%	3.9%	45.2%
	知的	143	26.6%	9.1%	0.0%	0.7%	6.3%	44.1%
	精神	76	25.0%	10.5%	1.3%	11.8%	11.8%	32.9%
	発達障がい 難病	60 28	30.0% 21.4%	13.3% 21.4%	0.0% 0.0%	1.7% 3.6%	5.0% 0.0%	36.7% 46.4%
介 助 者 年 齢	18～29歳	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
	30～39歳	5	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	40～49歳	15	26.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	46.7%
	50～59歳	64	34.4%	12.5%	1.6%	4.7%	7.8%	39.1%
	60～69歳	52	26.9%	15.4%	0.0%	3.8%	7.7%	40.4%
	70～79歳	50	24.0%	6.0%	0.0%	8.0%	8.0%	54.0%
	80歳以上	19	31.6%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	21.1%

(10) 本人の兄弟姉妹が困っていること

本人に兄弟姉妹のおられる方についてお聞きします。
本人に兄弟姉妹のおられない場合は回答せずに、問 97 へお進みください。
問 96 兄弟姉妹が、次のようなことで悩んだり困ったりしている、あるいはそのように思われること
がありますか。(あてはまるものすべてに○)

本人の兄弟姉妹が困っていることをみると、介助者の年齢が50歳以上になると「本人の将来の介護」が多くなっていく傾向がみられます。

■図表：本人の兄弟姉妹が困っていること（複数回答）

	有効 回答数	本 人 と の 仲	他 の 家 族 と の 仲	仕 事 ・ 就 職 の こ と	結 婚 ・ 恋 愛 の こ と	自 分 の 家 庭 の こ と	本 人 の 将 来 の 介 護	そ の 他	特 に な い	
全体	220	17.3%	4.5%	9.5%	9.1%	10.0%	40.9%	3.6%	41.4%	
障 が い 種 別	身体	105	14.3%	5.7%	6.7%	3.8%	11.4%	32.4%	2.9%	49.5%
	知的	103	17.5%	4.9%	11.7%	15.5%	9.7%	57.3%	4.9%	23.3%
	精神	55	18.2%	1.8%	12.7%	5.5%	10.9%	36.4%	5.5%	41.8%
	発達障がい 難病	46 19	23.9% 10.5%	4.3% 0.0%	4.3% 0.0%	21.7% 10.5%	6.5% 10.5%	58.7% 36.8%	6.5% 5.3%	19.6% 52.6%
介 助 者 年 齢	18～29歳	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	30～39歳	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%
	40～49歳	9	22.2%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%	55.6%
	50～59歳	44	22.7%	4.5%	11.4%	13.6%	11.4%	59.1%	4.5%	25.0%
	60～69歳	39	12.8%	10.3%	5.1%	17.9%	12.8%	51.3%	2.6%	28.2%
	70～79歳	41	17.1%	2.4%	9.8%	2.4%	12.2%	39.0%	0.0%	46.3%
	80歳以上	7	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	28.6%

3 調査結果（18歳未満）

「18歳未満」の分析にあたって、固有の特性があることが想定され、かつ一定の母数が見込めるグループを以下のように設定しました。

設問によっては、この「グループ別」の集計結果を示しています。

グループ番号	グループ	母数
①	療育手帳所持者	56人
②	身体障害者手帳所持者	23人
③	手帳重度者（療育手帳Aまたは身体手帳1・2級）	32人
④	障害者手帳の不所持者	33人
⑤	発達障がい診断がある人	72人
⑥	療育を受けていない、受けてなかった人	21人
⑦	当該障がい児以外に介護を必要とする家族がいる人	19人

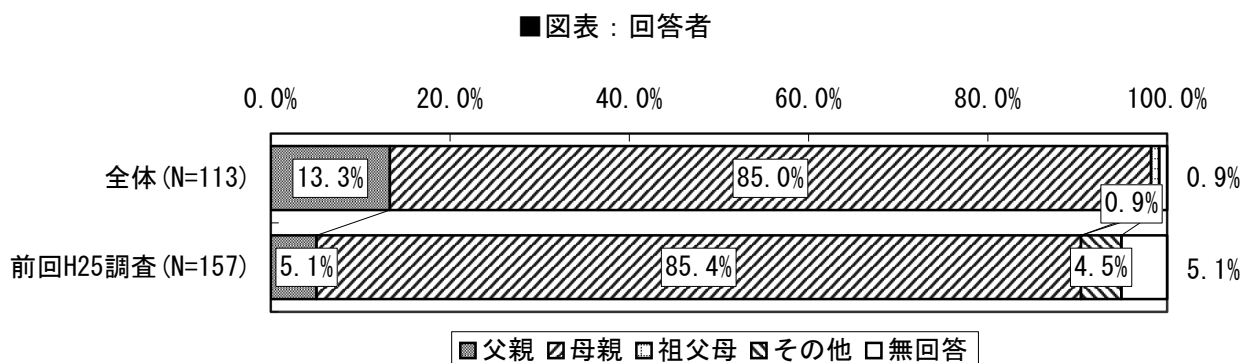
※①②③は、全調査対象者分の手帳所持者であり、重複手帳所持者を含みます。

3-1 基礎的事項

(1) 回答者

問1 お子さんからみたあなたの続柄を教えてください。（1つに○）

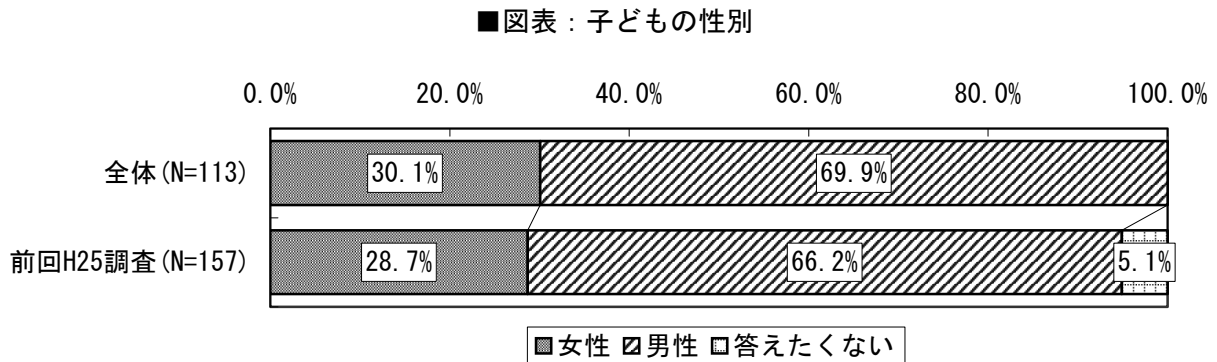
回答者をみると、「母親」が85.0%と8割以上を占めています。



(2) 子どもの性別

問2 お子さんの性別はどちらですか。(1つに○)

子どもの性別をみると、「女性」が30.1%、「男性」が69.9%となっています。

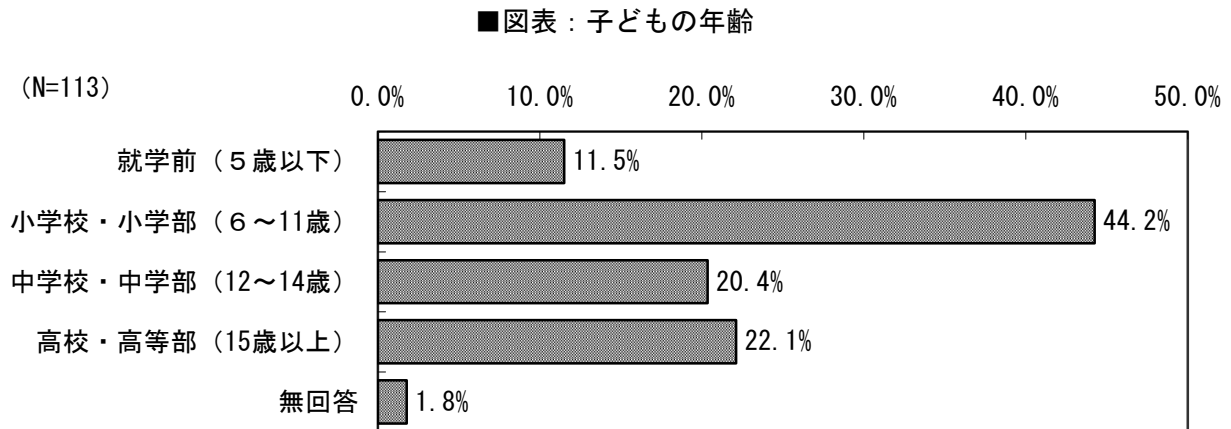


(3) 子どもの年齢

問3 お子さんの年齢は満何歳ですか。

※令和2年1月1日現在でお答えください。

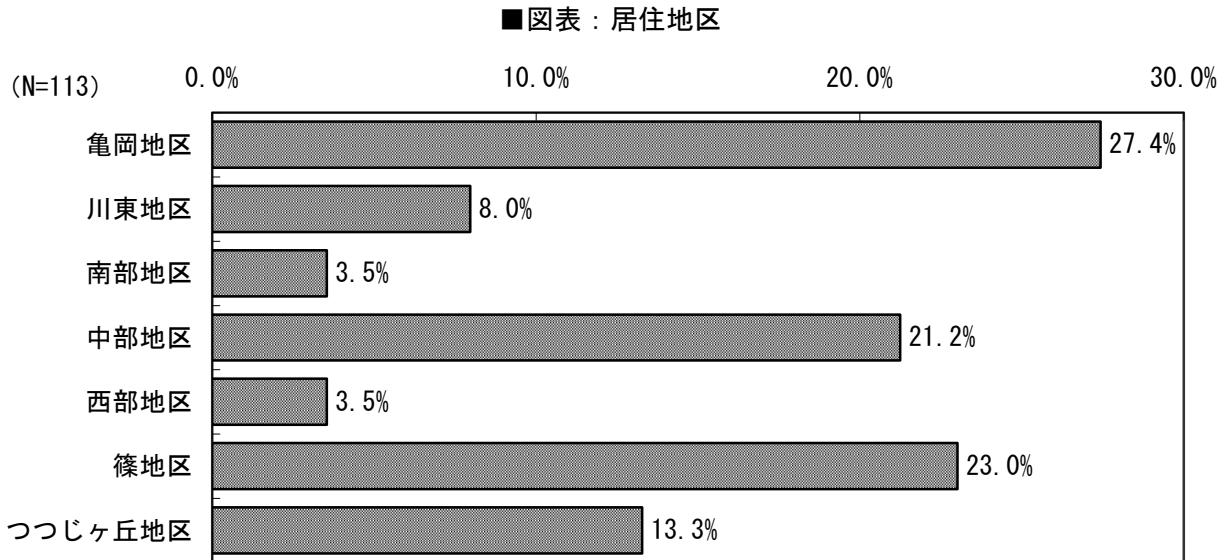
子どもの年齢をみると、「就学前(5歳以下)」が11.5%、「小学校・小学部(6~11歳)」が44.2%、「中学校・中学部(12~14歳)」が20.4%、「高校・高等部(15歳以上)」が22.1%となっています。



(4) 居住地区

問4 あなたとお子さんのお住まいはどちらですか。(1つに〇)

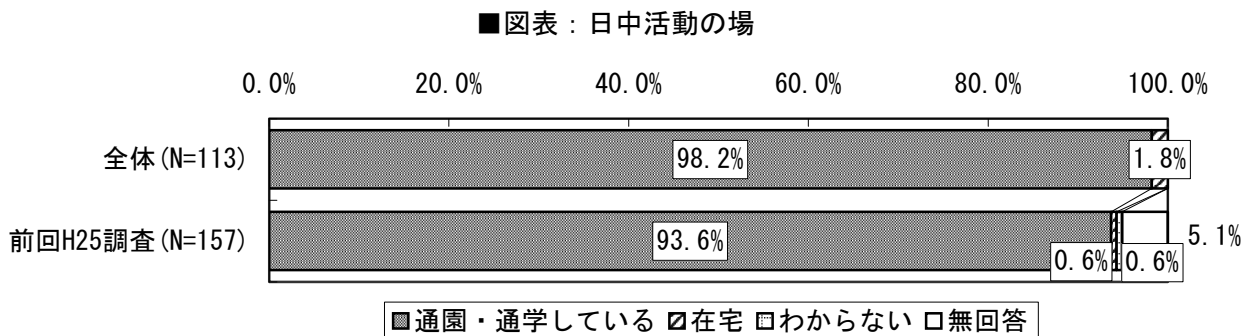
居住地区をみると、「亀岡地区」が27.4%で最も多く、次いで「篠地区」(23.0%)となっています。



(5) 日中活動の場

問5 お子さんの日中活動の場を教えてください。(1つに〇)

日中活動の場をみると、「通園・通学している」が98.2%となっています。



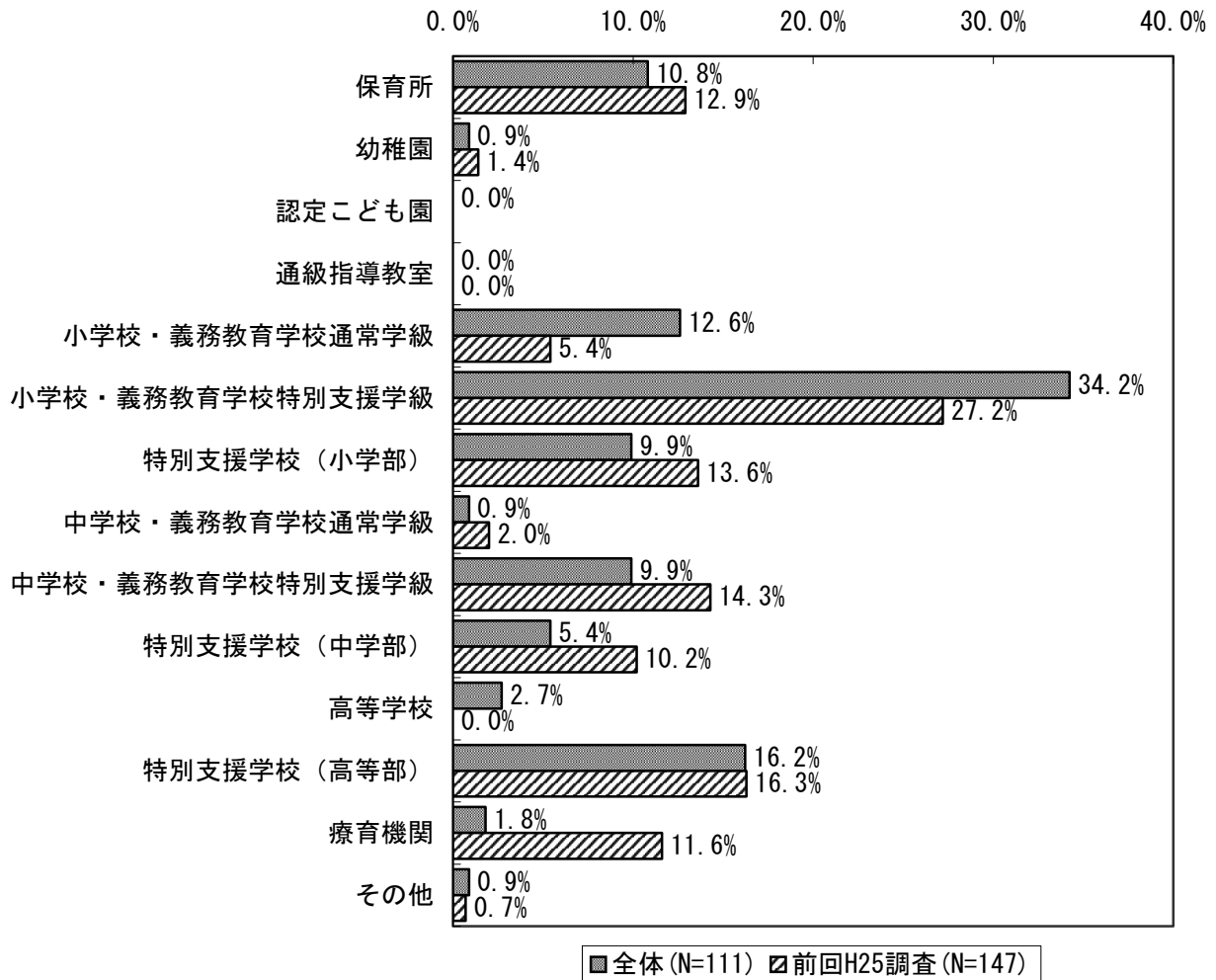
(6) 現在の通園・通学場所

問5で「1. 通園・通学している」と回答された方にお聞きします。

問6 現在の通園・通学場所について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

通園・通学している人について、現在の通園・通学場所をみると、「小学校・義務教育学校特別支援学級」が34.2%で最も多く、次いで「特別支援学校（高等部）」（16.2%）、「小学校・義務教育学校通常学級」（12.6%）となっています。

■図表：現在の通園・通学場所（複数回答）

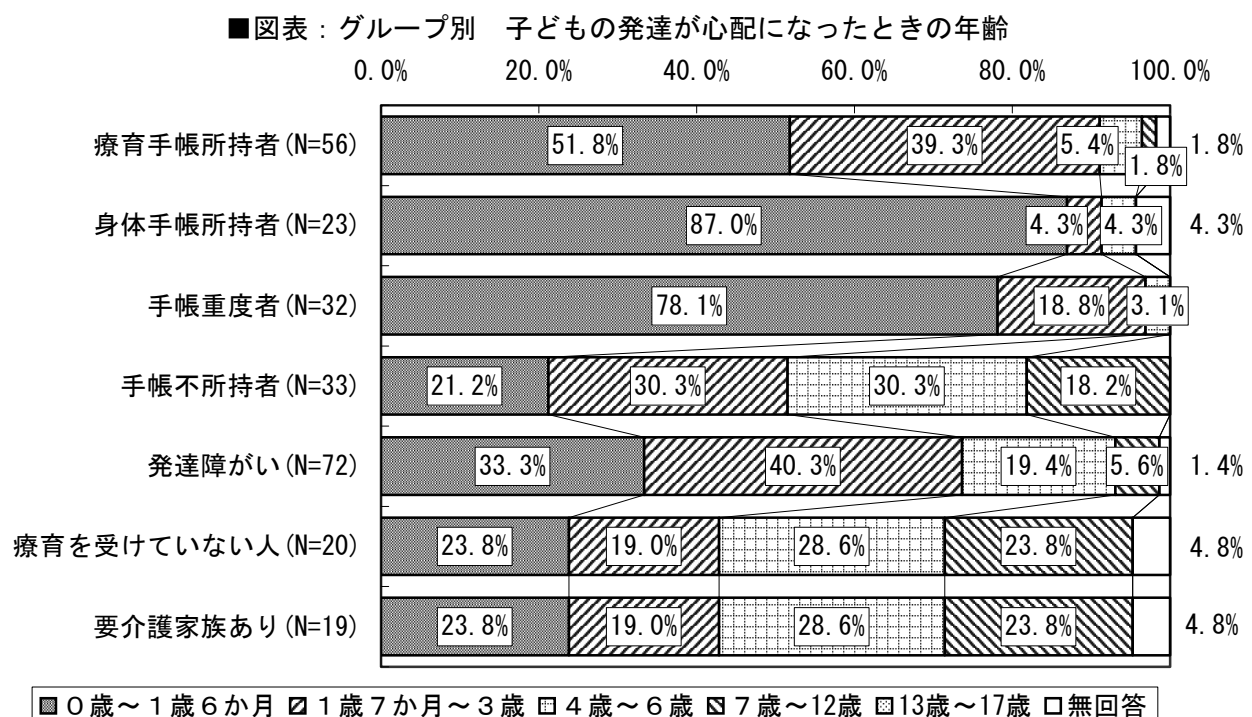
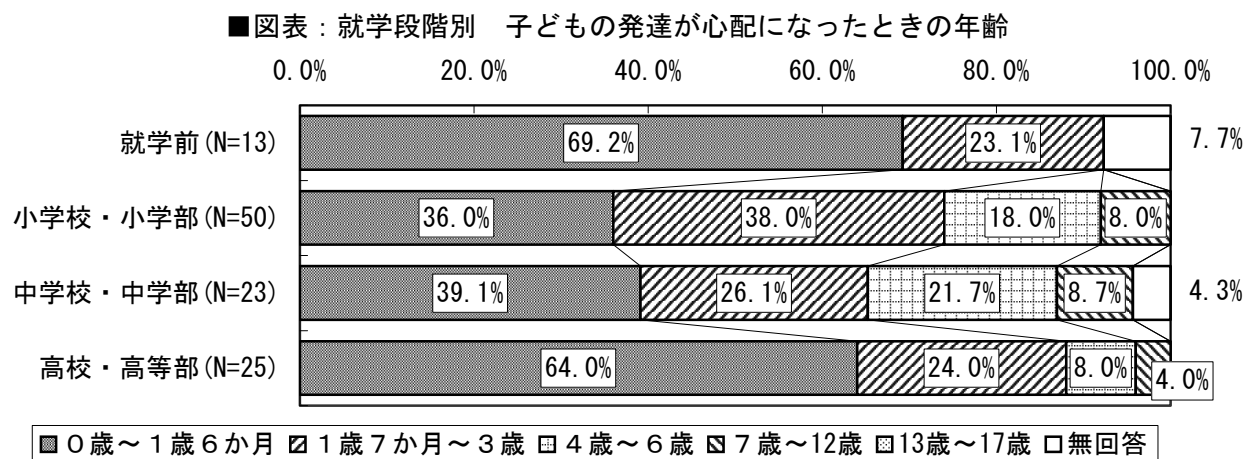
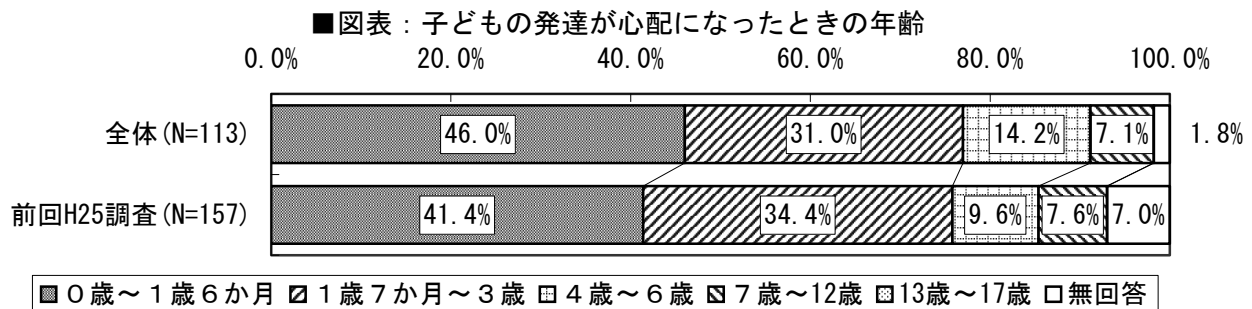


3-2 発達上の課題

(1) 子どもの発達が心配になったときの年齢

問7 はじめて、お子さんの発達が心配になったときのお子さんの年齢を教えてください。(1つに○)

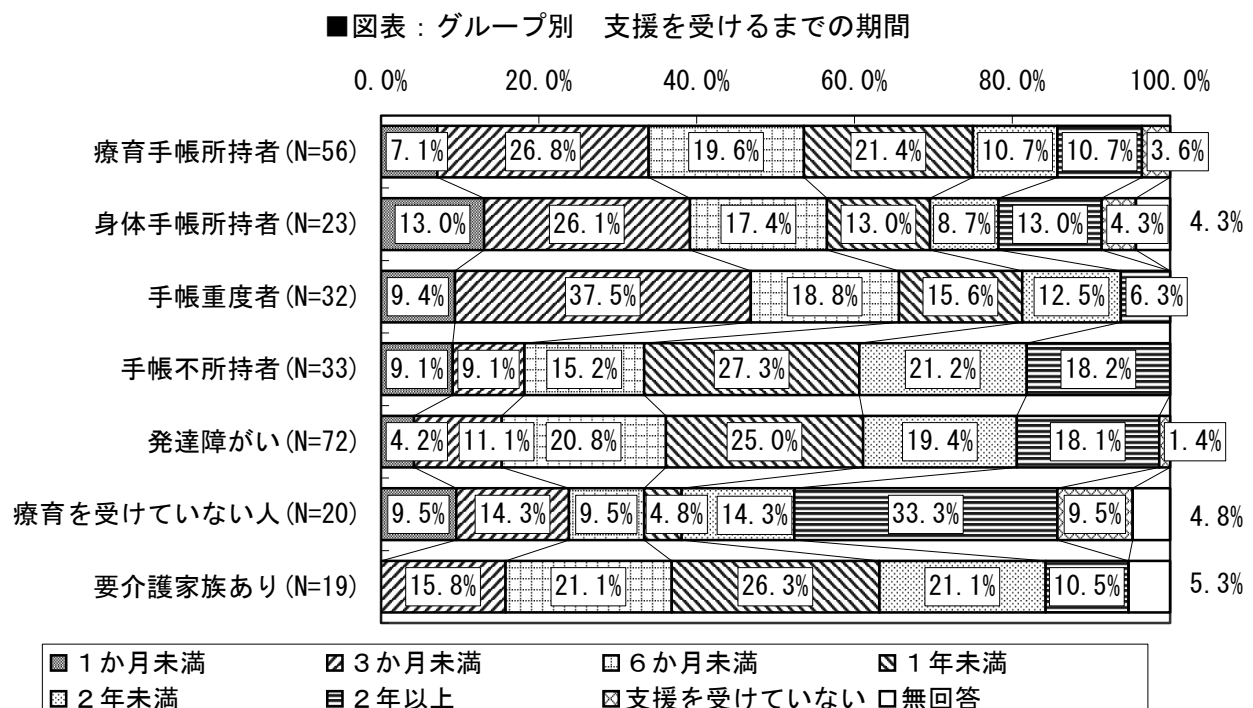
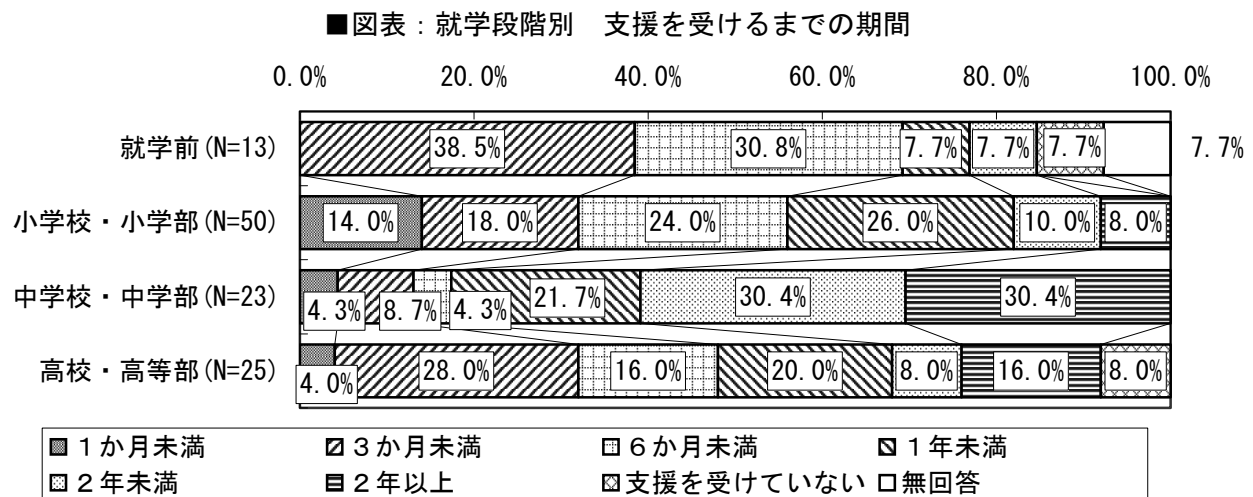
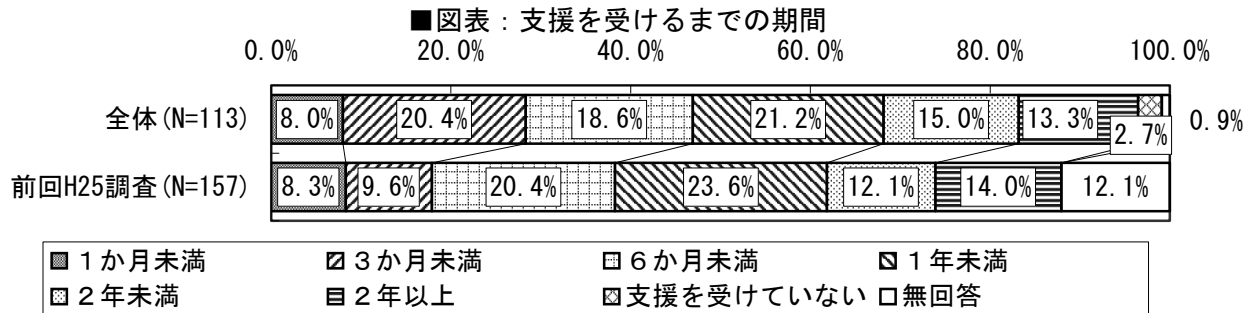
子どもの発達が心配になったときの年齢をみると、身体と重度は約8割が「0歳～1歳6か月」となっています。



(2) 支援を受けるまでの期間

問8 お子さんの発達上の課題について、はじめて関係機関で相談をしてから、あるいははじめて発達が心配になってから、言語訓練、動作訓練、学習支援などの支援を受けるまでの期間について教えてください。(1つに〇)

支援を受けるまでの期間をみると、「1年未満」が21.2%で最も多く、6割以上が相談してから1年以内に支援を受けています。



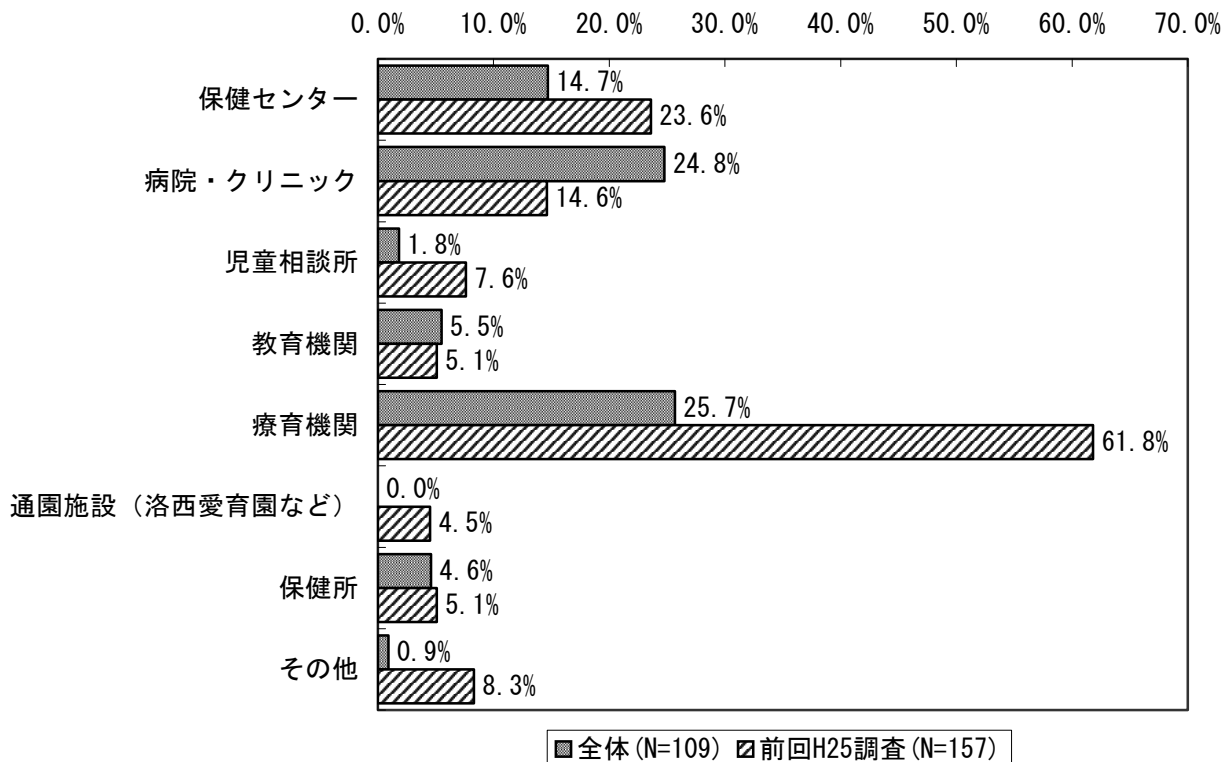
(3) 支援を受けた機関

問8で「7. 支援を受けていない」と回答しなかった方にお聞きします。

問9 その支援を受けた機関名を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

支援を受けている人について、受けた機関をみると、「療育機関」が25.7%で最も多くなっていますが、前回(61.8%)に比べると大きく減少しています。

■図表：支援を受けた機関（複数回答）



■図表：支援を受けた機関（複数回答）

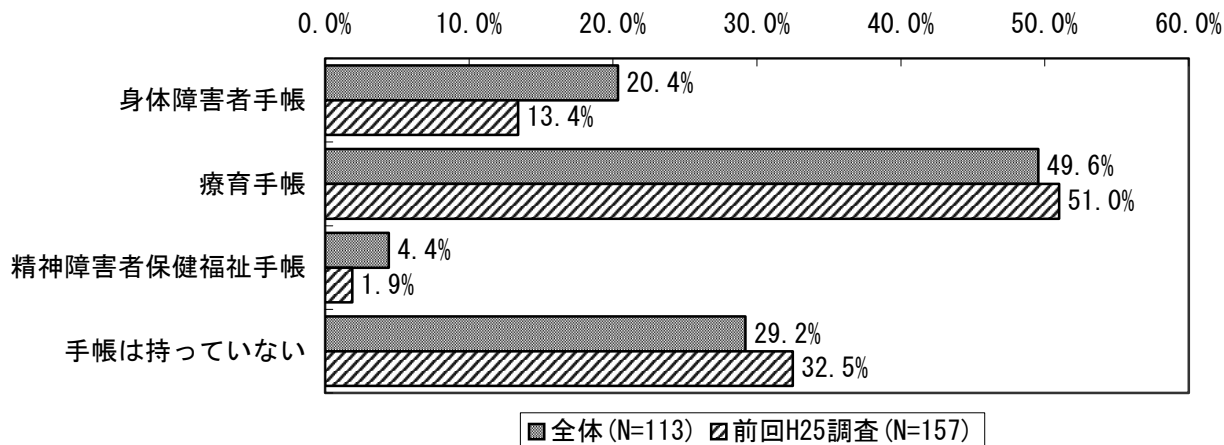
	有効回答数	保健センター	病院・クリニック	児童相談所	教育機関	療育機関	通園施設(洛西愛育園など)	保健所	その他
全体	109	14.7%	24.8%	1.8%	5.5%	25.7%	0.0%	4.6%	0.9%
就学段階	就学前	11	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	小学校・小学部	50	18.0%	30.0%	0.0%	6.0%	0.0%	6.0%	0.0%
	中学校・中学部	23	13.0%	30.4%	4.3%	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%
	高校・高等部	23	17.4%	13.0%	0.0%	4.3%	0.0%	4.3%	4.3%
グループ別	療育手帳所持者	54	16.7%	18.5%	3.7%	3.7%	0.0%	3.7%	1.9%
	身体手帳所持者	21	9.5%	19.0%	0.0%	4.8%	0.0%	14.3%	0.0%
	手帳重度者	32	9.4%	18.8%	3.1%	3.1%	0.0%	9.4%	3.1%
	手帳不所持者	33	15.2%	33.3%	0.0%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	71	16.9%	29.6%	1.4%	5.6%	0.0%	2.8%	1.4%
	療育を受けていない人	18	16.7%	44.4%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護家族あり	18	16.7%	16.7%	5.6%	5.6%	44.4%	0.0%	5.6%	

(4) 障害者手帳の所持状況

問10 お子さんが持っている障害者手帳は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

障害者手帳の所持状況をみると、「身体障害者手帳」は20.4%、「療育手帳」は49.6%となっています。

■図表：障害者手帳の所持状況（複数回答）



■図表：障害者手帳の所持状況（複数回答）

		有効回答数	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	手帳は持っていない
全体		113	20.4%	49.6%	4.4%	29.2%
就学段階	就学前	13	38.5%	69.2%	0.0%	0.0%
	小学校・小学部	50	16.0%	30.0%	4.0%	48.0%
	中学校・中学部	23	8.7%	60.9%	8.7%	26.1%
	高校・高等部	25	32.0%	68.0%	4.0%	8.0%
診断	発達障がい	72	5.6%	52.8%	5.6%	38.9%
	難病認定	9	55.6%	33.3%	0.0%	11.1%

(5) 身体障害者手帳の等級

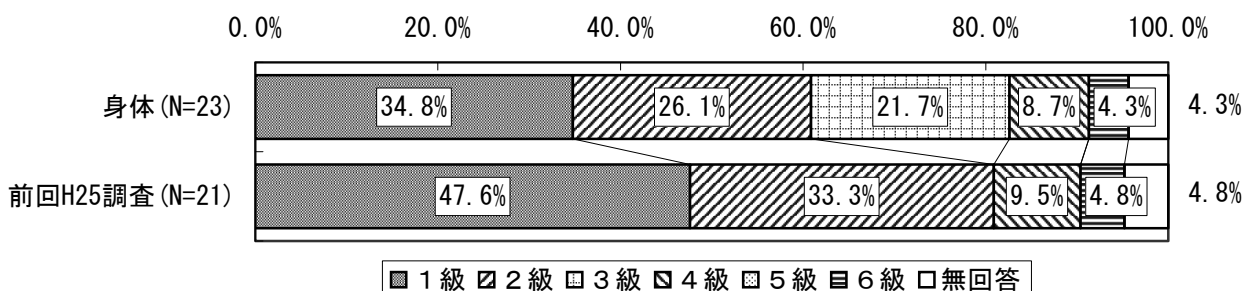
問10で「1. 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きします。

回答しなかった方は問14へお進みください。

問11 「身体障害者手帳」の等級は何級ですか。(1つに○)

身体障害者手帳を持っている人の等級をみると、「1級」が34.8%で最も多く、次いで「2級」(26.1%)となっています。

■図表：身体障害者手帳の等級



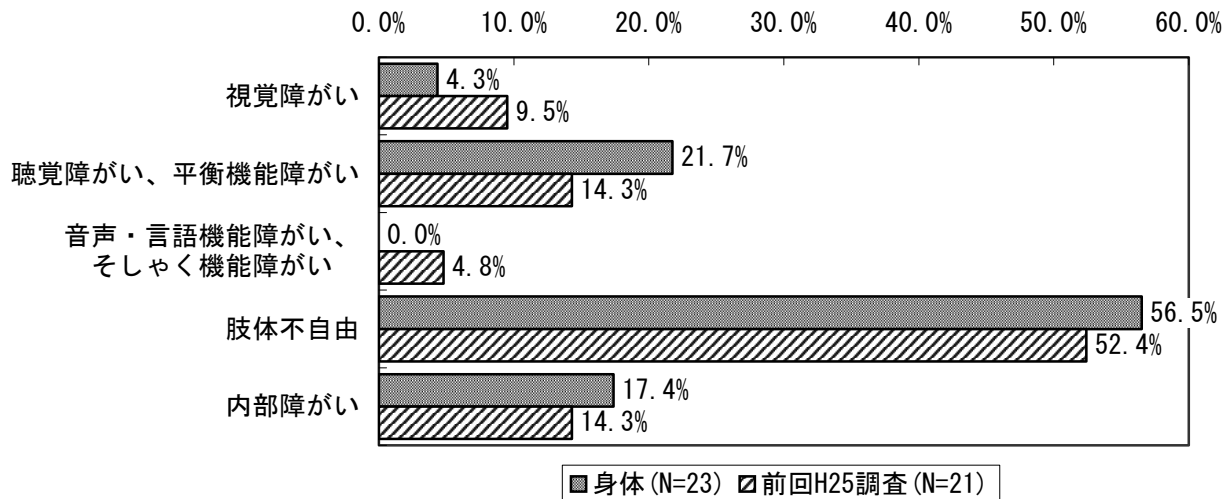
(6) 身体障がいの種類

問 10 で「1. 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きします。

問 12 どのような障がいですか。(あてはまるものすべてに○)

身体障がいの種類をみると、「肢体不自由」が56.5%で最も多くなっています。

■図表：身体障がいの種類（複数回答）



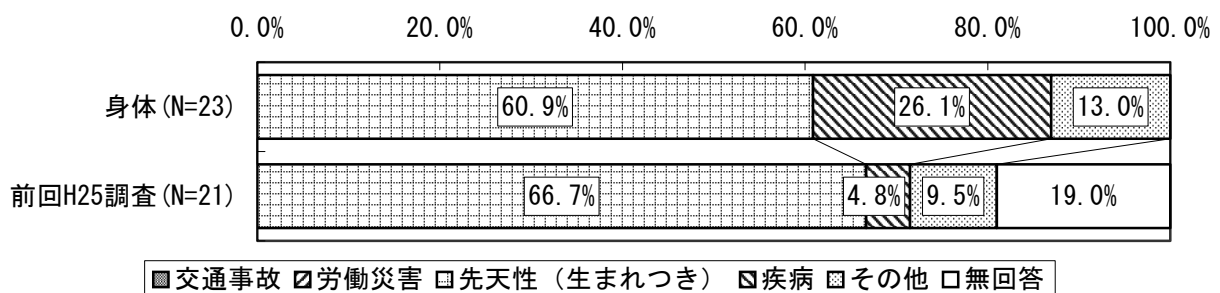
(7) 障がいの原因

問 10 で「1. 身体障害者手帳」と回答された方にお聞きします。

問 13 障がいの原因は、次のどれですか。(1つに○)

障がいの原因をみると、「先天性（生まれつき）」が60.9%で最も多くなっています。「疾病」（26.1%）は前回（4.8%）に比べて20ポイント以上増加しています。

■図表：障がいの原因



(8) 療育手帳の判定

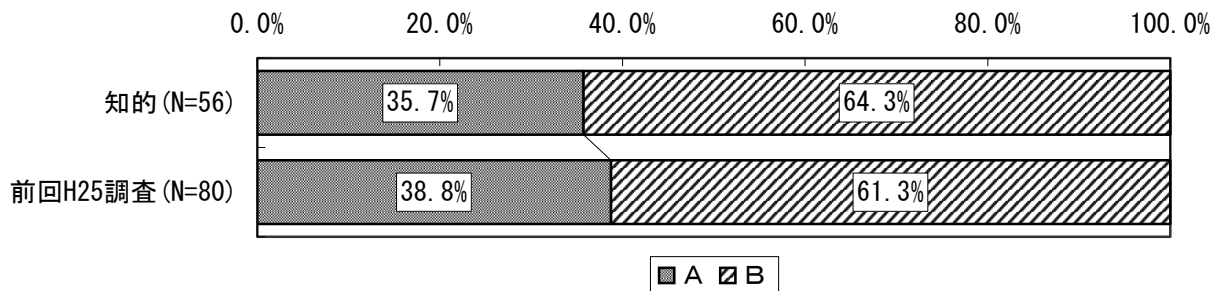
問 10 で「2. 療育手帳」と回答された方にお聞きします。

回答しなかった方は問 15 へお進みください。

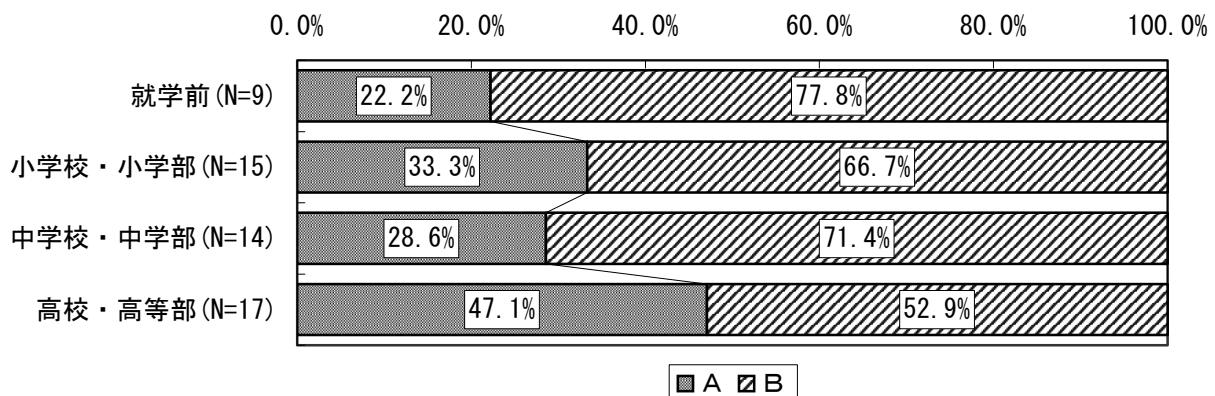
問 14 「療育手帳」の判定は、次のどれですか。(1つに○)

療育手帳を持っている人の判定をみると、「A」が35.7%、「B」が64.3%となっています。

■図表：療育手帳の判定



■図表：就学段階別 療育手帳の判定



(9) 精神障害者保健福祉手帳の等級

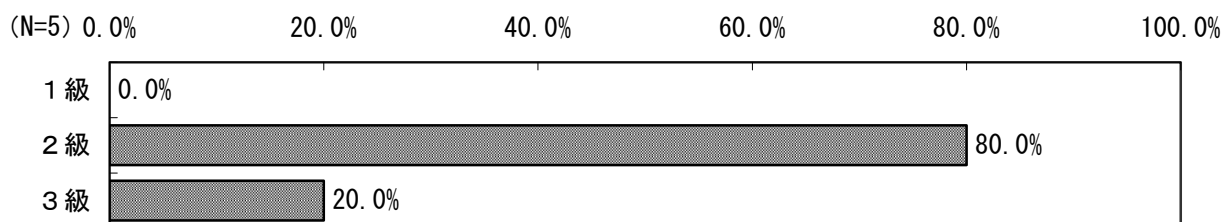
問 10 で「3. 精神障害者保健福祉手帳」と回答された方にお聞きします。

回答しなかった方は問 16 へお進みください。

問 15 「精神障害者保健福祉手帳」の等級は、何級ですか。(1つに○)

対象者が少ないのでコメントは省略します。

■図表：精神障害者保健福祉手帳の等級

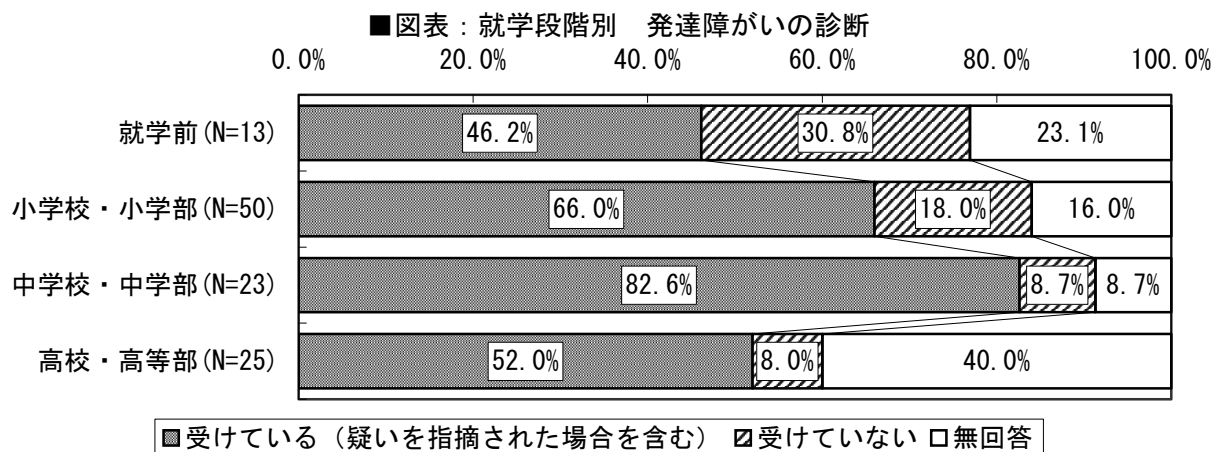
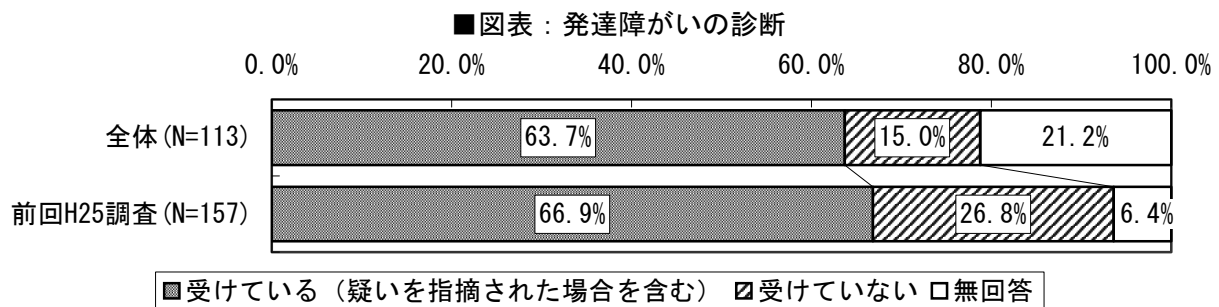


(10) 発達障がいの診断

問 16 から問 19 までは、障害者手帳の交付の要件にはあたらない、生活の負担になる症状などについてお聞きします。

問 16 お子さんは発達障がいの診断を受けていますか。(広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなど) (1つに○)

発達障がいの診断をみると、診断を受けている人は中学校・中学部では8割以上となっています。



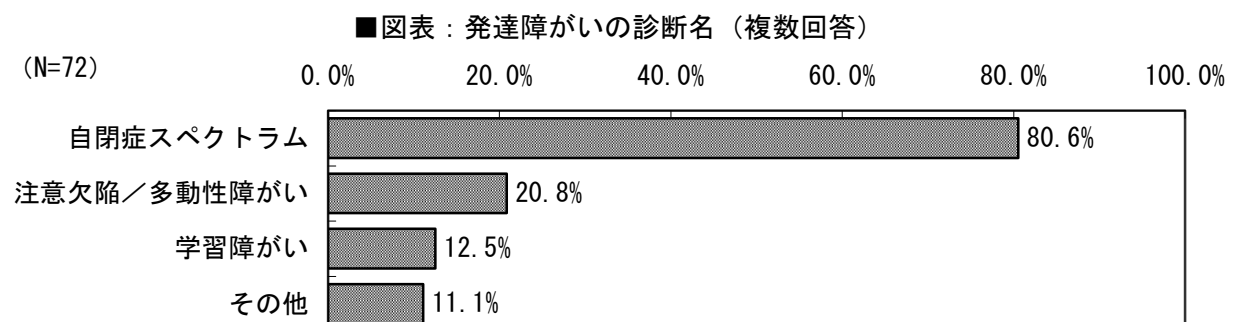
(11) 発達障がいの診断名

問 16 で「1. 受けている」と回答した方にお聞きします。

「2. 受けていない」と回答した方は問 18 へお進みください。

問 17 お子さんの発達障がいの診断名 (疑いを指摘された場合を含む) は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

発達障がいの診断を受けている人について、診断名をみると、「自閉症スペクトラム」が80.6%で最も多くなっています。



■図表：発達障がいの診断名（複数回答）

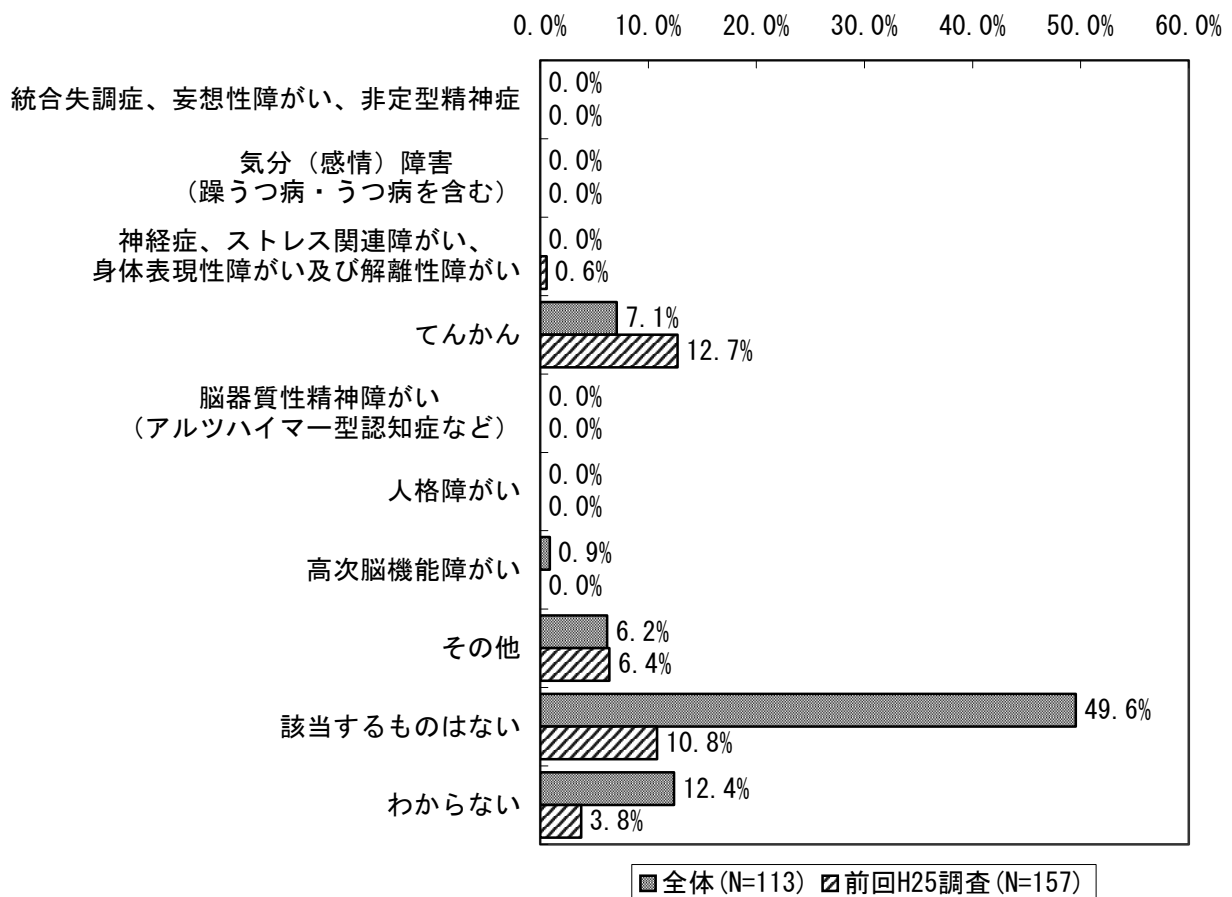
		有効 回答 数	ラ 自 閉 症 ス ペ ク ト	性 注 意 が 欠 陥 ／ 多 動	学 習 障 が い	そ の 他
全体		72	80.6%	20.8%	12.5%	11.1%
就 学 段 階	就学前	6	66.7%	0.0%	16.7%	33.3%
	小学校・小学部	33	75.8%	21.2%	9.1%	12.1%
	中学校・中学部	19	84.2%	31.6%	10.5%	5.3%
	高校・高等部	13	100.0%	15.4%	15.4%	7.7%

(12) 診断を受けた症状

問 18 お子さんは次のような診断（疑いを指摘された場合を含む）を受けていますか。
（あてはまるものすべてに○）

診断を受けた症状をみると、「該当するものはない」がほぼ半数を占めています。

■図表：診断を受けた症状（複数回答）



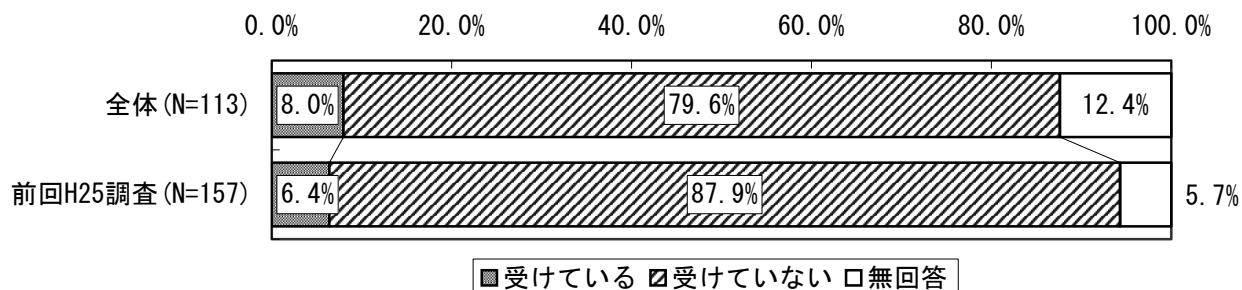
※前回のみ項目：自閉症スペクトラム（57.3%）

(13) 難病（小児慢性特定疾病）の認定

問 19 お子さんは、難病（小児慢性特定疾病）の認定を受けていますか。（1つに○）

難病（小児慢性特定疾病）の認定を受けている人は8.0%となっています。

■図表：難病（小児慢性特定疾病）の認定



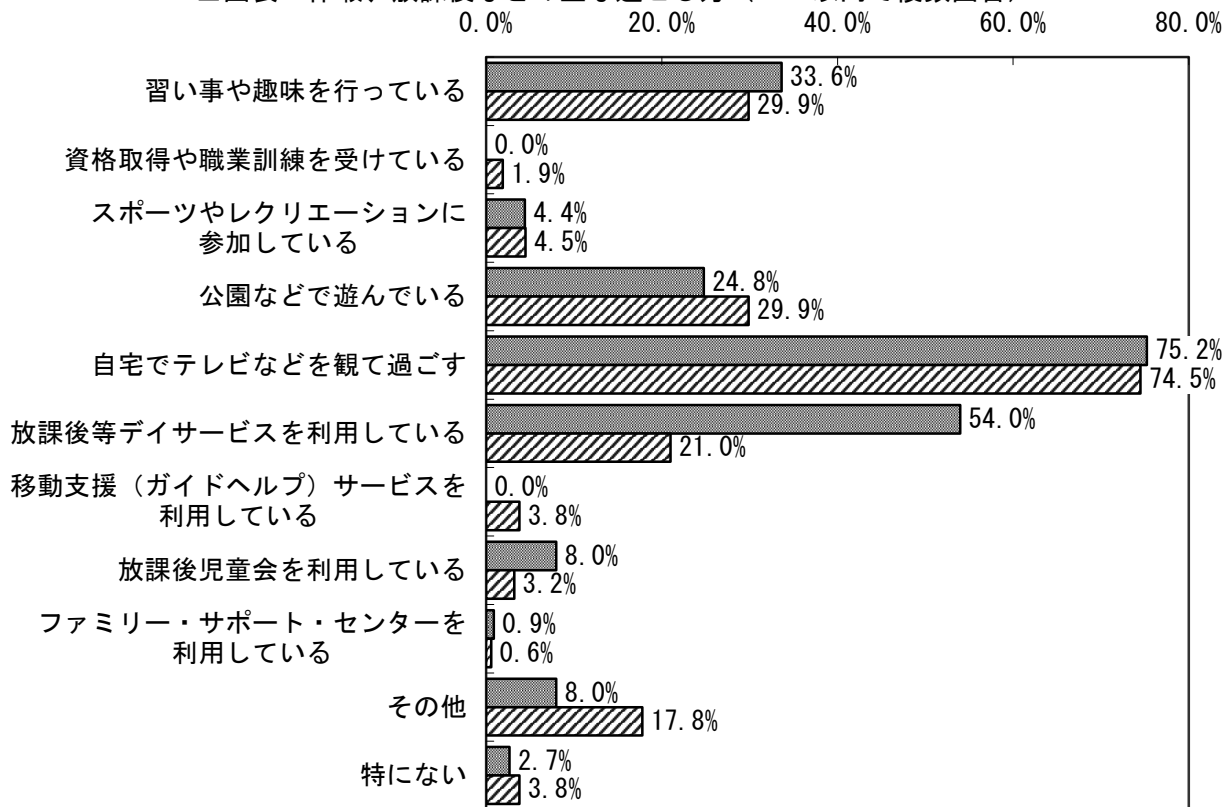
3-3 休暇、放課後などの過ごし方

(1) 休暇、放課後などの主な過ごし方

問 20 お子さんの休暇、放課後などの主な過ごし方は次のうちのどれですか。(3つまでに○)

休暇、放課後などの主な過ごし方をみると、高校・高等部は「放課後等デイサービスを利用している」、それ以外の就学段階では「自宅でテレビなどを観て過ごす」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：休暇、放課後などの主な過ごし方（3つ以内で複数回答）



■全体 (N=113) □前回H25調査 (N=157)

前回のみの項目：日中一時支援事業を利用している (8.9%)

■図表：休暇、放課後などの主な過ごし方（3つ以内で複数回答）

	有効回答数	習い事や趣味を行っている	資格取得や職業訓練を受けている	スポーツやレクリエーションに参加している	公園などで遊んでいる	自宅でテレビなどを観て過ごす	放課後等デイサービスを利用している	移動支援（ガイドヘルプ）サービスを利用している	放課後児童会を利用している	ファミリー・サポート・センターを利用している	その他	特にない
全体	113	33.6%	0.0%	4.4%	24.8%	75.2%	54.0%	0.0%	8.0%	0.9%	8.0%	2.7%
就学段階												
就学前	13	15.4%	0.0%	7.7%	61.5%	84.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
小学校・小学部	50	46.0%	0.0%	4.0%	32.0%	74.0%	54.0%	0.0%	18.0%	0.0%	4.0%	0.0%
中学校・中学部	23	34.8%	0.0%	0.0%	8.7%	82.6%	60.9%	0.0%	0.0%	0.0%	13.0%	4.3%
高校・高等部	25	20.0%	0.0%	8.0%	8.0%	72.0%	76.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	4.0%
グループ別												
療育手帳所持者	56	16.1%	0.0%	5.4%	23.2%	76.8%	64.3%	0.0%	5.4%	0.0%	8.9%	1.8%
身体手帳所持者	23	34.8%	0.0%	4.3%	30.4%	78.3%	47.8%	0.0%	0.0%	4.3%	17.4%	4.3%
手帳重度者	32	15.6%	0.0%	3.1%	15.6%	71.9%	71.9%	0.0%	3.1%	0.0%	9.4%	3.1%
手帳不所持者	33	54.5%	0.0%	3.0%	24.2%	72.7%	45.5%	0.0%	18.2%	0.0%	6.1%	3.0%
発達障がい	72	33.3%	0.0%	5.6%	19.4%	76.4%	55.6%	0.0%	11.1%	0.0%	6.9%	2.8%
療育を受けていない人	21	57.1%	0.0%	4.8%	28.6%	81.0%	28.6%	0.0%	14.3%	4.8%	4.8%	0.0%
要介護家族あり	19	26.3%	0.0%	5.3%	15.8%	73.7%	52.6%	0.0%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%

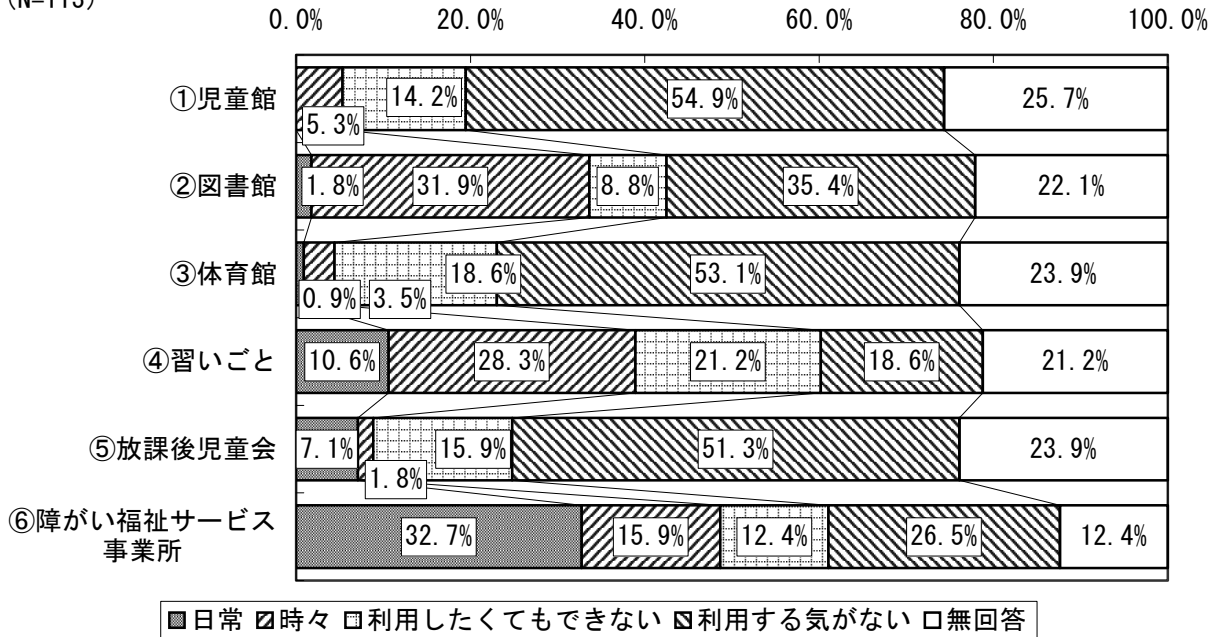
(2) 施設などの利用状況

問 21 日常の放課後や休日の過ごし方について、施設などの利用状況をお教えてください。
(各項目あてはまるものそれぞれ1つに○)

施設などの利用状況をみると、利用している人(「日常」と「時々」の合計)は手帳不所持者と療育を受けていない人では「④習いごと」、それ以外のグループでは「⑥障がい福祉サービス事業所」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：施設などの利用状況

(N=113)



■図表：施設などの利用状況(「日常」+「時々」の割合)

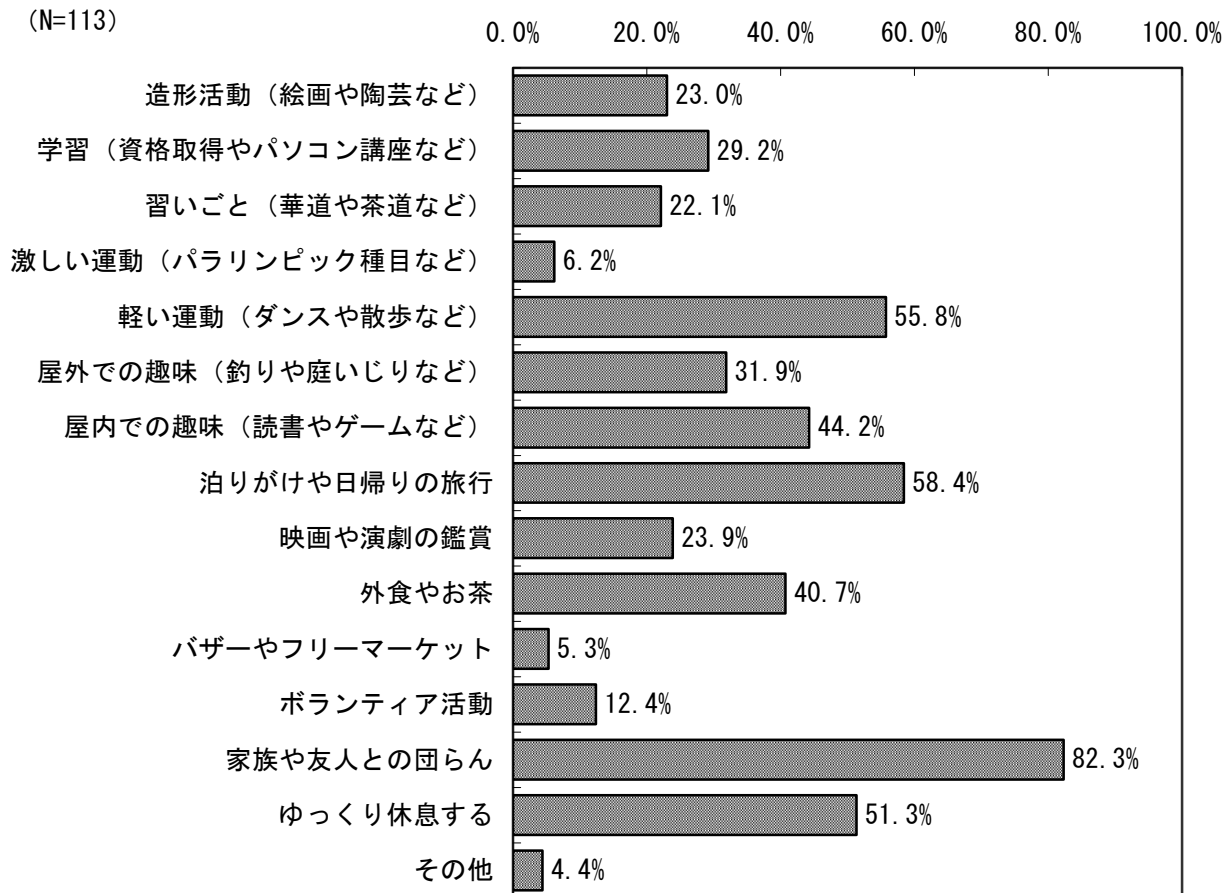
	有効回答数	①児童館	②図書館	③体育館	④習いごと	⑤放課後児童会	⑥障がい福祉サービス事業所	
全体	113	5.3%	33.6%	4.4%	38.9%	8.8%	48.7%	
就学段階	就学前	13	15.4%	23.1%	0.0%	23.1%	0.0%	15.4%
	小学校・小学部	50	8.0%	44.0%	4.0%	50.0%	18.0%	48.0%
	中学校・中学部	23	0.0%	34.8%	4.3%	34.8%	0.0%	56.5%
	高校・高等部	25	0.0%	20.0%	8.0%	32.0%	4.0%	60.0%
グループ別	療育手帳所持者	56	3.6%	25.0%	1.8%	23.2%	5.4%	60.7%
	身体手帳所持者	23	8.7%	34.8%	4.3%	34.8%	4.3%	39.1%
	手帳重度者	32	3.1%	25.0%	3.1%	18.8%	6.3%	65.6%
	手帳不所持者	33	6.1%	42.4%	9.1%	63.6%	18.2%	39.4%
	発達障がい 療育を受けていない人	72	4.2%	37.5%	5.6%	41.7%	11.1%	52.8%
要介護家族あり	19	0.0%	26.3%	5.3%	26.3%	5.3%	52.6%	

(3) 放課後や休日、長期休暇中の過ごし方の希望

問 22 お子さんには、放課後や休日、長期休暇中にどのように過ごさせたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

放課後や休日、長期休暇中の過ごし方の希望をみると、「家族や友人との団らん」が82.3%で最も多く、次いで「泊りがけや日帰りの旅行」(58.4%)、「軽い運動(ダンスや散歩など)」(55.8%)となっています。

■図表：放課後や休日、長期休暇中の過ごし方の希望（複数回答）

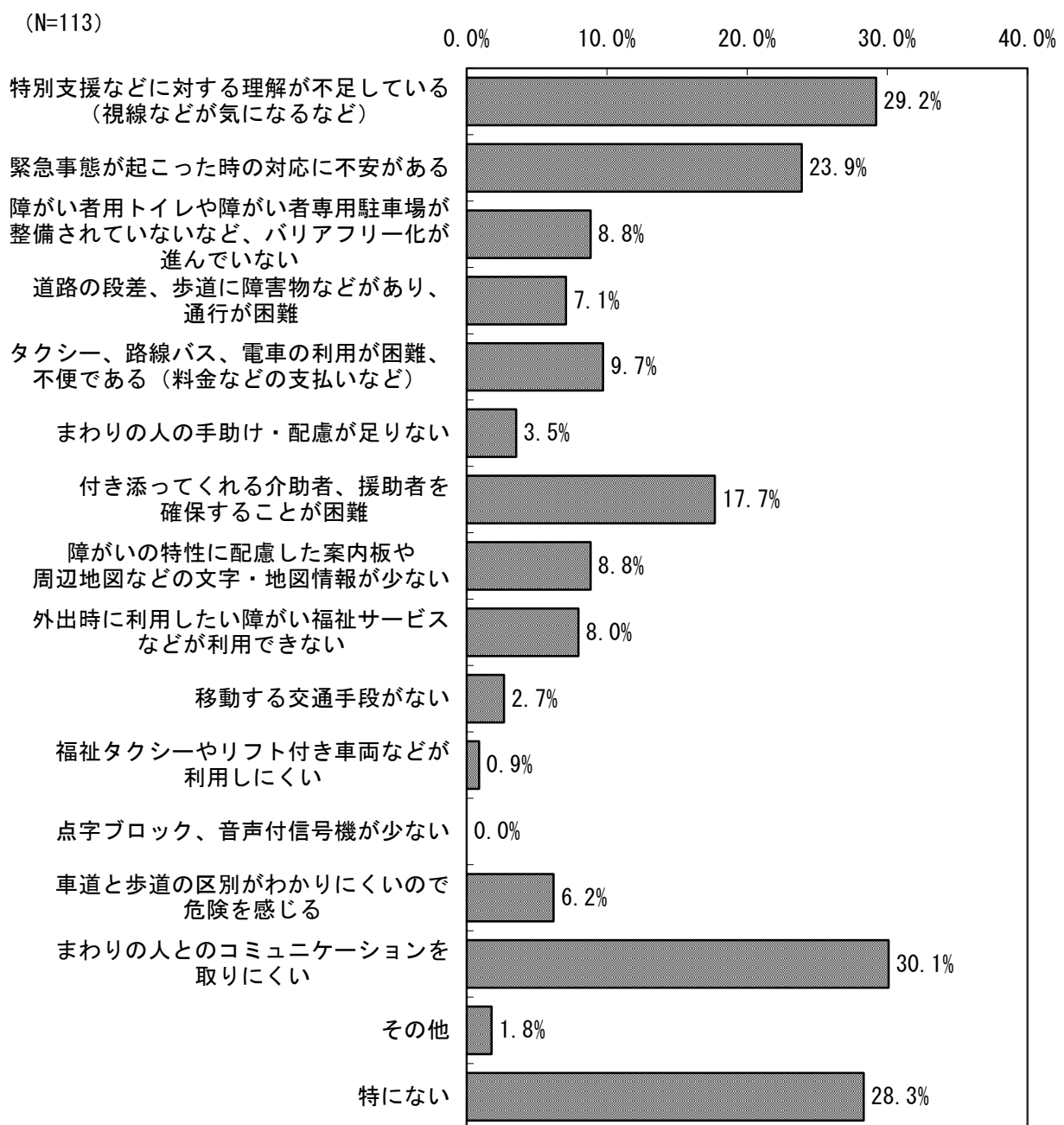


(4) 外出の際に困ること・改善が必要なこと

問 23 お子さんの身の回りで、外出のときに必要な設備や支援、改善が特に必要であるものは、何ですか。(3つまでに○)

外出の際に困ること・改善が必要なことをみると、「特にない」を除いて、就学前と高校・高等部では「特別支援などに対する理解が不足している(視線などが気になるなど)」(高校・高等部では「付き添ってくれる介助者、援助者を確保することが困難」も同率)、小学校・小学部と中学校・中学部では「まわりの人とのコミュニケーションを取りにくい」(高校・高等部では「緊急事態が起こった時の対応に不安がある」も同率)がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：外出の際に困ること・改善が必要なこと（3つ以内で複数回答）



■図表：外出の際に困ること・改善が必要なこと（3つ以内で複数回答）

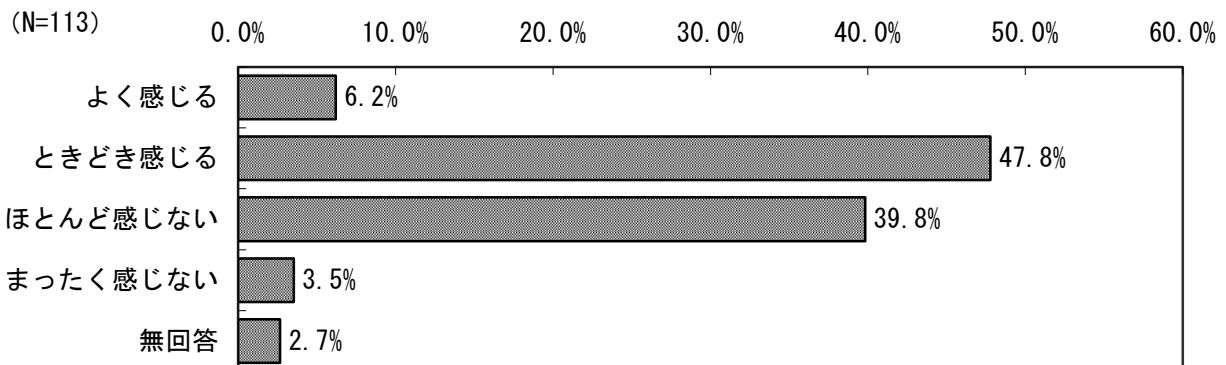
	有効回答数	（多）し特別支援など（視線など）が気になる	緊急事態が起こった時の対応に不安がある	緊急性が起った時の対応に不安がある	駐車場の整備がされていない	障がい者用トイレや障がい者専用	道路の段差、歩道に障害物などがあり、通行が困難	支払いなど）	タクシー、路線バス、電車の利用が困難、不便である（料金などの利用	まわりの人の手助け・配慮が足りない	付き添ってくれる介助者、援助者を確保することが困難	少ない	周辺の特性に配慮した案内板や
全体	113	29.2%	23.9%	8.8%	7.1%	9.7%	3.5%	17.7%	8.8%				
就学段階	就学前	13	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%			
	小学校・小学部	50	24.0%	26.0%	6.0%	8.0%	6.0%	4.0%	12.0%	2.0%			
	中学校・中学部	23	21.7%	21.7%	4.3%	0.0%	13.0%	0.0%	17.4%	17.4%			
	高校・高等部	25	36.0%	36.0%	24.0%	16.0%	20.0%	8.0%	36.0%	20.0%			
	有効回答数	な障外などがい時に福利用でサレたい	な障外などがい時に福利用でサレたい	な障外などがい時に福利用でサレたい	な障外などがい時に福利用でサレたい	な障外などがい時に福利用でサレたい	な障外などがい時に福利用でサレたい	な障外などがい時に福利用でサレたい	な障外などがい時に福利用でサレたい	な障外などがい時に福利用でサレたい	な障外などがい時に福利用でサレたい	な障外などがい時に福利用でサレたい	な障外などがい時に福利用でサレたい
全体	113	8.0%	2.7%	0.9%	0.0%	6.2%	30.1%	1.8%	28.3%				
就学段階	就学前	13	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	23.1%	7.7%	30.8%			
	小学校・小学部	50	6.0%	4.0%	2.0%	0.0%	6.0%	26.0%	0.0%	36.0%			
	中学校・中学部	23	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	47.8%	0.0%	26.1%			
	高校・高等部	25	16.0%	4.0%	0.0%	0.0%	8.0%	24.0%	4.0%	12.0%			

(5) 差別や偏見を感じることもあるか

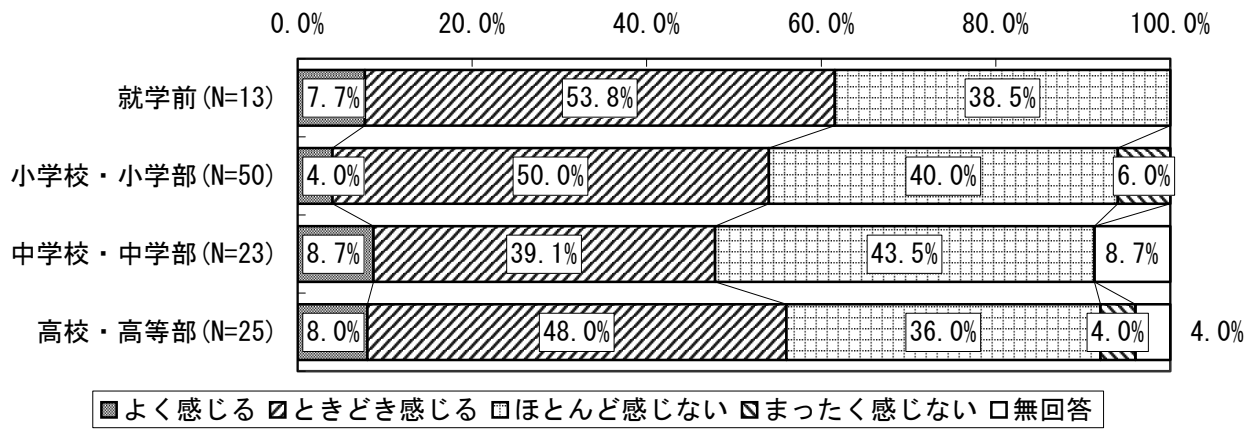
問 24 お子さんの日常生活において、差別や偏見を感じることはありませんか。(1つに○)

差別や偏見を感じることもあるかをみると、感じる（「よく感じる」と「ときどき感じる」の合計）は療育手帳所持者・重度者では6割を超えて多くなっています。

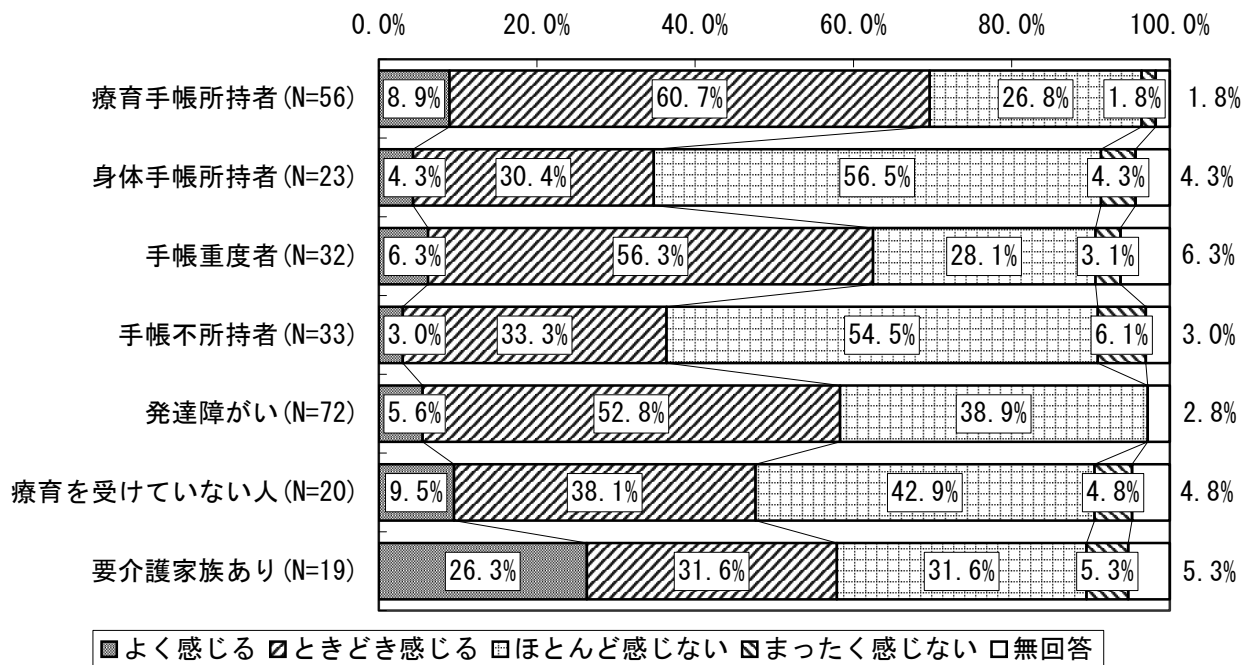
■図表：差別や偏見を感じることもあるか



■図表：就学段階別 差別や偏見を感じることもあるか



■図表：グループ別 差別や偏見を感じることもあるか

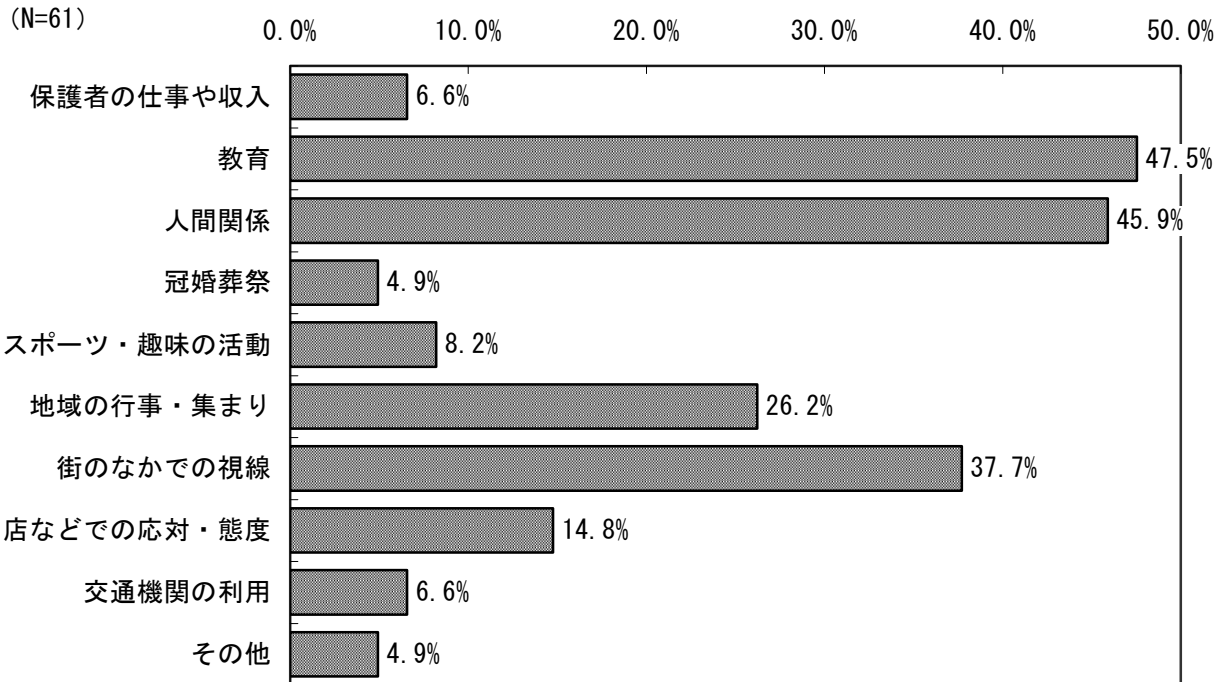


(6) 差別や偏見を感じた場面

問 24 で「1. よく感じる」または「2. ときどき感じる」と回答した方にお聞きします。
 問 25 どのような場面で差別や偏見を感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

差別や偏見を感じる方について、感じた場面をみると、身体・重度者では「街のなかでの視線」、それ以外のグループでは「教育」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：差別や偏見を感じた場面（複数回答）



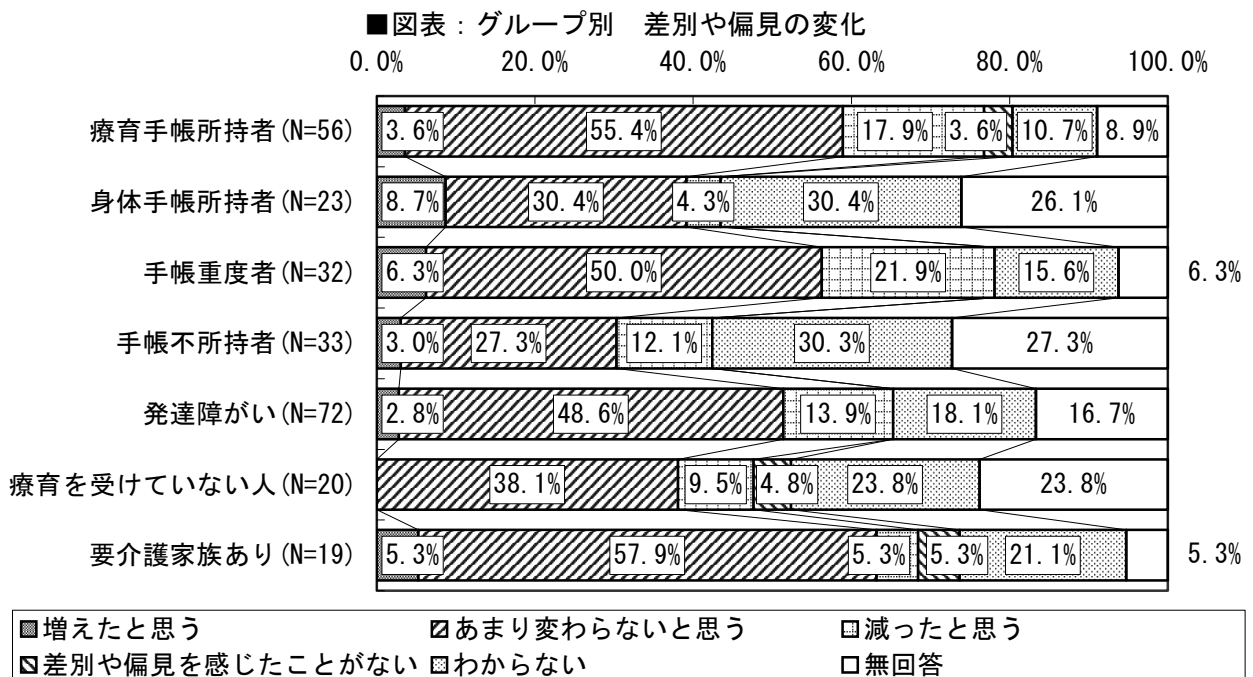
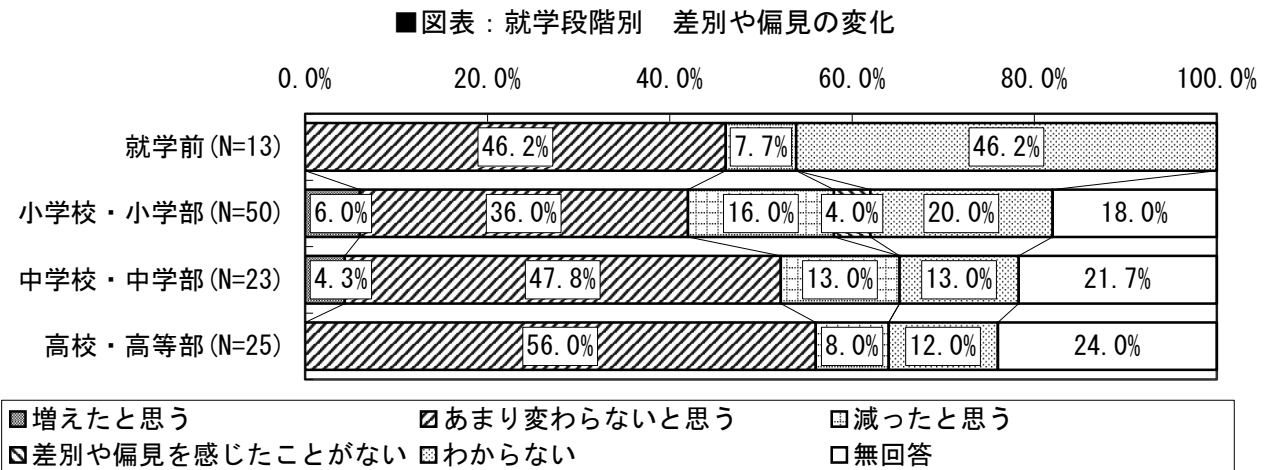
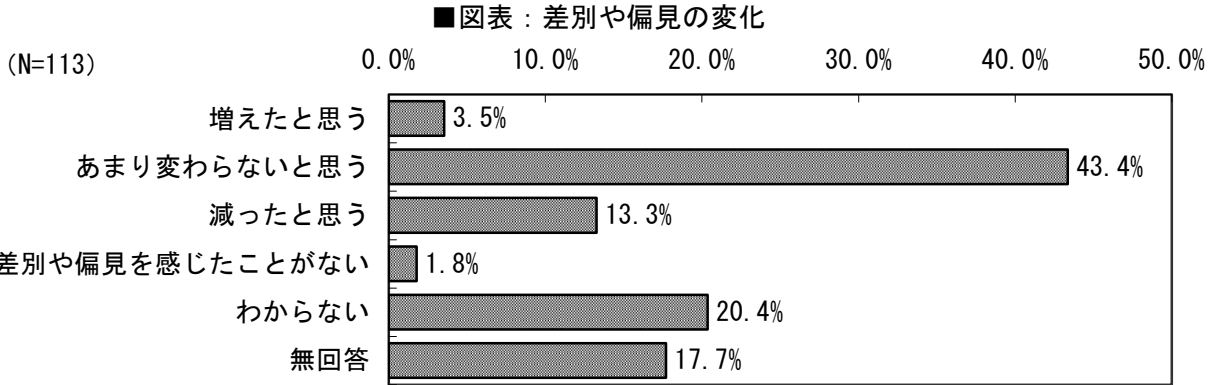
■図表：差別や偏見を感じた場面（複数回答）

	有効回答数	入保護者の仕事や収入	教育	人間関係	冠婚葬祭	活動スポーツ・趣味の	り地域の行事・集まり	街のなかでの視線	態度店などでの応対・	交通機関の利用	その他	
全体	61	6.6%	47.5%	45.9%	4.9%	8.2%	26.2%	37.7%	14.8%	6.6%	4.9%	
就学段階	就学前	8	12.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%
	小学校・小学部	27	7.4%	59.3%	51.9%	0.0%	14.8%	25.9%	29.6%	7.4%	3.7%	7.4%
	中学校・中学部	11	9.1%	36.4%	63.6%	9.1%	9.1%	27.3%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%
	高校・高等部	14	0.0%	42.9%	35.7%	14.3%	0.0%	42.9%	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%
グループ別	療育手帳所持者	39	7.7%	51.3%	41.0%	7.7%	10.3%	28.2%	38.5%	17.9%	7.7%	5.1%
	身体手帳所持者	8	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%
	手帳重度者	20	10.0%	35.0%	20.0%	10.0%	0.0%	45.0%	60.0%	35.0%	20.0%	5.0%
	手帳不所持者	12	8.3%	66.7%	75.0%	0.0%	8.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%
	発達障がい	42	9.5%	61.9%	54.8%	7.1%	11.9%	26.2%	31.0%	11.9%	4.8%	2.4%
	療育を受けていない人	10	0.0%	50.0%	70.0%	0.0%	10.0%	20.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	要介護家族あり	11	18.2%	72.7%	63.6%	9.1%	9.1%	45.5%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%

(7) 差別や偏見の変化

問 26 差別や偏見を感じることは、この5年間で変わったように思いますか。(1つに○)

差別や偏見の変化をみると、おおむねどのグループでも「減ったと思う」が「増えたと思う」を上回っています。



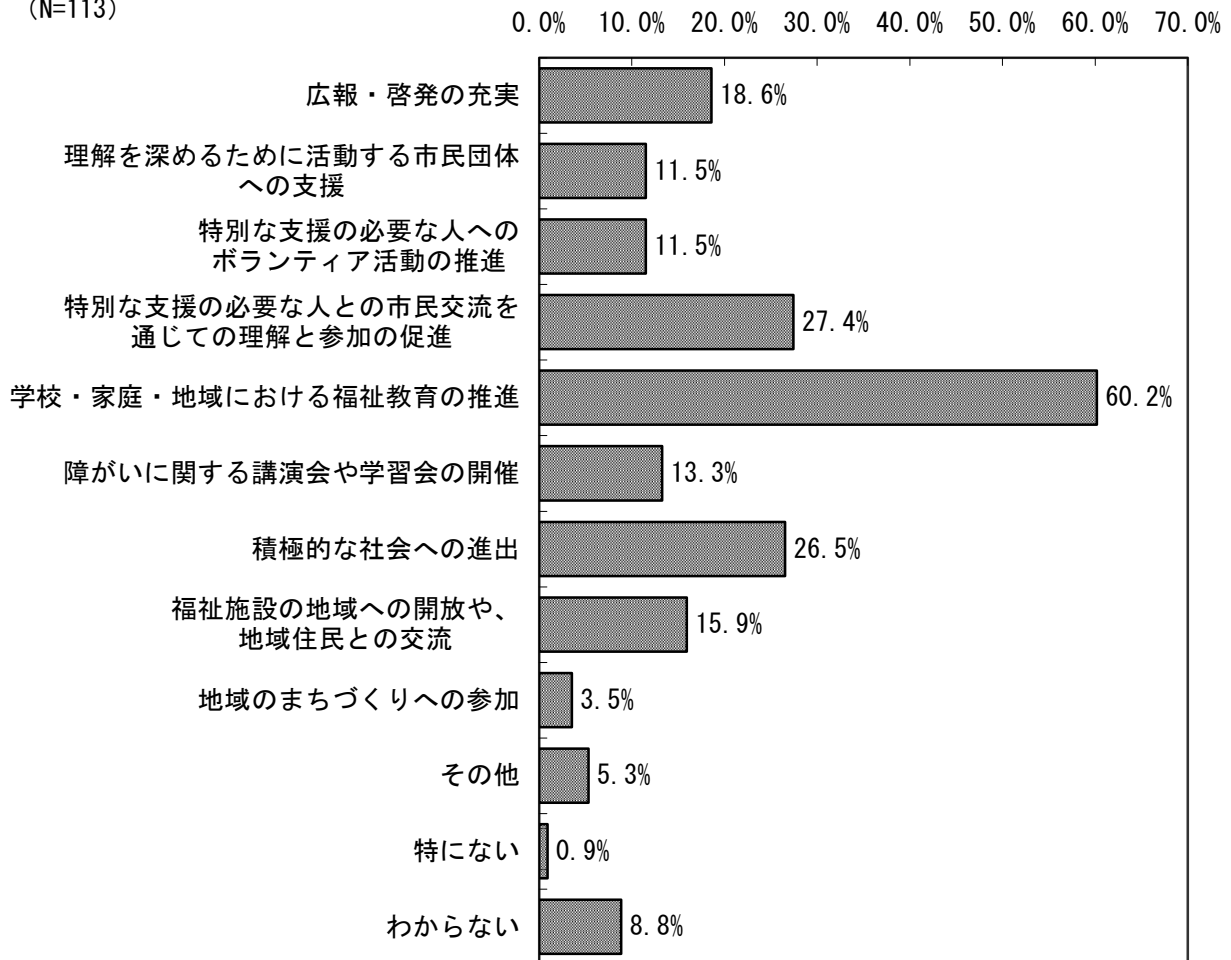
(8) 特別な支援の必要な人への市民の理解を深めるために必要なこと

問 27 お子さんとあなたは、特別な支援の必要な人への市民の理解を深めるためには、何が特に必要だと考えますか。(3つまでに○)

特別な支援の必要な人への市民の理解を深めるために必要なことをみると、「学校・家庭・地域における福祉教育の推進」が60.2%で最も多くなっています。

■図表：特別な支援の必要な人への市民の理解を深めるために必要なこと（3つ以内で複数回答）

(N=113)



■図表：特別な支援の必要な人への市民の理解を深めるために必要なこと（3つ以内で複数回答）

		有効 回答数	広 報・ 啓 発 の 充 実	援 動 理 解 す る 市 民 団 体 へ の 支 活	の へ 特 別 な 支 援 の 必 要 な 人 の 推 進	の と 特 別 な 支 援 の 必 要 な 人 の 理 解 と 参 加 の 促 進	け 学 校 ・ 福 祉 教 育 の 地 域 に お	や 障 が い に 関 す る 講 演 会
全体		113	18.6%	11.5%	11.5%	27.4%	60.2%	13.3%
就 学 段 階	就学前	13	23.1%	15.4%	0.0%	23.1%	61.5%	0.0%
	小学校・小学部	50	22.0%	10.0%	12.0%	24.0%	58.0%	16.0%
	中学校・中学部	23	17.4%	13.0%	17.4%	30.4%	73.9%	17.4%
	高校・高等部	25	12.0%	12.0%	12.0%	32.0%	52.0%	12.0%
		有効 回答数	の積 進極 出的 な社 会へ	域へ 住の 民開 と放 のや 交、 流地 域	り地 域の への 参ま 加ち づく	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い
全体		113	26.5%	15.9%	3.5%	5.3%	0.9%	8.8%
就 学 段 階	就学前	13	23.1%	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%	15.4%
	小学校・小学部	50	22.0%	16.0%	0.0%	4.0%	0.0%	8.0%
	中学校・中学部	23	34.8%	8.7%	4.3%	0.0%	0.0%	4.3%
	高校・高等部	25	32.0%	24.0%	12.0%	8.0%	0.0%	12.0%

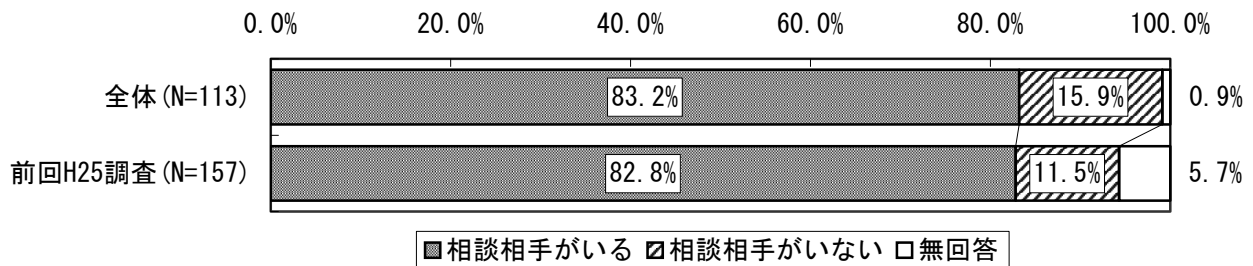
3-4 保護者同士のネットワーク

(1) 子どもの心身の発達への課題についての相談相手

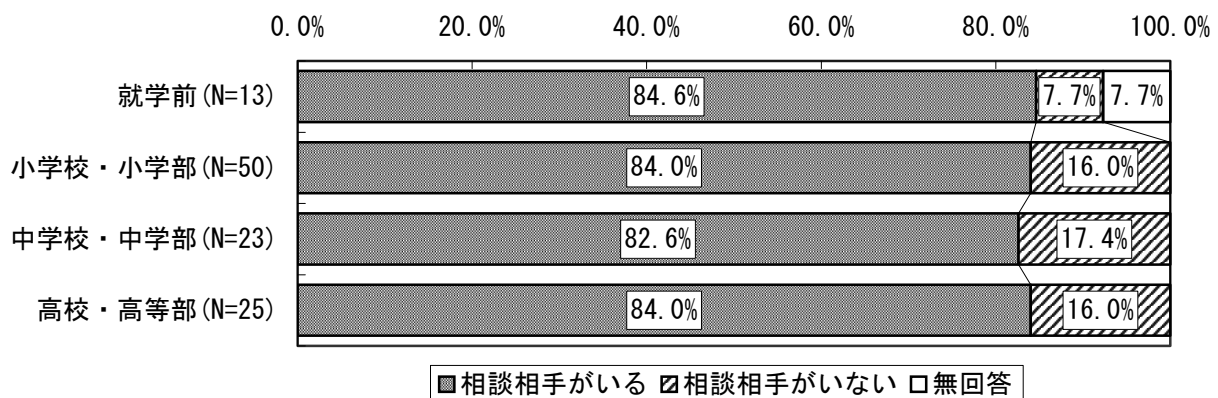
問 28 お子さんの心身の発達への課題について相談できる方はいますか。(1つに〇)

子どもの心身の発達への課題についての相談相手がいない人は 15.9%で、発達障がいでは 20.8%とやや多くなっています。

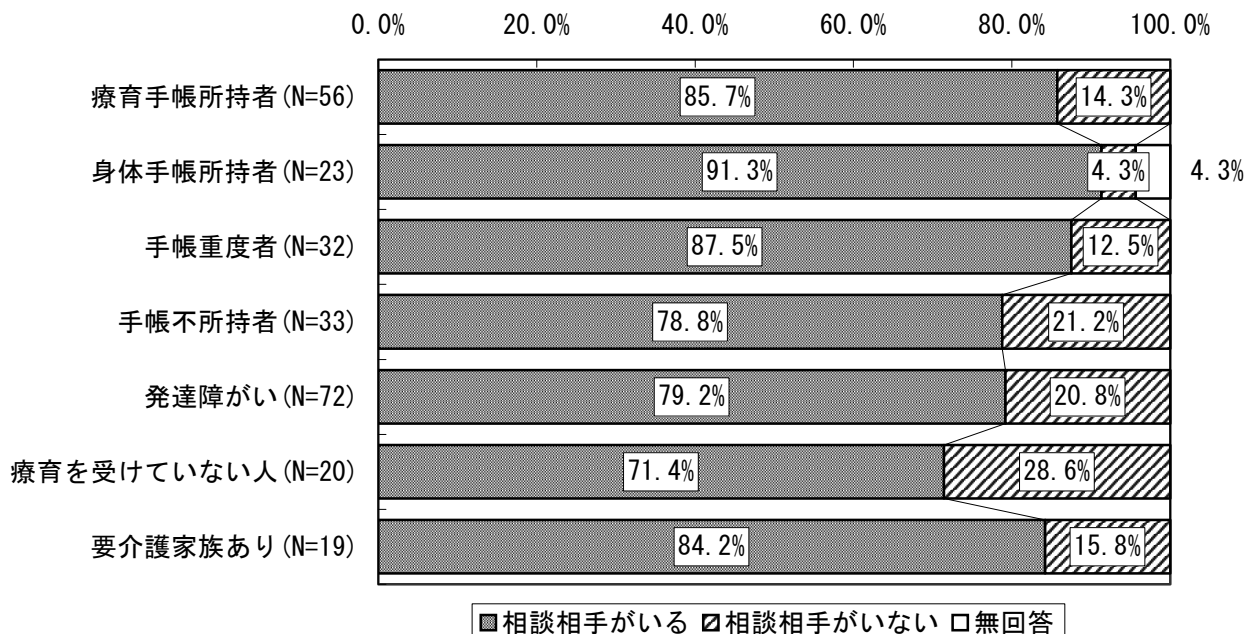
■図表：子どもの心身の発達への課題についての相談相手



■図表：就学段階別 子どもの心身の発達への課題についての相談相手



■図表：グループ別 子どもの心身の発達への課題についての相談相手



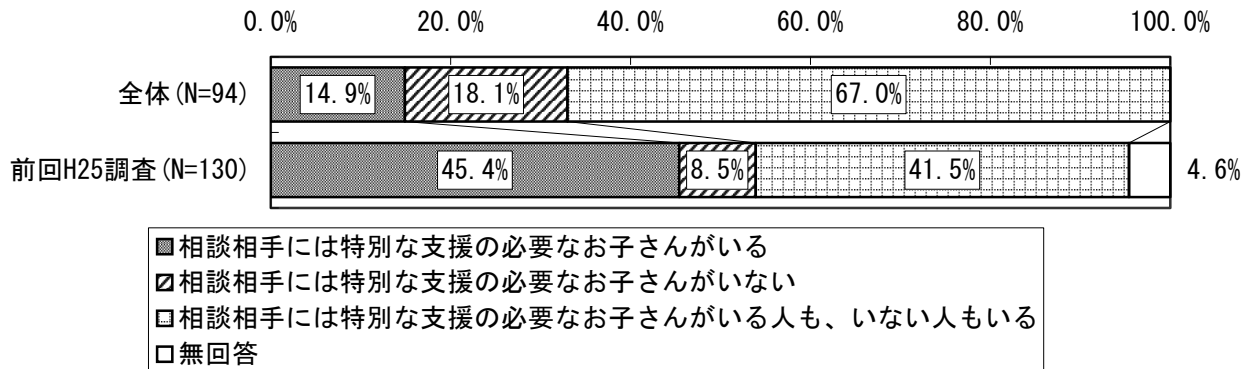
(2) 相談相手に支援の必要な子どもがいるか

問 28 で「1. 相談相手がいる」と回答した方にお聞きます。

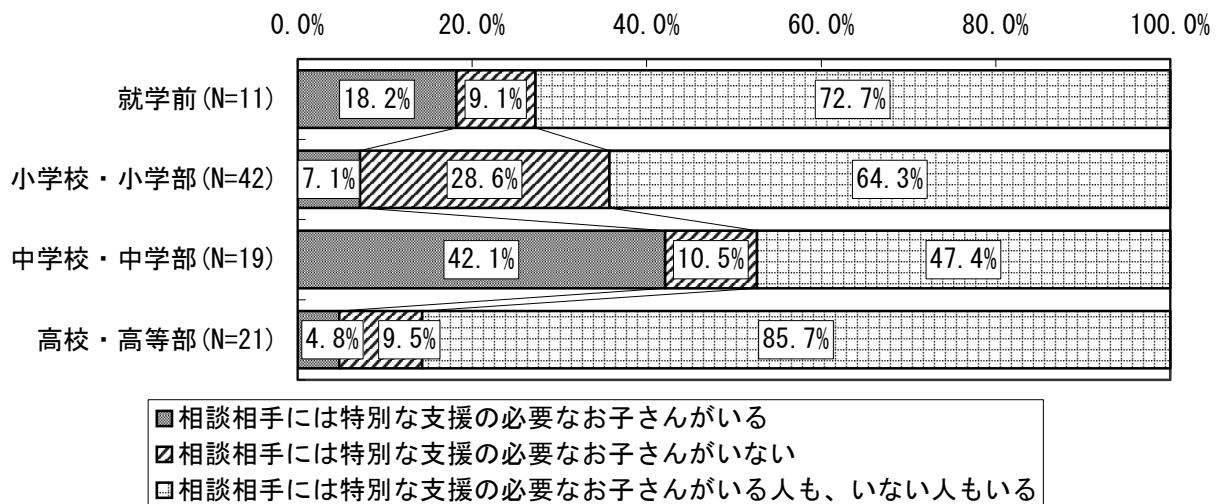
問 29 その方は特別な支援の必要なお子さんがいますか。(1つに〇)

相談相手がいる人について、相手に支援の必要な子どもがいるかをみると、いる人(「相談相手には特別な支援の必要なお子さんがある」と「相談相手には特別な支援の必要なお子さんがある人も、いない人もいる」の合計)は81.9%となっています。

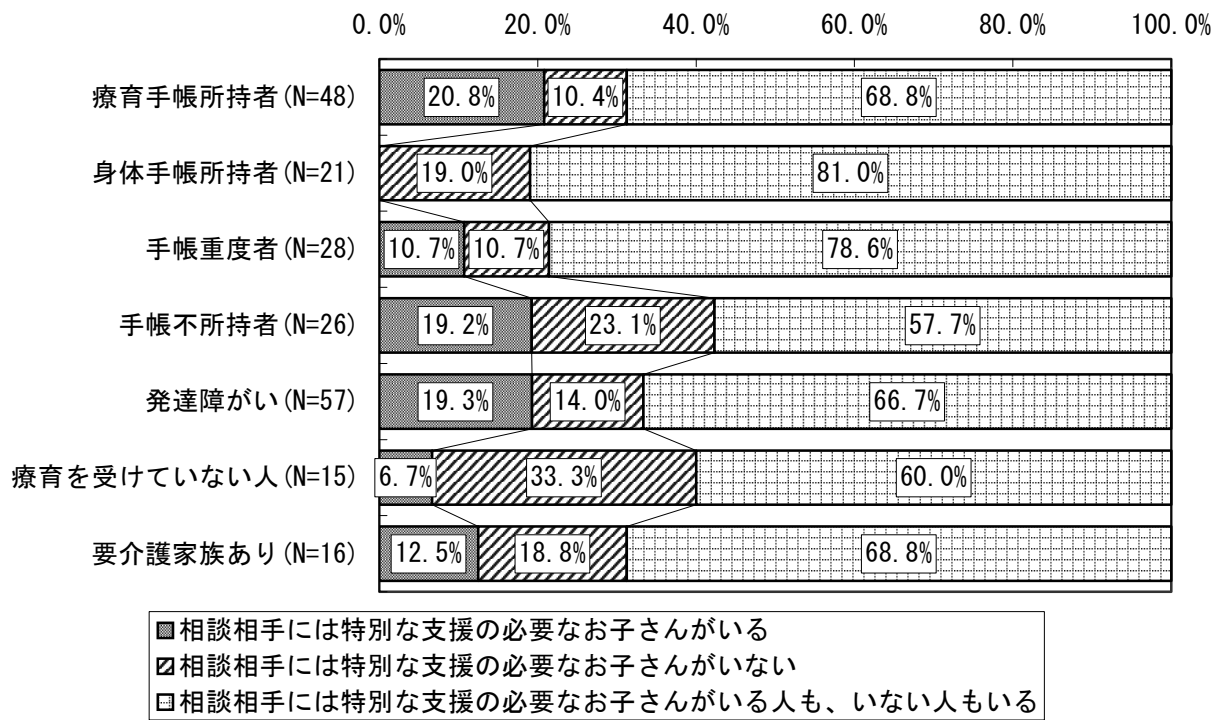
■ 図表：相談相手に支援の必要な子どもがいるか



■ 図表：就学段階別 相談相手に支援の必要な子どもがいるか



■図表：グループ別 相談相手に支援の必要な子どもがいるか



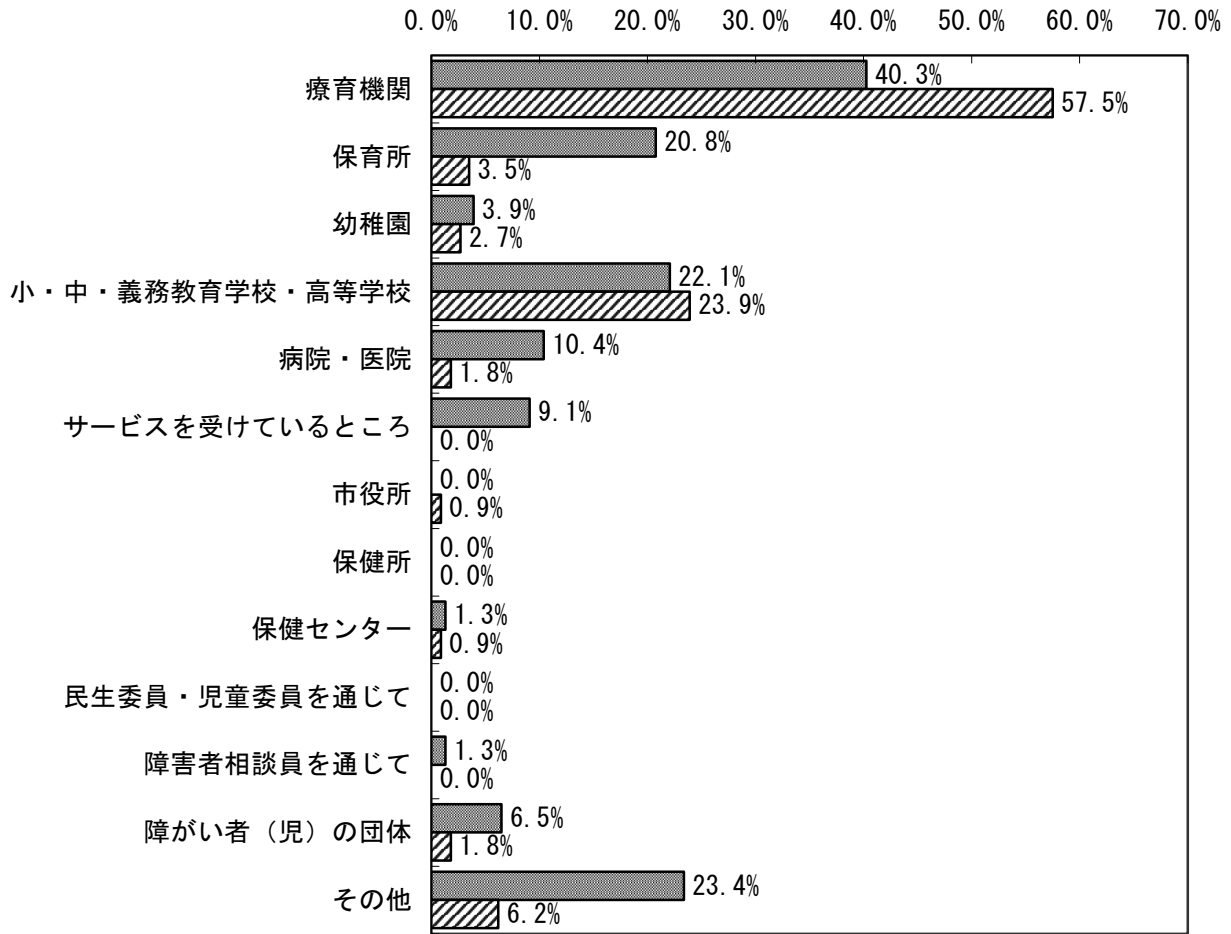
(3) 相談相手と知り合った場所

問 29 で「1」または「3」、相談相手には『特別な支援の必要なお子さんがいる』と回答した方にお聞きします。

問 30 その相談相手とはどこで知り合わせましたか。(1つに○)

相談相手にも支援の必要な子どもがいる人について。知り合った場所をみると、高校・高等部では「小・中・義務教育学校・高等学校」、それ以外では「療育機関」がそれぞれ最も多くなっています。

■ 図表：相談相手と知り合った場所（複数回答）



■ 全体 (N=77) □ 前回H25調査 (N=113)

■ 図表：相談相手と知り合った場所（複数回答）

	有効回答数	療育機関	保育所	幼稚園	小学校・中・高等義務教育学校	病院・医院	サービスを受けているところ	市役所	保健所	保健センター	民生委員・児童委員を通じて	障害者相談員を通じて	障がい者（児）の団体	その他
全体	77	40.3%	20.8%	3.9%	22.1%	10.4%	9.1%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%	6.5%	23.4%
就学前	10	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
小学校・小学部	30	36.7%	13.3%	10.0%	13.3%	16.7%	10.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	36.7%
中学校・中学部	17	41.2%	29.4%	0.0%	23.5%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	11.8%
高校・高等部	19	36.8%	15.8%	0.0%	47.4%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	15.8%

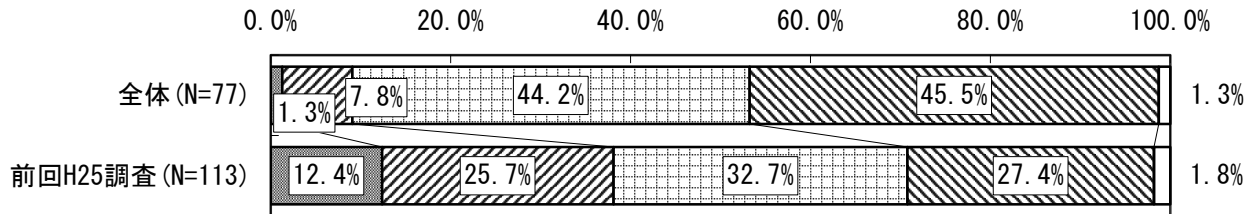
(4) 相談相手と子どもを預けあっているか

問 29 で「1」または「3」、相談相手には『特別な支援の必要なお子さんがいる』と回答した方にお聞きします。

問 31 その相談相手とはお子さんを預けたり、預かったりができますか。(1つに〇)

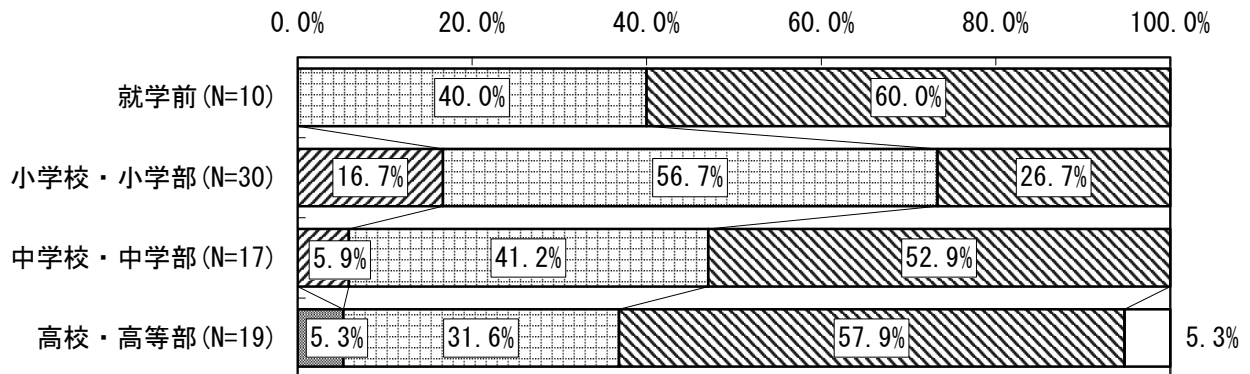
相談相手と子どもを預けあっているかをみると、「預けあったことはないし無理だと思う」が45.5%で最も多くなっています。

■図表：相談相手と子どもを預けあっているか



■ 日常、預けあっている ▨ 時々、預けあっている
 □ 預けあったことはないが可能だと思う ▩ 預けあったことはないし無理だと思う
 □ 無回答

■図表：就学段階別 相談相手と子どもを預けあっているか



■ 日常、預けあっている ▨ 時々、預けあっている
 □ 預けあったことはないが可能だと思う ▩ 預けあったことはないし無理だと思う
 □ 無回答

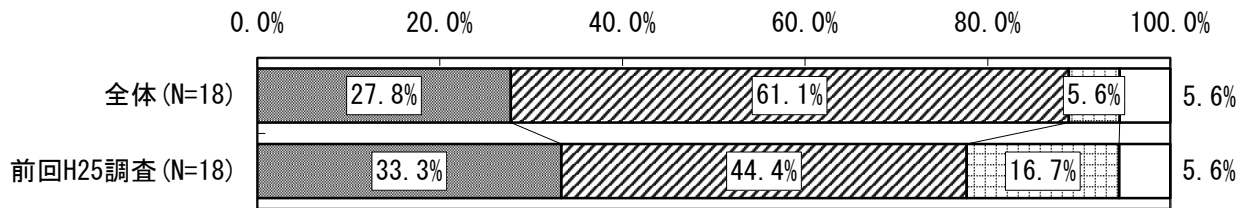
(5) 相談相手がない人の相談についての考え

問 28 で「2. 相談相手がない」と回答した方にお聞きします。

問 32 相談についてどのようにお考えですか。(1つに○)

相談相手がない人について、相談についての考えをみると、「相談窓口より親同士のつながりが重要であると思うが、どのようにしてつながりをつくればよいかわからない」が61.1%で最も多く、次いで「市役所や施設などの相談窓口であれば、それで十分」(27.8%)となっています。

■図表：相談相手がない人の相談についての考え



- 市役所や施設などの相談窓口であれば、それで十分
- ▨相談窓口より親同士のつながりが重要であると思うが、どのようにしてつながりをつくればよいかわからない
- ▩相談の必要はなく、自分で解決していけばよいと考えている
- 無回答

3-5 療育・保育

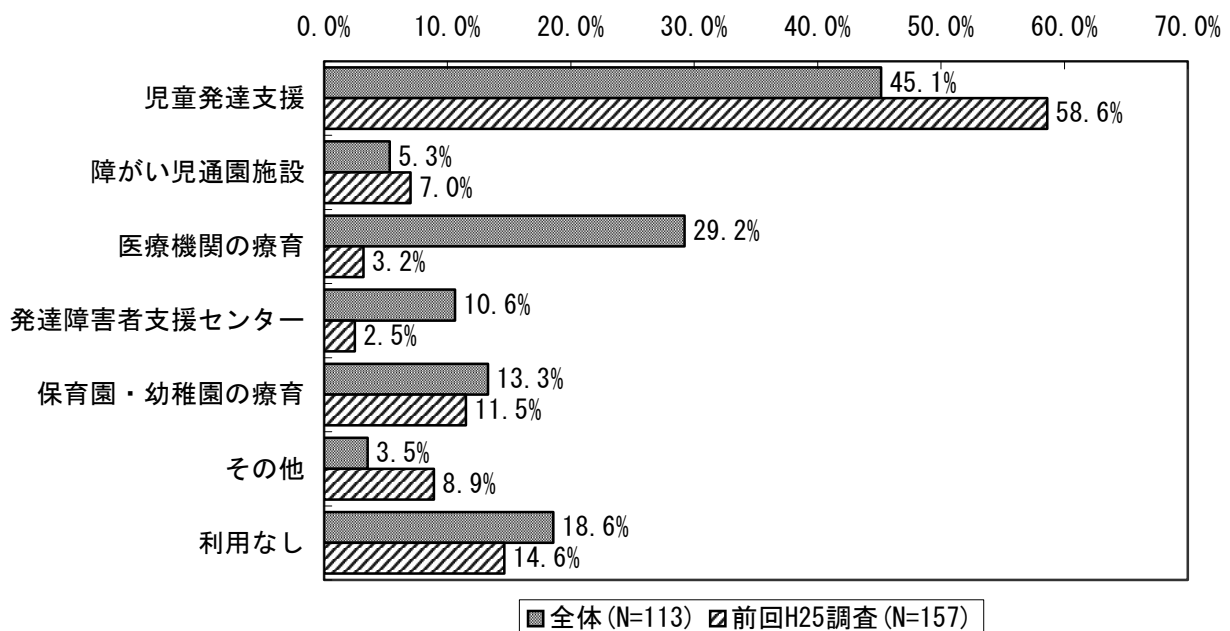
問 33 から問 36 までは、就学前のお子さんの状況についてお答えください。
また、就学後のお子さんについては就学前の状況を思い出してお答えください。

(1) 受けている（受けた）療育

問 33 現在、どのような療育を受けていますか、または過去に受けたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

受けている(受けた)療育をみると、「医療機関の療育」が前回から大きく増加しています。

■図表：受けている（受けた）療育（複数回答）



■図表：受けている（受けた）療育（複数回答）

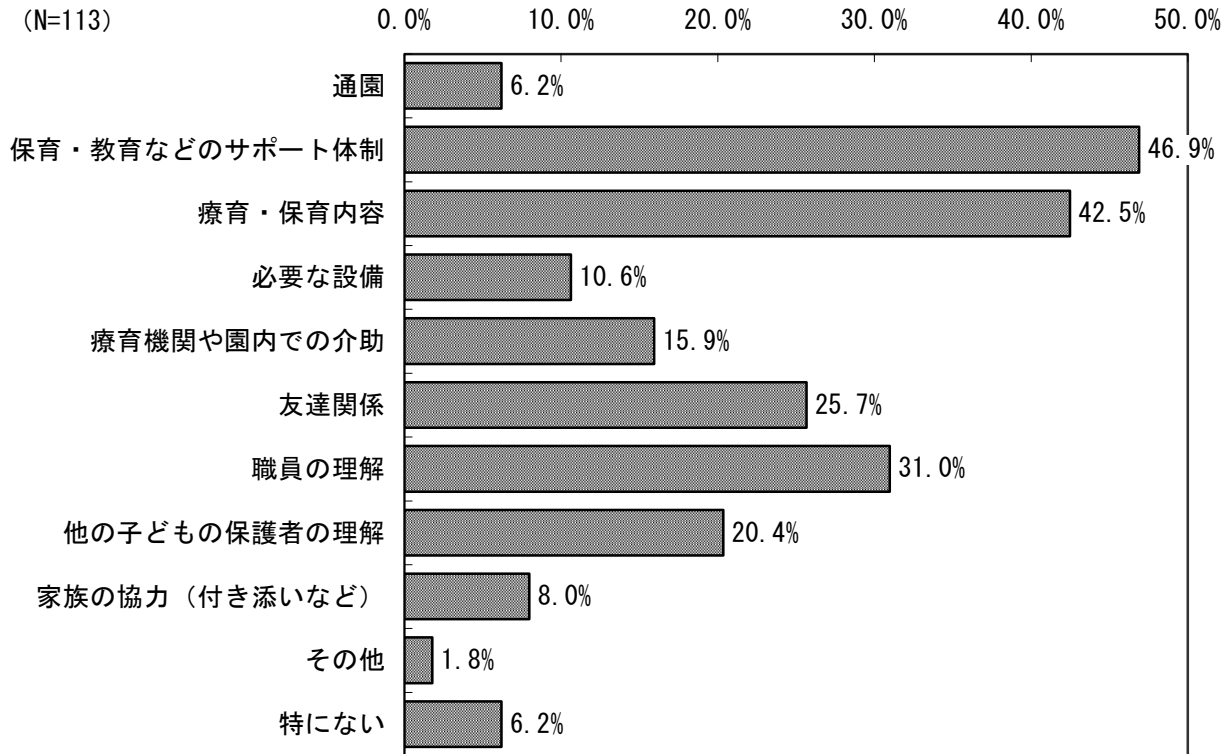
		有効回答数	児童発達支援	障がい児通園施設	医療機関の療育	発達障害者支援センター	保育園・幼稚園の療育	その他	利用なし
全体		113	45.1%	5.3%	29.2%	10.6%	13.3%	3.5%	18.6%
就学段階	就学前	13	69.2%	0.0%	30.8%	7.7%	15.4%	7.7%	15.4%
	小学校・小学部	50	44.0%	4.0%	26.0%	10.0%	10.0%	4.0%	24.0%
	中学校・中学部	23	39.1%	4.3%	34.8%	13.0%	0.0%	4.3%	21.7%
	高校・高等部	25	40.0%	12.0%	28.0%	12.0%	32.0%	0.0%	8.0%

(2) 療育機関・園での生活や支援での対策を期待する点

問 34 療育機関・園での生活や支援での対策を期待する点は、次のどれですか（どれでしたか）。
（3つまでに○）

療育機関・園での生活や支援での対策を期待する点をみると、身体では「療育・保育内容」、それ以外のグループでは「保育・教育などのサポート体制」がそれぞれ最も多くなっています（重度者では同率）。

■ 図表：療育機関・園での生活や支援での対策を期待する点（3つ以内で複数回答）



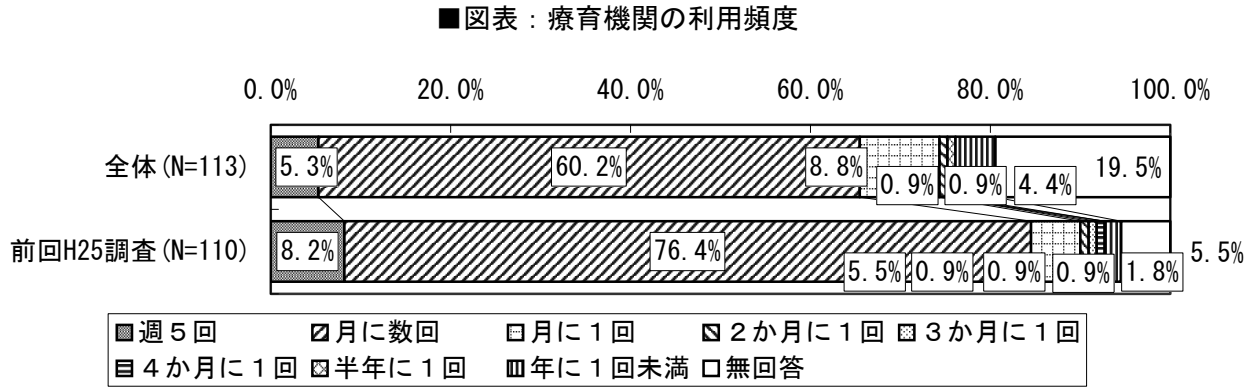
■ 図表：療育機関・園での生活や支援での対策を期待する点（3つ以内で複数回答）

	有効回答数	通園	の保育・教育など	療育・保育内容	必要な設備	療育機関や園内での介助	友達関係	職員の理解	他の子どもの理解	家族の協力（付き添いなど）	その他	特にない	
全体	113	6.2%	46.9%	42.5%	10.6%	15.9%	25.7%	31.0%	20.4%	8.0%	1.8%	6.2%	
就学段階	就学前	13	15.4%	53.8%	38.5%	0.0%	30.8%	15.4%	15.4%	23.1%	23.1%	0.0%	0.0%
	小学校・小学部	50	6.0%	44.0%	44.0%	4.0%	14.0%	28.0%	36.0%	18.0%	12.0%	0.0%	8.0%
	中学校・中学部	23	4.3%	52.2%	39.1%	8.7%	4.3%	34.8%	21.7%	21.7%	0.0%	4.3%	4.3%
	高校・高等部	25	4.0%	48.0%	44.0%	32.0%	20.0%	20.0%	36.0%	24.0%	0.0%	4.0%	4.0%
グループ別	療育手帳所持者	56	5.4%	51.8%	48.2%	12.5%	19.6%	23.2%	30.4%	21.4%	5.4%	3.6%	3.6%
	身体手帳所持者	23	13.0%	34.8%	39.1%	21.7%	30.4%	17.4%	21.7%	13.0%	4.3%	0.0%	4.3%
	手帳重度者	32	9.4%	43.8%	43.8%	21.9%	25.0%	18.8%	31.3%	9.4%	0.0%	3.1%	0.0%
	手帳不所持者	33	0.0%	42.4%	39.4%	3.0%	3.0%	39.4%	36.4%	24.2%	15.2%	3.0%	12.1%
	発達障がい	72	4.2%	45.8%	43.1%	5.6%	13.9%	29.2%	33.3%	26.4%	11.1%	1.4%	5.6%
	療育を受けていない人	21	4.8%	38.1%	14.3%	4.8%	0.0%	23.8%	28.6%	23.8%	14.3%	0.0%	28.6%
	要介護家族あり	19	15.8%	47.4%	36.8%	10.5%	15.8%	21.1%	47.4%	31.6%	15.8%	0.0%	0.0%

(3) 療育機関の利用頻度

問 35 その療育を受けている（受けていた）療育機関の利用頻度はどのくらいですか（どのくらいでしたか）。（1つに○）

療育機関の利用頻度をみると、「月に数回」が60.2%で最も多くなっています。

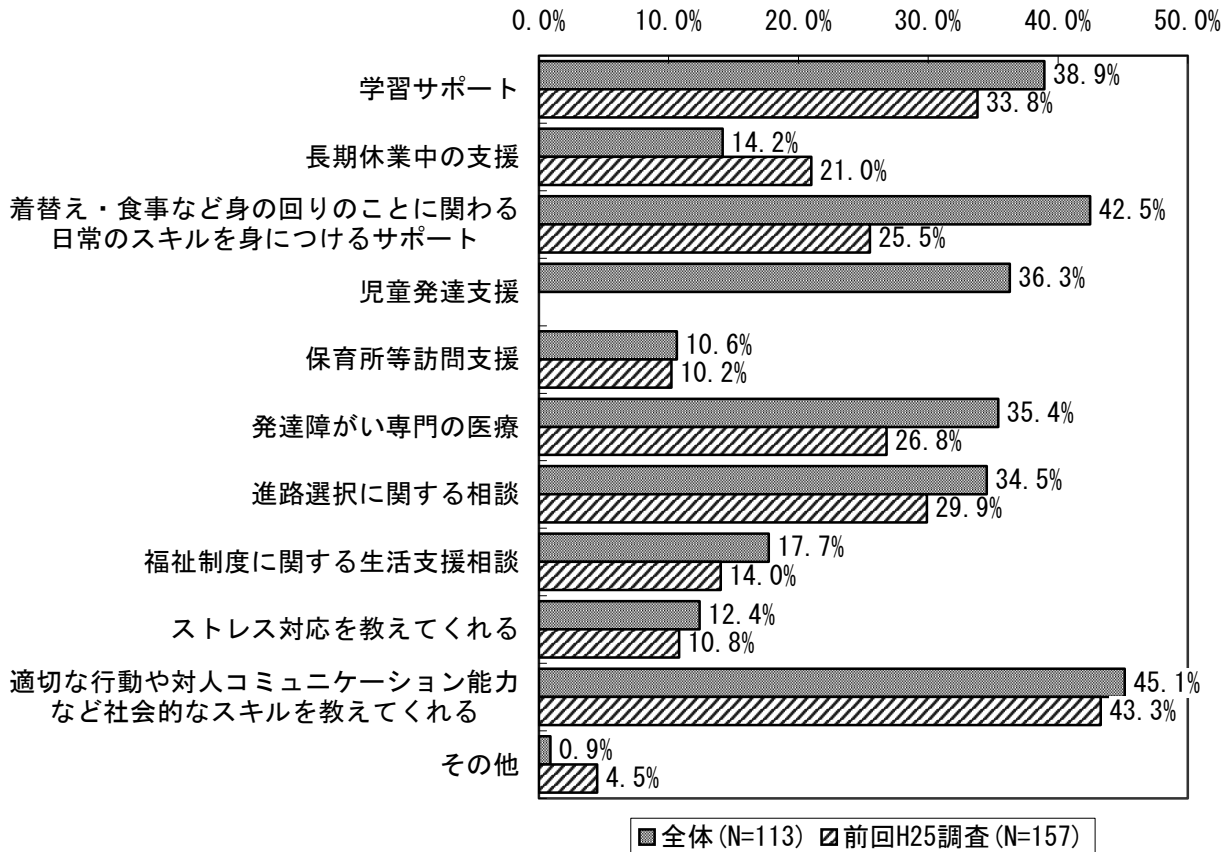


(4) 特に希望する療育に関する支援

問 36 あなたや家族が特に希望する療育に関する支援は何ですか（何でしたか）。（4つまでに○）

特に希望する療育に関する支援をみると、就学前と高校・高等部では「着替え・食事など身の回りのことに関わる日常のスキルを身につけるサポート」、小学校・小学部と中学校・中学部では「適切な行動や対人コミュニケーション能力など社会的なスキルを教えてくれる」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：特に希望する療育に関する支援（4つ以内で複数回答）



前回のみの項目：療育機関（17.2%）

■図表：特に希望する療育に関する支援（4つ以内で複数回答）

	有効回答数	学習サポート	長期休業中の支援	着替え・食事など身の回りのことに関わる日常のスキルを身につけるサポート	児童発達支援	保育所等訪問支援	発達障がい専門の医療	進路選択に関する相談	福祉制度に関する生活支援相談	ストレス対応を教えてくれる	適切な行動や対人コミュニケーション能力など社会的なスキルを教えてくれる	その他
全体	113	38.9%	14.2%	42.5%	36.3%	10.6%	35.4%	34.5%	17.7%	12.4%	45.1%	0.9%
就学段階	就学前	13	30.8%	7.7%	69.2%	53.8%	15.4%	23.1%	30.8%	15.4%	30.8%	7.7%
	小学校・小学部	50	40.0%	14.0%	34.0%	38.0%	12.0%	32.0%	14.0%	20.0%	54.0%	0.0%
	中学校・中学部	23	34.8%	13.0%	30.4%	17.4%	4.3%	34.8%	30.4%	8.7%	43.5%	0.0%
	高校・高等部	25	44.0%	20.0%	56.0%	40.0%	12.0%	48.0%	28.0%	0.0%	36.0%	0.0%
グループ別	療育手帳所持者	56	33.9%	10.7%	60.7%	46.4%	8.9%	37.5%	26.8%	7.1%	46.4%	0.0%
	身体手帳所持者	23	34.8%	4.3%	47.8%	34.8%	17.4%	21.7%	30.4%	4.3%	21.7%	4.3%
	手帳重度者	32	31.3%	12.5%	59.4%	43.8%	12.5%	34.4%	21.9%	3.1%	37.5%	3.1%
	手帳不所持者	33	48.5%	24.2%	15.2%	24.2%	9.1%	45.5%	39.4%	0.0%	27.3%	63.6%
	発達障がい	72	40.3%	18.1%	40.3%	37.5%	6.9%	33.3%	36.1%	13.9%	12.5%	55.6%
	療育を受けていない人	21	38.1%	14.3%	14.3%	14.3%	9.5%	28.6%	28.6%	0.0%	19.0%	23.8%
要介護家族あり	19	36.8%	21.1%	42.1%	26.3%	15.8%	31.6%	31.6%	10.5%	10.5%	52.6%	

3-6 教育・育成

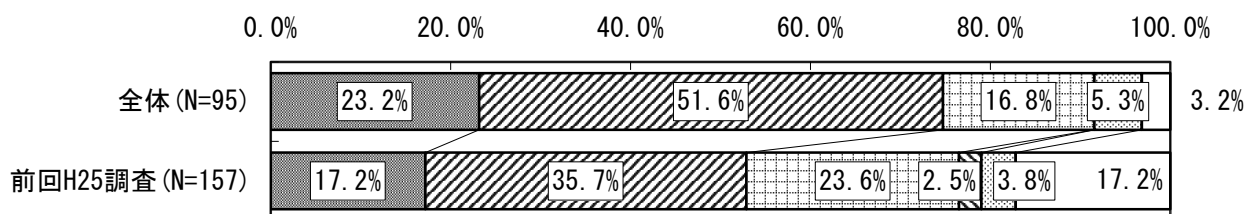
問 37 から問 44 までは、就学後のお子さんのみお答えください。
就学前のお子さんは回答せずに、問 45 へお進みください。

(1) 望ましい就学環境

問 37 お子さんにとって、望ましい就学環境とはどのような環境だと思われますか。(1つに○)

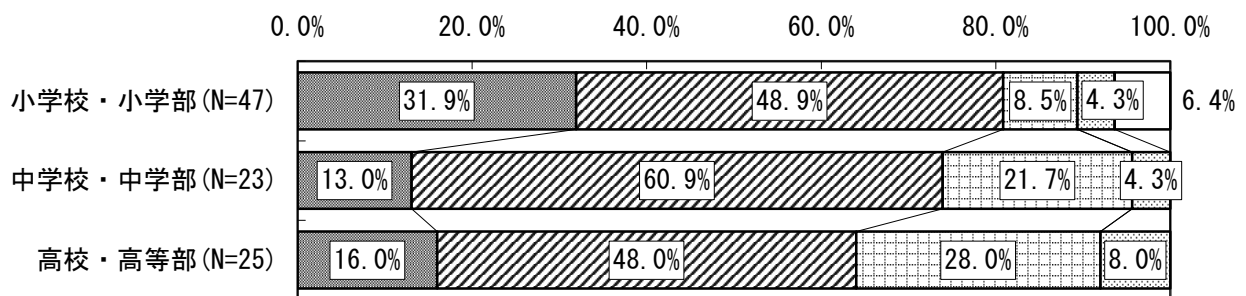
望ましい就学環境をみると、「地域の学校の特別支援学級において、できるだけ専門的な教育やサポートが得られる環境」が51.6%で最も多くなっています。

■ 図表：望ましい就学環境



- 地域の学校において、できるだけ他の児童・生徒と同様の教育やサポートが得られる環境
- ▨ 地域の学校の特別支援学級において、できるだけ専門的な教育やサポートが得られる環境
- ▩ 特別支援学校において、専門的な教育やサポートが受けられる環境
- ▧ その他
- ▦ わからない
- 無回答

■ 図表：就学段階別 望ましい就学環境



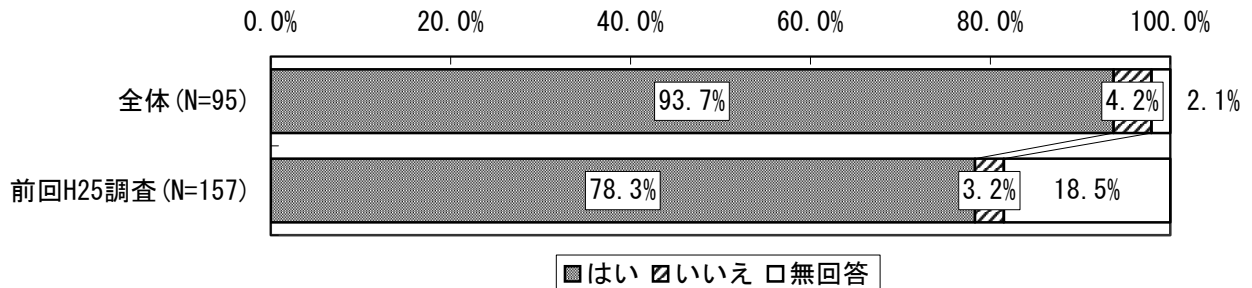
- 地域の学校において、できるだけ他の児童・生徒と同様の教育やサポートが得られる環境
- ▨ 地域の学校の特別支援学級において、できるだけ専門的な教育やサポートが得られる環境
- ▩ 特別支援学校において、専門的な教育やサポートが受けられる環境
- ▧ その他
- ▦ わからない
- 無回答

(2) 希望の学校に通学しているか

問 38 お子さんは進学時に希望された学校に通われていますか。(1つに○)

希望の学校に通学している人は9割以上となっています。

■図表：希望の学校に通学しているか



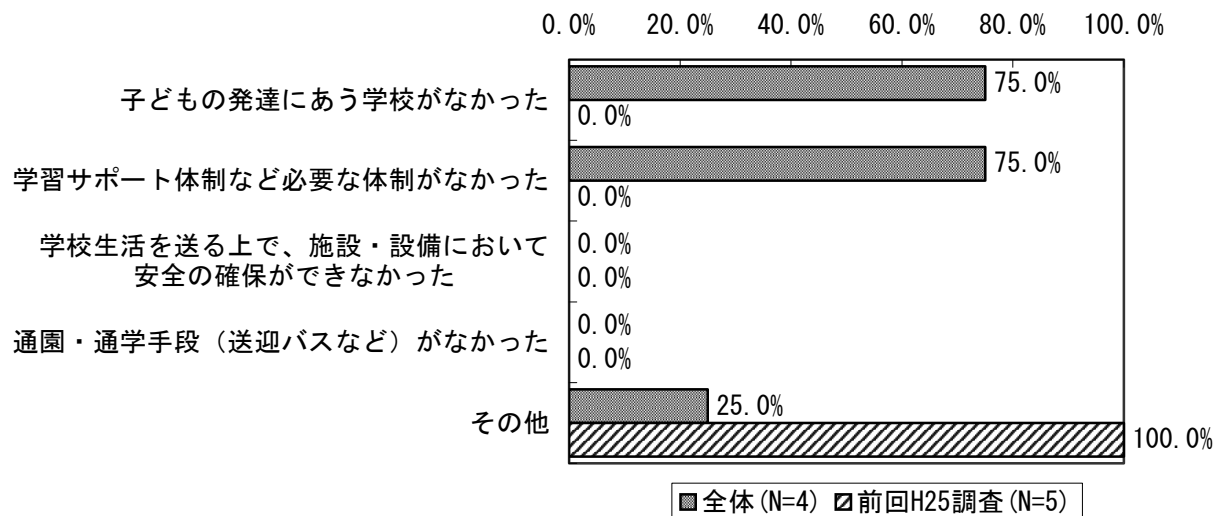
(3) 希望した学校以外に通っている理由

問 38 で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。

問 39 希望された学校以外に通われている場合、その主な理由は次のどれですか。(2つまでに○)

件数が少ないためコメントは省略します。

■図表：希望した学校以外に通っている理由（2つ以内で複数回答）



(4) 学校生活で特に対策を期待する点

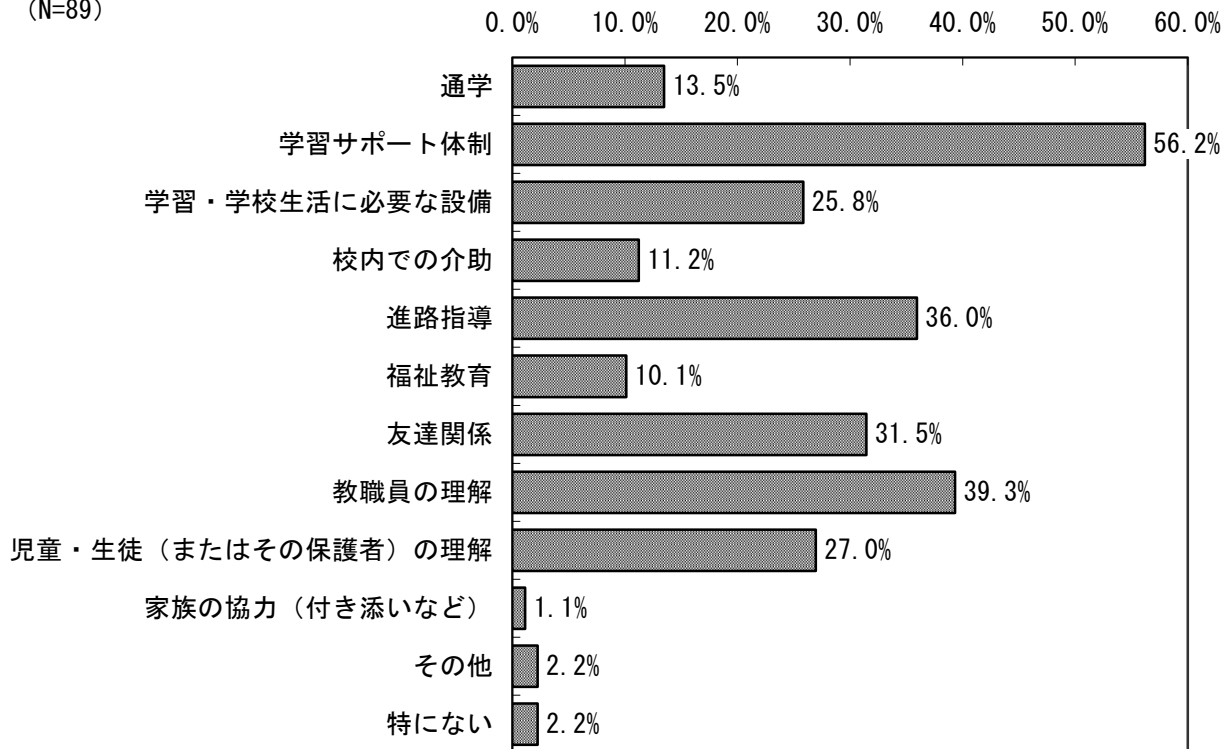
38で「1. はい」と回答した方にお聞きします。

問 40 現在通われている学校生活での特に対策を期待する点は、次のどれですか。(3つまでに○)

学校生活で特に対策を期待する点をみると、「学習サポート体制」が56.2%で最も多くなっています。また、身体と重度では「学習・学校生活に必要な設備」、要介護家族ありでは「教職員の理解」が5割以上と多くなっています。

■図表：学校生活で特に対策を期待する点（3つ以内で複数回答）

(N=89)



■図表：学校生活で特に対策を期待する点（3つ以内で複数回答）

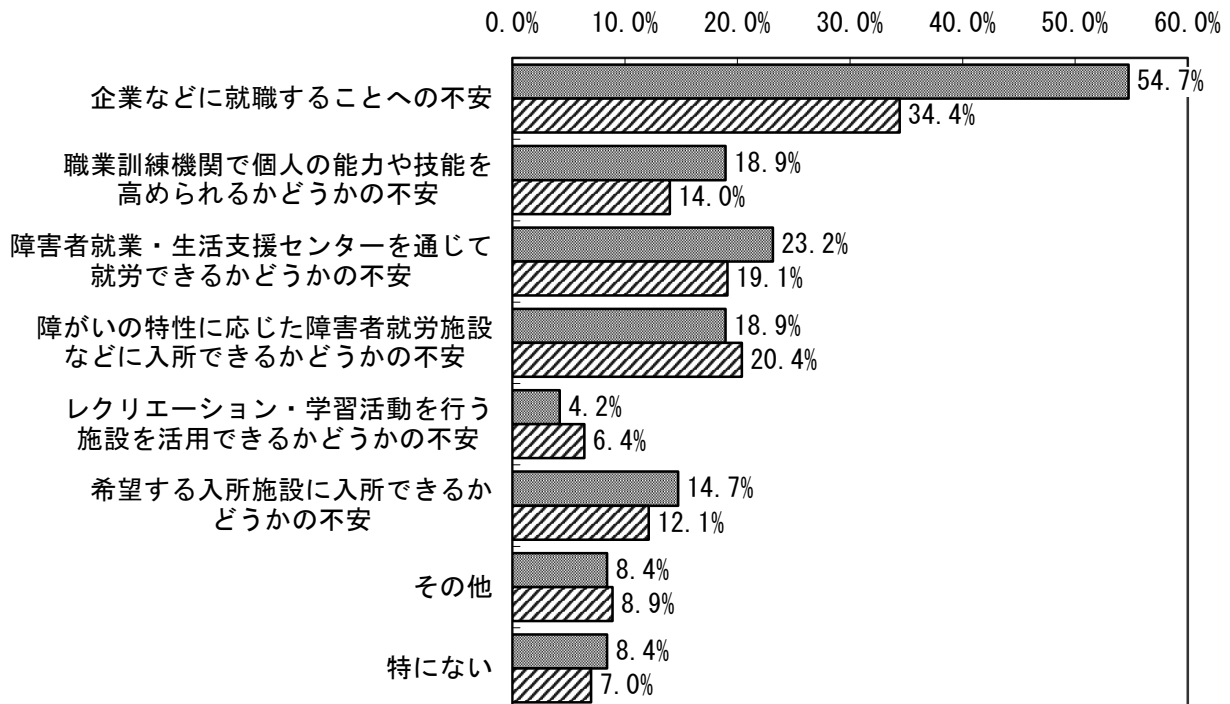
	有効回答数	通学	学習サポート体制	学習・学校生活に必要な設備	校内での介助	進路指導	福祉教育	友達関係	教職員の理解	児童・生徒（またはその保護者）の理解	家族の協力（付き添いなど）	その他	特にない
全体	89	13.5%	56.2%	25.8%	11.2%	36.0%	10.1%	31.5%	39.3%	27.0%	1.1%	2.2%	2.2%
就学段階													
就学前	0												
小学校・小学部	44	13.6%	59.1%	25.0%	15.9%	29.5%	9.1%	36.4%	38.6%	29.5%	0.0%	2.3%	2.3%
中学校・中学部	22	4.5%	59.1%	13.6%	13.6%	40.9%	4.5%	36.4%	45.5%	36.4%	4.5%	0.0%	4.5%
高校・高等部	23	21.7%	47.8%	39.1%	0.0%	43.5%	17.4%	17.4%	34.8%	13.0%	0.0%	4.3%	0.0%
グループ別													
療育手帳所持者	38	15.8%	50.0%	34.2%	10.5%	42.1%	18.4%	31.6%	39.5%	23.7%	0.0%	0.0%	0.0%
身体手帳所持者	16	6.3%	56.3%	50.0%	25.0%	31.3%	6.3%	6.3%	37.5%	18.8%	0.0%	6.3%	0.0%
手帳重度者	23	13.0%	34.8%	56.5%	21.7%	34.8%	17.4%	13.0%	34.8%	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%
手帳不所持者	32	12.5%	59.4%	9.4%	6.3%	31.3%	6.3%	43.8%	46.9%	37.5%	0.0%	3.1%	3.1%
発達障がい	60	13.3%	58.3%	16.7%	10.0%	35.0%	6.7%	38.3%	45.0%	31.7%	1.7%	1.7%	1.7%
療育を受けていない人	18	11.1%	66.7%	11.1%	0.0%	38.9%	5.6%	44.4%	38.9%	22.2%	5.6%	5.6%	5.6%
要介護家族あり	12	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	33.3%	8.3%	41.7%	58.3%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%

(5) 進路を考える上での不安

問 41 あなたは、お子さんの学校教育終了後の進路を考えるにあたって、特にどのような不安をお持ちですか。(2つまでに○)

進路を考える上での不安をみると、「企業などに就職することへの不安」が54.7%で最も多く、前回と比べて20ポイント以上増加しています。また、重度者では「障がいの特性に応じた障害者就労施設などに入所できるかどうかの不安」が最も多くなっています。

■図表：進路を考える上での不安（2つ以内で複数回答）



■全体 (N=95) ■前回H25調査 (N=157)

■図表：進路を考える上での不安（2つ以内で複数回答）

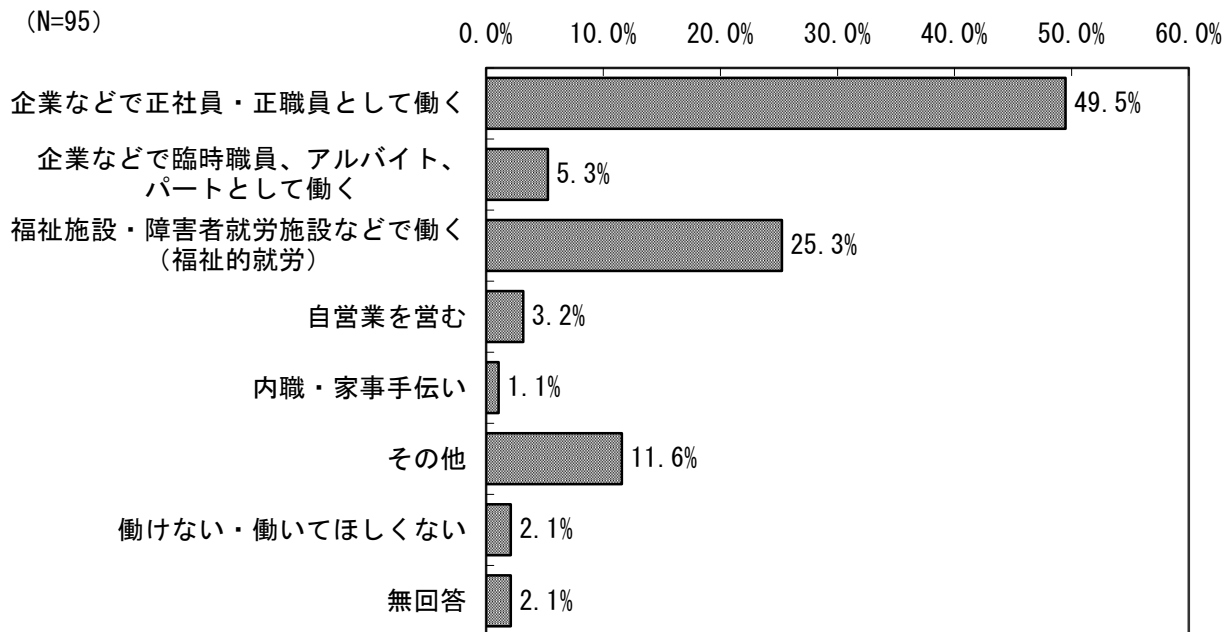
	有効回答数	企業などに就職することへの不安	職業訓練機関で個人の能力や技能を高められるかどうかの不安	障害者就業・生活支援センターを通じて就労できるかどうかの不安	障がいの特性に応じた障害者就労施設などに入所できるかどうかの不安	レクリエーション・学習活動を行う施設を活用できるかどうかの不安	希望する入所施設に入所できるかどうかの不安	その他	特になし	
全体	95	54.7%	18.9%	23.2%	18.9%	4.2%	14.7%	8.4%	8.4%	
就学段階	小学校・小学部	47	66.0%	17.0%	14.9%	8.5%	2.1%	6.4%	10.6%	12.8%
	中学校・中学部	23	47.8%	21.7%	26.1%	21.7%	13.0%	17.4%	8.7%	0.0%
	高校・高等部	25	40.0%	20.0%	36.0%	36.0%	0.0%	28.0%	4.0%	8.0%
グループ別	療育手帳所持者	44	43.2%	25.0%	34.1%	36.4%	4.5%	27.3%	2.3%	2.3%
	身体手帳所持者	17	41.2%	11.8%	23.5%	23.5%	5.9%	11.8%	11.8%	17.6%
	手帳重度者	27	25.9%	7.4%	40.7%	44.4%	7.4%	25.9%	3.7%	14.8%
	手帳不所持者	32	71.9%	15.6%	12.5%	3.1%	6.3%	0.0%	12.5%	12.5%
	発達障がい	65	58.5%	15.4%	23.1%	16.9%	4.6%	15.4%	9.2%	6.2%
	療育を受けていない人	18	72.2%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	16.7%	5.6%
要介護家族あり	14	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	7.1%	35.7%	7.1%	14.3%	

(6) 働き方の希望

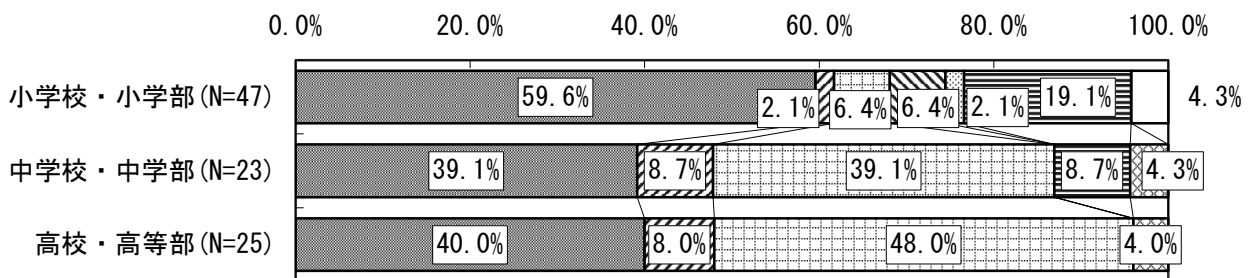
問 42 あなたは、お子さんの学校教育終了後の進路を考えるにあたって、どのような働き方を希望されますか。(1つに○)

働き方の希望をみると、「企業などで正社員・正職員として働く」が49.5%で最も多くなっています。年齢が高くなるほど「福祉施設・障害者就労施設などで働く(福祉的就労)」が多い傾向がみられます。

■図表：働き方の希望



■図表：就学段階別 働き方の希望



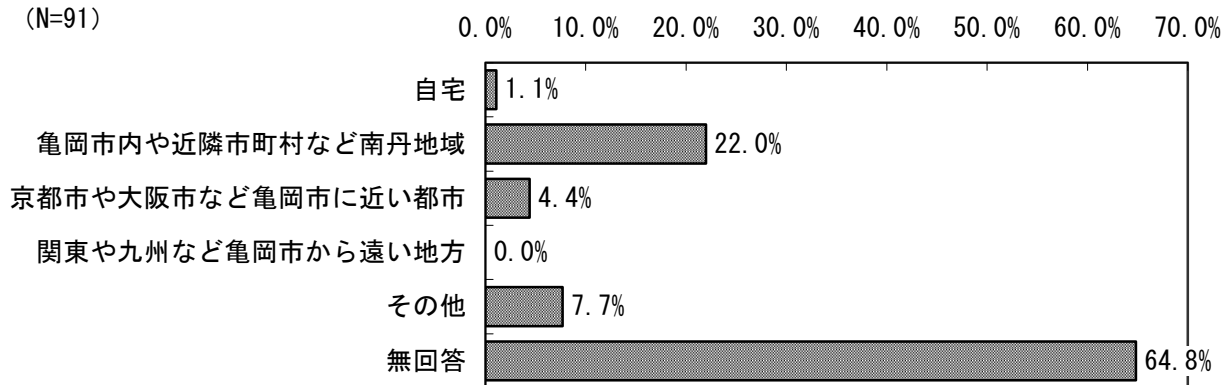
- 企業などで正社員・正職員として働く
- ▨ 企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働く
- ▩ 福祉施設・障害者就労施設などで働く(福祉的就労)
- ▤ 自営業を営む
- ▥ 内職・家事手伝い
- ▧ その他
- ▦ 働けない・働いてほしくない
- 無回答

(7) 希望する就労の場所

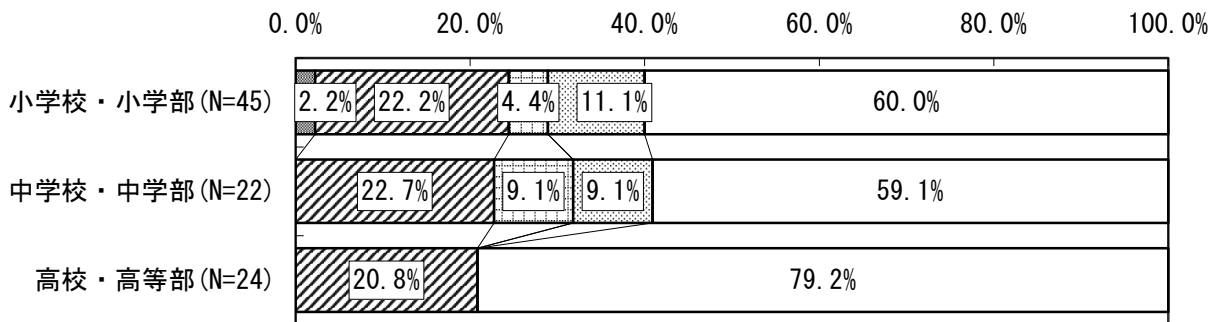
問 42 で「7. 働けない・働いてほしくない」と回答しなかった方にお聞きします。
 問 43 あなたは、お子さんに、将来、可能であれば、どこで仕事をしてほしいですか。(1つに○)

希望する就労の場所をみると、無回答を除いて、「亀岡市内や近隣市町村など南丹地域」が22.0%で最も多くなっています。

■ 図表：希望する就労の場所



■ 図表：就学段階別希望する就労の場所



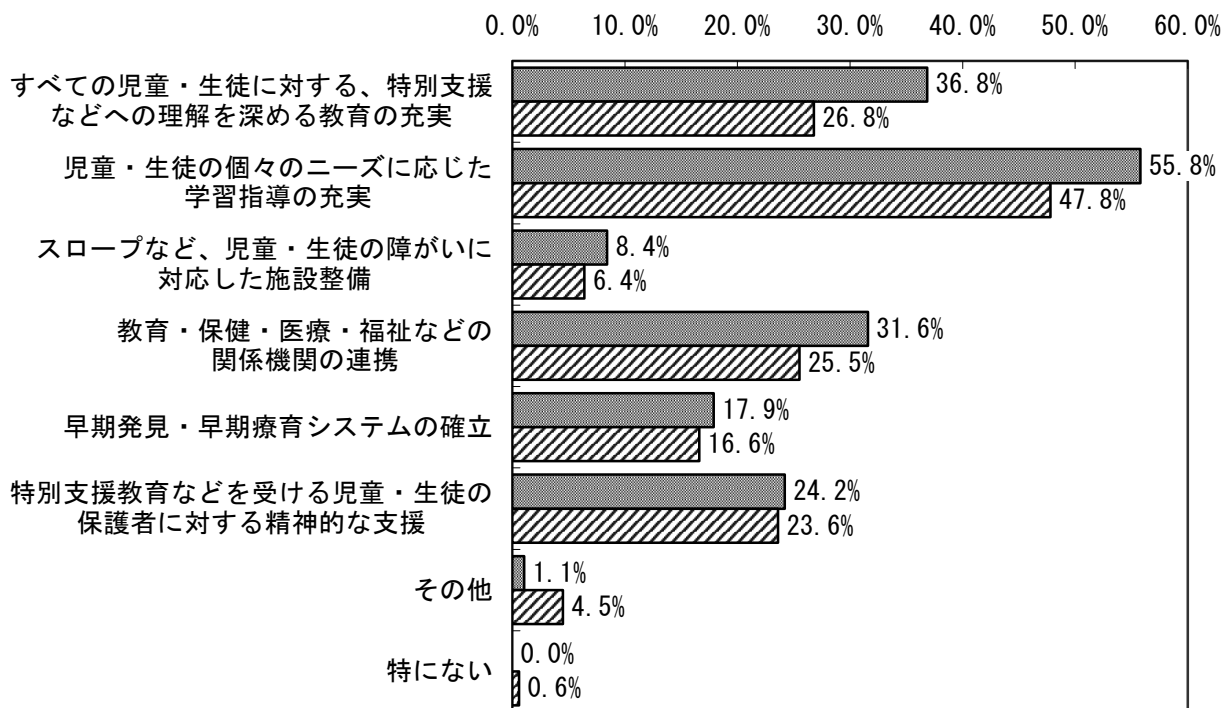
■ 自宅
 □ 京都市や大阪市など亀岡市に近い都市
 □ その他
 □ 亀岡市内や近隣市町村など南丹地域
 □ 関東や九州など亀岡市から遠い地方
 □ 無回答

(8) 特別支援教育などを受ける児童・生徒の教育・育成に関して必要なこと

問 44 あなたは、特別支援教育などを受ける児童・生徒の教育・育成に関し、特にどのようなことが必要であると思いますか。(2つまでに○)

特別支援教育などを受ける児童・生徒の教育・育成に関して必要なことをみると、小学校・小学部では「すべての児童・生徒に対する、特別支援などへの理解を深める教育の充実」、中学校以上では「児童・生徒の個々のニーズに応じた学習指導の充実」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：特別支援教育などを受ける児童・生徒の教育・育成に関して必要なこと（2つ以内で複数回答）



■全体 (N=95) ■前回H25調査 (N=157)

■図表：特別支援教育などを受ける児童・生徒の教育・育成に関して必要なこと（2つ以内で複数回答）

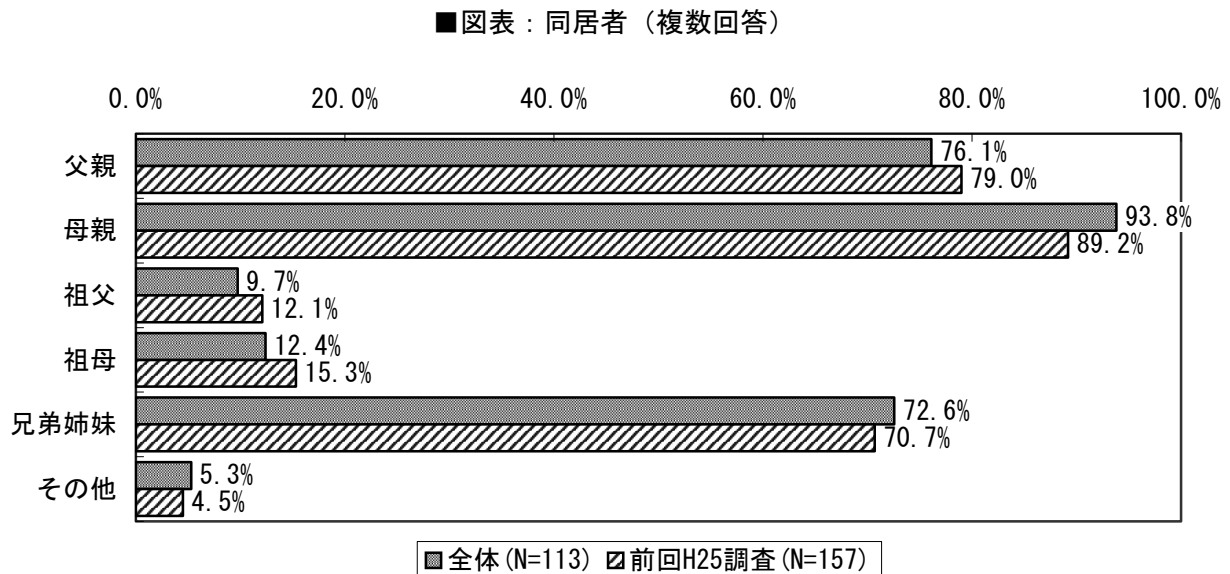
	有効回答数	理解を深める特別支援教育への充実	すべての児童・生徒のニーズに応じた学習指導の充実	スロープなど、児童・生徒の障がいに対応した施設整備	教育・保健・医療・福祉などの関係機関の連携	早期発見・早期療育システムの確立	特別支援教育などを受ける児童・生徒の保護者に対する精神的な支援	その他	特にない	
全体	95	36.8%	55.8%	8.4%	31.6%	17.9%	24.2%	1.1%	0.0%	
就学段階	小学校・小学部	47	27.7%	63.8%	6.4%	34.0%	14.9%	23.4%	0.0%	0.0%
	中学校・中学部	23	43.5%	39.1%	17.4%	30.4%	21.7%	26.1%	0.0%	0.0%
	高校・高等部	25	48.0%	56.0%	4.0%	28.0%	20.0%	24.0%	4.0%	0.0%
グループ別	療育手帳所持者	44	40.9%	52.3%	6.8%	40.9%	22.7%	18.2%	2.3%	0.0%
	身体手帳所持者	17	35.3%	47.1%	23.5%	41.2%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%
	手帳重度者	27	33.3%	44.4%	18.5%	44.4%	18.5%	14.8%	0.0%	0.0%
	手帳不所持者	32	31.3%	59.4%	3.1%	18.8%	21.9%	40.6%	0.0%	0.0%
	発達障がい	65	35.4%	55.4%	7.7%	30.8%	18.5%	32.3%	1.5%	0.0%
	療育を受けていない人	18	38.9%	66.7%	0.0%	33.3%	22.2%	27.8%	0.0%	0.0%
要介護家族あり	14	7.1%	71.4%	14.3%	28.6%	7.1%	35.7%	7.1%	0.0%	

3-7 保護者の負担軽減

(1) 同居者

問 45 家族構成についてお聞きします。同居されている方を、特別な支援の必要なお子さんからみた続柄で教えてください。(あてはまるものすべてに○)

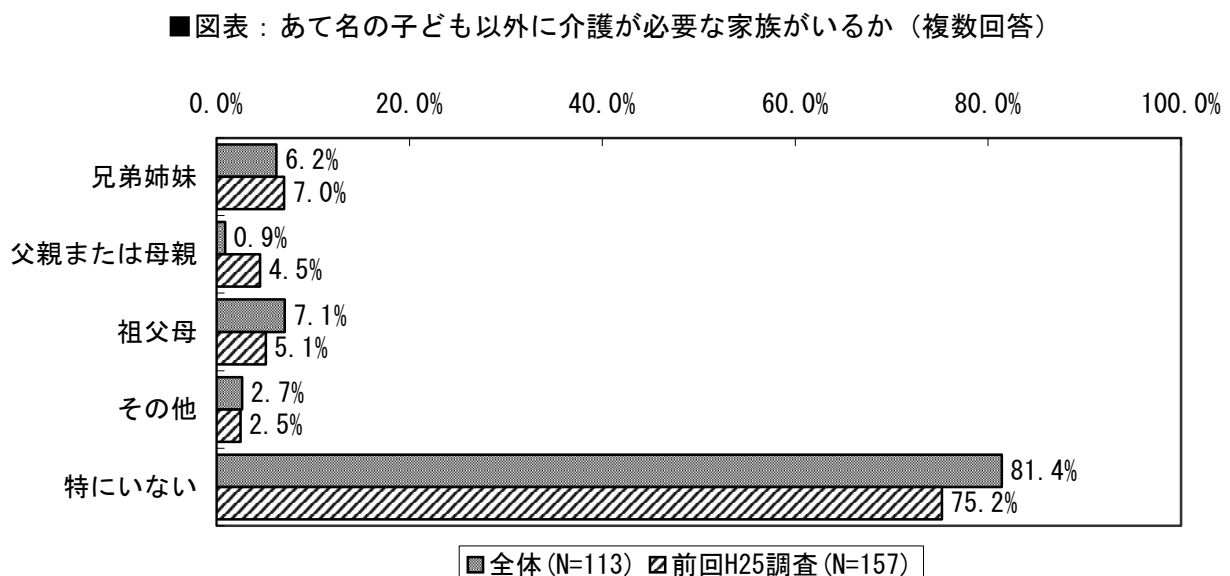
同居者をみると、「母親」が93.8%で最も多く、次いで「父親」(76.1%)、「兄弟姉妹」(72.6%)となっています。



(2) あて名の子ども以外に介護が必要な家族がいるか

問 46 お子さん以外に兄弟姉妹、祖父母などの中で介護が必要な方はおられますか。(あてはまるものすべてに○)

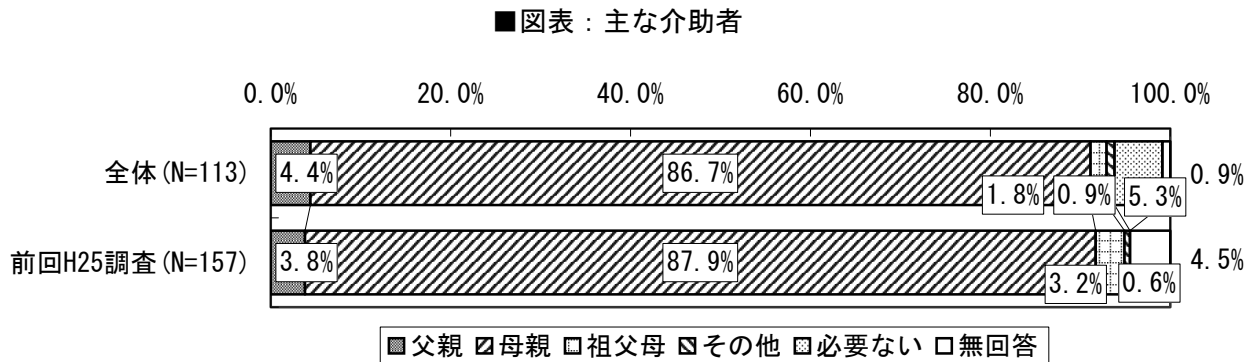
介護が必要な家族がいるかをみると、「祖父母」が7.1%、「兄弟姉妹」が6.2%となっています。



(3) 主な介助者

問 47 主にお子さんをみておられるのは誰ですか。(1つに○)

主な介助者は、8割以上が「母親」となっています。



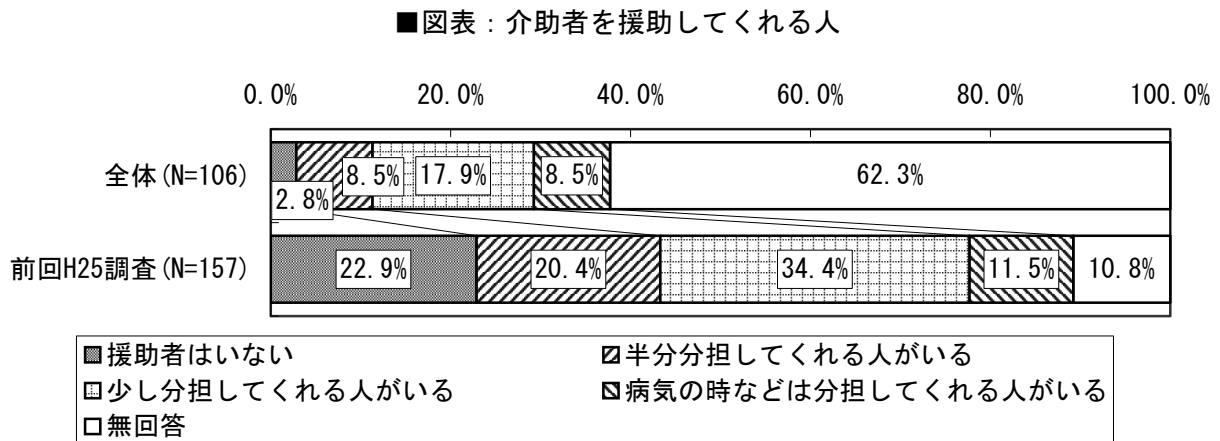
※前回は項目「必要ない」がなく、次回は全員が対象回答者

(4) 介助者を援助してくれる人

問 47 で「5. 必要ない」と回答しなかった方にお聞きします。

問 48 お子さんの介助などについて、主にみておられる方を援助してくれる方はおられますか。(1つに○)

介助者を援助してくれる人を見ると、無回答を除いて、「少し分担してくれる人がある」が17.9%で最も多くなっています。

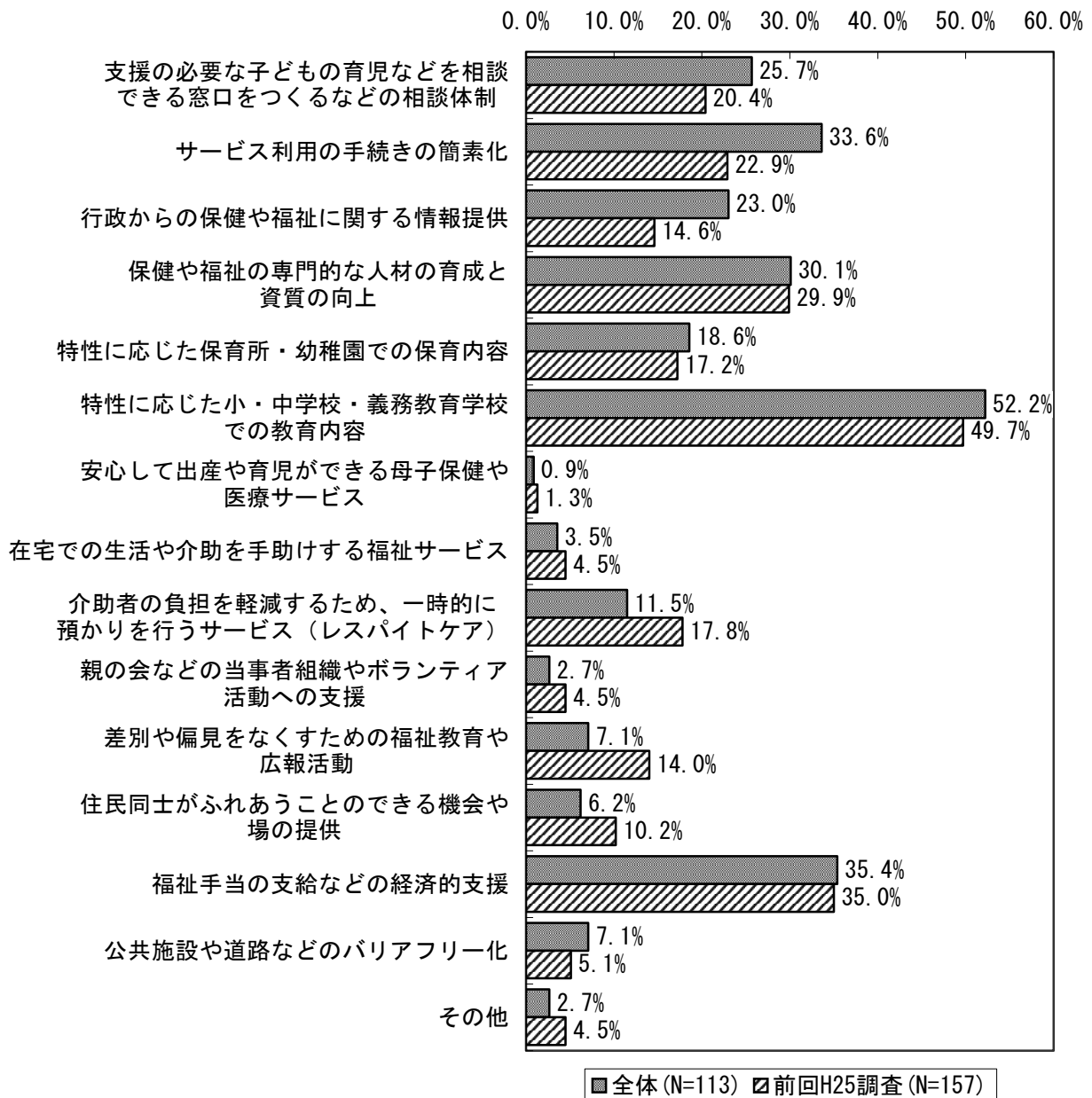


(5) 亀岡市の障がい児施策について、特に重要だと思うこと

問 49 亀岡市の障がい児施策について、特に重要だと思うことは何ですか。(3つまでに〇)

亀岡市の障がい児施策についてみると、「特性に応じた小・中学校・義務教育学校での教育内容」が 52.2%で最も多く、次いで「福祉手当の支給などの経済的支援」(35.4%)、「サービス利用の手続きの簡素化」(33.6%)となっています。

■図表：亀岡市の障がい児施策について、特に重要だと思うこと（3つ以内で複数回答）



■図表：亀岡市の障がい児施策について、特に重要だと思うこと（3つ以内で複数回答）

		有効回答数	支援の必要な子どもの育児などとの相談できる窓口をつくる体制	サービス利用の手続きの簡素化	行政からの保健や福祉に関する情報提供	保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	特性に応じた保育所・幼稚園での保育内容	特性に応じた小・中学校・義務教育学校での教育内容	安心して出産や育児ができる母子保健や医療サービス	在宅での生活や介助を手助けする福祉サービス
全体		113	25.7%	33.6%	23.0%	30.1%	18.6%	52.2%	0.9%	3.5%
就学段階	就学前	13	15.4%	30.8%	15.4%	30.8%	38.5%	46.2%	0.0%	0.0%
	小学校・小学部	50	20.0%	38.0%	28.0%	24.0%	18.0%	60.0%	0.0%	4.0%
	中学校・中学部	23	34.8%	30.4%	13.0%	30.4%	13.0%	60.9%	4.3%	0.0%
	高校・高等部	25	32.0%	32.0%	24.0%	40.0%	16.0%	32.0%	0.0%	8.0%
グループ別	療育手帳所持者	56	25.0%	33.9%	21.4%	37.5%	17.9%	53.6%	0.0%	5.4%
	身体手帳所持者	23	21.7%	34.8%	30.4%	21.7%	26.1%	34.8%	0.0%	4.3%
	手帳重度者	32	25.0%	34.4%	28.1%	31.3%	18.8%	40.6%	0.0%	6.3%
	手帳不所持者	33	30.3%	30.3%	18.2%	33.3%	21.2%	63.6%	0.0%	0.0%
	発達障がい	72	22.2%	33.3%	22.2%	31.9%	19.4%	61.1%	1.4%	2.8%
	療育を受けていない人 要介護家族あり	21 19	42.9% 15.8%	47.6% 42.1%	14.3% 10.5%	28.6% 31.6%	9.5% 21.1%	33.3% 57.9%	4.8% 0.0%	4.8% 0.0%
		有効回答数	サメ、介助者の負担を軽減するためのケア（レスパイトケア）	親の会などの当事者組織やボランティア活動への支援	差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動	住民同士がふれあうことでの機会や場の提供	福祉手当の支給などの経済的支援	公共施設や道路などのバリアフリー化	その他	
全体		113	11.5%	2.7%	7.1%	6.2%	35.4%	7.1%	2.7%	
就学段階	就学前	13	7.7%	0.0%	7.7%	7.7%	46.2%	0.0%	0.0%	
	小学校・小学部	50	6.0%	4.0%	6.0%	4.0%	36.0%	8.0%	6.0%	
	中学校・中学部	23	13.0%	0.0%	13.0%	8.7%	26.1%	4.3%	0.0%	
	高校・高等部	25	24.0%	4.0%	0.0%	8.0%	40.0%	12.0%	0.0%	
グループ別	療育手帳所持者	56	19.6%	1.8%	5.4%	8.9%	35.7%	5.4%	1.8%	
	身体手帳所持者	23	8.7%	8.7%	8.7%	4.3%	34.8%	17.4%	0.0%	
	手帳重度者	32	21.9%	6.3%	9.4%	3.1%	28.1%	9.4%	3.1%	
	手帳不所持者	33	0.0%	0.0%	12.1%	3.0%	21.2%	6.1%	6.1%	
	発達障がい	72	9.7%	1.4%	9.7%	6.9%	36.1%	2.8%	2.8%	
	療育を受けていない人 要介護家族あり	21 19	0.0% 10.5%	0.0% 5.3%	4.8% 0.0%	9.5% 21.1%	47.6% 42.1%	0.0% 0.0%	4.8% 5.3%	

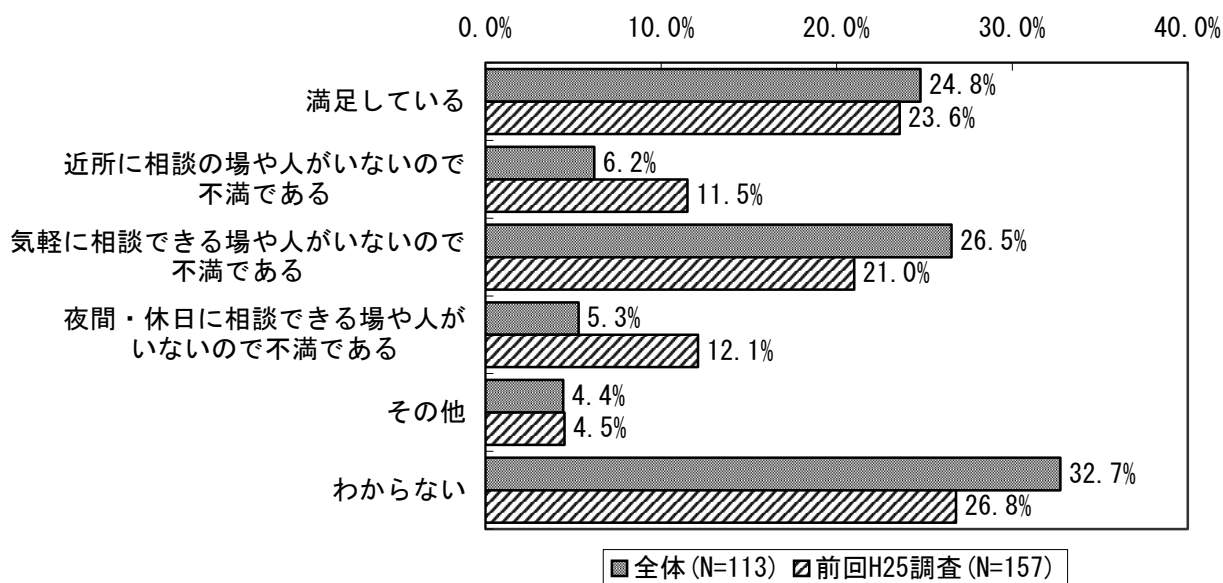
3-8 相談窓口

(1) 現在の相談体制の満足度

問 50 現在の困ったときの相談体制について、あなたはどのように感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

現在の相談体制の満足度をみると、「満足している」は24.8%となっており、身体と重度は比較的満足度が高くなっています。

■ 図表：現在の相談体制の満足度（複数回答）



■ 図表：就学段階別 現在の相談体制の満足度

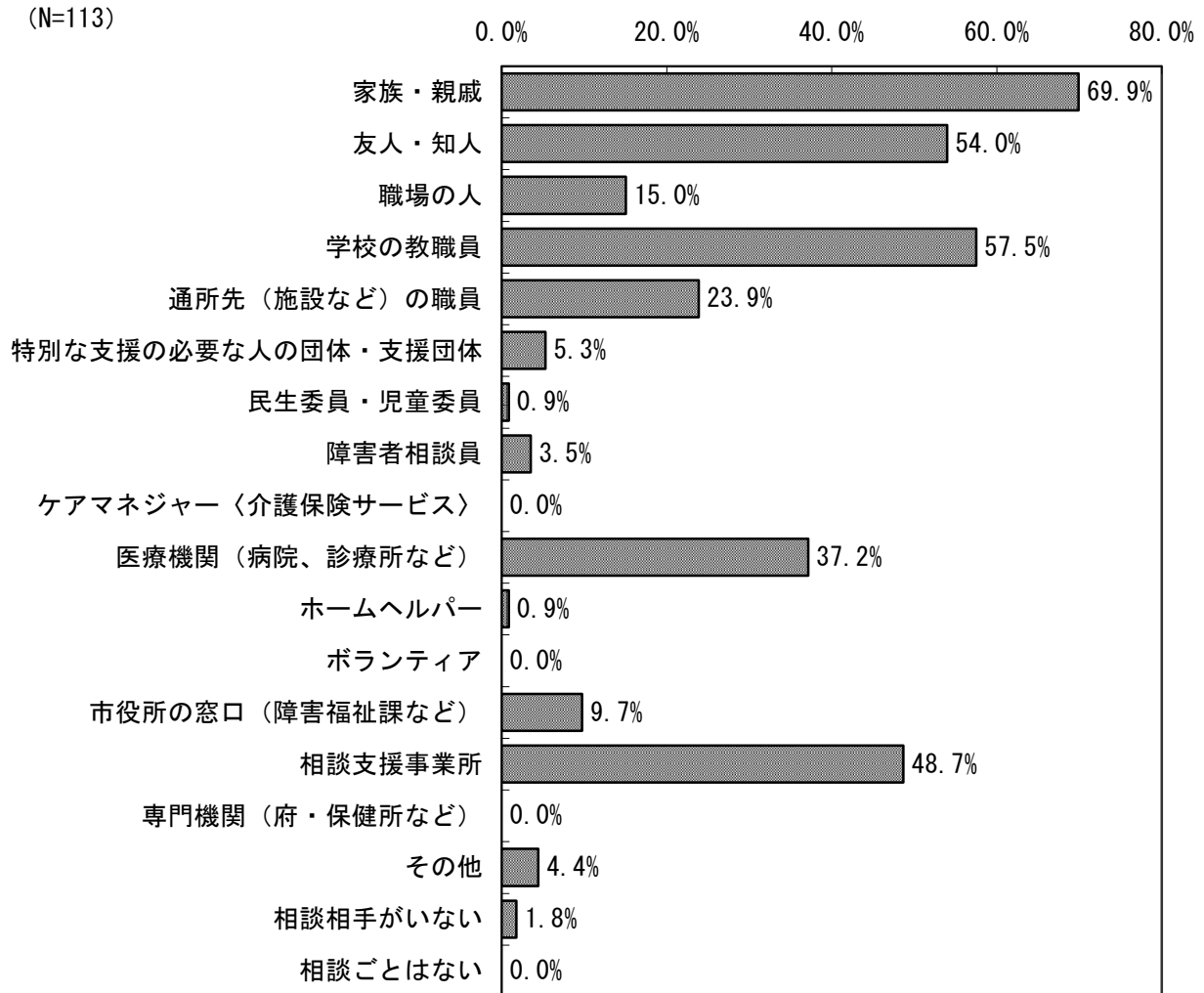
	有効回答数	満足している	近所にある相談の場や人がいないので不満である	気軽に相談できる場や人がいないので不満である	夜間・休日であるのに相談できる場や人がいないので不満である	その他	わからない
全体	113	24.8%	6.2%	26.5%	5.3%	4.4%	32.7%
就学段階	就学前	13	23.1%	7.7%	15.4%	0.0%	46.2%
	小学校・小学部	50	22.0%	10.0%	34.0%	8.0%	28.0%
	中学校・中学部	23	21.7%	0.0%	26.1%	0.0%	30.4%
	高校・高等部	25	28.0%	4.0%	20.0%	4.0%	40.0%
グループ別	療育手帳所持者	56	26.8%	7.1%	19.6%	7.1%	37.5%
	身体手帳所持者	23	39.1%	0.0%	13.0%	0.0%	43.5%
	手帳重度者	32	37.5%	3.1%	18.8%	6.3%	40.6%
	手帳不所持者	33	21.2%	9.1%	42.4%	6.1%	18.2%
	発達障がい	72	23.6%	8.3%	34.7%	5.6%	22.2%
	療育を受けていない人 要介護家族あり	21 19	19.0% 21.1%	4.8% 10.5%	33.3% 31.6%	0.0% 0.0%	14.3% 5.3%

(2) 困ったときの相談相手

問 51 困ったときに、誰に、またはどこに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

困ったときの相談相手を見ると、「家族・親戚」が69.9%で最も多く、次いで「学校の教職員」(57.5%)、「友人・知人」(54.0%)となっています。

■図表：困ったときの相談相手（複数回答）



■図表：困ったときの相談相手（複数回答）

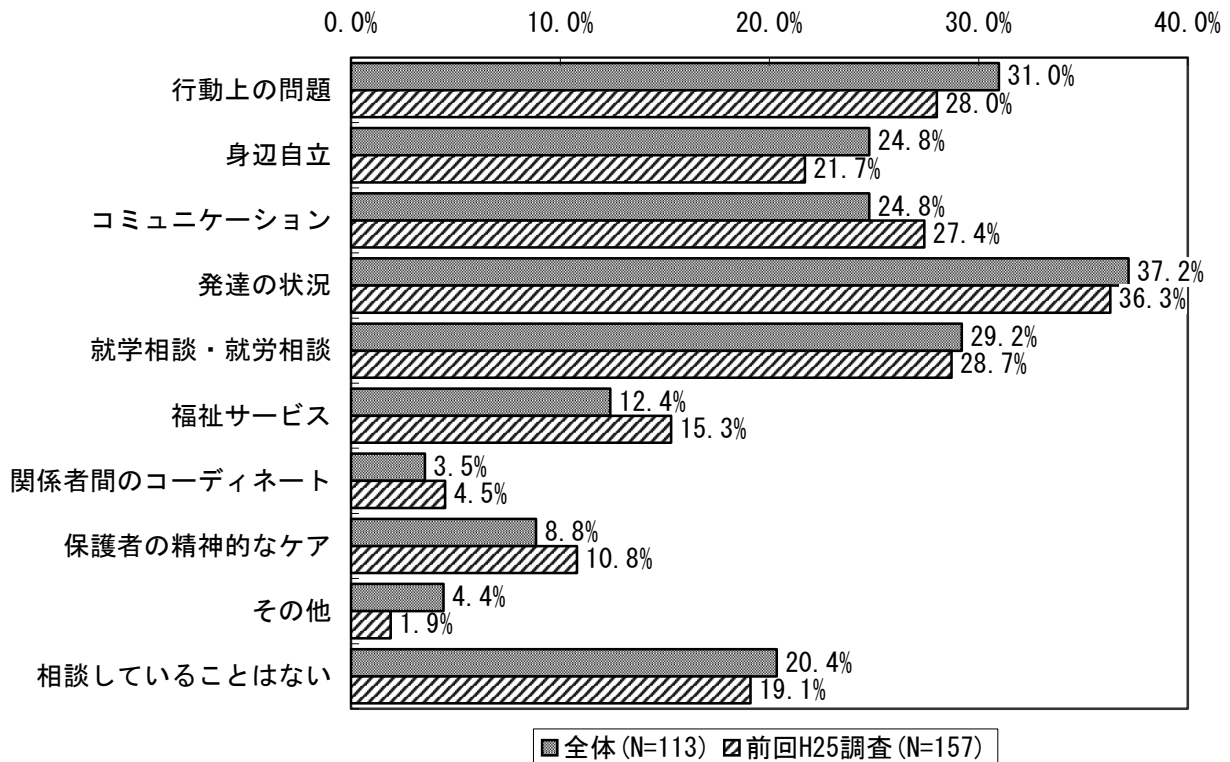
		有効回答数	家族・親戚	友人・知人	職場の人	学校の教職員	通所先（施設など）の職員	支援団体の特別な支援の必要人の団体	民生委員・児童委員	障害者相談員	ケアマネジャー（介護保険サービス）
全体		113	69.9%	54.0%	15.0%	57.5%	23.9%	5.3%	0.9%	3.5%	0.0%
就学段階	就学前	13	84.6%	76.9%	23.1%	7.7%	53.8%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	小学校・小学部	50	64.0%	48.0%	18.0%	64.0%	26.0%	8.0%	2.0%	2.0%	0.0%
	中学校・中学部	23	73.9%	56.5%	8.7%	65.2%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高校・高等部	25	72.0%	56.0%	12.0%	60.0%	16.0%	4.0%	0.0%	8.0%	0.0%
グループ別	療育手帳所持者	56	73.2%	60.7%	19.6%	55.4%	32.1%	8.9%	1.8%	5.4%	0.0%
	身体手帳所持者	23	87.0%	60.9%	0.0%	34.8%	17.4%	4.3%	0.0%	8.7%	0.0%
	手帳重度者	32	81.3%	62.5%	6.3%	56.3%	21.9%	6.3%	3.1%	12.5%	0.0%
	手帳不所持者	33	60.6%	48.5%	18.2%	78.8%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	発達障がい	72	65.3%	47.2%	18.1%	59.7%	26.4%	5.6%	1.4%	2.8%	0.0%
	療育を受けていない人	21	66.7%	57.1%	9.5%	57.1%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	要介護家族あり	19	84.2%	57.9%	21.1%	52.6%	42.1%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%
		有効回答数	療育施設（医療機関など）	パホームヘル	アボランテイ	市区役所の福祉課など	業所相談支援	所（府・保健など）	その他	相談相手がない	相談ごとはない
全体		113	37.2%	0.9%	0.0%	9.7%	48.7%	0.0%	4.4%	1.8%	0.0%
就学段階	就学前	13	53.8%	0.0%	0.0%	30.8%	46.2%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%
	小学校・小学部	50	34.0%	0.0%	0.0%	2.0%	40.0%	0.0%	6.0%	4.0%	0.0%
	中学校・中学部	23	39.1%	4.3%	0.0%	13.0%	60.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高校・高等部	25	36.0%	0.0%	0.0%	12.0%	56.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
グループ別	療育手帳所持者	56	33.9%	1.8%	0.0%	16.1%	57.1%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%
	身体手帳所持者	23	60.9%	0.0%	0.0%	13.0%	39.1%	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%
	手帳重度者	32	46.9%	3.1%	0.0%	12.5%	56.3%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%
	手帳不所持者	33	27.3%	0.0%	0.0%	3.0%	45.5%	0.0%	3.0%	6.1%	0.0%
	発達障がい	72	30.6%	1.4%	0.0%	8.3%	52.8%	0.0%	1.4%	2.8%	0.0%
	療育を受けていない人	21	38.1%	0.0%	0.0%	4.8%	33.3%	0.0%	9.5%	4.8%	0.0%
	要介護家族あり	19	47.4%	5.3%	0.0%	10.5%	47.4%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%

(3) 現在相談している内容

問 52 現在相談している内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在相談している内容をみると、「発達の状況」が37.2%で最も多く、次いで「行動上の問題」(31.0%)となっています。

■図表：現在相談している内容（複数回答）



■図表：現在相談している内容（複数回答）

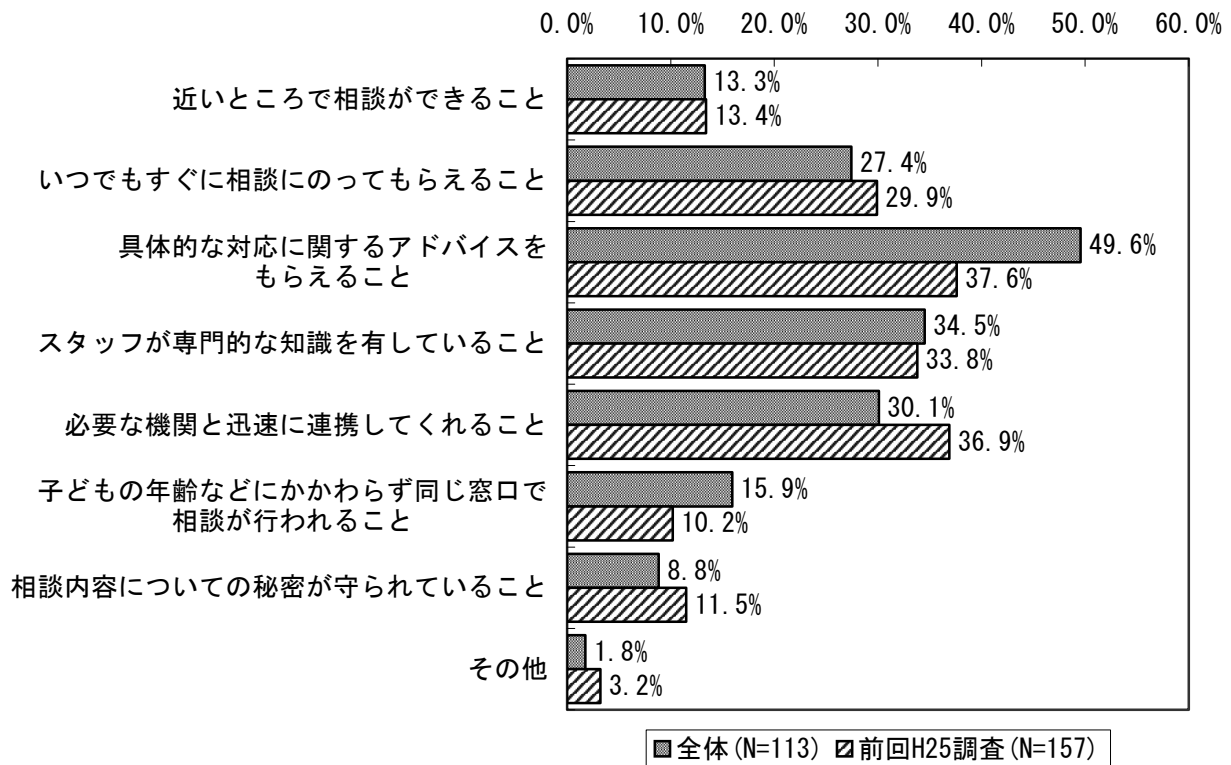
	有効回答数	行動上の問題	身辺自立	コミュニケーション	発達の状況	就学相談・就労相談	福祉サービス	関係者間のコーディネート	保護者の精神的なケア	その他	相談していることはない
全体	113	31.0%	24.8%	24.8%	37.2%	29.2%	12.4%	3.5%	8.8%	4.4%	20.4%
就学段階											
就学前	13	46.2%	46.2%	30.8%	61.5%	53.8%	30.8%	0.0%	15.4%	7.7%	7.7%
小学校・小学部	50	28.0%	22.0%	26.0%	44.0%	20.0%	8.0%	6.0%	10.0%	6.0%	18.0%
中学校・中学部	23	34.8%	17.4%	26.1%	17.4%	34.8%	13.0%	0.0%	4.3%	0.0%	13.0%
高校・高等部	25	24.0%	28.0%	20.0%	32.0%	32.0%	12.0%	4.0%	8.0%	4.0%	36.0%

(4) 相談機関に特に期待すること

問 53 相談機関に特に期待することは何ですか。(2つまでに○)

相談機関に特に期待することをみると、「具体的な対応に関するアドバイスを受けられること」が49.6%で最も多く、次いで「スタッフが専門的な知識を有していること」(34.5%)となっています。

■図表：相談機関に特に期待すること（2つ以内で複数回答）



■図表：相談機関に特に期待すること（2つ以内で複数回答）

	有効回答数	近いところで相談ができること	いつでもすぐに相談にのってもらえること	具体的な対応に関するアドバイスを受けられること	スタッフが専門的な知識を有していること	必要な機関と迅速に連携してくれること	子どもがわがわがの年齢などにかかわらず同じ窓口で相談が行われること	相談内容についての秘密が守られていること	その他	
全体	113	13.3%	27.4%	49.6%	34.5%	30.1%	15.9%	8.8%	1.8%	
就学段階	就学前	13	15.4%	23.1%	61.5%	61.5%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%
	小学校・小学部	50	12.0%	30.0%	44.0%	36.0%	38.0%	18.0%	10.0%	4.0%
	中学校・中学部	23	13.0%	21.7%	60.9%	21.7%	30.4%	13.0%	13.0%	0.0%
	高校・高等部	25	16.0%	32.0%	40.0%	28.0%	24.0%	20.0%	8.0%	0.0%

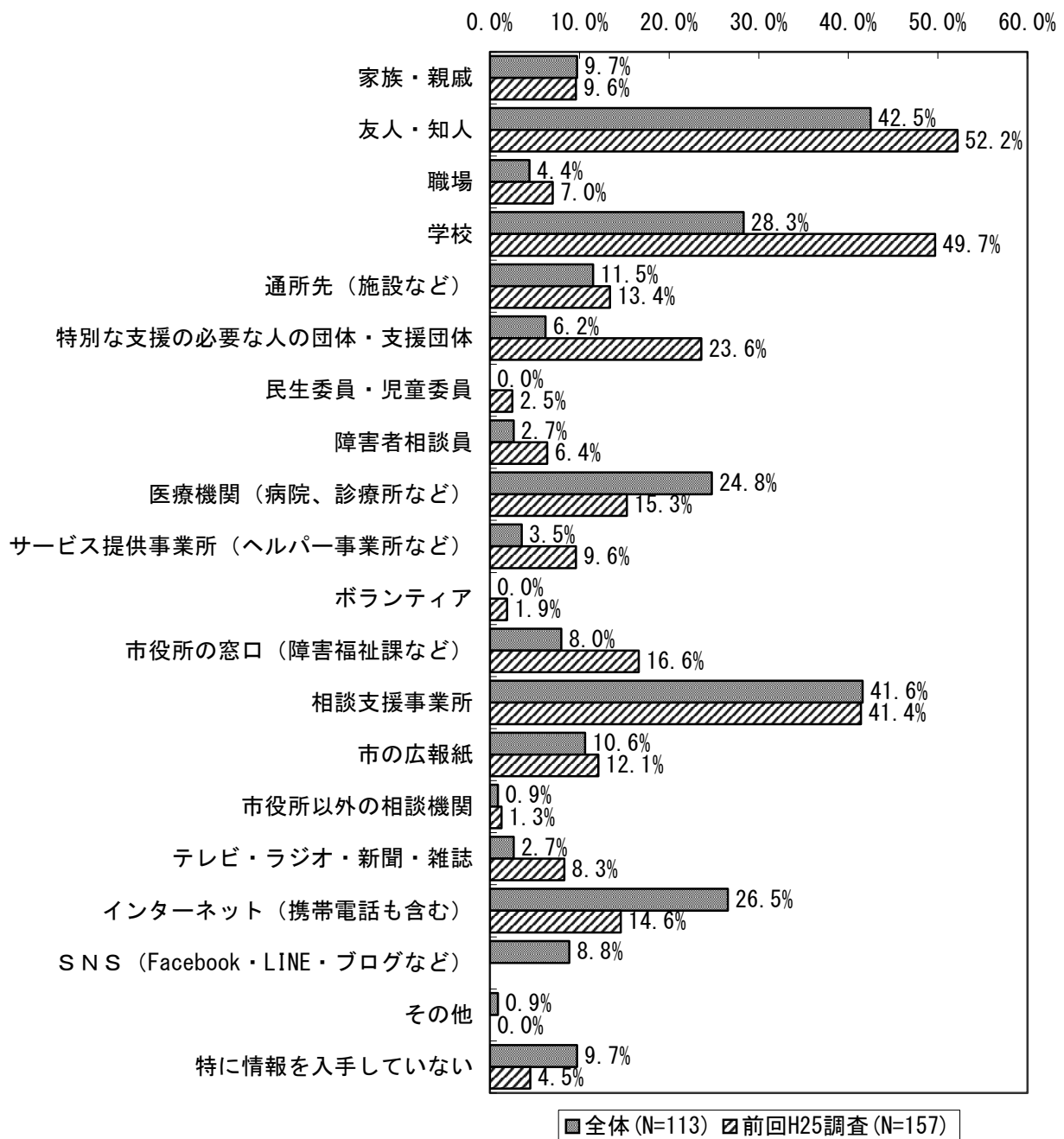
3-9 情報提供

(1) サービスに関する情報の入手

問 54 サービスに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

サービスに関する情報の入手をみると、就学前と中学校・中学部では「友人・知人」、小学校・小学部と高校・高等部では「相談支援事業所」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：サービスに関する情報の入手（複数回答）



■図表：サービスに関する情報の入手（複数回答）

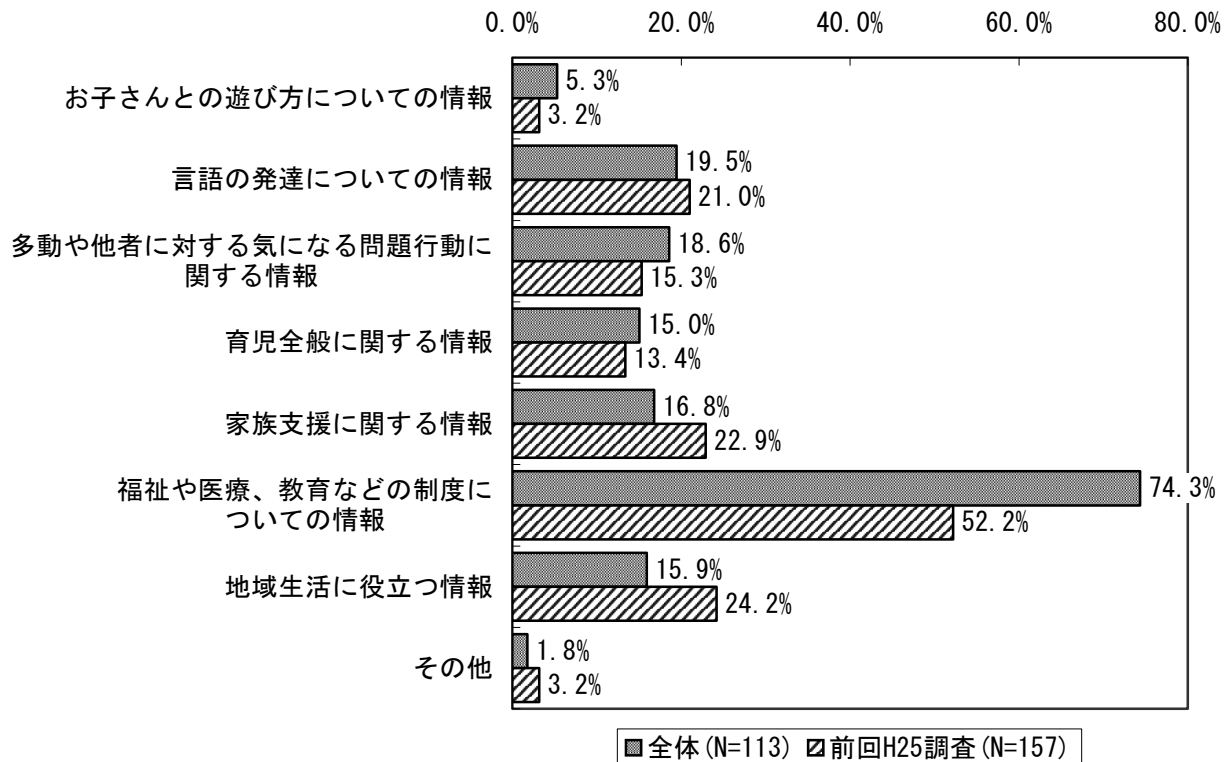
		有効回答数	家族・親戚	友人・知人	職場	学校	通所先（施設など）	特別な支援の必要人の団体・支援団体	民生委員・児童委員	障害者相談員	医療機関（病院、診療所など）	事業所（ヘルパーなど）	サービス提供事業者
全体		113	9.7%	42.5%	4.4%	28.3%	11.5%	6.2%	0.0%	2.7%	24.8%		3.5%
就学段階	就学前	13	7.7%	76.9%	7.7%	15.4%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	38.5%		0.0%
	小学校・小学部	50	12.0%	28.0%	4.0%	28.0%	6.0%	2.0%	0.0%	0.0%	26.0%		4.0%
	中学校・中学部	23	8.7%	47.8%	0.0%	21.7%	8.7%	4.3%	0.0%	0.0%	21.7%		4.3%
	高校・高等部	25	4.0%	48.0%	8.0%	36.0%	12.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%		4.0%
		有効回答数	ボランティア	市役所の窓口（障害福祉課など）	相談支援事業所	市の広報紙	市役所以外の相談機関	雑誌・テレビ・ラジオ・新聞	インターネット（携帯電話も含む）	BOOK・LINE・ブログなど	SNS（Face	その他	特に情報を入手していない
全体		113	0.0%	8.0%	41.6%	10.6%	0.9%	2.7%	26.5%	8.8%	0.9%		9.7%
就学段階	就学前	13	0.0%	7.7%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	7.7%	0.0%		7.7%
	小学校・小学部	50	0.0%	4.0%	36.0%	14.0%	2.0%	4.0%	30.0%	18.0%	0.0%		14.0%
	中学校・中学部	23	0.0%	0.0%	43.5%	4.3%	0.0%	4.3%	30.4%	0.0%	4.3%		4.3%
	高校・高等部	25	0.0%	20.0%	56.0%	16.0%	0.0%	0.0%	16.0%	0.0%	0.0%		8.0%

(2) 子どもの発育に関して提供してほしい情報

問 55 子どもの発育に関して、どのような情報の提供を特に望まれますか。(2つまでに○)

子どもの発育に関して提供してほしい情報をみると、「福祉や医療、教育などの制度についての情報」が74.3%で最も多く、前回(52.2%)より20ポイント以上増加しています。

■図表：子どもの発育に関して提供してほしい情報（2つ以内で複数回答）



■図表：子どもの発育に関して提供してほしい情報（2つ以内で複数回答）

	有効回答数	お子さんの遊び方についての情報	言語の発達についての情報	多動や他者に対する気になる問題行動に関する情報	育児全般に関する情報	家族支援に関する情報	福祉や医療、教育などの制度についての情報	地域生活に役立つ情報	その他	
全体	113	5.3%	19.5%	18.6%	15.0%	16.8%	74.3%	15.9%	1.8%	
就学段階	就学前	13	0.0%	30.8%	15.4%	15.4%	30.8%	84.6%	15.4%	0.0%
	小学校・小学部	50	4.0%	22.0%	22.0%	14.0%	16.0%	78.0%	4.0%	2.0%
	中学校・中学部	23	8.7%	17.4%	17.4%	26.1%	13.0%	60.9%	21.7%	4.3%
	高校・高等部	25	8.0%	12.0%	12.0%	8.0%	16.0%	72.0%	36.0%	0.0%

3-10 災害時のことについて

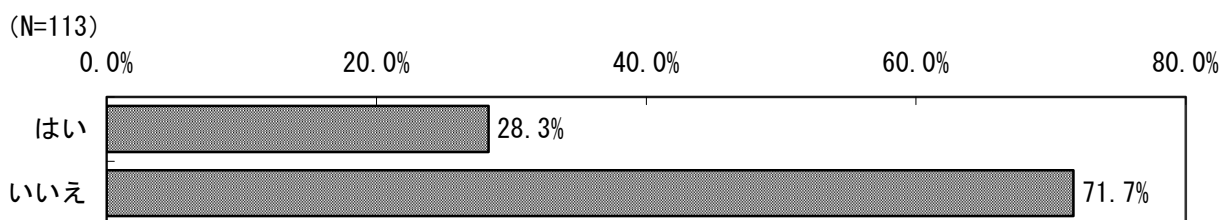
(1) 「避難行動要支援者名簿」の認知度

問 56 亀岡市では、災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが難しい人をあらかじめ把握し、災害時に要支援者の避難を支援するための名簿「避難行動要支援者名簿」を作成しています。この制度を知っていますか。(1つに○)

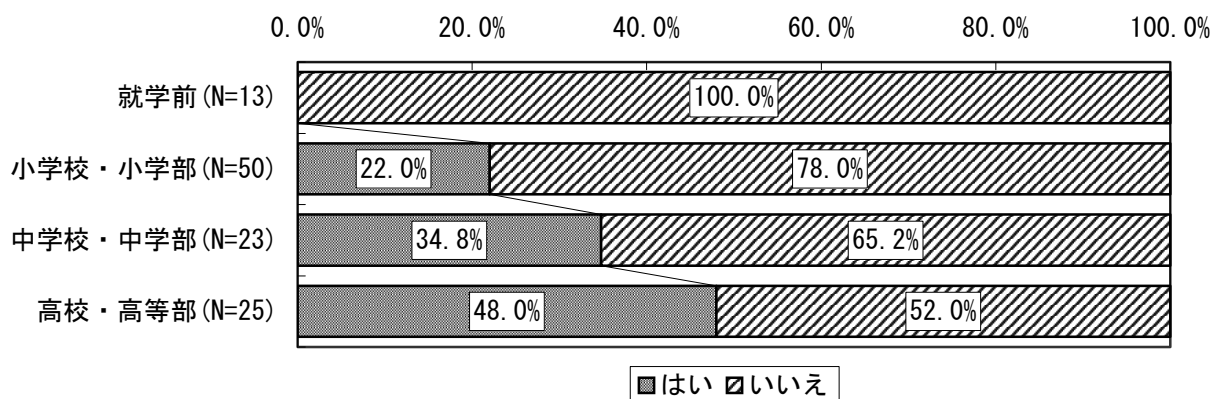
※個人の申請により登録される名簿ではありません。

「避難行動要支援者名簿」の認知度は 28.3%で、年齢が高いほど認知度が高くなっています。

■図表：「避難行動要支援者名簿」の認知度



■図表：就学段階別 「避難行動要支援者名簿」の認知度

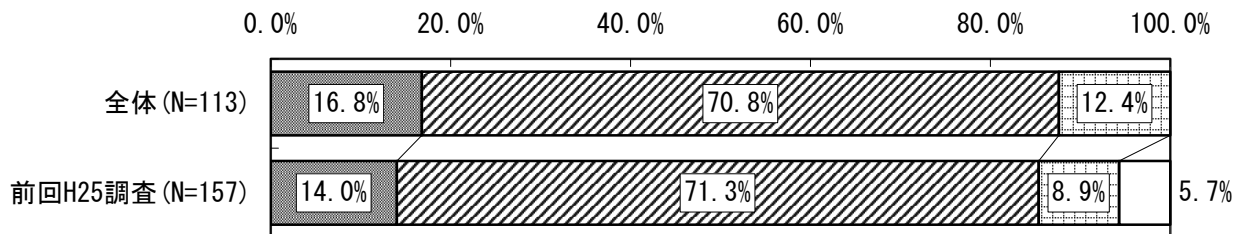


(2) 災害時にひとりで避難できるか

問 57 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたのお子さんはひとりで避難できると思いますか。
(1つに○)

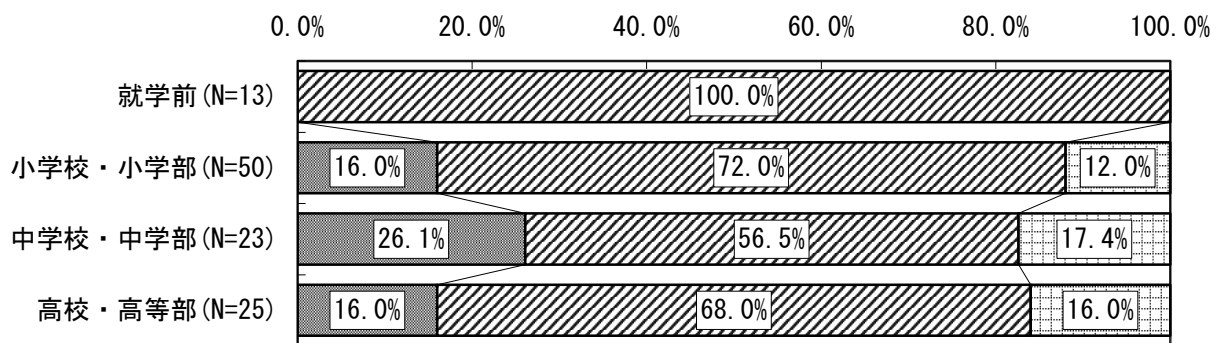
災害時にひとりで避難できると思う人は16.8%で、中学校・中学部では26.1%とやや多くなっています。

■図表：災害時にひとりで避難できるか



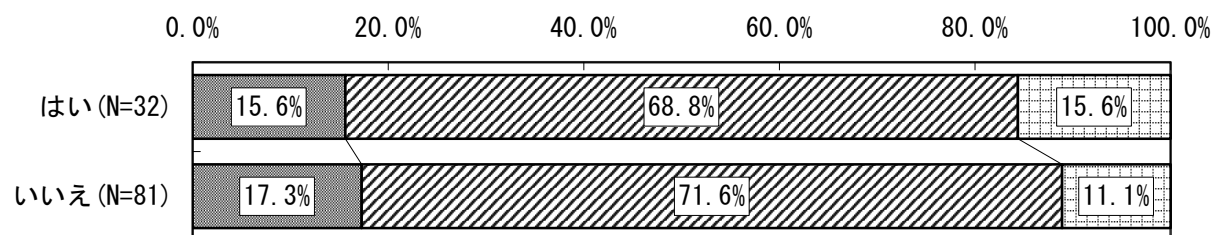
■ひとりで避難できると思う ■ひとりで避難できないと思う □わからない □無回答

■図表：就学段階別 災害時にひとりで避難できるか



■ひとりで避難できると思う ■ひとりで避難できないと思う □わからない

■図表：「避難行動要支援者名簿」の認知度 × 災害時にひとりで避難できるか



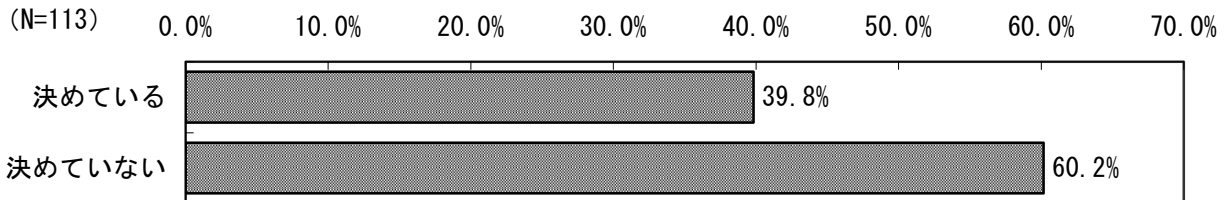
■ひとりで避難できると思う ■ひとりで避難できないと思う □わからない

(3) 災害時に避難場所を決めているか

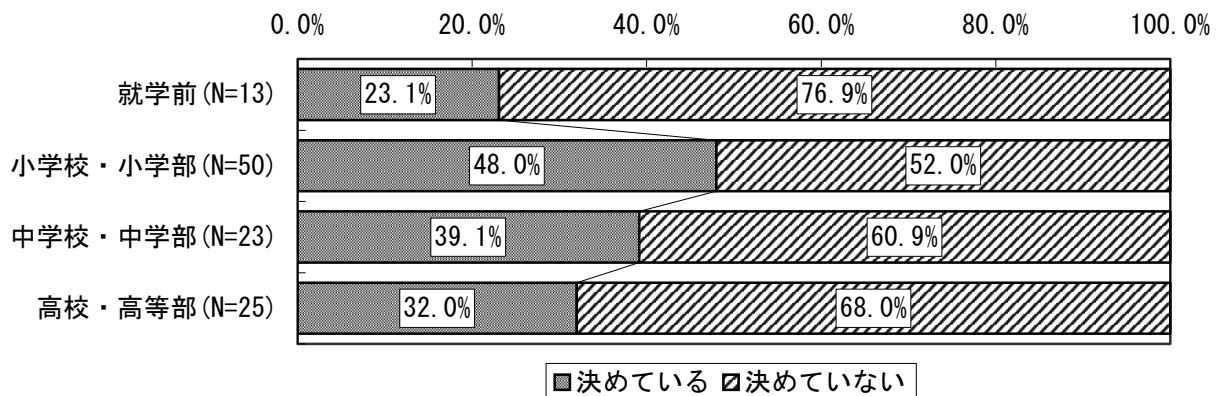
問 58 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたはお子さんどこに避難するか決めていますか。
(1つに○)

災害時に避難場所を決めている人は約4割となっています。

■図表：災害時に避難場所を決めているか



■図表：就学段階別 災害時に避難場所を決めているか

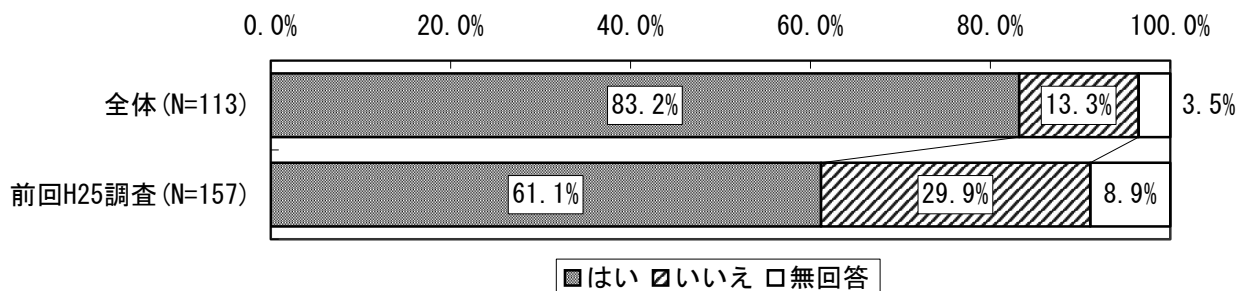


(4) 災害時の救援のために、手帳情報を行政機関や自治会などに事前に伝えてもよいか

問 59 個人の情報が保護されれば、災害時の救援のために、あなたのお子さんが手帳を持っておられれば、その手帳情報（要支援者の状態）を行政機関や自治会などに事前に伝えてもよいと思いますか。(1つに○)

手帳情報を行政機関や自治会などに事前に伝えてもよいという人は 83.2%で、前回 (61.1%) から 20 ポイント以上増加しています。

■図表：災害時の救援のために、手帳情報を行政機関や自治会などに事前に伝えてもよいか



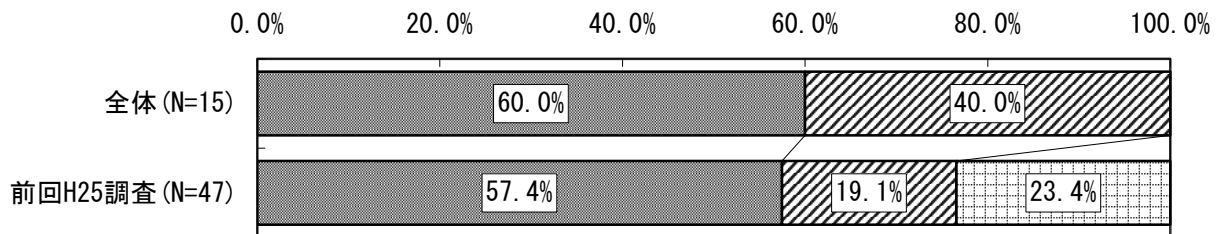
(5) 手帳情報の提供を望まない理由

問 59 で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。

問 60 それは主にどのような理由によりますか。(1つに○)

手帳情報の提供を望まない人について、理由をみると、「個人情報の流出が不安であるため」が60.0%、「情報を伝えても救援が期待できないため」が40.0%となっています。

■ 図表：手帳情報の提供を望まない理由



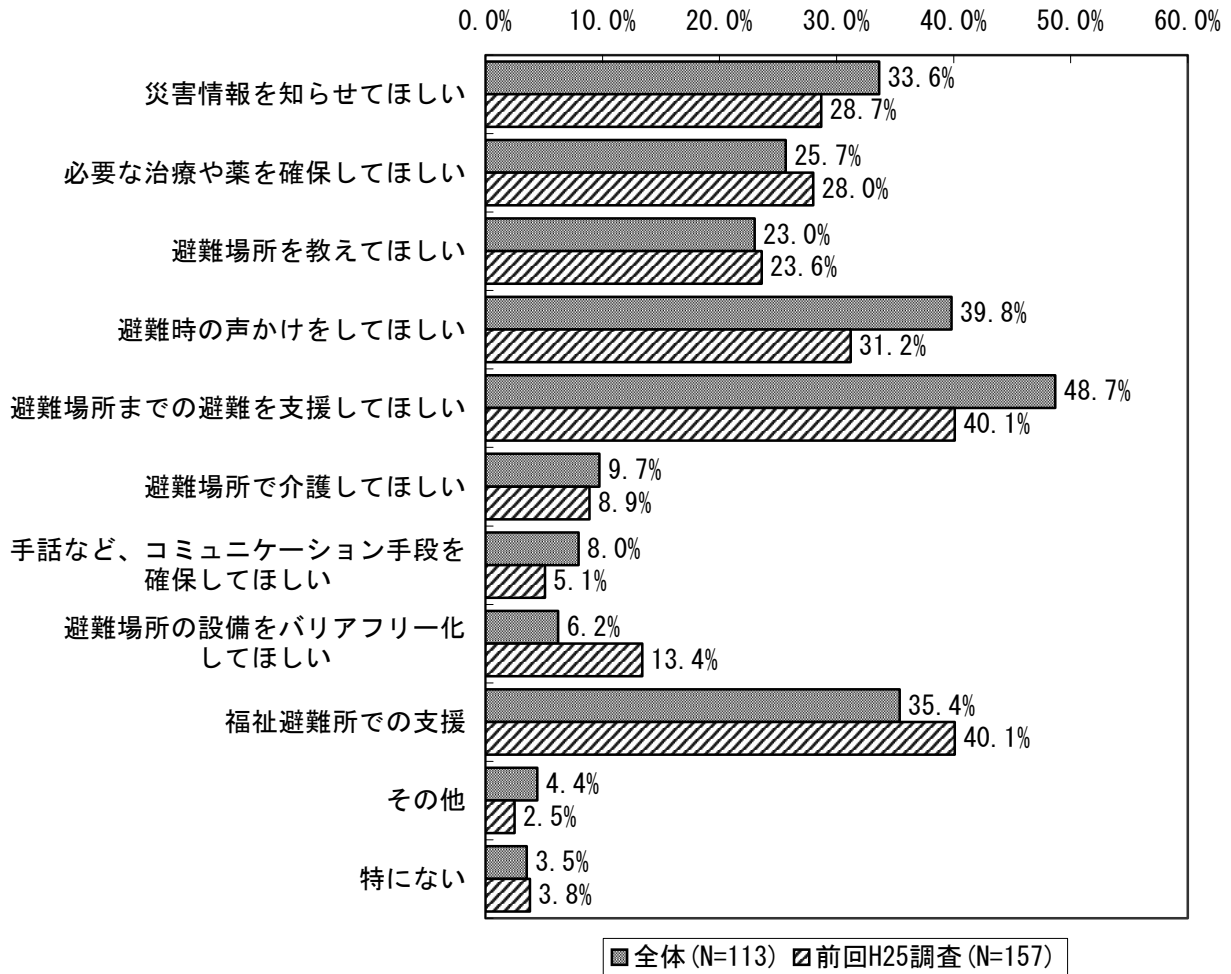
■ 個人情報の流出が不安であるため ▨ 情報を伝えても救援が期待できないため ▩ その他

(6) 災害発生時に支援してほしいこと

問 61 あなたが、災害が起きた時にお子さんに対して特に支援してほしいことは、何ですか。
(3つまでに〇)

災害発生時に支援してほしいことをみると、「避難場所までの避難を支援してほしい」が48.7%で最も多く、次いで「避難時の声かけをしてほしい」(39.8%)、「福祉避難所での支援」(35.4%)となっています。

■図表：災害発生時に支援してほしいこと（3つ以内で複数回答）



■図表：災害発生時に支援してほしいこと（3つ以内で複数回答）

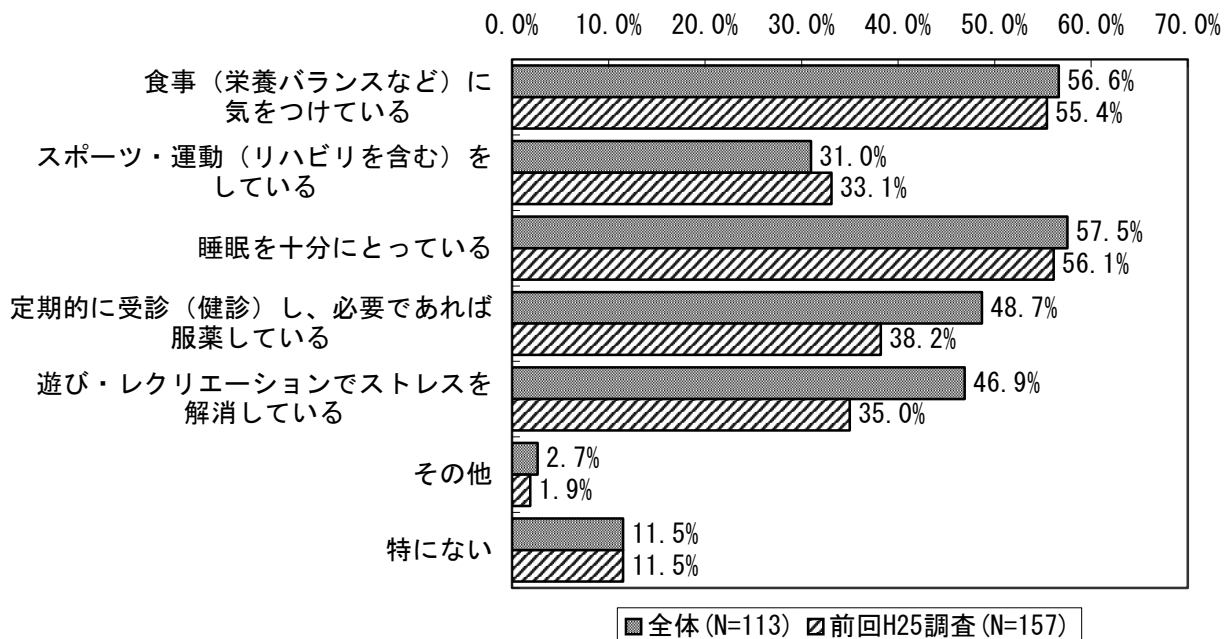
	有効回答数	災害情報を知らせ	必要な治療や薬を確保	避難場所を教えてください	避難時の声かけをしてほしい	避難場所までの避難を支援してほしい	避難場所で介護してほしい	手話など、コミュニケーション手段を確保してほしい	避難場所の設備をバリアフリー化してほしい	福祉避難所での支援	その他	特にない
全体	113	33.6%	25.7%	23.0%	39.8%	48.7%	9.7%	8.0%	6.2%	35.4%	4.4%	3.5%
就学段階												
就学前	13	7.7%	38.5%	7.7%	15.4%	38.5%	7.7%	38.5%	7.7%	38.5%	15.4%	0.0%
小学校・小学部	50	38.0%	22.0%	22.0%	42.0%	52.0%	8.0%	4.0%	2.0%	26.0%	6.0%	8.0%
中学校・中学部	23	39.1%	30.4%	30.4%	43.5%	39.1%	8.7%	4.3%	8.7%	34.8%	0.0%	0.0%
高校・高等部	25	32.0%	24.0%	24.0%	44.0%	56.0%	12.0%	4.0%	12.0%	52.0%	0.0%	0.0%

(1) 体調を維持するために気を配っていること

問 62 あなたは、お子さんの体調を維持するために、気を配っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

体調を維持するために気を配っていることをみると、身体・重度・療育を受けていない人は「睡眠を十分にとっている」、要介護家族ありの人は「定期的を受診（健診）し、必要であれば服薬している」、それ以外のグループは「食事（栄養バランスなど）に気を付けている」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：体調を維持するために気を配っていること（複数回答）



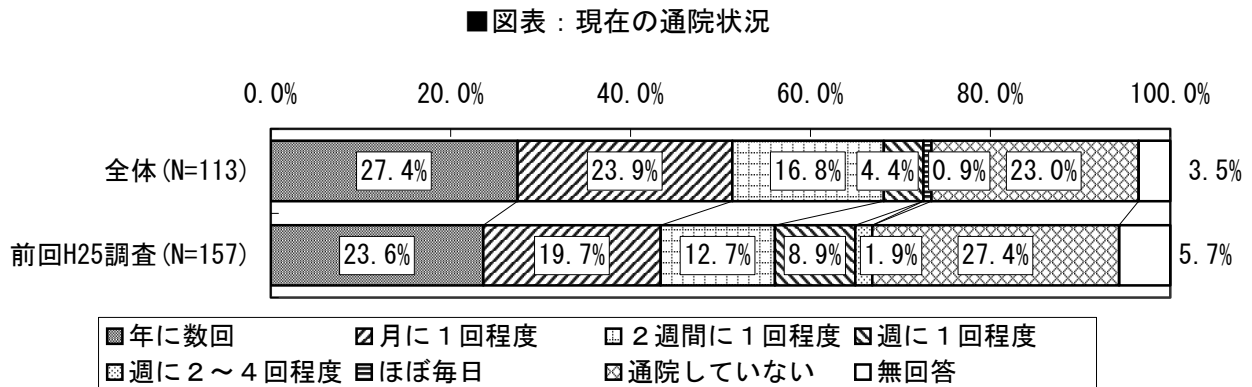
■図表：体調を維持するために気を配っていること（複数回答）

グループ別	有効回答数	食事（栄養バランスなど）に気を付けている	スポーツ・運動（リハビリを含む）をしている	睡眠を十分にとっている	定期的を受診（健診）し、必要であれば服薬している	遊び・レクリエーションでストレスを解消している	その他	特にない	
		全体	113	56.6%	31.0%	57.5%	48.7%	46.9%	2.7%
就学段階	就学前	13	53.8%	38.5%	61.5%	61.5%	53.8%	7.7%	15.4%
	小学校・小学部	50	56.0%	40.0%	66.0%	46.0%	56.0%	2.0%	10.0%
	中学校・中学部	23	52.2%	13.0%	43.5%	47.8%	39.1%	4.3%	13.0%
	高校・高等部	25	64.0%	28.0%	52.0%	48.0%	32.0%	0.0%	12.0%
グループ別	療育手帳所持者	56	64.3%	23.2%	58.9%	50.0%	50.0%	0.0%	8.9%
	身体手帳所持者	23	56.5%	43.5%	73.9%	65.2%	43.5%	4.3%	4.3%
	手帳重度者	32	59.4%	31.3%	62.5%	53.1%	43.8%	0.0%	12.5%
	手帳不所持者	33	51.5%	36.4%	45.5%	33.3%	48.5%	3.0%	18.2%
	発達障がい	72	54.2%	29.2%	51.4%	47.2%	45.8%	2.8%	13.9%
	療育を受けていない人 要介護家族あり	21 19	42.9% 42.1%	9.5% 21.1%	61.9% 42.1%	42.9% 57.9%	23.8% 42.1%	14.3% 0.0%	23.8% 10.5%

(2) 現在の通院状況

問 63 あなたのお子さんの現在の通院状況（リハビリを含む）は、次のどれですか。（1つに○）

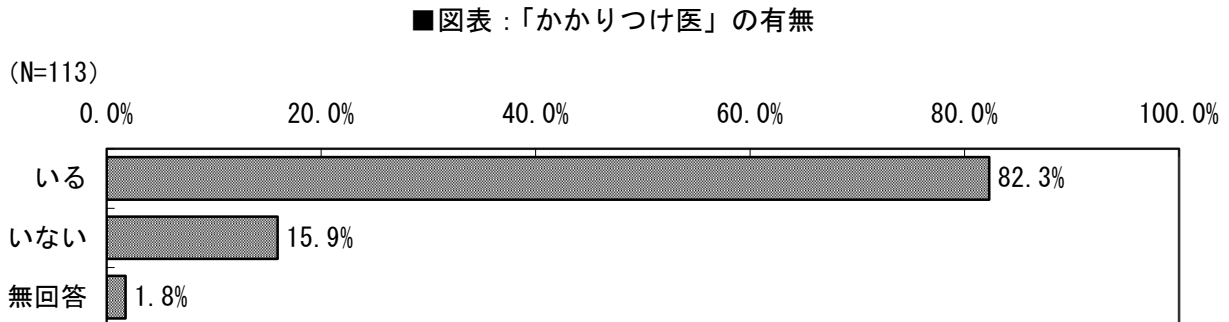
現在の通院状況をみると、月に1回以下が約半数を占めています。



(3) 「かかりつけ医」の有無

問 64 あなたのお子さんは、特性などのことで普段から受診したり、相談したりできる、病院や診療所の「かかりつけ医」がいますか。（1つに○）

「かかりつけ医」がいる人は82.3%となっています。

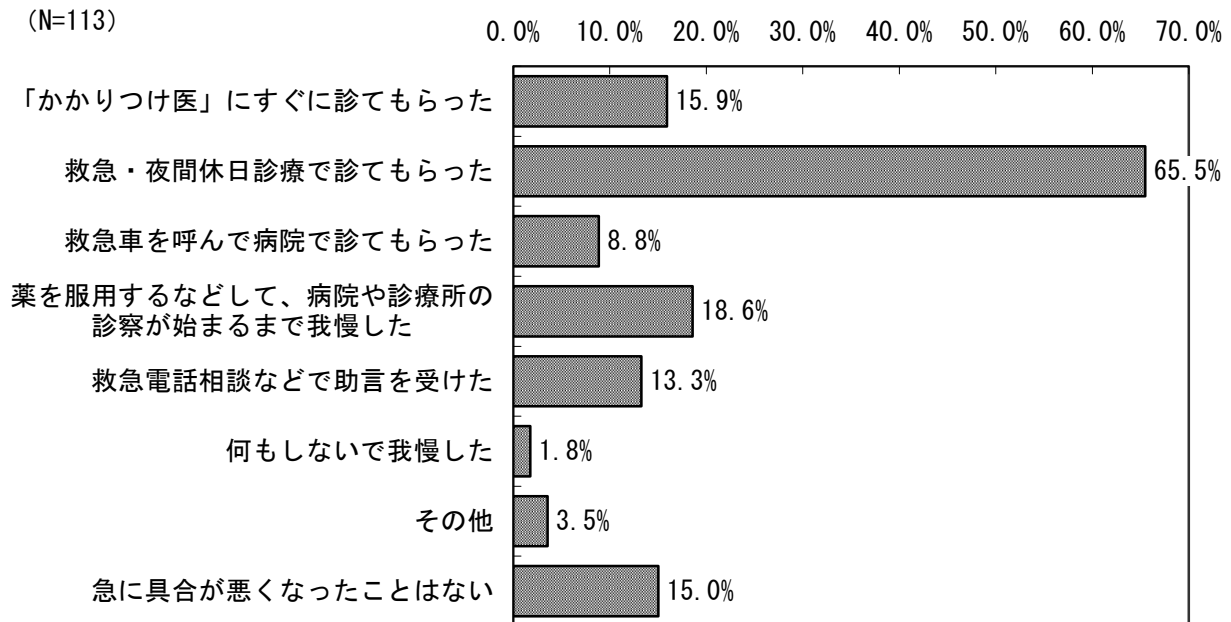


(4) 夜間や休日に急に具合が悪くなったときの対応

問 65 あなたのお子さんは、夜間や休日に急に具合が悪くなったときに、どのように対応しましたか。
(あてはまるものすべてに○)

夜間や休日に急に具合が悪くなったときの対応をみると、「救急・夜間休日診療で診てもらった」が65.5%で最も多くなっています。身体では『かかりつけ医』にすぐに診てもらった」が3割以上と比較的多くなっています。

■図表：夜間や休日に急に具合が悪くなったときの対応（複数回答）



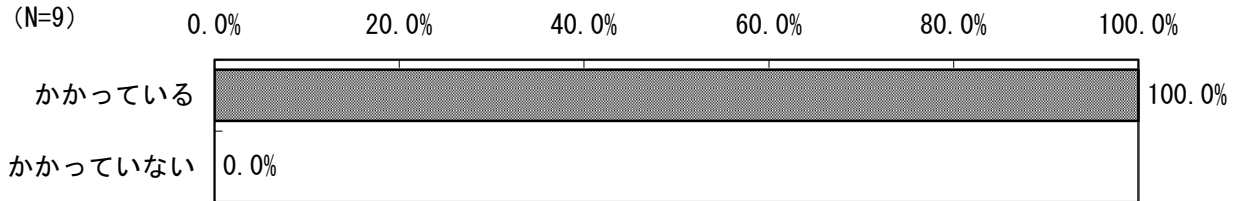
■図表：夜間や休日に急に具合が悪くなったときの対応（複数回答）

	有効回答数	「かかりつけ医」にすぐに診てもらった	救急・夜間休日診療で診てもらった	救急車を呼んで病院で診てもらった	薬を服用するなどして、病院や診療所の診察が始まるまで我慢した	救急電話相談などで助言を受けた	何もしないで我慢した	その他	急に具合が悪くなったことはない	
全体	113	15.9%	65.5%	8.8%	18.6%	13.3%	1.8%	3.5%	15.0%	
就学段階	就学前	13	15.4%	84.6%	7.7%	30.8%	23.1%	0.0%	7.7%	0.0%
	小学校・小学部	50	20.0%	58.0%	6.0%	16.0%	12.0%	2.0%	0.0%	20.0%
	中学校・中学部	23	13.0%	60.9%	8.7%	17.4%	8.7%	0.0%	8.7%	8.7%
	高校・高等部	25	12.0%	80.0%	12.0%	20.0%	16.0%	4.0%	4.0%	16.0%
グループ別	療育手帳所持者	56	14.3%	66.1%	10.7%	23.2%	17.9%	1.8%	3.6%	16.1%
	身体手帳所持者	23	34.8%	69.6%	17.4%	17.4%	8.7%	0.0%	4.3%	4.3%
	手帳重度者	32	25.0%	65.6%	15.6%	15.6%	12.5%	0.0%	3.1%	15.6%
	手帳不所持者	33	12.1%	63.6%	3.0%	15.2%	12.1%	3.0%	0.0%	18.2%
	発達障がい	72	13.9%	69.4%	4.2%	20.8%	16.7%	2.8%	0.0%	13.9%
	療育を受けていない人	21	19.0%	52.4%	4.8%	23.8%	4.8%	4.8%	4.8%	19.0%
要介護家族あり	19	26.3%	52.6%	10.5%	21.1%	5.3%	0.0%	5.3%	10.5%	

(5) 小児慢性特定疾患で専門病院を受診しているか

小児慢性特定疾患の認定を受けている方（問 19 で「1. 受けている」と回答した方）にお聞きします。
問 66 あなたのお子さんは、病気のことで専門病院（診療所を含む）にかかっていますか。（1つに○）
件数が少ないのでコメントは省略します。

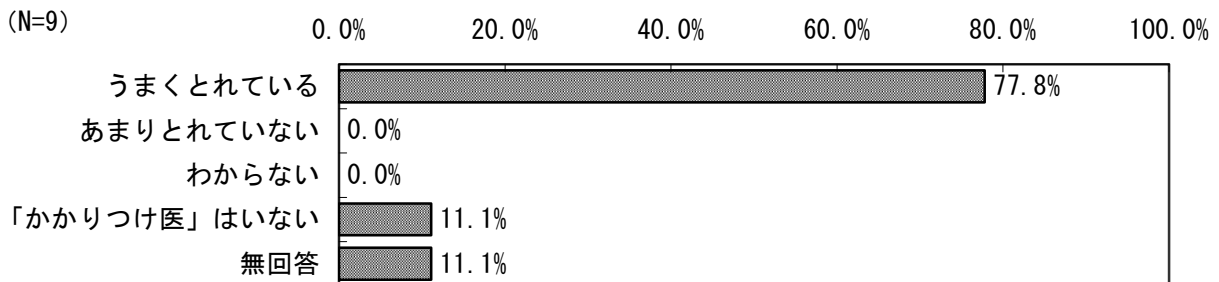
■図表：小児慢性特定疾患で専門病院を受診しているか



(6) 「かかりつけ医」と専門病院の医師との連携

問 66 で「1. かかっている」と回答した方にお聞きします。
問 67 あなたのお子さんの「かかりつけ医」と専門病院の医師とは、お子さんの病気のことで連絡・連携をうまくとれていますか。（1つに○）
件数が少ないのでコメントは省略します。

■図表：「かかりつけ医」と専門病院の医師との連携

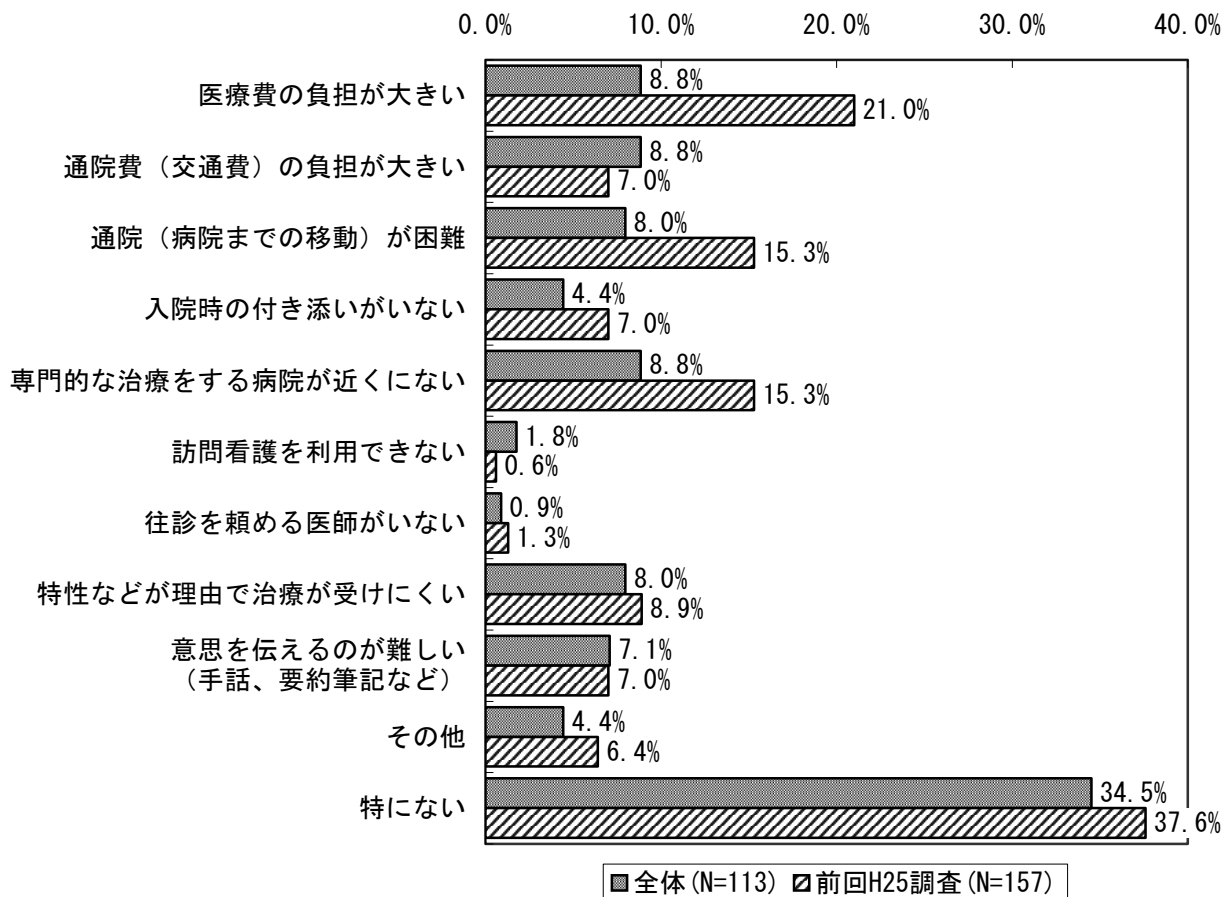


(7) 医療を受ける上で特に困っていること

問 68 医療を受ける上で特に困っていることはありますか。(3つまでに○)

医療を受ける上で特に困っていることをみると、「特にない」以外はいずれも1割未満にとどまっており、「医療費の負担が大きい」「通院（病院までの移動）が困難」「専門的な治療をする病院が近くにない」などは前回から大きく減少しています。

■図表：医療を受ける上で特に困っていること（3つ以内で複数回答）



3-12 亀岡市の施策の満足度・重要度

(1) 施策の満足度と重要度

問 69 亀岡市の障がい者施策全般についてお聞きします。

(1) 「障害や疾病等で支援が必要な子どもに対する福祉と教育の充実」について、「現在の満足度」はどの程度になりますか。その程度をそれぞれの項目ごとに「満足」の「5」から「不満」の「1」までの中から1つ選んで○をつけてください。

(2) 次に、「今後の重要度」について、市の障がい者施策でどの分野を重要視すべきかを「重要」の「5」から「重要でない」の「1」までの中から1つ選んで○をつけてください。

「①療育・保育・教育における支援体制の充実」については、満足度は 2.71、重要度は 4.66 で、属性による大きな差はみられません。

「②インクルーシブ教育システムの構築」については、満足度は 2.40 で、就学前や要介護家族ありの人の満足度が特に低くなっています。

■図表：施策の満足度と重要度

方針	施策	満足度		重要度	
		回答数	平均値	回答数	平均値
障害や疾病等で支援が必要な子どもに対する福祉と教育の充実	①療育・保育・教育における支援体制の充実	110	2.71	106	4.57
	②インクルーシブ教育システムの構築	107	2.40	104	4.66

※問 69 は第 3 期計画の施策についてたずねる設問のため、障害の「害」の字を漢字で表記しています。

■図表：属性別 施策の満足度と重要度

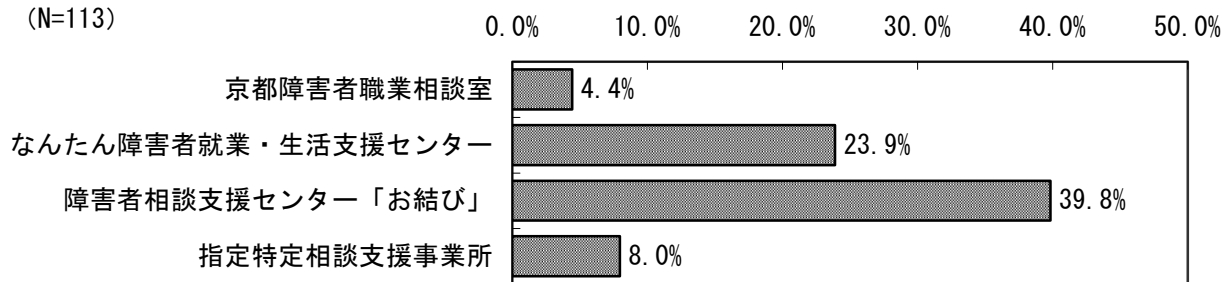
		①療育・保育・教育における支援体制の充実		②インクルーシブ教育システムの構築	
		満足度	重要度	満足度	重要度
全体		2.71	4.57	2.40	4.66
就学段階	就学前	2.62	4.62	2.09	4.64
	小学校・小学部	2.76	4.58	2.37	4.73
	中学校・中学部	2.60	4.63	2.55	4.68
	高校・高等部	2.60	4.42	2.32	4.50
グループ別	療育手帳所持者	2.65	4.55	2.23	4.66
	身体手帳所持者	2.65	4.43	2.68	4.50
	手帳重度者	2.53	4.52	2.43	4.40
	手帳不所持者	2.78	4.71	2.55	4.73
	発達障がい	2.77	4.58	2.28	4.79
	療育を受けていない人	2.50	4.58	2.25	4.63
	要介護家族あり	2.56	4.38	2.17	4.41

(2) 相談機関や窓口の認知度

問 70 あなたが、心身に生活のしづらさを抱えている人を支援する機関や窓口として、知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

療育・重度・発達障がいでは他のグループに比べて相談機関や窓口の認知度が高くなっています。

■図表：相談機関や窓口の認知度（複数回答）



■図表：相談機関や窓口の認知度（複数回答）

		有効回答数	業京 相都 談障 室害 者職	支者 援就 セ業 ン タ・ 生 活 害	一援障 おセ害 結ン者 びン タ相 ー談 支	支指 援定 事特 業定 所相 談
全体		113	4.4%	23.9%	39.8%	8.0%
就学 段階	就学前	13	0.0%	15.4%	15.4%	7.7%
	小学校・小学部	50	2.0%	10.0%	24.0%	10.0%
	中学校・中学部	23	0.0%	39.1%	43.5%	4.3%
	高校・高等部	25	16.0%	44.0%	80.0%	8.0%
グ ル ー プ 別	療育手帳所持者	56	5.4%	32.1%	48.2%	10.7%
	身体手帳所持者	23	8.7%	8.7%	34.8%	4.3%
	手帳重度者	32	12.5%	21.9%	53.1%	12.5%
	手帳不所持者	33	0.0%	21.2%	42.4%	12.1%
	発達障がい	72	1.4%	31.9%	44.4%	9.7%
	療育を受けていない人	21	0.0%	14.3%	19.0%	0.0%
居 住 地 区 別	要介護家族あり	19	0.0%	21.1%	31.6%	0.0%
	亀岡地区	31	6.5%	22.6%	38.7%	9.7%
	川東地区	9	0.0%	22.2%	44.4%	0.0%
	南部地区	4	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
	中部地区	24	8.3%	25.0%	37.5%	8.3%
	西部地区	4	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	篠地区	26	0.0%	23.1%	38.5%	11.5%
つつじヶ丘地区	15	0.0%	20.0%	40.0%	6.7%	

(3) 現在の生活全般の幸福度

問 71 生活全般において現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。(1つに○)

現在の生活全般の幸福度は全体では平均 6.27 点で、就学段階別にみると年齢が低いほど高くなっています。また、要介護家族がある人は幸福度がやや低くなっています。

■図表：現在の生活全般の幸福度

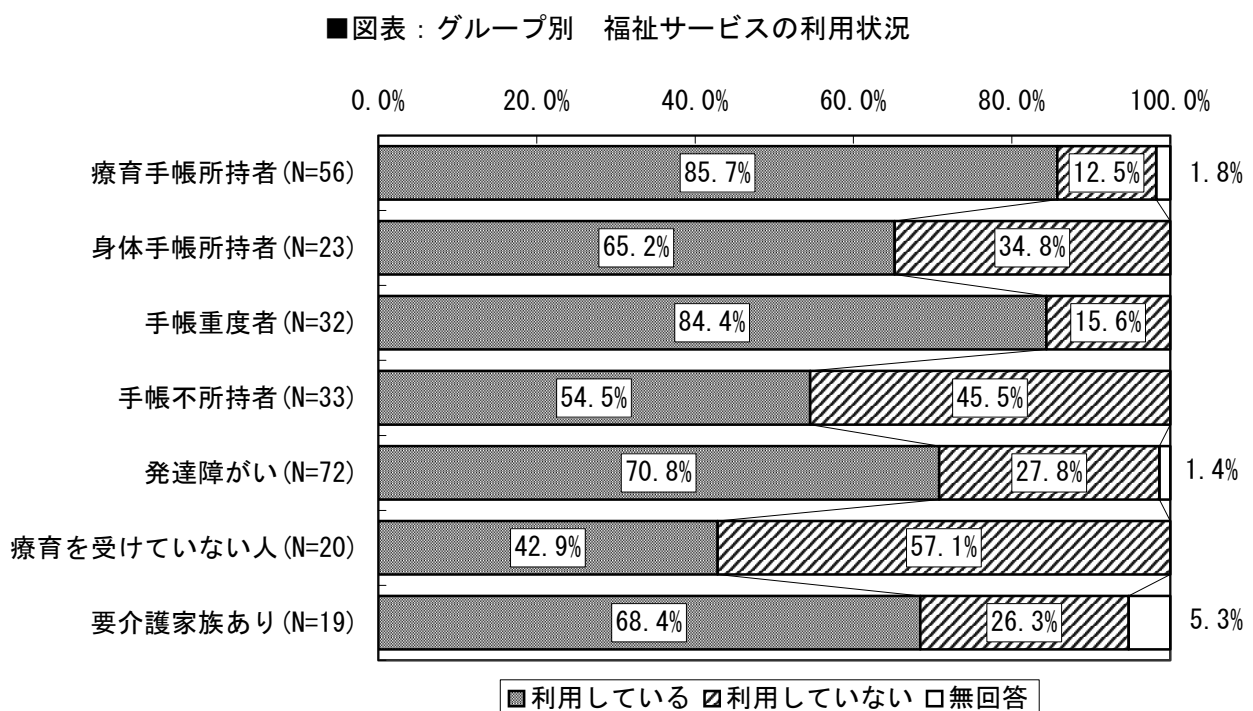
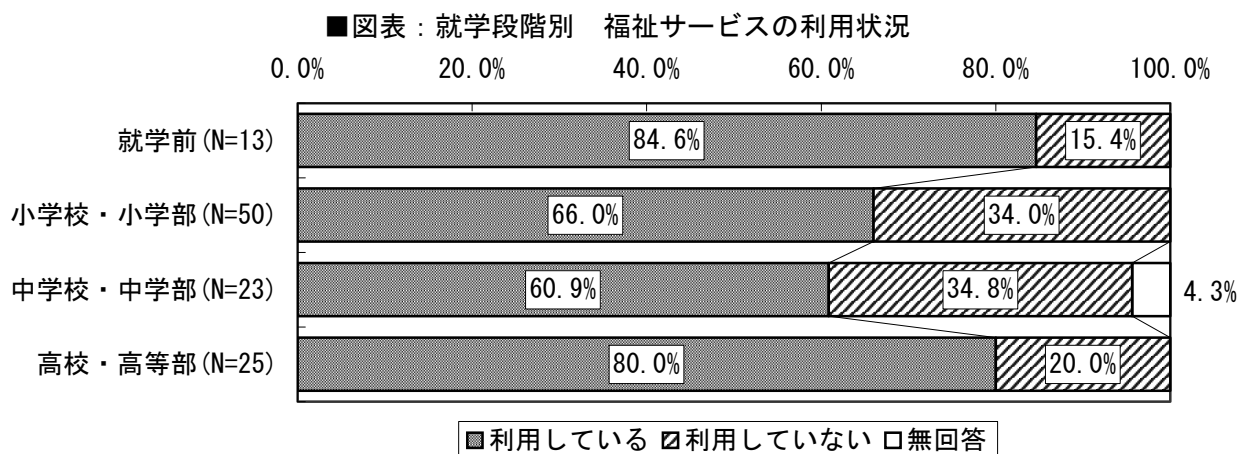
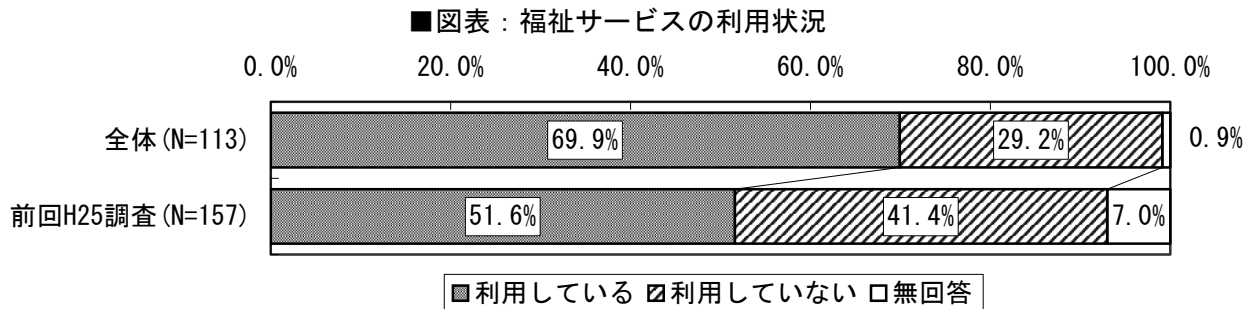
		回答数	平均値
全体		110	6.27
就学段階	就学前	13	6.69
	小学校・小学部	49	6.63
	中学校・中学部	21	5.81
	高校・高等部	25	5.80
グループ別	療育手帳所持者	53	6.28
	身体手帳所持者	23	6.30
	手帳重度者	31	6.32
	手帳不所持者	32	6.41
	発達障がい	70	6.27
	療育を受けていない人	21	6.29
	要介護家族あり	17	6.06

3-13 福祉サービス

(1) 福祉サービスの利用状況

問 72 あなたのお子さんは、現在福祉サービスを利用していますか。(1つに○)

福祉サービスを利用している人は 69.9%となっており、療育手帳所持者と手帳重度者では8割を超えています。



(2) 利用している福祉サービス

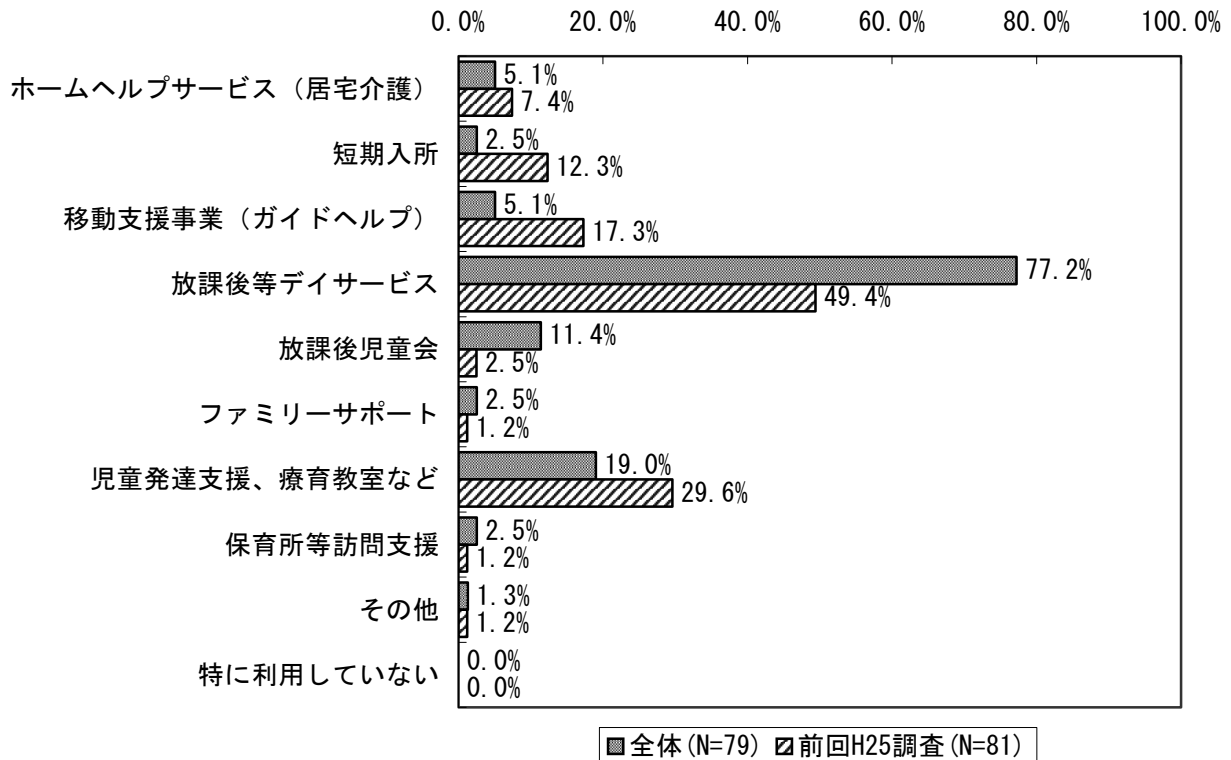
問 72 で「1. 利用している」と回答された方にお聞きします。

問 73 あなたのお子さんが、現在利用している福祉サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※サービスの内容については、同封の「別紙：【サービスの用語説明】」をご覧ください。

福祉サービスを利用している人について、利用しているサービスをみると、「放課後等デイサービス」が77.2%で最も多くなっています。

■図表：利用している福祉サービス（複数回答）



前回のみの項目：日中一時支援事業（22.2%）、夏休み障害児学童保育（4.9%）

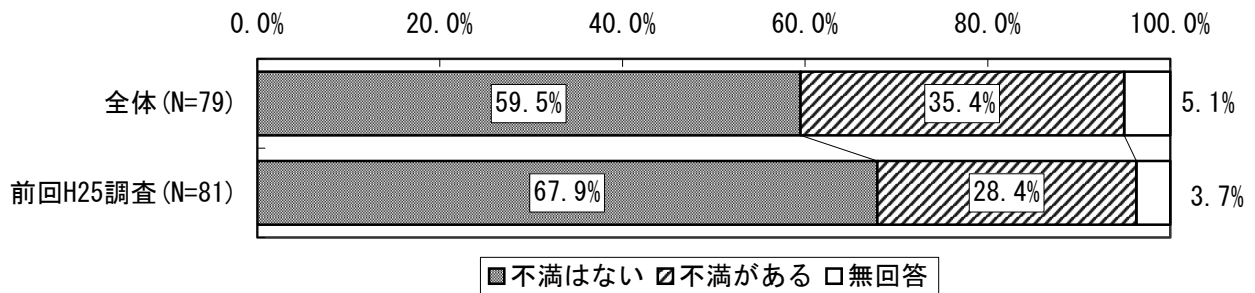
(3) 現在利用しているサービスの不満

問 72 で「1. 利用している」と回答された方にお聞きます。

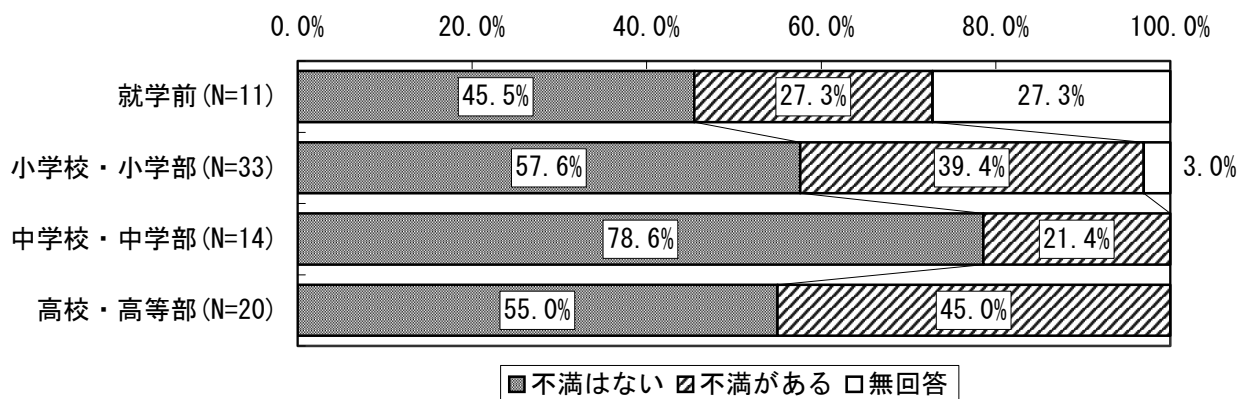
問 74 現在利用しているサービスで不満な点がありますか。(1つに〇)

現在利用しているサービスの不満をみると、「不満がある」は35.4%で、高校・高等部での不満がやや多くなっています。

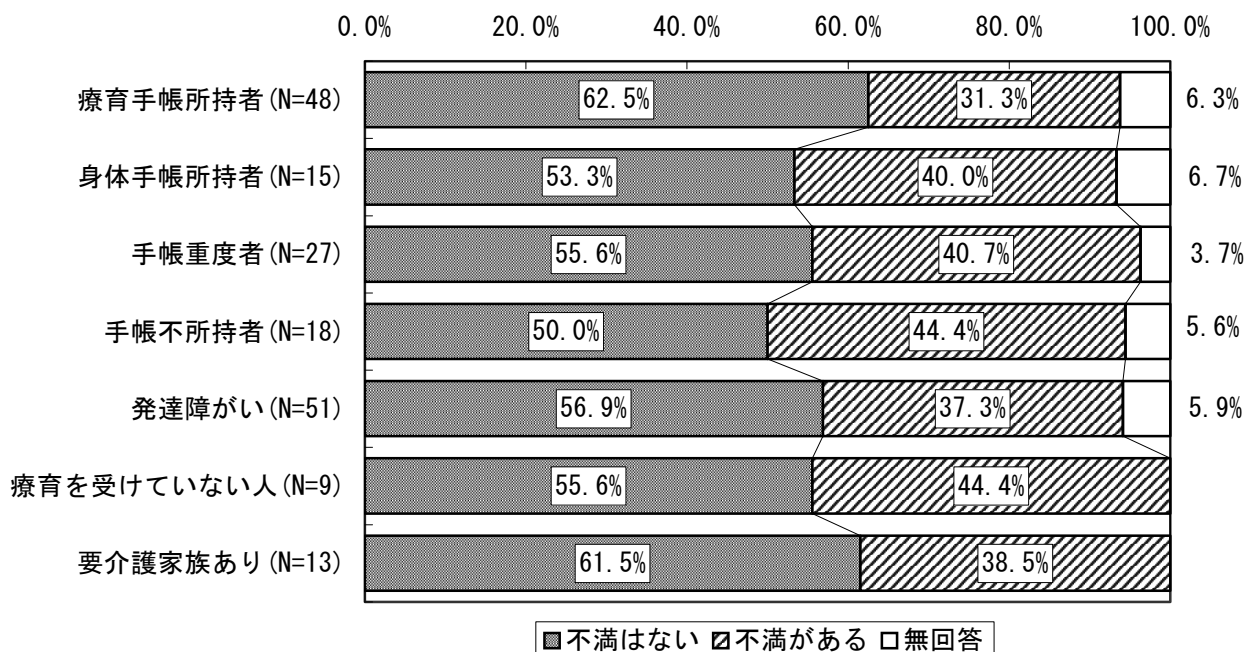
■図表：現在利用しているサービスの不満



■図表：就学段階別 現在利用しているサービスの不満



■図表：グループ別 現在利用しているサービスの不満



(4) 不満の内容

問 74 で「2. 不満がある」と回答された方にお聞きします。

問 75 どのような不満がありますか。(枠内にあてはまる《選択肢》の数字を1つずつ記入)

■図表：不満の内容（件数）

	①ホームヘルプサービス（居宅介護）	②短期入所	③移動支援事業（ガイドヘルプ）	④放課後等デイサービス	⑤放課後児童会	⑥ファミリーサポート	⑦児童発達支援、療育教室など
緊急時の利用がしにくい	0	2	1	5	0	1	0
土日など休日の利用がしづらい（利用が集中する）	0	0	1	3	0	0	1
希望した日時に利用できない	1	1	0	3	0	0	1
利用者が多数などの利用で希望通りの時間までサービスを使えない	0	0	0	2	0	0	0
対応してもらえる（利用できる）事業所が少ない	0	1	1	3	0	0	2
保護者の就労支援の理由ではサービスが使えない	0	0	1	1	0	0	0
利用できる時間（支給量）が少ない	1	0	0	4	0	0	0
必要な設備が不十分	1	0	0	1	1	0	0
職員の理解を得られない	0	0	0	3	0	0	0
通うのが大変	0	0	0	2	0	0	1
その他	0	0	1	2	3	1	0
合計	3	4	5	29	4	2	5

※少数かつ母数の選定が難しいため件数のみ記載

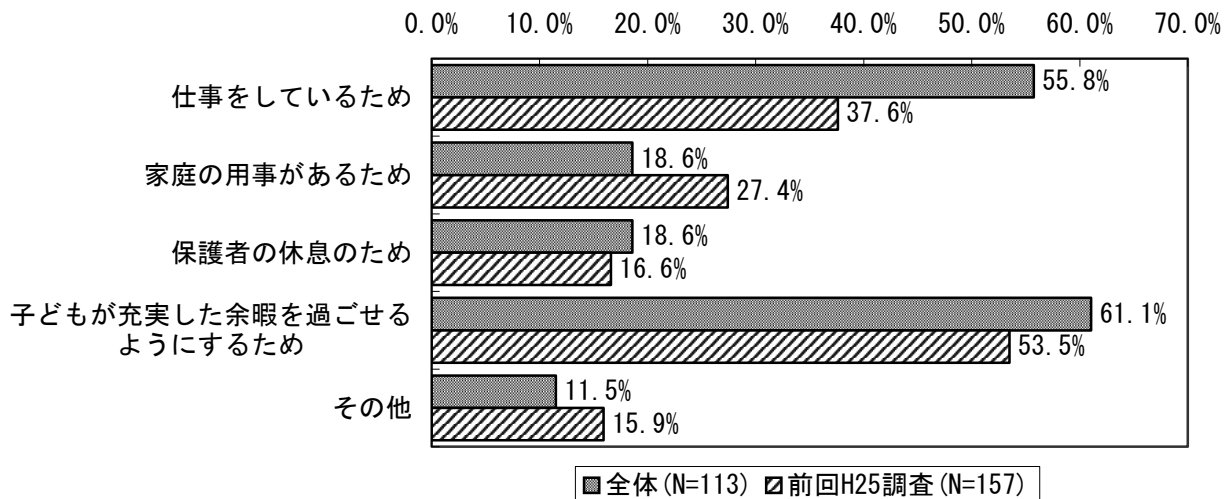
※⑧保育所等訪問支援は不満の記入なし

(5) 福祉サービスを利用する理由

問 76 お子さんがサービスを現在利用している場合、その理由は何ですか。また、現在サービスを利用していない場合、サービスを利用するとしたら、どのような理由で利用すると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

福祉サービスを利用する理由をみると、手帳不所持者・要介護家族のいる人では「仕事をしているため」、それ以外では「子どもが充実した余暇を過ごせるようにするため」がそれぞれ最も多くなっています（療育を受けていない人では同率）。

■図表：福祉サービスを利用する理由（複数回答）



■図表：福祉サービスを利用する理由（複数回答）

		有効回答数	仕事をしているため	家庭の用事があるため	保護者の休息のため	子どもが充実した余暇を過ごせるようにするため	その他
全体		113	55.8%	18.6%	18.6%	61.1%	11.5%
就学段階	就学前	13	46.2%	0.0%	7.7%	61.5%	23.1%
	小学校・小学部	50	58.0%	14.0%	12.0%	52.0%	10.0%
	中学校・中学部	23	39.1%	13.0%	21.7%	69.6%	17.4%
	高校・高等部	25	76.0%	40.0%	36.0%	72.0%	4.0%
グループ別	療育手帳所持者	56	64.3%	28.6%	25.0%	71.4%	5.4%
	身体手帳所持者	23	39.1%	17.4%	21.7%	52.2%	13.0%
	手帳重度者	32	56.3%	34.4%	28.1%	65.6%	6.3%
	手帳不所持者	33	57.6%	12.1%	12.1%	51.5%	18.2%
	発達障がい	72	59.7%	18.1%	18.1%	63.9%	15.3%
	療育を受けていない人 要介護家族あり	21 19	33.3% 63.2%	4.8% 21.1%	19.0% 0.0%	33.3% 57.9%	19.0% 10.5%

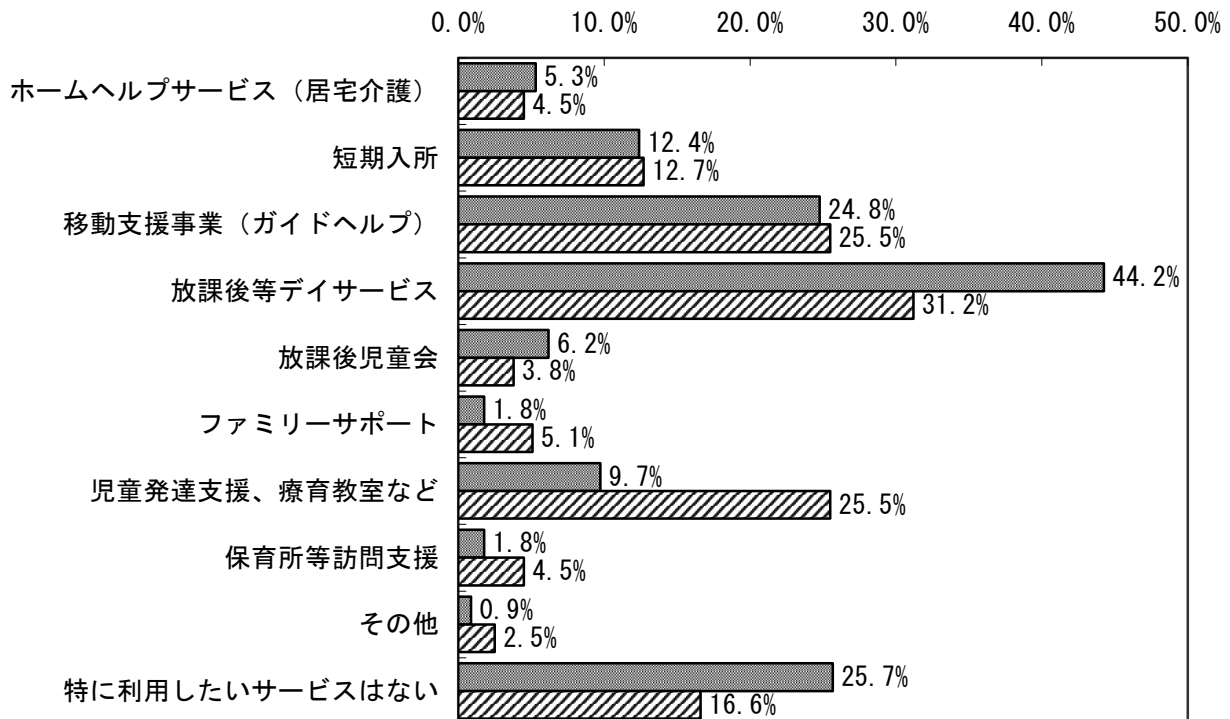
(6) 今後利用したい福祉サービス

問 77 今後、利用したい福祉サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※サービスの内容については、同封の「別紙：【サービスの用語説明】」をご覧ください。

今後利用したい福祉サービスをみると、「特に利用したいサービスはない」を除いて、高校・高等部では「移動支援事業（ガイドヘルプ）」、中学校以下では「放課後等デイサービス」がそれぞれ最も多くなっています。

■図表：今後利用したい福祉サービス（複数回答）



■全体 (N=113) □前回H25調査 (N=157)

前回のみ項目：日中一時支援事業（20.4%）、夏休み障害児学童保育（30.6%）

■図表：今後利用したい福祉サービス（複数回答）

	有効回答数	ホームヘルプサービス（居宅介護）	短期入所	移動支援事業（ガイドヘルプ）	放課後等デイサービス	放課後児童会	ファミリーサポート	児童発達支援、療育教室など	保育所等訪問支援	その他	特に利用したいサービスはない
全体	113	5.3%	12.4%	24.8%	44.2%	6.2%	1.8%	9.7%	1.8%	0.9%	25.7%
就学段階	就学前	13	0.0%	0.0%	69.2%	23.1%	15.4%	23.1%	15.4%	7.7%	15.4%
	小学校・小学部	50	4.0%	2.0%	16.0%	42.0%	8.0%	14.0%	0.0%	0.0%	34.0%
	中学校・中学部	23	13.0%	21.7%	34.8%	47.8%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	8.7%
	高校・高等部	25	4.0%	32.0%	44.0%	32.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.0%
グループ別	療育手帳所持者	56	8.9%	21.4%	33.9%	51.8%	8.9%	3.6%	12.5%	3.6%	14.3%
	身体手帳所持者	23	13.0%	17.4%	26.1%	47.8%	4.3%	4.3%	0.0%	4.3%	34.8%
	手帳重度者	32	15.6%	31.3%	40.6%	50.0%	6.3%	3.1%	9.4%	0.0%	21.9%
	手帳不所持者	33	0.0%	0.0%	15.2%	33.3%	3.0%	0.0%	6.1%	0.0%	36.4%
	発達障がい	72	5.6%	12.5%	25.0%	47.2%	5.6%	1.4%	9.7%	1.4%	20.8%
	療育を受けていない人	21	0.0%	0.0%	14.3%	38.1%	4.8%	0.0%	9.5%	0.0%	42.9%
要介護家族あり	19	10.5%	26.3%	42.1%	47.4%	15.8%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	21.1%

3-14 医療的ケア

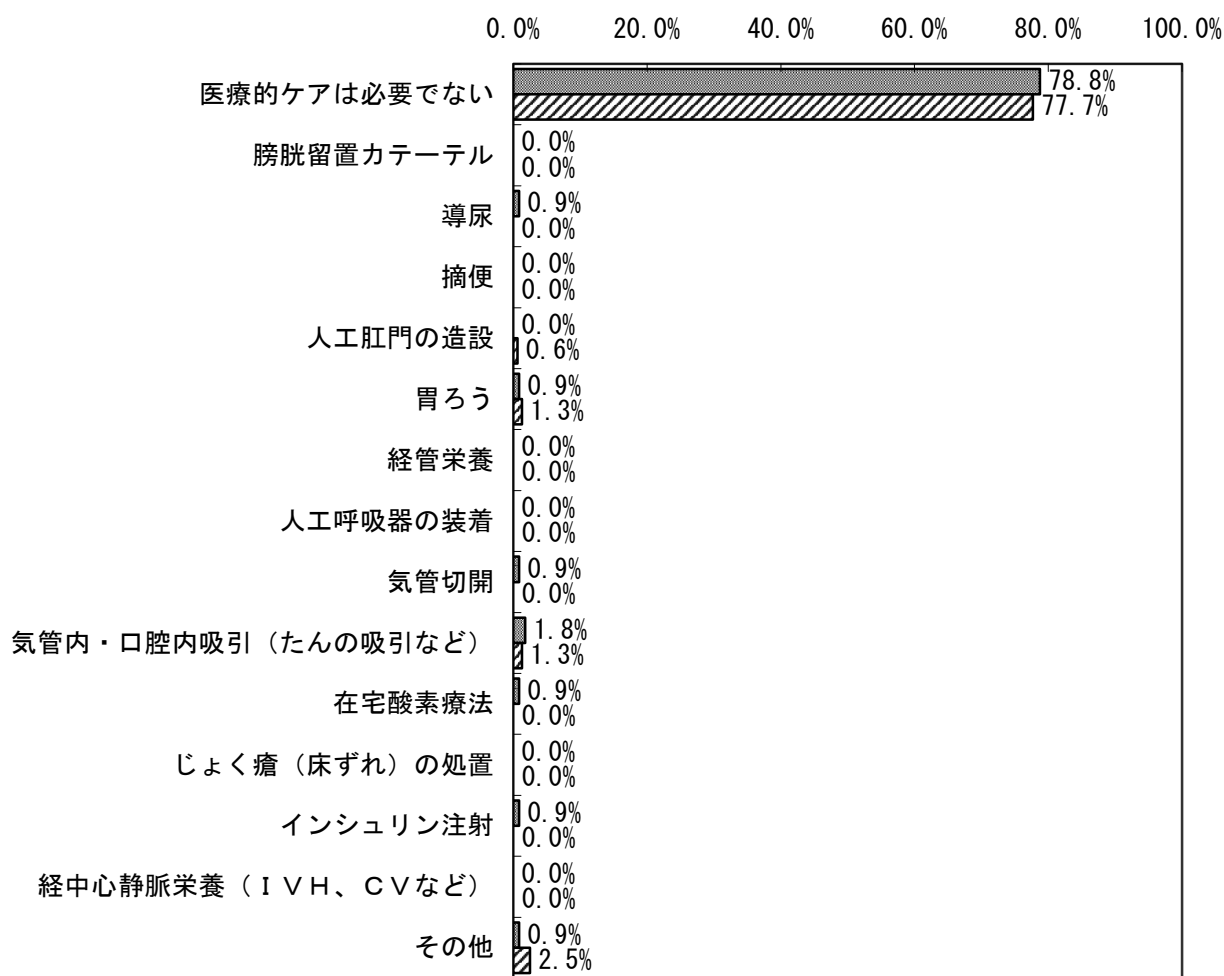
(1) 必要な医療的ケア

問 78 あなたのお子さんは、どのような医療的ケア（服薬や通院を除く）が必要ですか。（あてはまるものすべてに○）

※医療的ケアとは、たんの吸引、導尿、経管栄養、人工呼吸器管理など、基本的に医療職や家族等にか認められていない医療的な生活援助行為のことです。

医療的ケアが必要な人については、気管内・口腔内吸引、胃ろう、導尿、気管切開、在宅酸素、インシュリン注射などが項目として挙がっています。

■図表：必要な医療的ケア（複数回答）



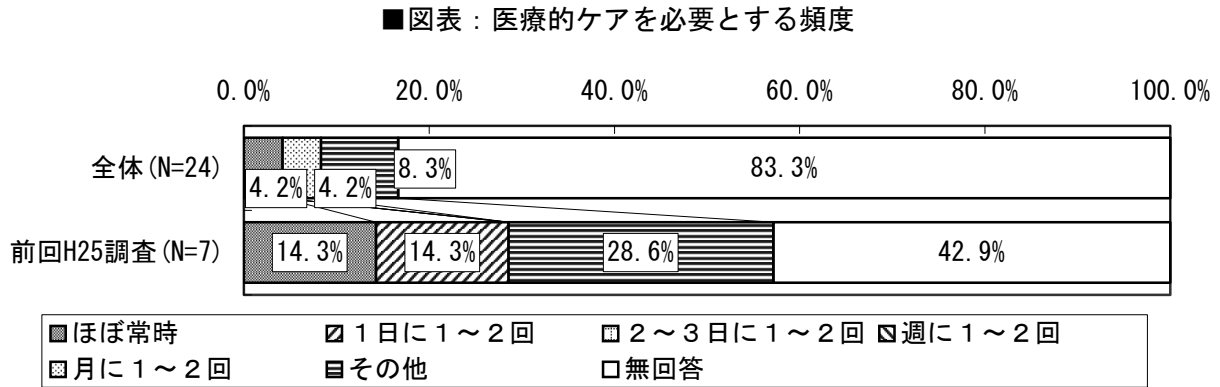
■全体 (N=113) ▨ 前回H25調査 (N=157)

(2) 医療的ケアを必要とする頻度

問 78 で「1. 医療的ケアは必要でない」と回答しなかった方にお聞きします。

問 79 医療的ケアは、どのくらいの頻度で必要ですか。(1つに○)

医療的ケアを必要とする頻度としては、「ほぼ常時」、「1日に1～2回」、「2～3日に1～2回」が挙がっています。



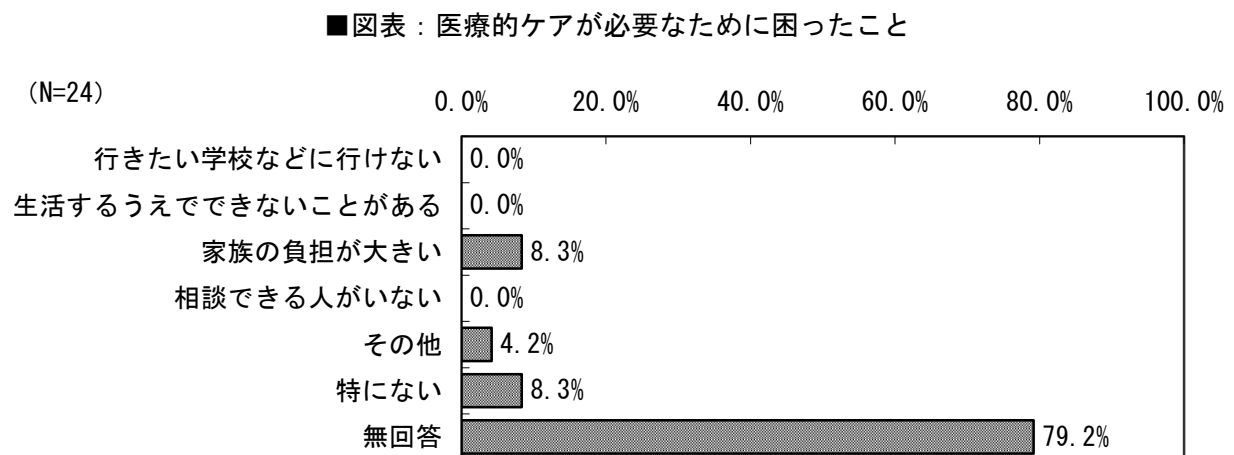
※前回 H25 調査では「前の設問でなんらかの医療的ケアに○をつけた人」が対象回答者。

(3) 医療的ケアが必要なために困ったこと

問 78 で「1. 医療的ケアは必要でない」と回答しなかった方にお聞きします。

問 80 あなたのお子さんは、医療的ケアが必要なために困ったことはありますか。(1つに○)

医療的ケアが必要なために困ったことについて、「家族の負担が大きい」の割合が高くなっています。



3-15 保護者の状況

保護者があて名のご本人を主に介助（介護）していない場合は回答せずに、「問 88（自由意見）」へお進みください。

※なお、回答する介助者（介護者）の方は、本人が回答内容を確認したり、本人が代わって回答することのないように、ご配慮をお願いいたします。

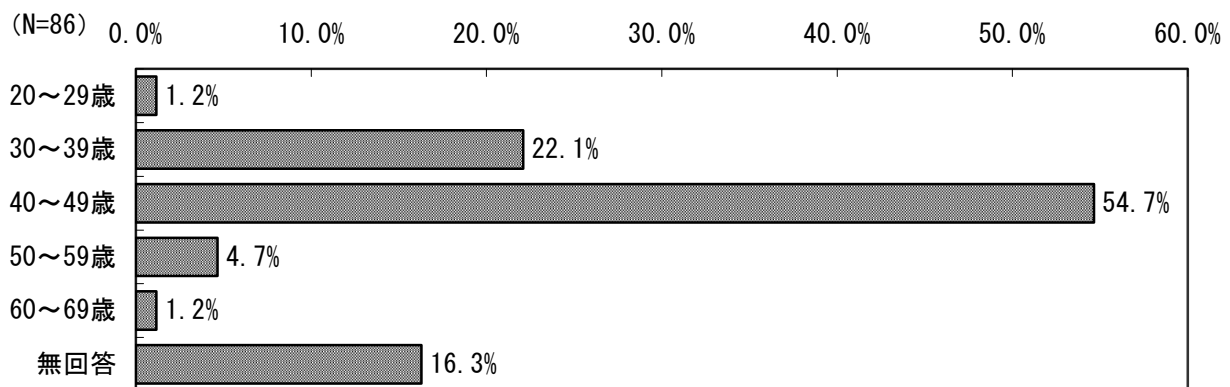
（1）介助者の年齢

問 81 介助者（介護者）の方の年齢は、何歳ですか。

※令和 2 年 1 月 1 日現在でお答えください。

介助者の年齢をみると、「40～49 歳」が過半数を占めています。

■図表：介助者の年齢

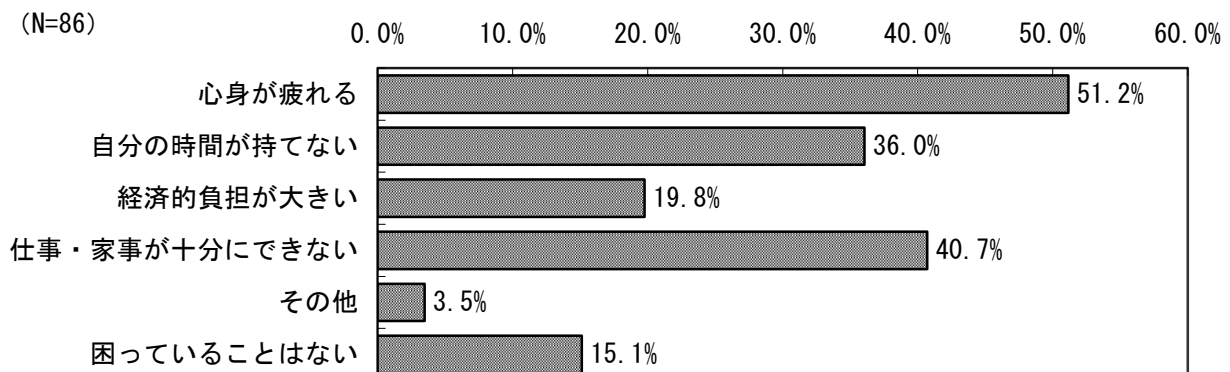


（2）介助（介護）について困っていること

問 82 介助（介護）について困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

介助（介護）について困っていることをみると、「心身が疲れる」が 51.2%で最も多く、次いで「仕事・家事が十分にできない」（40.7%）、「自分の時間が持てない」（36.0%）となっています。また、要介護家族がいる人ではどの項目も他のグループに比べて非常に多くなっています。

■図表：介助（介護）について困っていること（複数回答）



■図表：介助（介護）について困っていること（複数回答）

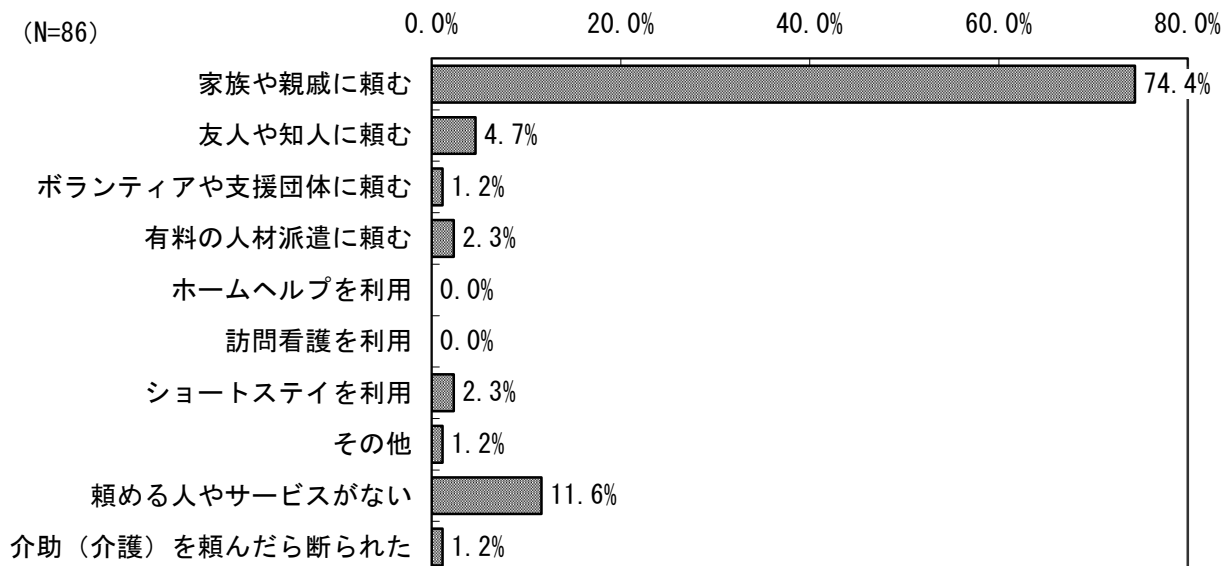
	有効回答数	心身が疲れる	自分の時間が持たない	大きな経済的負担が	仕事・家事にできない	その他	困っていることではない	
全体	113	51.2%	36.0%	19.8%	40.7%	3.5%	15.1%	
介助者年齢	20～29歳	1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	19	47.4%	31.6%	21.1%	36.8%	10.5%	21.1%
	40～49歳	47	57.4%	40.4%	21.3%	44.7%	2.1%	14.9%
	50～59歳	4	50.0%	25.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
	60～69歳	1	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
グループ別	療育手帳所持者	46	56.5%	39.1%	21.7%	47.8%	4.3%	10.9%
	身体手帳所持者	17	41.2%	35.3%	23.5%	41.2%	5.9%	17.6%
	手帳重度者	26	46.2%	42.3%	15.4%	53.8%	3.8%	11.5%
	手帳不所持者	23	52.2%	26.1%	8.7%	21.7%	0.0%	17.4%
	発達障がい	58	58.6%	34.5%	22.4%	41.4%	3.4%	13.8%
	療育を受けていない人	14	42.9%	35.7%	14.3%	35.7%	0.0%	35.7%
要介護家族あり	15	73.3%	66.7%	40.0%	80.0%	6.7%	0.0%	

(3) 主な介助者が一時的に介助できなくなった場合の対応

問 83 病気や事故、休養などで一時的に介助（介護）できなくなった場合、どのように対応していますか。（あてはまるものすべてに○）

主な介助者が一時的に介助できなくなった場合の対応をみると、「家族や親戚に頼む」が74.4%で最も多くなっています。

■図表：主な介助者が一時的に介助できなくなった場合の対応（複数回答）

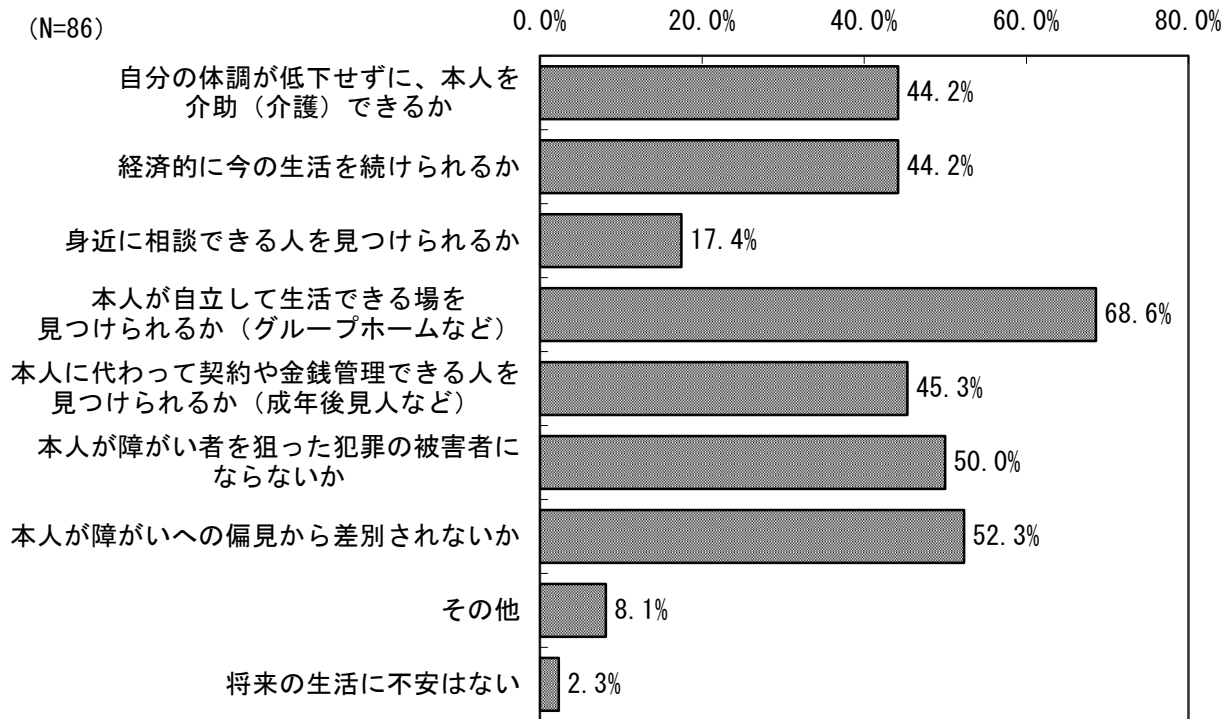


(4) 将来の生活における不安

問 84 将来の生活において、どのような不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

将来の生活における不安をみると、「本人が自立して生活できる場を見つけられるか(グループホームなど)」が68.6%で最も多く、次いで「本人が障がいへの偏見から差別されないか」(52.3%)、「本人が障がい者を狙った犯罪の被害者にならないか」(50.0%)となっています。

■図表：将来の生活における不安（複数回答）



■図表：将来の生活における不安（複数回答）

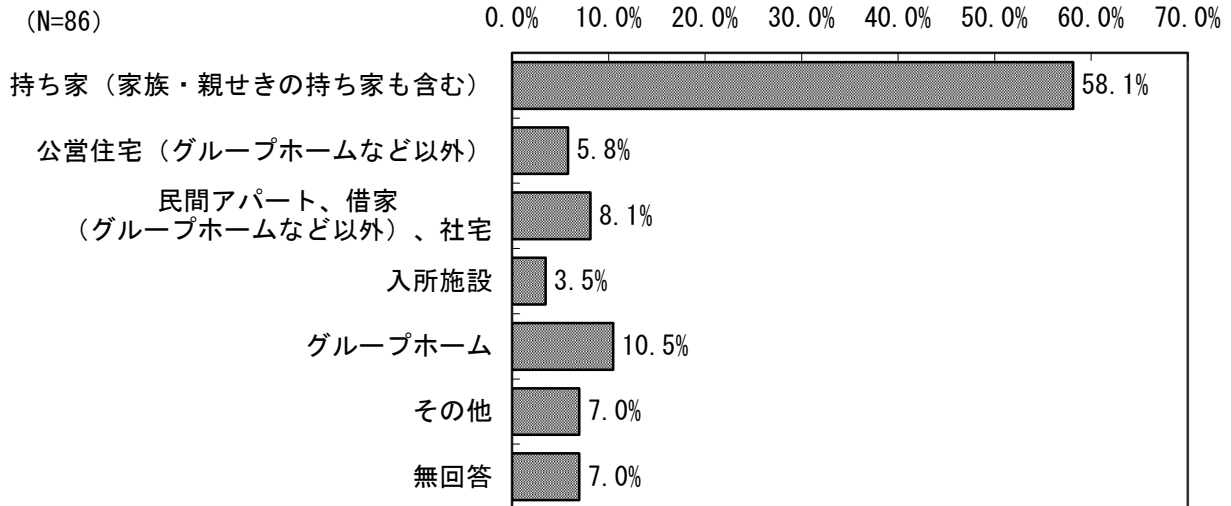
	有効回答数	本人の体調が低下せずに、本人を介助（介護）できるか	経済的に今の生活を続けられるか	身近に相談できる人を見つけられるか	本人が自立して生活できる場（グループホームなど）を見つけられるか	本人に代わって契約や金銭管理できる人（成年後見人など）を見つけられるか	本人が障がい者を狙った犯罪の被害者にならないか	本人が障がいへの偏見から差別されないか	その他	将来の生活に不安はない	
全体	86	44.2%	44.2%	17.4%	68.6%	45.3%	50.0%	52.3%	8.1%	2.3%	
就学段階	就学前	11	36.4%	63.6%	27.3%	72.7%	45.5%	36.4%	45.5%	0.0%	9.1%
	小学校・小学部	39	46.2%	33.3%	17.9%	56.4%	33.3%	43.6%	48.7%	2.6%	2.6%
	中学校・中学部	16	25.0%	43.8%	0.0%	68.8%	43.8%	62.5%	68.8%	18.8%	0.0%
	高校・高等部	18	66.7%	61.1%	27.8%	94.4%	72.2%	61.1%	55.6%	16.7%	0.0%
グループ別	療育手帳所持者	46	54.3%	56.5%	17.4%	84.8%	65.2%	60.9%	60.9%	8.7%	0.0%
	身体手帳所持者	17	47.1%	23.5%	23.5%	64.7%	23.5%	35.3%	41.2%	0.0%	5.9%
	手帳重度者	26	76.9%	50.0%	19.2%	80.8%	57.7%	57.7%	57.7%	7.7%	0.0%
	手帳不所持者	23	30.4%	39.1%	13.0%	47.8%	26.1%	47.8%	47.8%	17.4%	4.3%
	発達障がい	58	43.1%	50.0%	13.8%	65.5%	48.3%	51.7%	56.9%	12.1%	1.7%
	療育を受けていない人	14	21.4%	42.9%	28.6%	42.9%	14.3%	42.9%	50.0%	7.1%	14.3%
要介護家族あり	15	60.0%	66.7%	26.7%	80.0%	60.0%	60.0%	66.7%	6.7%	0.0%	

(5) 希望する本人の暮らす場所・相手

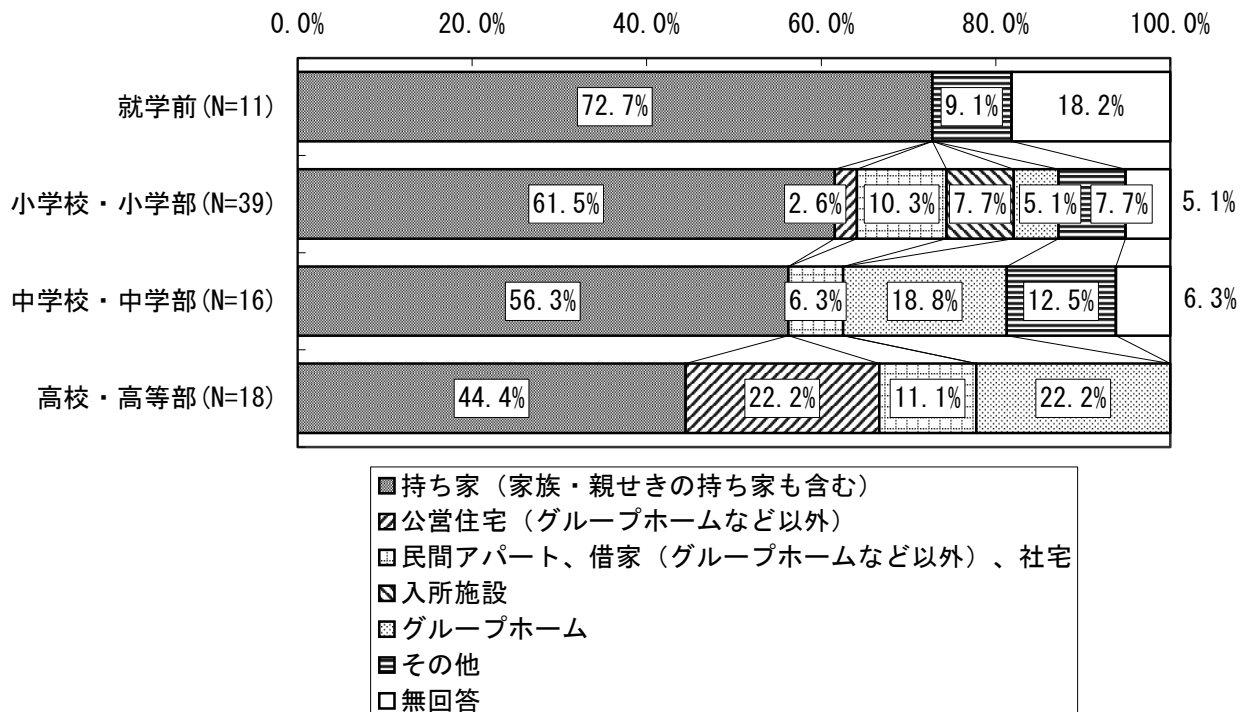
問 85 今後、お子さんがどのような暮らし方をすることを望むかをお聞きします。(1つに○)
 (1) どこで暮らしてほしいですか。(1つに○)

希望する本人の暮らす場所をみると、「持ち家（家族・親せきの持ち家も含む）」が最も多くなっていますが、就学段階が進むにつれて他の場所も増える傾向がみられます。

■図表：希望する本人の暮らす場所



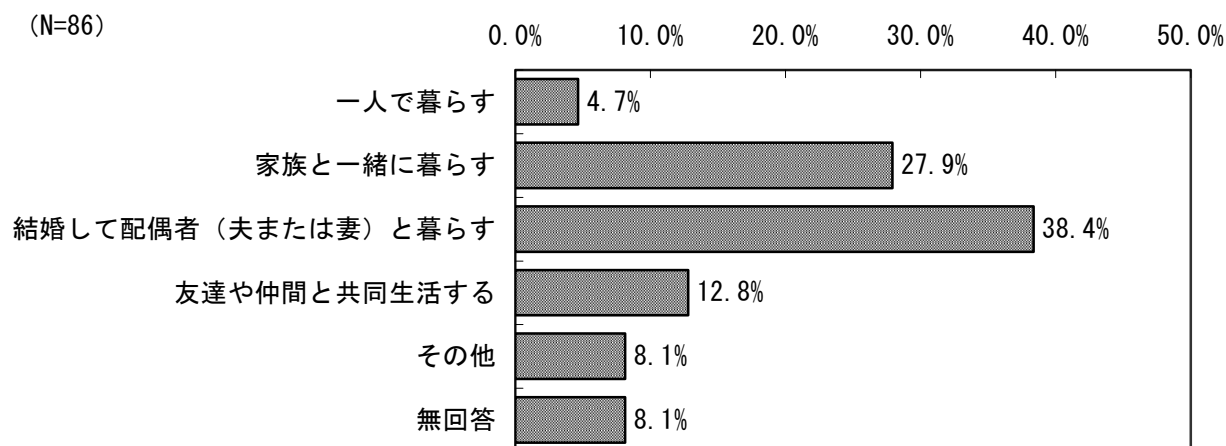
■図表：就学段階別 希望する本人の暮らす場所



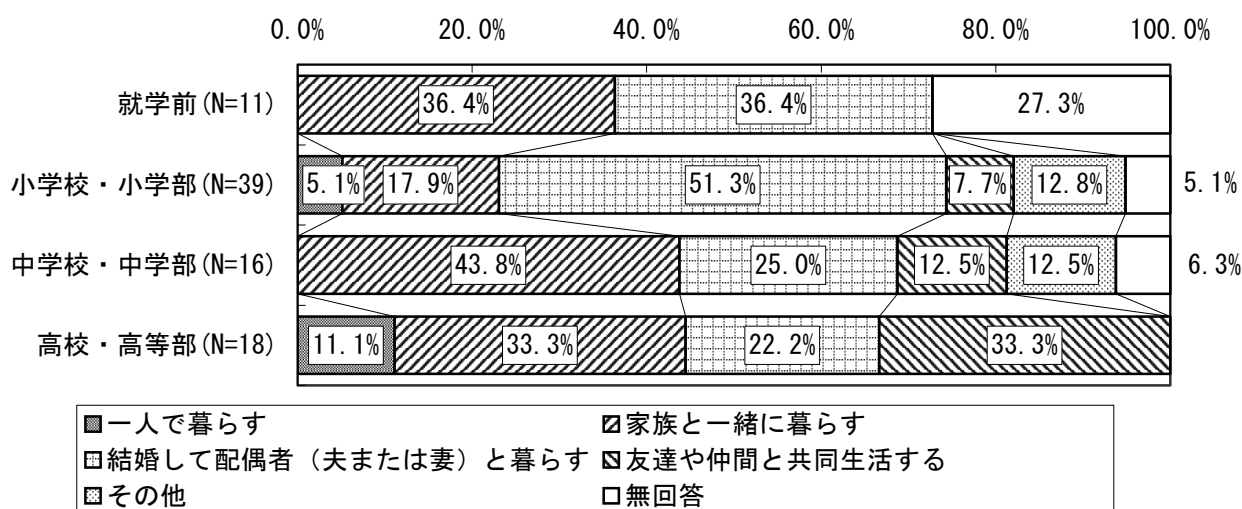
(2) 誰と暮らしてほしいですか。(1つに○)

希望する本人と暮らす相手をみると、「結婚して配偶者(夫または妻)と暮らす」が38.4%で最も多くなっています。

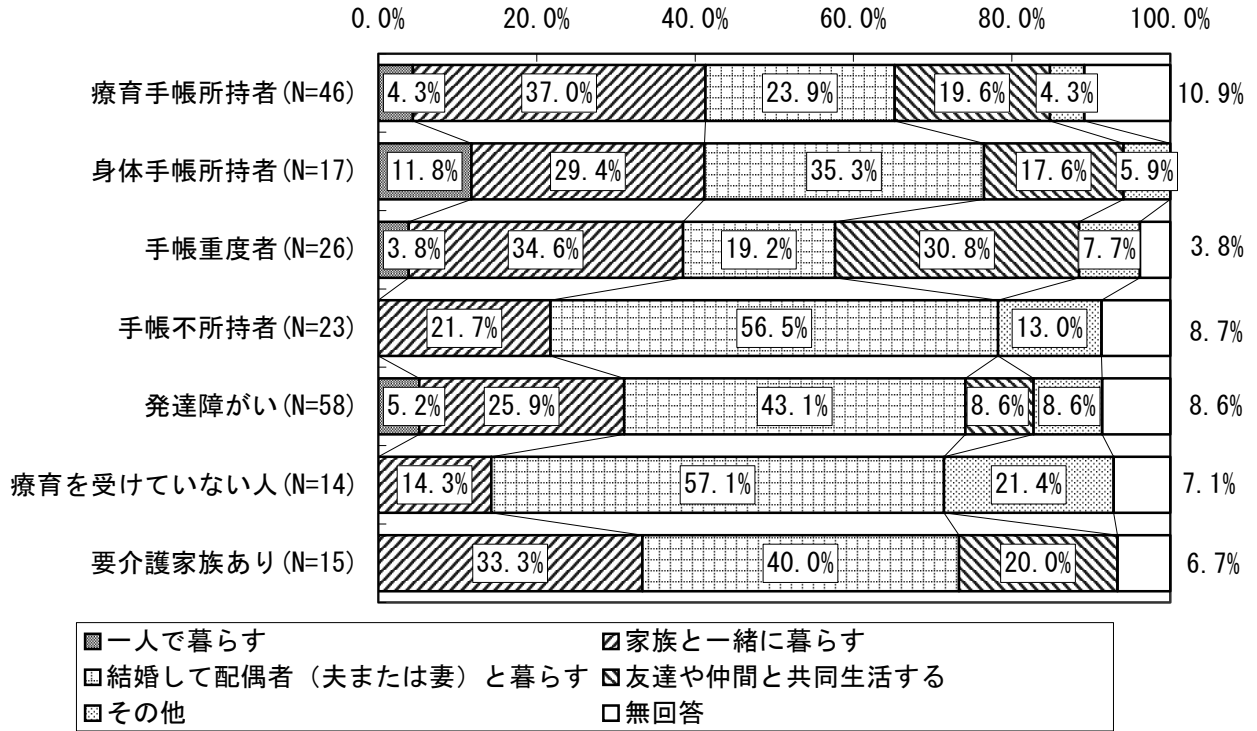
■図表：希望する本人と暮らす相手



■図表：就学段階別 希望する本人と暮らす相手



■図表：グループ別 希望する本人と暮らす相手

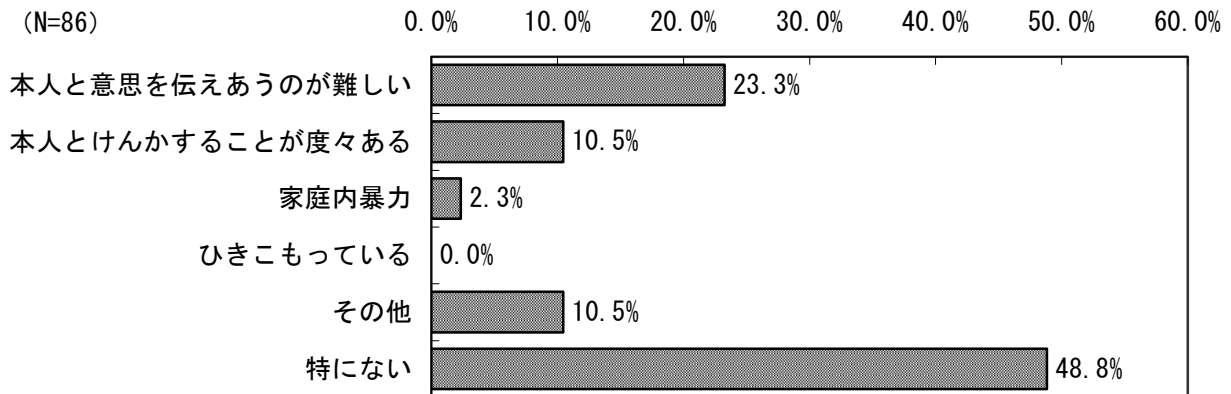


(6) 子どもとの関係で困っていること

問 86 現在、家族生活においてお子さんとの関係で困っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

子どもとの関係で困っていることをみると、「特にない」を除いて、「本人と意思を伝えあうのが難しい」が23.3%で最も多くなっています。

■図表：子どもとの関係で困っていること（複数回答）



(7) 子どもの兄弟姉妹が困っていること

お子さんの兄弟姉妹がおられる方にお聞きします。
お子さんに兄弟姉妹のおられない場合には回答せずに、問 88 へお進みください。
問 87 お子さんの兄弟姉妹が、次のようなことで悩んだり困ったりしている、あるいはそのように思われることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの兄弟姉妹が困っていることをみると、「特にない」を除いて、「支援の必要なお子さんとの仲」が27.3%で最も多くなっています。

■図表：子どもの兄弟姉妹が困っていること（複数回答）

